

Digital Motion Picture Camera VENICE 2

取扱説明書

MPC-3628/MPC-3626

ファームウェアバージョン 4.1



目次

1章 概要

本機の特長	3
システム構成例	9
各部の名称と働き	10

2章 準備

電源の準備	19
時計を合わせる	20
イメージャブロックを交換する	21
VFアタッチメントとハンドルの 取り付け	22
レンズの取り付けとフランジバックの 調整	23
ビューファインダーの取り付け	26
AXSメモリーカードの取り扱い	28
設定データ保存用SDカードの 取り扱い	41

3章 カメラ操作

サブディスプレイ	42
サブディスプレイのホーム画面の 操作方法	45
ユーザー機能画面	57
メニューの操作方法	63
フルメニューの操作方法	79
Shootingメニュー	80
Projectメニュー	88
TC/Mediaメニュー	94
Monitoringメニュー	96

Audioメニュー	105
Paintメニュー	106
Technicalメニュー	109
Maintenanceメニュー	115
サブディスプレイのクリップ操作	117
再生	119
ミニディスプレイのホーム画面の 操作方法	120
ミニディスプレイのクリップ操作	123

4章 ネットワーク

ネットワークの設定方法と操作 方法	124
----------------------------	-----

5章 撮影

基本操作	131
便利な機能	132

6章 ユーザー設定データの保存と読み込み

ユーザー設定データ	136
Allファイル	137
Sceneファイル	138
ユーザーガンマファイル	139
フレームラインファイル	141

7章 外部機器の接続

リモートコントロールユニットを接続 する	143
-------------------------------	-----

外部モニターや記録装置を接続 する	149
外部同期	150

8章 付録

使用上のご注意	152
記録フォーマットと出力信号	155
AXSクリップ記録・再生時間	165
エラー / 警告表示	167
ファイルに保存される項目	169
記録・出力メタデータ一覧	178
ライセンスについて	182
保証書とアフターサービス	183
主な仕様	184

本機の特長

新開発8.6K 36mm×24mmフルフレームCMOSイメージセンサーを搭載(MPC-3628)

MPC-3628は、新開発36mm×24mmフルフレームの8.6K CMOSイメージセンサーを搭載し、最大8640画素×5760画素で記録することが可能です。イメージャーモードを切り換えることにより、標準的なSuper35mm 24.1mm×12.7mmで、5792画素×3056画素はもちろんのこと、6:5アナモフィックに対応するSuper35mm 24.1mm×20.2mm、5792画素×4854画素^{*}をサポートします。8Kコンテンツ制作のみならず、VFX合成でも効果を発揮し、また8.6K画素からのオーバーサンプリングによる高画質な4Kコンテンツ制作が可能です。

^{*} フルフレームおよびアナモフィックモードは別売リライセンスが必要です。

VENICE(MPC-3610)と同じ6K 36mm×24mmフルフレームCMOSイメージセンサーを搭載(MPC-3626)

MPC-3626は、VENICE(MPC-3610)と同じセンサーを搭載しており、最大6048画素×4032画素の解像度でキャプチャーすることが可能です。イメージャーモードを切り換えることにより、標準的なSuper35mm 24.3mm×12.8mm、4096画素×2160画素(3パーフォレーションに相当)はもちろんのこと、4:3アナモフィックに対応するSuper35mm 24.3mm×18.3mm、4096画素×3024画素(4パーフォレーションに相当)^{*}をサポートします。

^{*} フルフレームおよびアナモフィックモードは別売リライセンスが必要です。

2つのイメージセンサーを交換して運用が可能

8.6Kイメージセンサーと6Kイメージセンサーはシステムの互換性を兼ね備えており、ユーザーがイメージセンサーを取り外し交換して運用することが可能です。またVENICE(MPC-3610)のイメージャーブロックも互換性をもち、MPC-3628/3626に装着して使用することが可能です。

ワイドラチチュード

MPC-3628は16ストップ、MPC-3626は15ストップ+の広大なラチチュードを実現。ハイライト部から暗部まで幅広い輝度条件の下で、低ノイズで美しい映像をキャプチャーすることができ、グレーディング作業において高い自由度をもたらします。

広色域キャプチャーが可能

DCI-P3を越える色域でのキャプチャーが可能です。ソニーが定義するワイドカラースペースS-Gamut3とS-Gamut3.Cineを搭載しS-Log3と一緒に活用することにより、グレーディング時の自由度が飛躍的に向上します。

Dual Base ISO

2種類の基準感度を有しており、通常の照明下ではLow側のBase ISO(MPC-3628 : ISO 800、MPC-3626 : ISO 500)を、低照度の条件では、High側のBase ISO(MPC-3628 : ISO 3200、MPC-3626 : ISO 2500)を使用することにより、ノイズ感を粗くせず、ハイライトとローライトのラチチュードバランスを保ったまま撮影が可能となります。

PLレンズマウント

標準でPLレンズマウントが装着されています。レンズマウントはCooke /iに対応しており、レンズ情報はフレームごとにメタデータとして記録されます。また、Cooke's /i third generation metadata Technology, /i3とZEISS eXtended Data technologyに対応し、レンズ歪やシェーディングメタデータを記録します。

Eマウントレンズ対応

PLレンズアダプターを取り外すことにより、Eマウントレンズが使用可能です。PLレンズと比較して小型・軽量であり、またEマウントレンズの多彩なラインナップにより更なる映像表現の幅を広げます。

イメージャーブロックの延長

CBK-3620XS^{*}を接続することで、MPC-3628/MPC-3626の8Kセンサーと6Kセンサーどちらのイメージャーブロックでも約12mまたは約3mに延長して撮影をすることが可能です。

^{*} CBK-3620XSを使用するためには、本機のファームウェアバージョンはV2.0以上が必要です。

カメラヘッドの延長

カメラエクステンションシステムCBK-3620XSに加えて、小型のカメラヘッドブロックを採用したCBK-3621XS^{*}に対応しました。CBK-3621XS^{*}を接続することで、カメラヘッドブロックを約12mまたは約4.5mに延長して撮影をすることが可能です。

^{*} CBK-3621XSを使用するためには、本機のファームウェアバージョンはV4.0以上が必要です。

8ポジション光学式NDフィルター

8ポジション光学式NDフィルターを採用しています。0.3ND(1/2=1ストップ)から2.4ND(1/256=8ストップ)の広範囲のNDを備えており、外部NDフィルターを交換する手間を省きます。このNDフィルターはサーボ制御され、PCやタブレット、RM/RCPコントローラーからも制御が可能です。

ハイレームレート(HFR) 撮影

最大120FPSでのX-OCN記録が可能です。

X-OCNと4K ProResの2つのレコーディングフォーマット

標準レコーディングフォーマットとして、16ビットX-OCNまたは4K ProResをAXSメモリーカードに収録することができます。X-OCNは、すでに多くのNLEやグレーディングツールでネイティブに扱うことができるフォーマットであり、各イメージセンサー、各モードの解像度をそのまま記録します。4K ProResは、4Kビデオフォーマットとして広く普及しており、各イメージセンサー、各モードで撮像した映像を4K ProResにオーバーサンプリング^{*}して記録します。

^{*} 6Kイメージセンサー (MPC-3626) において4K 17:9、4K 16:9、4K 2.39:1イメージャーモード時は4K撮像した映像をそのまま記録します。

コンパクトなボディと直感的な操作感

ソニー独自の小型化技術によりフルフレーム大型イメージセンサーを搭載しながらコンパクトなサイズを実現しており、狭いスペースでの撮影やドローン搭載時の利便性を向上させています。操作ボタンは直観的な操作を実現するために場所、形状、サイズを徹底的に検討して配置されてお

り、また暗所撮影を考慮しバックライトを備えています。

高い堅牢性

筐体は高い堅牢性を誇るマグネシウム合金製。吸排気機構はすべての電子部品から完全に隔離されていて、砂や埃、水滴の侵入を防ぎます*。静粛性に優れたファンは取り外し可能で清掃することができ、過酷な映画制作の現場で高い可用性を保つことができます。

* 防塵・防滴に配慮された構造になっていますが埃や水滴の侵入を完全に防ぐものではありません。

モジュラー構造

撮影用途に合わせさまざまなリグや周辺機器との組み合わせに柔軟に対応することができます。レンズとのバランスや使いかたに合わせて、トップハンドルとビューファインダーは簡単に調整できます。

現場での運用を考えた、シンプルで直感的なメニュー操作

メニュー画面をカメラの両側に、メイン操作部はカメラのアシスタントサイドに配置しています。これにより撮影現場でカメラアシスタントが設定操作をすばやく行うことができます。オペレーターサイドの有機ELミニディスプレイは、NDポジション、シャッター、ホワイトバランス、EI値、FPSなど、頻繁に使う設定を簡単に操作でき、またカメラオペレーターの方がステータスを確認するのにも便利です。

RM/RCPおよび本機からのペイントコントロールに対応

本機は、ブロードキャストカムコーダーやシステムカメラで使用可能なRM/RCPリモートコントロールユニットからの制御にも対応しています。各種ペイント項目の調整も可能です。また、本機のフルメニューからペイントコントロールの操作が可能です。

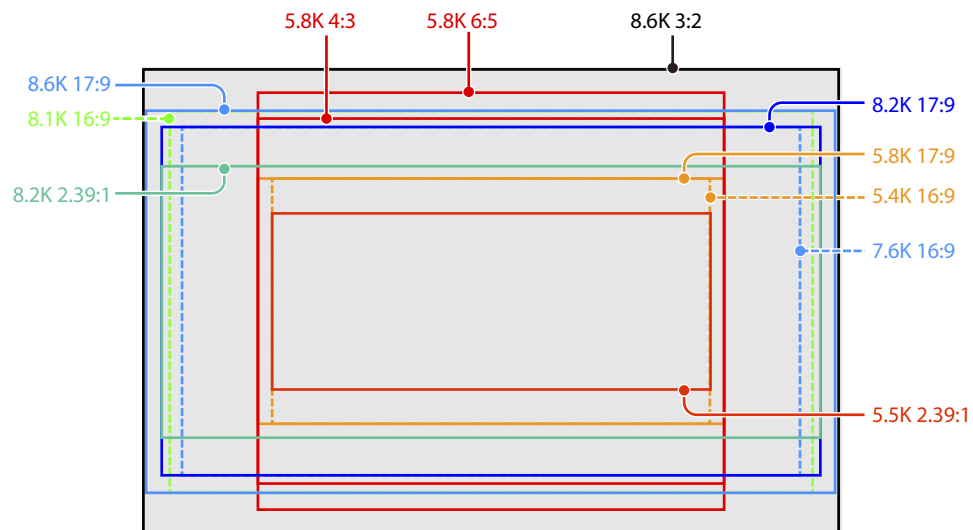
有効画サイズについて

本機では、以下の有効画サイズでの撮影が可能です。

MPC-3628

[ご注意]

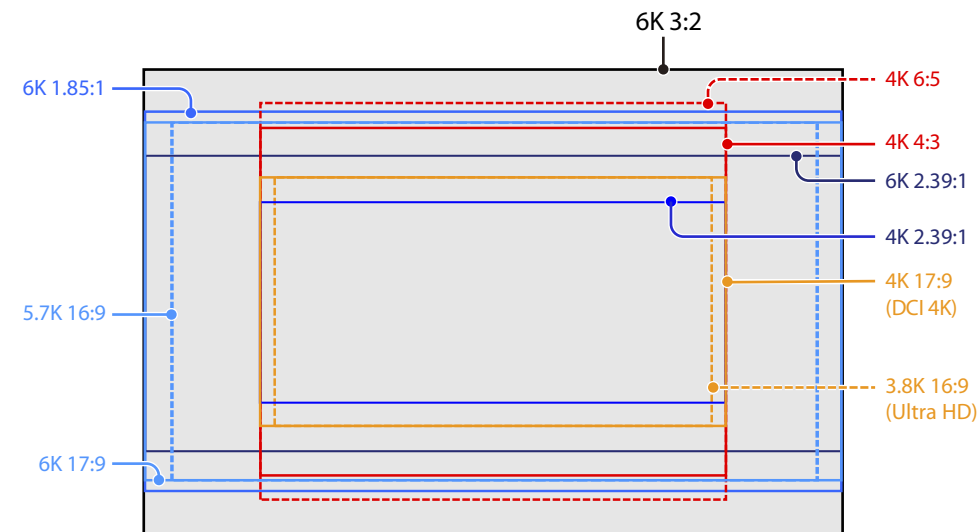
5.8K 17:9、5.5K 2.39:1、5.4K 16:9以外の画サイズで撮影するためにはソフトウェアライセンスが必要です。



MPC-3626

[ご注意]

6K 3:2、6K 1.85:1、6K 17:9、6K 2.39:1、5.7K 16:9、4K 6:5、4K 4:3および4K 4:3 Surround Viewで撮影するためにはソフトウェアライセンスが必要です。



ソフトウェアライセンスについて

本機の運用状況に応じてソフトウェアライセンス(別売り)を選択できます。
ソフトウェアライセンスのインストールは、フルメニューのMaintenance > License Options(115ページ)にて行います。

MPC-3628

ソフトウェアライセンス	イメージャーモード	有効画素 (撮像素素)	W x H (mm)	プロジェクトフレームレート
フルフレームライセンス ¹⁾	8.6K 3:2	8640 x 5760	35.9 x 24.0	23、24、25、29
	8.6K 17:9	8640 x 4556	35.9 x 19.0	23、24、25、29、47
	8.2K 2.39:1	8192 x 3432	34.1 x 14.3	23、24、25、29、47、50、59
	8.2K 17:9	8192 x 4320	34.1 x 18.0	23、24、25、29、47、50、59
	8.1K 16:9	8100 x 4556	33.7 x 19.0	23、24、25、29
	7.6K 16:9	7680 x 4320	31.9 x 18.0	23、24、25、29、50、59
アナモフィックライセンス	5.8K 6:5	5792 x 4854	24.1 x 20.2	23、24、25、29、47
	5.8K 4:3	5792 x 4276	24.1 x 17.8	23、24、25、29、47、50、59
ライセンス不要 ¹⁾	5.8K 17:9	5792 x 3056	24.1 x 12.7	23、24、25、29、47、50、59
	5.5K 2.39:1	5480 x 2296	22.8 x 9.6	23、24、25、29、47、50、59
	5.4K 16:9	5434 x 3056	22.6 x 12.7	23、24、25、29、50、59

1) Off(1.0x)以外のデスクイーズ機能を有効にするには、アナモフィックライセンスが必要です。

MPC-3626

ソフトウェアライセンス	イメージャーモード	有効画素 (撮像素素)	W x H (mm)	プロジェクトフレームレート
フルフレームライセンス ¹⁾	6K 3:2	6048 x 4032	35.9 x 24.0	23、24、25、29、47、50、59
	6K 1.85:1	6054 x 3272	36.0 x 19.4	23、24、25、29、47、50、59
	6K 17:9	6054 x 3192	36.0 x 19.0	23、24、25、29、47、50、59
	6K 2.39:1	6048 x 2536	35.9 x 15.1	23、24、25、29、47、50、59
	5.7K 16:9	5674 x 3192	33.7 x 18.9	23、24、25、29、50、59
アナモフィックライセンス	4K 6:5	4096 x 3432	24.3 x 20.4	23、24、25、29、47、50、59
	4K 4:3	4096 x 3024	24.3 x 18.0	23、24、25、29、47、50、59
	4K 4:3 Surround View	4096 x 3024 (4552 x 3360)	24.3 x 18.0 (27.0 x 20.0)	23、24、25、29
ライセンス不要 ¹⁾	4K 17:9	4096 x 2160	24.3 x 12.8	23、24、25、29、47、50、59
	4K 17:9 Surround View	4096 x 2160 (4552 x 2400)	24.3 x 12.8 (27.0 x 14.3)	23、24、25、29
	4K 2.39:1	4096 x 1716	24.3 x 10.3	23、24、25、29、47、50、59
	3.8K 16:9	3840 x 2160	22.8 x 12.8	23、24、25、29、50、59
	3.8K 16:9 Surround View	3840 x 2160 (4268 x 2400)	22.8 x 12.8 (25.4 x 14.3)	23、24、25、29

1) Off(1.0x)以外のデスクイーズ機能を有効にするには、アナモフィックライセンスが必要です。

使用可能な撮像フレームレートとDe-Squeeze値について

各イメージャーモードで使用可能な撮像フレームレートとDe-Squeeze値(88ページ) は以下のとおりです。
「ー」は、記録非対応であることを示します。「Off」、「2.39:1」、「17:9」、「16:9」は、設定可能なZoom to Fit値を示します。

【ご注意】

ProRes記録の場合は、記録フォーマットによって撮像フレームレートの最大値が異なります(52ページ)。

フルフレームライセンス

アナモフィックライセンス

MPC-3628 X-OCN記録

イメージャー モード	撮像可能フレーム レート	Anamo. De-Squeeze						
		Off(1.0x)	1.25x	1.3x	1.5x	1.6x	1.8x	2.0x
8.6K 3:2	1 ~ 30	Off	Off	Off	Off	Off	Off	Off
		17:9	17:9	17:9	17:9	2.39:1	2.39:1	2.39:1
		16:9	16:9	16:9	16:9	17:9	17:9	17:9
						16:9	16:9	16:9
8.6K 17:9	1 ~ 48	Off	Off	Off	ー	Off	Off	Off
8.2K 17:9	1 ~ 60	Off	Off	Off	ー	Off	Off	Off
8.2K 2.39:1	1 ~ 60、66、72	Off	ー	ー	ー	ー	ー	ー
8.1K 16:9	1 ~ 48	Off	ー	ー	ー	ー	ー	ー
7.6K 16:9	1 ~ 60	Off	ー	ー	ー	ー	ー	ー
5.8K 6:5	1 ~ 48	Off	ー	ー	ー	ー	ー	Off
								17:9
								16:9
5.8K 4:3	1 ~ 60	Off	ー	Off	ー	Off	Off	Off
				17:9		17:9	17:9	17:9
				16:9		16:9	16:9	16:9
5.8K 17:9	1 ~ 60、66、72、75、88、90	Off	Off	Off	ー	Off	Off	Off
			2.39:1	2.39:1		2.39:1	2.39:1	2.39:1
5.5K 2.39:1	1 ~ 60、66、72、75、88、90、96、100、110、120	Off	ー	ー	ー	ー	ー	ー
5.4K 16:9	1 ~ 60、66、72、75、88、90	Off	ー	ー	ー	ー	ー	ー

MPC-3628 ProRes記録

イメージャー モード	撮像可能フレーム レート	Anamo. De-Squeeze						
		Off(1.0x)	1.25x	1.3x	1.5x	1.65x	1.8x	2.0x
8.6K 3:2	1 ~ 30	ー	17:9 ¹⁾ 16:9 ¹⁾	17:9 ¹⁾ 16:9 ¹⁾	17:9 ¹⁾ 16:9 ¹⁾	17:9 ¹⁾ 16:9 ¹⁾	17:9 ¹⁾ 16:9 ¹⁾	17:9 ¹⁾ 16:9 ¹⁾
8.6K 17:9 ³⁾	1 ~ 48	Off	ー	ー	ー	ー	ー	ー
8.2K 17:9 ³⁾	1 ~ 60	Off	ー	ー	ー	ー	ー	ー
8.2K 2.39:1 ³⁾	1 ~ 60、66、72	Off	ー	ー	ー	ー	ー	ー
8.1K 16:9 ⁴⁾	1 ~ 48	Off	ー	ー	ー	ー	ー	ー
7.6K 16:9 ⁴⁾	1 ~ 60	Off	ー	ー	ー	ー	ー	ー
5.8K 6:5	1 ~ 48	ー	ー	ー	ー	ー	ー	Off ²⁾ 17:9 ²⁾ 16:9 ²⁾
5.8K 4:3	1 ~ 60	ー	ー	17:9 ¹⁾ 16:9 ¹⁾	ー	17:9 ¹⁾ 16:9 ¹⁾	17:9 ¹⁾ 16:9 ¹⁾	17:9 ¹⁾ 16:9 ¹⁾
5.8K 17:9 ³⁾	1 ~ 60、66、72、75	Off	ー	ー	ー	ー	ー	ー
5.5K 2.39:1 ³⁾	1 ~ 60、66、72、75	Off	ー	ー	ー	ー	ー	ー
5.4K 16:9 ⁴⁾	1 ~ 60、66、72、75	Off	ー	ー	ー	ー	ー	ー

1) 4K ProRes記録時にZoom to Fitは17:9、QFHD ProRes記録時にZoom to Fitは16:9になります。

2) 4K ProRes記録時にZoom to FitはOffまたは17:9、QFHD ProRes記録時にZoom to Fitは16:9になります。

3) QFHD ProResの記録フォーマットは設定できません(70ページ)。

4) 4K ProResの記録フォーマットは設定できません(70ページ)。

MPC-3626 X-OCN記録

イメージャー モード	撮像可能フレーム レート	Anamo. De-Squeeze						
		Off(1.0x)	1.25x	1.3x	1.5x	1.6x	1.8x	2.0x
6K 3:2	1 ~ 60	Off 17:9 16:9	Off 17:9 16:9	Off 17:9 16:9	Off 17:9 16:9	Off 2.39:1 17:9 16:9	Off 2.39:1 17:9 16:9	Off 2.39:1 17:9 16:9
6K 1.85:1	1 ~ 60、66、72	Off	—	—	—	—	—	—
6K 17:9	1 ~ 60、66、72	Off	Off	Off	—	Off	Off	Off
6K 2.39:1	1 ~ 60、66、72、 75、88、90	Off	—	—	—	—	—	—
5.7K 16:9	1 ~ 60、66、72	Off	—	—	—	—	—	—
4K 6:5	1 ~ 60、66、72	Off	—	—	—	—	—	Off 17:9 16:9
4K 4:3	1 ~ 60、66、72、 75	Off	—	Off 17:9 16:9	—	Off 17:9 16:9	Off 17:9 16:9	Off 17:9 16:9
4K 4:3 Surround	1 ~ 30	Off	—	Off	—	Off	Off	Off
4K 17:9	1 ~ 60、66、72、 75、88、90、96、 100、110	Off	Off	Off 2.39:1	—	Off 2.39:1	Off 2.39:1	Off 2.39:1
4K 17:9 Surround	1 ~ 48	Off	Off	Off	—	Off	Off	Off
4K 2.39:1	1 ~ 60、66、72、 75、88、90、96、 100、110、120	Off	—	—	—	—	—	—
3.8K 16:9	1 ~ 60、66、72、 75、88、90、96、 100、110	Off	—	—	—	—	—	—
3.8K 16:9 Surround	1 ~ 48	Off	—	—	—	—	—	—

MPC-3626 ProRes記録

イメージャー モード	撮像可能フレーム レート	Anamo. De-Squeeze						
		Off(1.0x)	1.25x	1.3x	1.5x	1.6x	1.8x	2.0x
6K 3:2	1 ~ 60	—	17:9 ¹⁾ 16:9 ¹⁾	17:9 ¹⁾ 16:9 ¹⁾	17:9 ¹⁾ 16:9 ¹⁾	17:9 ¹⁾ 16:9 ¹⁾	17:9 ¹⁾ 16:9 ¹⁾	17:9 ¹⁾ 16:9 ¹⁾
6K 1.85:1	—	—	—	—	—	—	—	—
6K 17:9 ³⁾	1 ~ 60、66、72	Off	—	—	—	—	—	—
6K 2.39:1 ³⁾	1 ~ 60、66、72、 75	Off	—	—	—	—	—	—
5.7K 16:9 ⁴⁾	1 ~ 60、66、72	Off	—	—	—	—	—	—
4K 6:5	1 ~ 60、66、72	—	—	—	—	—	—	Off ²⁾ 17:9 ²⁾ 16:9 ²⁾
4K 4:3	1 ~ 60、66、72、 75	—	17:9 ¹⁾ 16:9 ¹⁾	—	17:9 ¹⁾ 16:9 ¹⁾	17:9 ¹⁾ 16:9 ¹⁾	17:9 ¹⁾ 16:9 ¹⁾	17:9 ¹⁾ 16:9 ¹⁾
4K 4:3 Surround	—	—	—	—	—	—	—	—
4K 17:9 ³⁾	1 ~ 60、66、72、 75、88、90	Off	—	—	—	—	—	—
4K 17:9 Surround ³⁾	1 ~ 48	Off	—	—	—	—	—	—
4K 2.39:1 ³⁾	1 ~ 60、66、72、 75、88、90	Off	—	—	—	—	—	—
3.8K 16:9 ⁴⁾	1 ~ 60、66、72、 75、88、90	Off	—	—	—	—	—	—
3.8K 16:9 Surround ⁴⁾	1 ~ 48	Off	—	—	—	—	—	—

1) 4K ProRes記録時にZoom to Fitは17:9、QFHD ProRes記録時にZoom to Fitは16:9になります。

2) 4K ProRes記録時にZoom to FitはOffまたは17:9、QFHD ProRes記録時にZoom to Fitは16:9になります。

3) QFHD ProResの記録フォーマットは設定できません(70ページ)。

4) 4K ProResの記録フォーマットは設定できません(70ページ)。

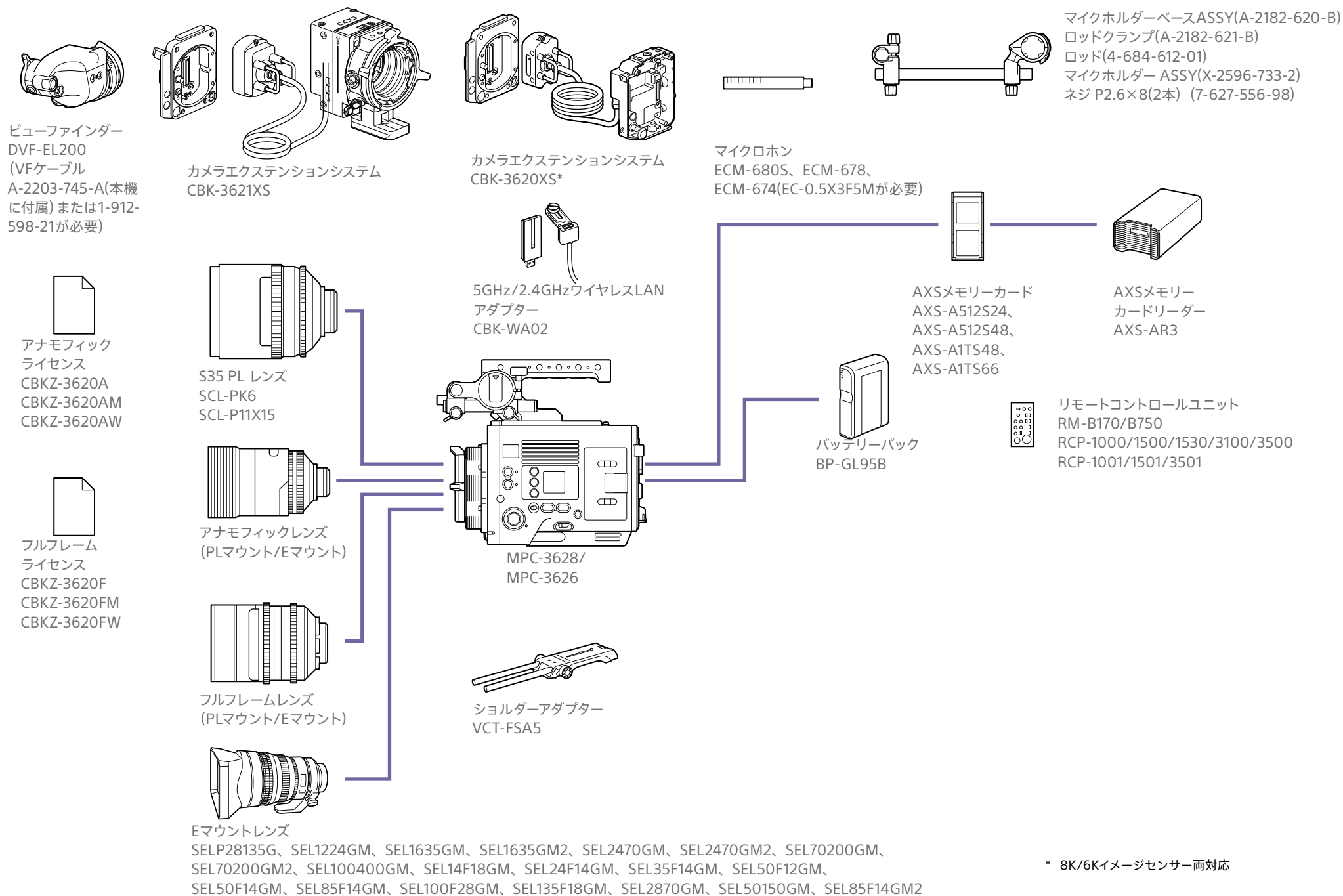
Surround Viewについて(MPC-3626)

4K 4:3、4K 17:9、3.8K 16:9のイメージャーモードにおいて、有効画サイズの上下左右5%外側領域も含めた画像領域をビューファインダーおよびSDIモニター出力で確認しながら撮影できるモードです。記録領域は外側領域を含みません。

【ご注意】

- 本モードでは、プロジェクトフレームレートの上限設定に制限がかかる場合があります。
- 4K 4:3モードのデスクイーズ倍率が2.0xの場合は、上下5%外側領域のみを含む画像領域となります。

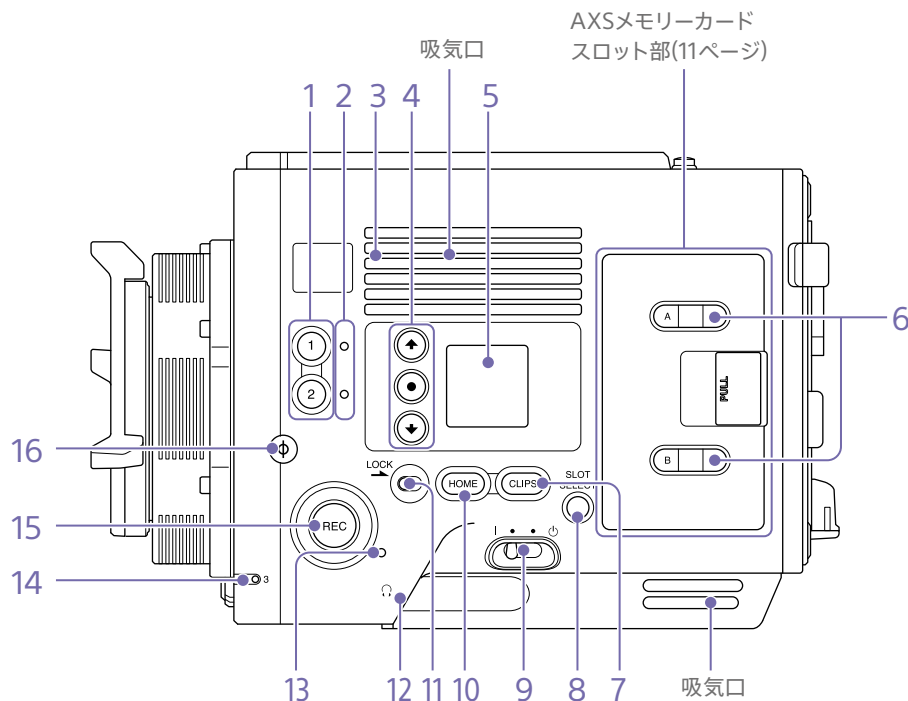
システム構成例



* 8K/6Kイメージセンサー両対応

各部の名称と働き

オペレーターサイド



[ご注意]

吸気口をふさいだ運用はしないでください。

1. ASSIGN 1/2(アサインブル1/2) ボタン (57ページ)

ユーザー機能画面のEDITページで機能を割り当てます(57ページ)。

押すたびに、割り当てられた機能のオン(有効)とオフ(無効)を切り換えたり、割り当てられた機能を起動したりできます。

2. ASSIGN 1/2(アサインブル1/2) ランプ (57ページ)

割り当てられた機能がオン(有効)または起動している場合はオレンジ色に点灯し、オフ(無効)または停止している場合は消灯します。

3. 内蔵スピーカー

撮像、記録中は収録音を、再生中は再生音をモニターできます。警告ランプや警告表示の点滅・点灯に合わせて警告音も聞こえます(119ページ)。

なお、ヘッドホン端子にイヤホンをつなぐと、内蔵スピーカーからは音が聞こえなくなります。

4. ミニディスプレイITEMキー 1～3

ミニディスプレイで機能の操作を行います(120ページ)。

5. ミニディスプレイ

シャッター開角度などの各種設定を確認・変更できます(120ページ)。

6. ACCESSランプ SLOT(A)/(B)

AXSカードスロットA/Bの記録メディアが記録、再生の対象となっており、およびAXSカードスロットA/Bの記録メディアに対して書き込みや読み出しが行われているときに点灯します(28ページ)。

7. CLIPSボタン

押すとミニディスプレイにクリップ画面が表示され、クリップ操作を有効にします(123ページ)。同時にサブディスプレイにもクリップリスト画面が表示され、クリップ操作が可能になります。再生状態から撮影モードにする場合はHOMEボタンを押します。

8. SLOT SELECT(AXSメモリーカード選択) ボタン

ボタンを押すことで、アクティブなスロットを切り換えることができます。

9. 電源スイッチ

電源を入れるときはI(ON)の位置にします。電源を切るときはO(OFF)の位置にします。

[ご注意]

- 本機は、電源スイッチをOFFにした状態でも、わずかに待機電力を消費します。本機を長時間使用しないときは、バッテリーパックを取り外してください。
- バッテリーパックやDC IN電源は、電源スイッチをOFFにしてから取り外してください。記録中やメモリーカードアクセス中に電源を遮断すると故障の原因となることがあります。

10. HOMEボタン

押すとミニディスプレイ上のアイテム選択表示はクリアされ、ホーム画面が表示されます。本機が再生状態のときに押すと、記録操作が可能な状態になります(120ページ)。

11. LOCKスイッチ

オペレーターサイドのボタン操作をロックします。ロックするとスイッチ背面のLEDがオレンジ色に点灯します。

12. ヘッドホン端子(ステレオミニジャック)

音声モニター用のイヤホンを接続します。撮像、記録中は収録音を、再生中は再生音をモニターできます(119ページ)。

[ご注意]

- イヤホンはモノラル(2極)またはステレオ(3極)タイプを使用してください。それ以外を使用すると本機が故障することがあります。
- インピーダンス16Ωのイヤホンを使用してください。

13. REC ACTIVEランプ

RECボタンが有効な状態のときに緑色に点灯します。

14. ASSIGN 3(アサインブル3) ランプ (57ページ)

割り当てられた機能がオン(有効)または起動している場合はオレンジ色に点灯し、オフ(無効)または停止している場合は消灯します。

15. REC(記録開始/記録停止) ボタン/ランプ

押すと記録が始まりRECランプが点灯し、もう一度押すと記録が停止し、RECランプが消灯します(131ページ)。

また、機器のエラーやワーニングをRECランプを点滅させて表示します。

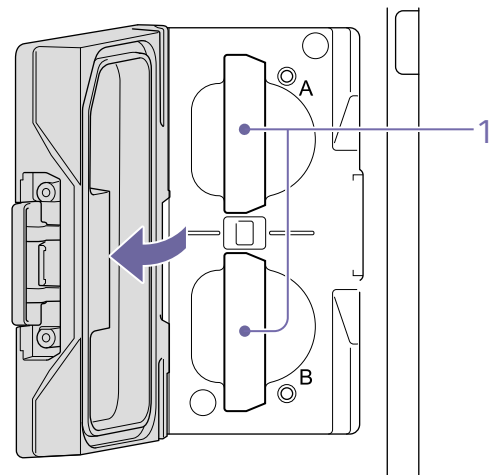
16. Φ(ファイ) マーク

Φ(ファイ) マークがイメージセンサー面の位置になります。

本機から被写体までの距離を正確に測るには、このマークの位置を参考にしてください。

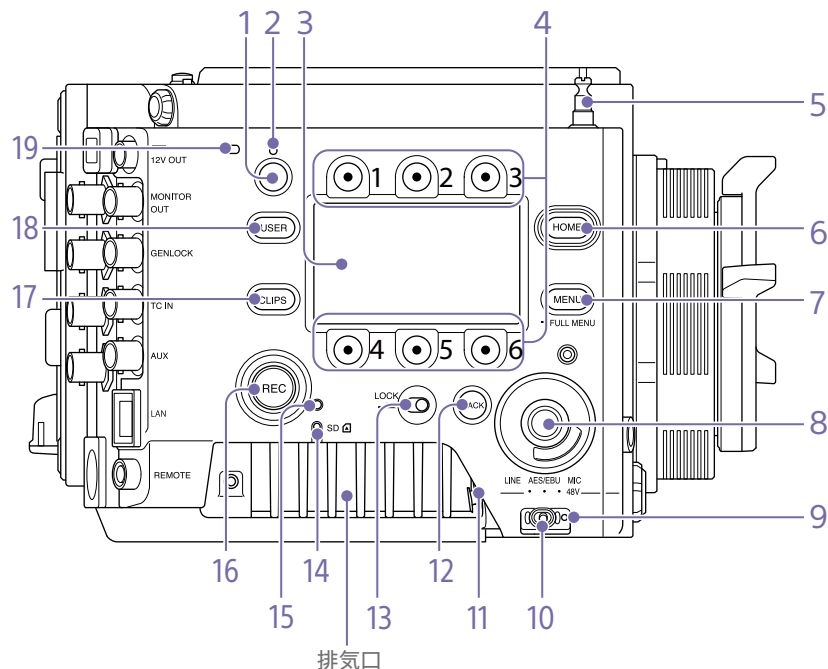
AXSメモリーカードスロット部 (28ページ)

AXSメモリーカードスロットはカバー内にあります。



1. AXSメモリーカードスロットA/B

アシスタントサイド



1. ASSIGN 4(アサイナブル4) ボタン (57ページ)

ユーザー機能画面のEDITページで機能を割り当てます(57ページ)。
押すたびに、割り当てられた機能のオン(有効)とオフ(無効)を切り換えたり、割り当てられた機能を起動したりできます。

2. ASSIGN 4(アサイナブル4) ランプ (57ページ)

割り当てられた機能がオン(有効)または起動している場合はオレンジ色に点灯し、オフ(無効)または停止している場合は消灯します。

3. サブディスプレイ

本機の動作状態の確認や各種設定ができます(43ページ)。

ホーム画面が表示されている状態でBACKボタン(12ページ)を押しながらMENUダイヤルを回すことで、サブディスプレイとミニディスプレイの明るさを調整することができます。

フルメニューのTechnical > Panel Control > Brightness levelでも調整できます(112ページ)。

4. サブディスプレイITEMキー 1～6

サブディスプレイで機能の操作を行います(63ページ)。

5. メジャーフック

メジャーフックがイメージセンサー面の位置となります。本機から被写体までの距離を正確に測るには、メジャーフックの位置を参考にしてください。メジャーフックにメジャーの先端をかけて、被写体からの距離を実測できます。

6. HOMEボタン

押すとサブディスプレイ上の表示はクリアされ、ホーム画面が表示されます(45ページ)。
本機が再生状態のときに押すと、記録操作が可能な状態になります。

7. MENU(メニュー表示ON/OFF) ボタン (63、79ページ)

MENUボタンを押すと、サブディスプレイにメニュー画面が表示されます。MENUボタンを2秒以上押し続けると、フルメニュー画面がサブディスプレイに表示されます。

また、MENUダイヤルと共にMENUボタン押すことにより、すばやくフルメニュー画面を表示することができます。

メニュー画面、フルメニュー画面のときに押すと元の画面に戻ります。

8. SEL/SET(選択/確定) ダイヤル(MENUダイヤル)

各メニュー内の項目選択や設定値の変更をするときに使います(45、63、79ページ)。

9. +48V Powerランプ

AUDIO INスイッチをMICに設定した場合に、AUDIO IN端子への+48Vファントム電源を供給しているときは、緑に点灯します。供給していないときは消灯します。

+48Vファントム電源の重畳のOn/Offは、メニューのAudioカテゴリー > Audio Details > Audio Configuration > Phantom Power > +48Vで設定できます(105ページ)。

10. AUDIO IN(オーディオ入力切り換え) スイッチ

AUDIO IN端子に入力される音声の音源に合わせて入力信号を切り換えます。

LINE：外部のアナログオーディオ信号源を接続する場合

AES/EBU：外部のデジタルオーディオ信号源を接続する場合

MIC：マイクを接続する場合

11. AUDIO IN端子(XLR 5ピン)

外部マイクや外部オーディオ機器などの信号を入力します。

AUDIO INスイッチで音源をLINEまたはMICに設定しているときは、AUDIO IN CH-1端子、およびAUDIO IN CH-2端子として機能します。

AUDIO INスイッチで音源をAES/EBUに設定しているときは、AUDIO IN CH-1/2端子、およびAUDIO IN CH-3/4端子として機能します。

12. BACKボタン

メニュー表示中は、メニューのキャンセルやメニュー階層を1つ上に戻します。実行中表示または実行指示待ち表示のときは、実行中または実行指示待ち表示中の処理をキャンセルします(45、63、79ページ)。

13. LOCKスイッチ

アシスタントサイドのボタン操作をロックします。ロックするとスイッチ背面のLEDがオレンジ色に点灯します。

14. ACCESS(SDカードアクセス) ランプ(41ページ)

15. REC ACTIVEランプ

RECボタンが有効な状態のときに緑色に点灯します。

16. REC(記録開始/記録停止) ボタン/ランプ

押すと記録が始まりRECランプが点灯し、もう一度押すと記録が停止し、RECランプが消灯します(131ページ)。

また、機器のエラーやワーニングをRECランプを点滅させて表示します。

17. CLIPSボタン

押すとサブディスプレイにクリップリスト画面が表示され、クリップ操作を有効にします(117ページ)。

同時にミニディスプレイにもクリップ画面が表示されます。

再生状態から撮影モードにする場合はHOMEボタンを押します。

18. USERボタン

押すとサブディスプレイにユーザー機能リストが表示され、ITEMキー 1～5がユーザー機能ボタンとなります。

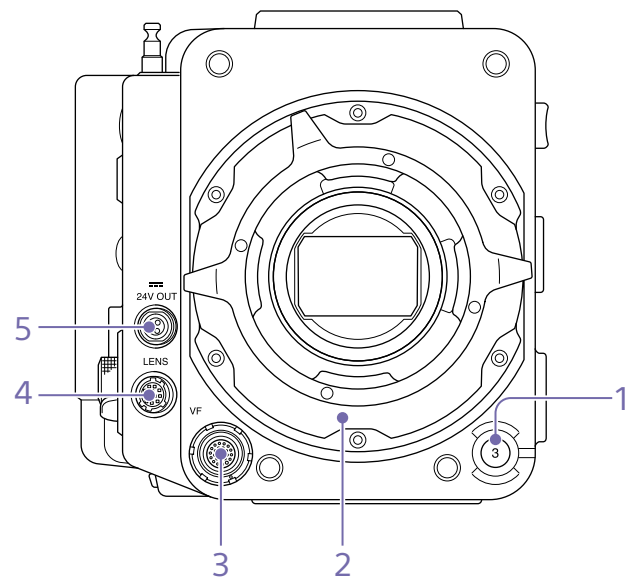
ITEMキー 6はユーザー機能リストのEDITボタンです。このボタンを押すと、ユーザー機能ボタンとアサインナブルボタンの機能選択画面が表示されます。ユーザー機能画面状態で押すと元の画面に戻ります。(57ページ)。

19. 内蔵マイク

音声を収録できます。

Audioメニュー > Audio InputのInternal Mic Select(105ページ) で内蔵マイクの入力チャネルを選択できます。

フロント(前面)



1. ASSIGN 3(アサインナブル3) ボタン (57ページ)

ユーザー機能画面のEDITページで機能を割り当てます(57ページ)。

押すたびに、割り当てられた機能のオン(有効)とオフ(無効)を切り換えたり、割り当てられた機能を起動したりできます。

2. PLレンズマウントアダプター (23ページ)

3. VF(ビューファインダー出力) 端子(26ページ)

4. LENS(レンズ接続用) 端子(12ピン)

ネットワーク接続されたコンピュータやスマートフォン、タブレットよりアイリス、フォーカスおよびズーム制御が可能です。

5. 24V OUT端子(24 V DC出力、Fischer 3ピン)

24V DC電源出力用端子です(149ページ)。

本機に入力する電圧によって、この端子から出力する電圧と出力最大電流が異なります。最大電流は、本機リア(後面)の24V OUT端子(13ページ)との合計となります。

11 V ~ 17 V入力時

出力電圧：24 V

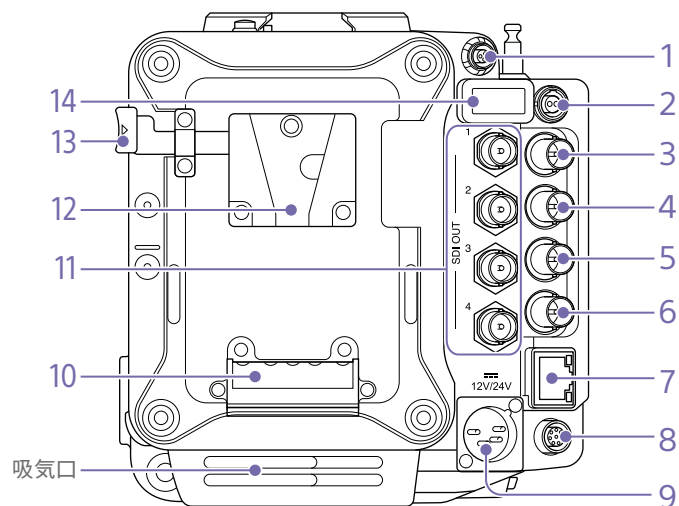
出力最大電流：1.0 A

22 V ~ 32 V入力時

出力電圧：入力電圧と同じ

出力最大電流：2.0 A

リア(後面)



[ご注意]

吸気口をふさいだ運用はしないでください。

1. 24V OUT端子(24 V DC出力、Fischer 3ピン)

24V DC電源出力用端子です(149ページ)。本機に入力する電圧によって、この端子から出力する電圧と出力最大電流が異なります。最大電流は、本機フロント(前面) の24V OUT端子(12ページ) との合計となります。

11 V ~ 17 V入力時

出力電圧：24 V

出力最大電流：1.0 A

22 V ~ 32 V入力時

出力電圧：入力電圧と同じ

出力最大電流：2.0 A

2. 12V OUT端子(12 V DC出力、Lemo2ピン)

12V DC電源出力用端子です(149ページ)。

本機に入力する電圧によって、この端子から出力する電圧と出力最大電流が異なります。

11 V ~ 17 V入力時

出力電圧：入力電圧と同じ

出力最大電流：1.0 A

22 V ~ 32 V入力時

出力電圧：16.8 V

出力最大電流：1.0 A

3. MONITOR OUT端子(BNC型)

HD SDIモニター信号を出力する端子です(149ページ)。

4. GENLOCK(ゲンロック入力)端子(BNC型)

外部から本機にゲンロックをかけるとき、または本機のタイムコードを外部ロックさせるとき、基準信号を入力する端子です。

デジタル信号とアナログ信号を入力できます。

デジタル信号：1.5G HDS DI Interlace/

Progressive信号

アナログ信号：HD sync、SD sync

5. TC IN(タイムコード入力)端子(BNC型)

本機のタイムコードを外部ロックさせるとき、基準となるタイムコード信号を入力する端子です。

6. AUX端子(BNC型)

タイムコード信号を出力する端子です(149ページ)。

7. ネットワーク端子(RJ-45)

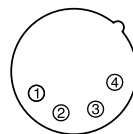
LANケーブル(別売り) を接続することで、有線LAN接続により、本機をリモートコントロールできます(124ページ)。

8. REMOTE(リモートコントロール) 端子(8ピン)

リモートコントロールユニットなどの外部コントロール機器を接続します。

9. 12V/24V (DC電源入力) 端子(19ページ)

本機に外部電源を供給するためのDC電源入力端子です。入力電圧は12Vと24Vに対応しています。



No.	信号
1	GND
2	NC
3	NC
4	DC IN(11V ~ 17V または 22V ~ 32V)

10. バッテリー取り付け端子(19ページ)

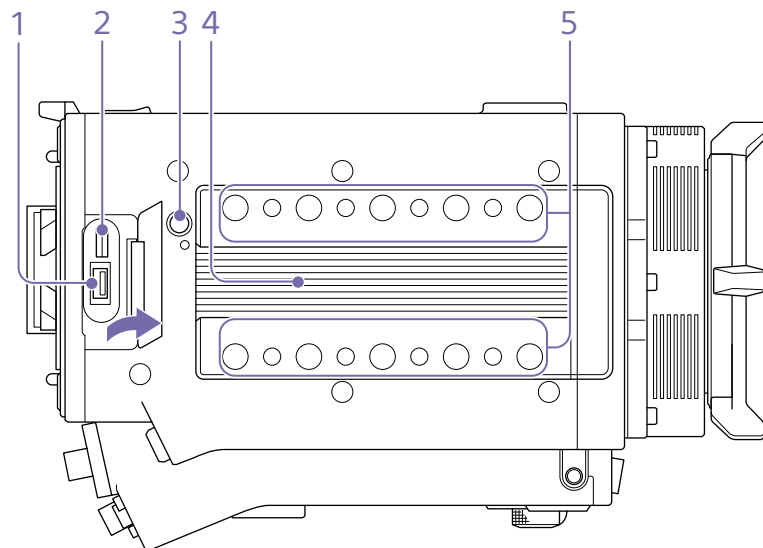
11. SDI OUT 1 ~ 4(シリアルデジタル出力) 端子(BNC型) (149ページ)

12. バッテリーパック取り付け部(19ページ)

13. バッテリーリリースレバー (19ページ)

14. HDMI OUT端子(149ページ)

トップ(上面)



1. 外部機器接続端子

ワイヤレスLANアダプター CBK-WA02(別売り)を接続することで、カメラワイヤレスリモートコントロールする(124ページ) 際に使用します。

2. 製造調整用端子

製造調整、サービス専用端子です。
(使用できません)

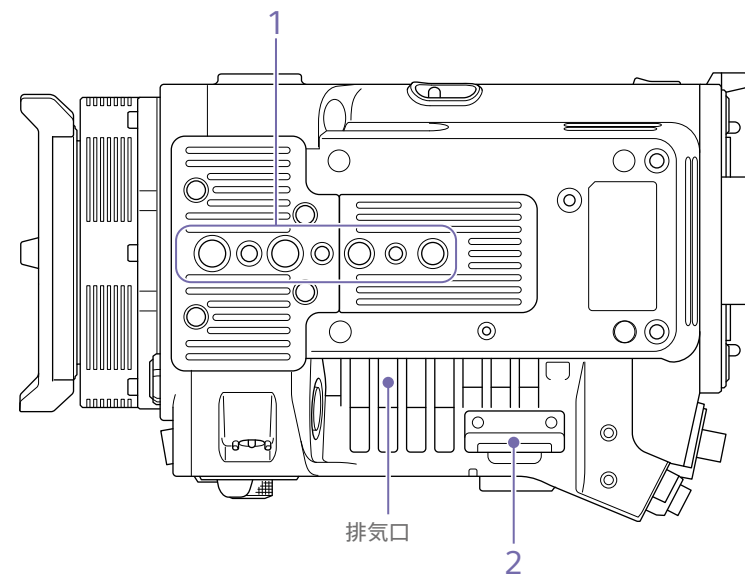
3. リリースボタン(22ページ)

4. ハンドル/VFアタッチメント取り付け部 (22ページ)

5. アクセサリー取り付けねじ穴

ネジ種：1/4-20UNC(×8)
ネジ種：3/8-16UNC(×10)
ネジ適合長：10 mm 以下

ボトム(底面)



1. 三脚プレート取り付け穴

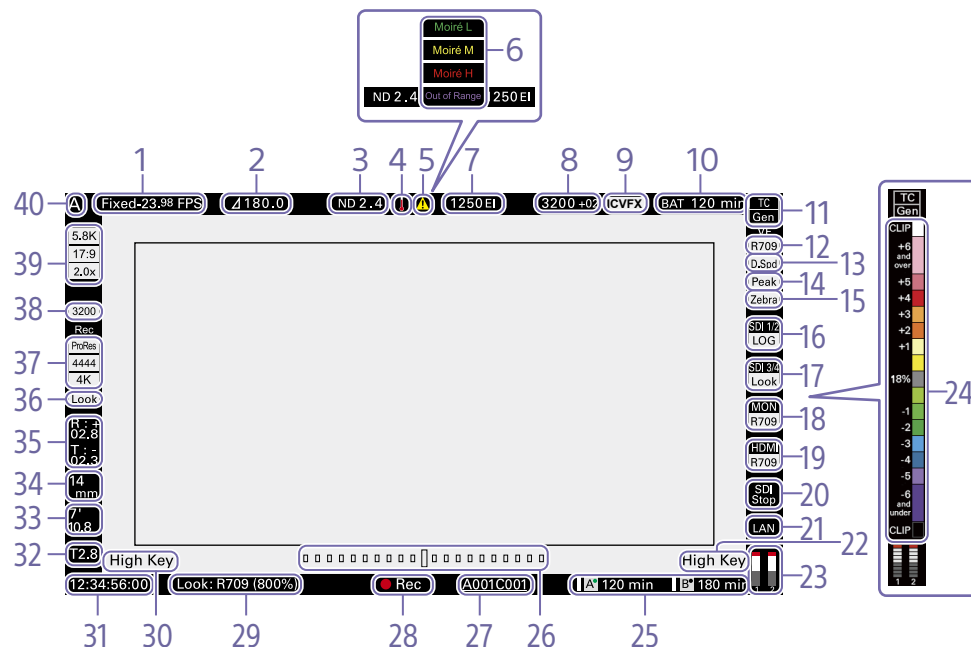
ネジ種：1/4-20UNC(×2)
ネジ種：3/8-16UNC(×4)
ネジ適合長：9 mm 以下

2. SDカードスロット(41ページ)

ビューファインダー・モニター画面

撮影中(記録中／記録待機中) および再生中は、Monitoringメニュー > Overlays/Frame LineのOverlay A/B Setup(99ページ) で選択された情報が表示されます。

撮影中の画像に表示される情報



1. 撮影フレームレート設定表示

撮影フレームレートとプロジェクトフレームレートが表示されます。

2. シャッター開角度／スピード表示

Technicalメニュー > System Configuration (109ページ) の設定に従って、電子シャッターの開角度またはスピードが表示されます。

3. NDフィルター表示

NDフィルターの濃度が表示されます。表示値はLOG指標値です。(81ページ)。

CLEAR

0.3(1/2)

0.6(1/4)

0.9(1/8)

1.2(1/16)

1.5(1/32)

1.8(1/64)

2.1(1/128)

2.4(1/256)

4. 温度計アイコン

温度上昇に関する警告メッセージがあるときに表示されます。

メニューのInfoカテゴリーに内容が表示されます。

5. 警告アイコン

温度上昇を除く警告メッセージがあるときに表示されます。

メニューのInfoカテゴリーに内容が表示されます。

6. モアレアラート表示

Virtual Production撮影時にUnreal Engine用プラグインを使用すると、モアレアラート機能に合わせて、本機のビューファインダー・モニター画面にモアレアラート表示をすることができます。また、メタデータにもモアレアラートレベルが記録されます。

表示	説明
Moiré L	モアレのリスクが低い状態
Moiré M	モアレ発生の可能性がある状態
Moiré H	モアレ発生の可能性が高い状態
Out of Range	パネルの後ろへのフォーカス合焦状態

【ご注意】

本機能はVirtual Production Tool Set V3.0以上のプラグインで表示が可能となります。

7. 感度(Exposure Index) /ゲイン表示

EI値またはRM-B170などのリモートコントロールユニットで設定したゲイン値(dB単位) が表示されます。

【ご注意】

ゲイン値は、Technicalメニュー > Special Configuration > RM/RCP Paint Control(114ページ) がOnに設定されている場合のみ表示されます。

8. 色温度表示

ホワイトバランスの色温度とTint値が表示されます。

9. インカメラVFXモード表示

Technicalメニュー > Special Configuration > In-Camera VFX Mode(114ページ) がOnに設定されている場合に表示されます。

10. バッテリー残量／電圧表示

本機を駆動している電源の種類に応じて次のように表示されます。

電源の種類	表示
インフォバッテリー	バッテリー残量と記録可能な残り時間
アントンパウアー社製バッテリー	バッテリー残量(%表示)
その他の電源	入力電圧

11. タイムコード外部ロック／ゲンロック状態表示

タイムコードが外部ロックすると、ロック状態であることが表示されます。ゲンロックがかかっている場合、ロック状態であることが表示されます。FPS設定がVariableのときに、ゲンロック信号とイメージャー読み出しのV位相ロックがかかっていると、「GEN」の文字が反転します。

【ご注意】

FPSをVariableに設定しているときは、撮像フレームレートをProject Frame Rateの整数倍に設定しているときのみゲンロック信号とイメージャー読み出しのV位相ロックがかかります。

12. VF LUT表示

ビューファインダーのLUTが表示されます(86ページ)。

13. VF Double Speed Scan表示

ビューファインダー表示のフレームレートを倍速にする機能の有効／無効状態が表示されます。

14. VF Peaking表示

Monitoringメニュー > VF Function > Peaking (98ページ) の設定に従って、ビューファインダー表示のピーキング機能の有効／無効状態が表示されます。

15. VF Zebra表示

ビューファインダー表示のゼブラ機能の有効／無効状態が表示されます(61ページ)。

20. SDI出力RECTリガー表示

SDI出力のRECTリガーの状態が表示されます。

条件	表示	
フルメニューのTechnical > System Configuration > SDI Rec Remote Trigger	SDI出力への記録コマンドの重量	
Off	—	(空欄)
HD SDI Remote I/F	Stopコマンド送信	上段：SDI 下段：Stop
	Recコマンド送信	上段：SDI 下段：REC
Parallel Rec	Stopコマンド送信	上段：SDI-P 下段：Stop
	Recコマンド送信	上段：SDI-P 下段：REC

21. ネットワーク接続状態表示

ネットワークの接続状態(LANまたはWi-Fi) が表示されます。

16. SDI OUT 1/2端子 LUT表示

SDI OUT 1/2端子のLUT設定が表示されます(84ページ)。

17. SDI OUT 3/4端子 LUT表示

SDI OUT 3/4端子のLUT設定が表示されます(85ページ)。

18. Monitor LUT表示

Monitor出力のLUT設定が表示されます(85ページ)。

19. HDMI LUT表示

HDMI出力のLUT設定が表示されます(86ページ)。

条件	表示
ネットワーク接続設定状態で接続断などのエラー時	点滅
ネットワーク接続設定状態で接続時	点灯
ネットワーク接続機能を使用していない	空欄

22. High Key/Low Key表示(Monitor出力)

Monitor出力がHigh Key(高輝度の白飛び確認画面)、またはLow Key(低輝度の暗部の確認画面)であることを表示します(Monitor Out出力の場合に表示)。

23. オーディオレベルメーター表示

撮影中の音声チャンネル1、2のレベルが表示されます。

24. EL Zone色見本表示

EL Zoneの色見本が表示されます。


Technicalメニュー > Exposure Assist > EL Zone Color Scale(112ページ) をEnableにして、Type(112ページ) をEL Zoneにします。アサインブルボタンに割り当てたVF Exposure Assist、またはMonitor Exposure Assistをオンにすると表示されます。


[ご注意]


- 色見本を表示しているときは、No.12～21の表示をオンにしているも表示されません。
- アサインブルボタンに割り当てたVF Exposure Assist、またはMonitor Exposure Assistのいずれかの機能をオンにすると、ビューファインダーおよびモニター画面の両方にEL Zoneの色見本が表示されます。

25. 各メディアスロットの記録メディア状態／残量表示

AXSメモリーカードスロットA/B内のメディアの状態と残量が表示されます。

AXSの左に  (記録アクティブ) アイコンがある：記録対象メディア

AXSの右のスロットA/Bアイコン右上の緑ランプ点灯時  (アクティブスロット) アイコン：再生対象メディア(ランプが点灯している方のメディアを再生)

また、記録に影響のあるメディアに対しては  (警告) アイコンが表示されます。

26. 水準器グラフィカル表示

本機の水平方向の傾きが±0.1°刻みで±10°まで表示されます。

Technicalメニュー > System Configuration > Level Gauge Adjust(109ページ) を実行すると、水準器のゼロ調整を行うことができます。本機にCBK-3620XSが接続されている場合は、Technicalメニュー > System Configuration > 3620XS Lev. Gauge Adj.(109ページ) を実行すると、CBK-3620XSの水準器のゼロ調整を行うことができます。

本機にCBK-3621XSが接続されている場合は、Technicalメニュー > System Configuration > 3621XS Lev. Gauge Adj. (109ページ) を実行すると、CBK-3621XSの水準器のゼロ調整を行うことができます。

27. クリップ名表示

記録待機中は、次に記録されるクリップに付けられるクリップ名の前8文字が表示されます。

記録中は、記録中のクリップに付けられるクリップ名の前8文字が表示されます。



クリップ名は、以下の2種類から選ぶことができます(95ページ)。

- Camera ID(A～Z) + Reel Number(001～999) + Camera Position(C/L/R)
- Camera ID(AA～ZZ) + Reel Number(001～999) + Shot Number(001～600)

28. 記録動作状態表示

本機の記録動作状態が次のように表示されます。

表示	説明	
 Rec	(Rec)	記録中
 Stby	(Stby)	記録待機中

表示	説明
 Cache (Cache)	ピクチャーキャッシュ レック記録待機中
 CALL (CALL)	CALLコマンド受信中

Monitoringメニュー > Overlays/Frame Line
のVFまたはVF/Moni、SDI 1/2、SDI 3/4、
Monitor、HDMIのOverlay設定(98ページ)
をRec Ind.にすると、設定した出力先の映像情
報表示を記録動作状態表示のみにすることがで
きます。

また、Monitoring > Overlays/Frame Line
> Rec Indicator Position(100ページ) で
Overlay設定がRec Ind.のときの記録動作状態
の表示位置を変更できます。「1」に設定すると、
記録動作状態が画面中央下に表示され、設定値
を上げると表示位置が上になります。「8」に設定
すると、画面中央に表示されます。

[ご注意]

ピント拡大表示中もRec Indicator Positionの設定によっ
て記録動作状態の表示位置が変わります。

29. Look情報表示

選択したLookが表示されます(82ページ)。

[ご注意]

選択したUser 3D LUTのファイルおよびメタデータが記録
できない状態のときは、先頭に「!」アイコンが表示されま
す。その場合は、メニューのInfoカテゴリ > Camera
Conditionに注意・動作確認表示(167ページ) が現れま
す。

30. High Key/Low Key表示(ビューファイン ダー出力)

ビューファインダー出力がHigh Key(高輝度の白
飛び確認画面)、またはLow Key(低輝度の暗部
の確認画面)であることを表示します(ビューファ
インダー出力の場合に表示)。

31. タイムデータ表示

メニューのTC/Mediaカテゴリ > TC Display
の設定に従って、デュレーションまたはタイムコー
ドが表示されます(66ページ)。

32. アイリスポジション表示

アイリスの位置が表示されます。(アイリス設定
表示対応レンズ装着時のみ)
Eマウントレンズ使用時のアイリス表示値は
1/3stop刻みとなります。

[ご注意]

T値が取得できない場合など、T値ではなくF値が表示され
る場合があります。

33. フォーカスポジション表示

フォーカスの位置を表示します。(フォーカス設
定表示対応レンズ装着時のみ)

34. ズームポジション表示

ズームの焦点距離が表示されます。(ズーム設定
表示対応レンズ装着時のみ)

35. 水準器表示

水準器の情報が数値で表示されます。
R(Roll) は本機の水平方向の傾きです。
T(Tilt) は本機の上下方向の傾きです。
Technicalメニュー > System Configuration >
Level Gauge Adjust(109ページ) を実行する
と、水準器のゼロ調整を行うことができます。
本機にCBK-3620XSが接続されている場合
は、CBK-3620XSのイメージャブロックに搭
載されている水準器の情報が表示されます。
Technicalメニュー > System Configuration >
3620XS Lev. Gauge Adj.(109ページ) を実行
すると、CBK-3620XSの水準器のゼロ調整を行
うことができます。
本機にCBK-3621XSが接続されている場合
は、CBK-3621XSのカメラヘッドブロックに搭

載されている水準器の情報が表示されます。
Technicalメニュー > System Configuration >
3621XS Lev. Gauge Adj. (109ページ) を実
行すると、CBK-3621XSの水準器のゼロ調整を
行うことができます。

36. 記録LUT表示

記録のLUT設定が表示されます。

37. 記録メディアフォーマット(コーデック) 表示

AXSメモリーカードに記録されるフォーマット名
称が表示されます。

38. Base ISO表示

設定された基準感度が表示されます。

39. 有効画サイズ表示

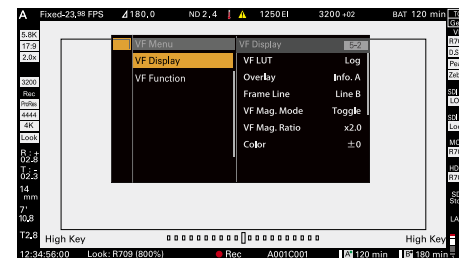
メニューのProjectカテゴリ > Imager Mode
の設定に従って、有効撮像画サイズとデアナモ
変換の有無が表示されます。Surround View
モードの場合は、デアナモ変換倍率アイコンの下
にSur.Vアイコンが表示されます(64ページ)。
メニューのProjectカテゴリ > Zoom to Fit
(66ページ) が17:9の場合は、Z 17:9アイコン
が表示されます。Zoom to Fitが16:9の場合は、
Z 16:9アイコンが表示されます。Zoom to Fitが
2.39:1の場合は、Z 2.39:1アイコンが表示され
ます。

40. Camera ID表示

Camera IDの設定が表示されます(95ページ)。

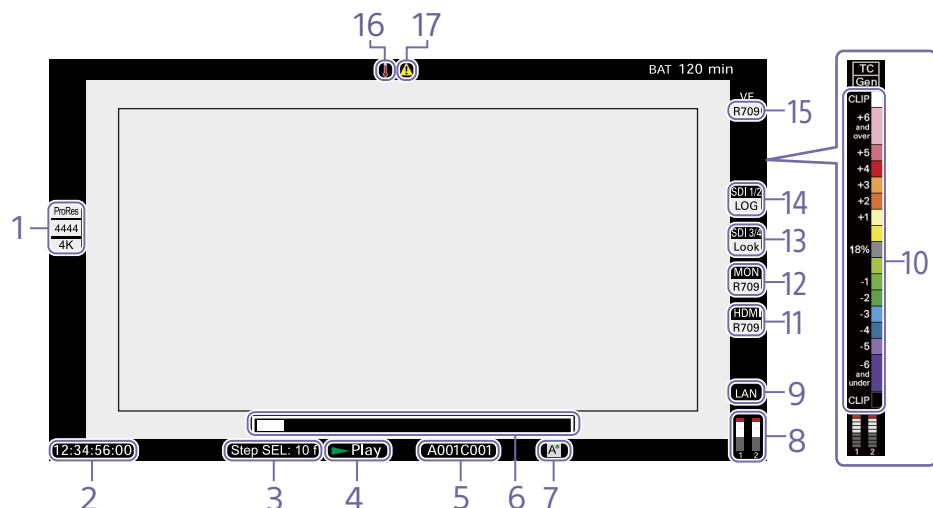
ビューファインダー画面のメニュー表 示と設定

本機にDVF-EL200が装着されている場合、
DVF-EL200のMenuボタンを長押しすると、
ビューファインダー画面にMonitoringメニュー
のVF Display(97ページ) とVF Function
(98ページ) の設定メニューが表示されます。
ビューファインダー画面を見ながら、これらの機
能を設定できます。



再生中の画像に表示される情報

再生画像には、次の情報が表示されます。



1. 再生メディアフォーマット(コーデック) 表示

再生中のクリップの記録フォーマット(コーデック)が表示されます。

2. タイムデータ表示

メニューのTC/Mediaカテゴリ>TC Displayの設定に従って、デューレーションまたはタイムコードが表示されます(66ページ)。

3. フレームジャンプステップコマ数表示／Look情報表示

フレームジャンプ再生で選択したフレームコマ数が表示されます(119ページ)。
フレームジャンプステップ再生中でない場合は、選択したLookが表示されます(82ページ)。
ProRes記録の再生時は、S-Log3記録の再生の場合など一部の条件のときに限り表示されます。

4. 再生動作状態表示

再生動作の状態が表示されます。
CALLコマンドを受信すると、「CALL」が表示されます。
また、Monitoring > Overlays/Frame Line > Rec Indicator Position(100ページ)でOverlay設定がRec Indのときの記録動作状態の表示位置を変更できます。「1」に設定すると、再生動作状態が画面中央下に表示され、設定値を上げると表示位置が上になります。「8」に設定すると、画面中央に表示されます。

5. 再生クリップ名表示

再生画像のクリップ名の前8文字が表示されます。

6. 再生位置表示

再生クリップの再生位置が表示されます。

7. 再生メディア表示

再生中の記録メディアが表示されます。
メモリーカードがプロテクトされている場合は、右に (プロテクト) アイコンが表示されます。

8. オーディオレベルメーター表示

再生中の音声チャンネル1、2のレベルが表示されます。

9. ネットワーク接続状態表示

ネットワークの接続状態(LANまたはWi-Fi)が表示されます。

条件	表示
ネットワーク接続設定状態で接続断など のエラー時	点滅
ネットワーク接続設定状態で接続時	点灯
ネットワーク接続機能を使用していない	空欄

10. EL Zone色見本表示

EL Zoneの色見本が表示されます。
再生時は再生クリップが表示可能な条件のときに表示できます(135ページ)。

11. HDMI LUT表示

HDMI出力のLUT設定が表示されます(86ページ)。
ProRes記録の再生時は、S-Log3記録の再生の場合など一部の条件のときに限り表示されます。

12. Monitor LUT表示

Monitor出力のLUT設定が表示されます(85ページ)。
ProRes記録の再生時は、S-Log3記録の再生の場合など一部の条件のときに限り表示されます。

13. SDI OUT 3/4端子 LUT表示

SDI OUT 3/4端子のLUT設定が表示されます(85ページ)。

ProRes記録の再生時は、S-Log3記録の再生の場合など一部の条件のときに限り表示されます。

14. SDI OUT 1/2端子 LUT表示

SDI OUT 1/2端子のLUT設定が表示されます(84ページ)。
ProRes記録の再生時は、S-Log3記録の再生の場合など一部の条件のときに限り表示されます。

15. VF LUT表示

ビューファインダーのLUTが表示されます(86ページ)。
ProRes記録の再生時は、S-Log3記録の再生の場合など一部の条件のときに限り表示されます。

16. 温度計アイコン

温度上昇に関する警告メッセージがあるときに表示されます。
メニューのInfoカテゴリに内容が表示されません。

17. 警告アイコン

温度上昇を除く警告メッセージがあるときに表示されます。
メニューのInfoカテゴリに内容が表示されません。

電源の準備

バッテリーパック、またはACアダプターを介してAC電源を使用できます。

安全のため、下記ソニー純正以外のバッテリーを使用しないでください。

リチウムイオンバッテリーパック

BP-GL95B

ACアダプター

供給電力120W以上を目安とします。

バッテリーパックを使用する

バッテリーパックをバッテリーパック取り付け部(13ページ)に差し込んで、下にスライドさせてロックします。

取り外すときは、バッテリーリリースレバー(13ページ)を押しながらバッテリーパックを上にもスライドさせてロックを外し、取り外します。

【ご注意】

- 装着する前に、バッテリーチャージャーを使用して充電してください。
- 使用直後でバッテリーパックの温度が上昇した状態で充電すると、完全に充電されないことがあります。

残量を確認する

バッテリーパックを使用して撮影・再生しているときは、サブディスプレイ画面(43ページ)およびビューファインダー・モニター画面(15ページ)にバッテリー残時間またはバッテリー電圧が表示されます。

残り時間は、現在の消費電流のペースで本機を継続使用した場合のバッテリーパックの使用可能時間を計算して分単位で表示されます。

バッテリーパックの容量が低下すると

使用中にバッテリーパックの容量が一定の値まで低下すると、バッテリー残量表示が点滅し、RECLAMPの点滅で警告します。

さらに容量が減り、動作が継続不可能な状態になると、バッテリーパックの残りがなくなことを知らせるメッセージが表示されます。

充電されたバッテリーパックに交換してください。

警告残量を変更する

フルメニューのTechnical > Batt./Voltage Alarm(112ページ)で変更します。

AC電源を使用する(DC IN 電源)

本機は120WのACアダプターを使用することによって、AC電源に接続して動作させることができます。

入力電圧範囲は11 V ~ 17 Vと22 V ~ 32 Vに対応しています。

【ご注意】

- バッテリー運用時にDC IN電源へ切り換える際には、12 V ~ 17 Vの電圧の電源を使用することで、より安全に電源を切り換えることができます。
- 22 V ~ 32 V電圧を使用する場合は、本機の電源スイッチをOFFの状態で電源接続(給電)することを推奨します。
- DC IN電源電圧を11 V ~ 17 V電圧使用状態から22 V ~ 32 V電圧使用状態に直接切り換える、またはその逆の状態に直接切り換えることはしないでください。故障の原因となります。

バッテリーパックとDC IN 電源の併用について

バッテリーパックおよびDC IN電源がどちらも給電可能な電圧の場合は、DC IN電源側から優先的に給電状態となります。

【ご注意】

バッテリー運用時にDC IN電源からの給電状態に切り換えると、以下の要因等により本機の動作が停止する場合がありますのでご注意ください。

- DCコネクター挿抜時のコネクター部のチャタリング(コネクターこじり等)
- 電源供給元が切り換わったときの電圧ドロップ(外部負荷状態が重いほど大きい)

時計を合わせる

本機を初めて使用するとき、電源を入れるとサブディスプレイ画面に初回設定画面が表示されます。

この画面を使用して内蔵時計の日付／時刻を設定してください。

Time Zone について

UTC(協定世界時) からの時差を設定します。必要に応じて変更してください。

[ご注意]

Time Zoneを変更すると時差に合わせて時刻設定が変更されます。

日付/時刻を設定する

MENUダイヤル(11ページ) を回して項目や数値を選び、MENUダイヤルを押して決定します。最後にカーソルをSetに合わせてMENUダイヤルを押すと、設定画面が消えて時計合わせが完了します。

初回設定画面が消えた後は、フルメニューのMaintenance > Clock Set(115ページ) を使用してTime Zoneおよび日時の設定を変更できます。

[ご注意]

- 動作電源が供給されていない(バッテリーパックもDC IN電源も接続されていない) 状態でバックアップ電池が消耗するなどして現在日時の情報が失われた場合は、次に電源を入れると初回設定画面が表示されます。
- 初回設定画面が表示されている状態では、この画面での設定が完了するまで電源を切る以外の操作はできません。

イメージャーブロックを交換する

イメージャーブロックを交換します。

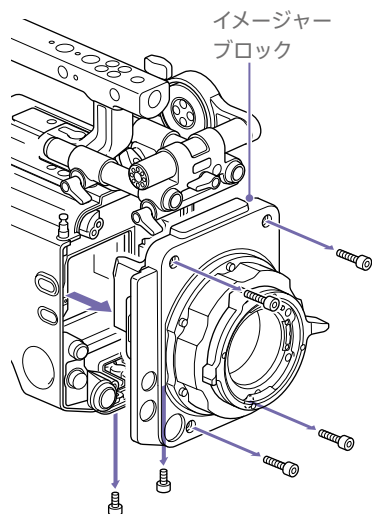
8Kイメージャーブロックを6Kイメージャーブロックに交換する手順を例に説明します。

6Kイメージャーブロック取り付けるときは、6Kイメージャーブロック用カバー(MPC-3628:付属品、MPC-3626:装着品)を取り付けてください。

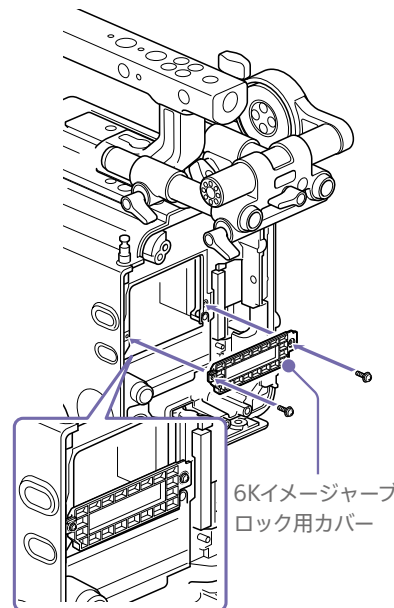
【ご注意】

イメージャーブロックを交換するときは、10分以上電源をOFFにして十分に冷えた状態で交換してください。また、交換の際はシャープエッジにご注意ください。

- 1 底面の六角ネジ(2本)と前面の六角ネジ(4本)を外して8Kイメージャーブロックを取り外す。



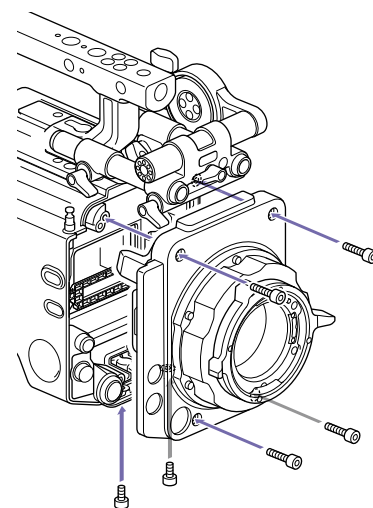
- 2 文字が刻印されている面を前にして6Kイメージャーブロック用カバーを取り付け、ネジ(2本)で締め付ける(締め付けトルク0.19N・m)。



【ご注意】

- 6Kイメージャーブロック用カバーを取り付けないと、6Kイメージャーブロックの放熱が悪くなります。
- 8Kイメージャーブロックを取り付けるときは、6Kイメージャーブロック用カバーを取り外してください。

- 3 6Kイメージャーブロックを取り付ける。



真っ直ぐに取り付け、六角レンチを使用して、手順1で外した六角ネジ(6本)を締め付けます(締め付けトルク1.4N・m)。

イメージャーブロック交換後の起動動作について

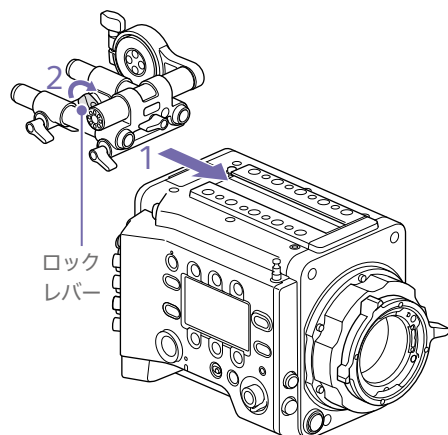
イメージャーブロック交換後の初回起動時は、センサー固有データを読み直すため起動に時間がかかります。

電源を入れてから数分程度で自動的に再起動され、センサー固有データの読み直しが完了します。

VFアタッチメントとハンドルの取り付け

VFアタッチメントを取り付ける

- 1 VFアタッチメントを矢印の方向にスライドさせて取り付ける。
- 2 VFアタッチメントの前後位置を決め、ロックレバーを回して締める。



[ご注意]

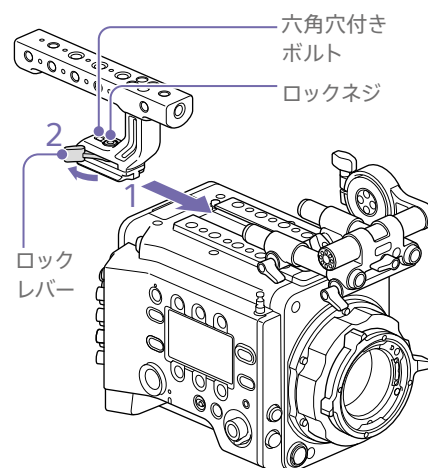
- VFアタッチメントを前後逆および左右方向に取り付けることもできます。
- ロックレバーが締めにくい場合や緩む場合は、ロックレバー上にあるロックネジを六角レンチ(3 mm)で回して固定することができます。

VFアタッチメントを取り外すには

ロックレバーを回して緩め、リリースボタンを押してVFアタッチメントを取り付けたときと逆の方向にスライドさせて抜き取ります。

ハンドルを取り付ける

- 1 ハンドルを矢印の方向にスライドさせて取り付ける。
- 2 ハンドルの前後位置を決め、ロックレバーを回して締める。



[ご注意]

- 六角レンチ(5 mm) でロックネジを回して固定することもできます。
- 使用時にハンドルのロックレバーが緩む場合は、ロックネジの隣にある六角穴付きボルト(2 mm) を締めると緩まなくすることができます。
- ハンドルを前後逆方向に取り付けることもできます。

ハンドルを取り外すには

ロックレバーを回して緩め、リリースボタンを押してハンドルを取り付けたときと逆の方向にスライドさせて抜き取ります。

レンズの取り付けとフランジバックの調整

推奨PLマウントレンズ(Super 35mmサイズ用)

SCL-PK6/F、SCL-PK6/M(6本セット、
20 mm/25 mm/35 mm/50 mm/85 mm/
135 mm)

SCL-PK3/F、SCL-PK3/M(3本セット、
20 mm/25 mm/135 mm)

SCL-P11X15



警告

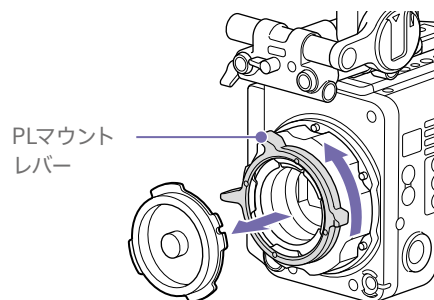
レンズを太陽に向けて放置しないでください。太陽光がレンズを通して機器内部に焦点を結び、火災の原因となることがあります。

【ご注意】

- レンズおよびアダプターの取り付け／取り外しは、本機の電源を切った状態で行ってください。
- レンズは精密部品です。レンズは、マウント部側を下にして直に置かないでください。必ず付属のキャップをかぶせてください。
- 本機のレンズインターフェースは、工場出荷時にSCL-P11X15およびCooke型コネクター付きレンズ用に合わせて設定されています。SCL-PK6、SCL-PK3やそれ以外のCooke型コネクターを持たないレンズを使用する場合は、フルメニュー > Technical > Lens Configuration > PL-Mt Interface Position(109ページ) をOffに設定します。

PLマウントレンズを取り付ける

- 1 PLマウントレバーを反時計方向に回して、レンズマウントからマウントキャップを外す。

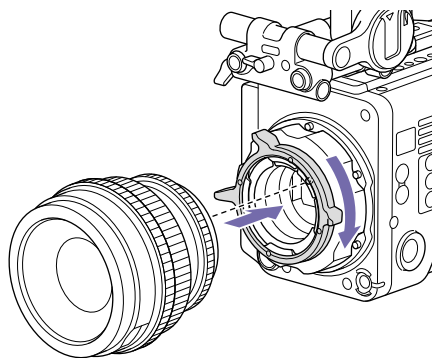


【ご注意】

PLマウントレバーを反時計回りにストッパーの位置まで回してください。

- 2 レンズマウント上面右の位置決めピンに、レンズの凹部を合わせ、レンズをマウントに差し込む。

- 3 レンズを支えながら、PLマウントレバーを時計方向に回して、レンズを固定する。



【ご注意】

PLレンズを装着の際は、レンズを回さないでください。レンズを回すと、ホットシューピン折れの原因となります。

Cooke /i レンズを取り付けるには

レンズ側のコンタクトと本機側のホットシューの位置を合わせてください。レンズアダプター側のコネクターは2か所ありますが、どちらも使用できます。

レンズを取り外すには

- 1 レンズを下から支えて、PLマウントレバーを反時計方向に回す。
- 2 レンズを前方に引き抜く。

【ご注意】

- 別のレンズをすぐに取り付けたいときは、マウントキャップの凹部を確実に合わせて、PLマウントレバーを時計方向に回して固定してください。
- レンズとのIF通信を正しく行うために、フルメニュー > Technical > Lens Configuration(109ページ) の設定を、使用するレンズに合わせて設定してください。

フランジバックを調整する

本機はフランジバックを調整した状態で出荷しています。フランジバックの調整を行いたい場合は、レンズマウントを取り外し、シムを適切な厚みのものと交換してください。0.01 mm単位で±0.1 mmの調整ができます。

シムについて

本機には以下のシムが同梱されています
0.05 mm ×1(円弧型)

0.01 mm ×15(1/3円弧型)

1/3円弧型シムは3枚組でご使用ください。フランジバックを長く調整する場合は、シムを挿入してください。本機は出荷時に以下の3種類のシムによってフランジバックを調整した状態で出荷しています。

0.10 mm(円弧型)

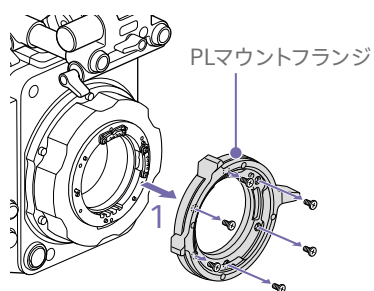
0.05 mm(円弧型)

0.01 mm(1/3円弧型)

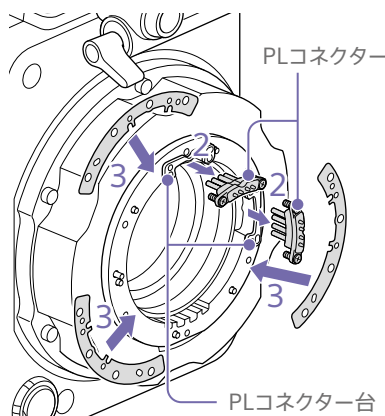
また、出荷時のシム厚みを示すシールが貼られています。

フランジバックの調整

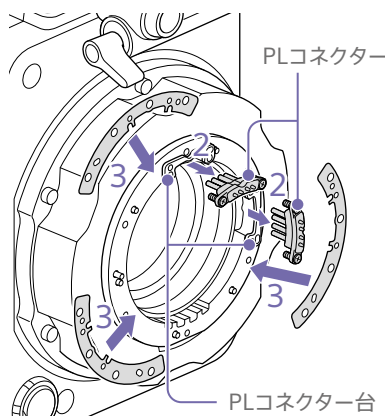
- 1 トルクスネジ(6本)を外してPLマウントフランジを取り外す。



- 2 PLコネクタ (2か所) の両側の十字ネジ (4本) を緩めてPLコネクタとPLコネクタ台を取り外す。

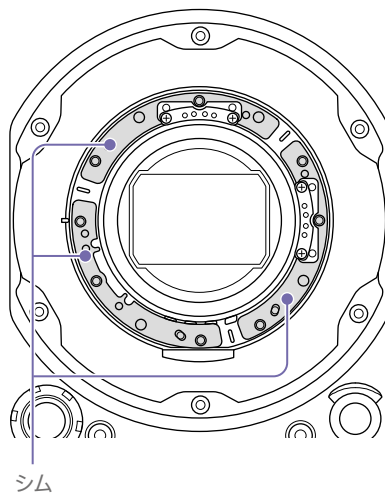


- 3 PLマウントアダプター (3か所) にシムを取り付ける。

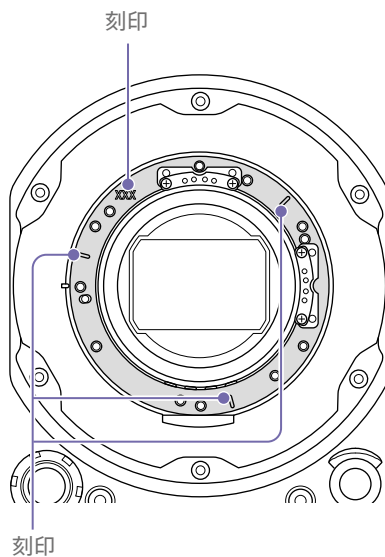


1/3円弧型のシムを使用する場合

3か所とも同じ厚みになるようにシムを取り付けます。



円弧型のシムを使用する場合
刻印がある面を表にして取り付けます。

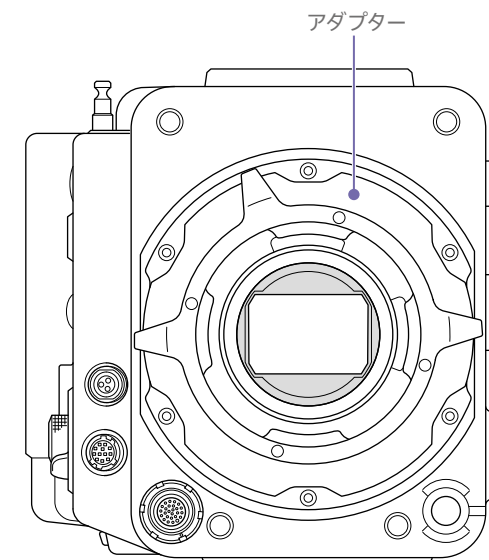


- 4 PLコネクタ (2か所) を元の位置に戻し、締め付けトルク $0.18\text{N} \cdot \text{m}$ で十字ネジ(4本)を締め付ける。

- 5 PLマウントフランジを元の位置に戻し、トルクスレンチ T8を使用して、締め付けトルク $0.35\text{N} \cdot \text{m}$ でトルクスネジ(6本)を締め付ける。

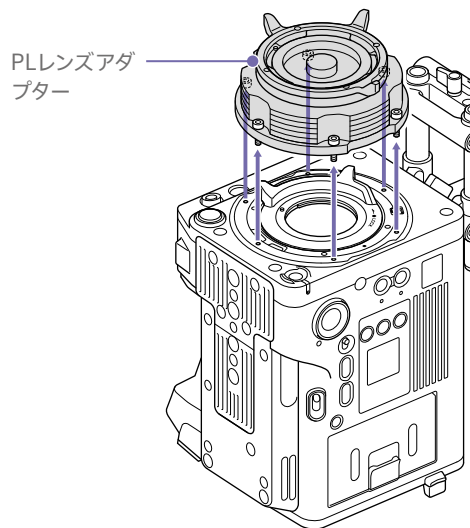
フィルターのお手入れについて

フィルターを掃除するときは、アダプターを外して拭いてください。アダプター中央部(網掛け部)をクロスなどで拭くと、繊維が付着する場合がありますので注意してください。繊維が付着した場合は、ソフトブラシで掃除してください。



PLレンズアダプターを取り外す

本機にEマウントレンズを取り付ける場合、PLレンズアダプターを取り外します。取り付け/取り外しは、本機後面を下にした状態で行います。六角ネジ(2.5 mm、6本)を緩めて、PLレンズアダプターを取り外します。

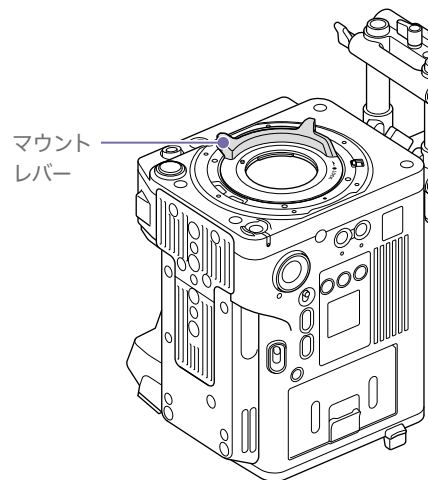


【ご注意】

- バッテリーを取り付けて本機後面を下にして置くと、安定した状態で作業できます。
- 取り付け/取り外し作業時、本機とPLレンズアダプターの端子接点に触れないようにご注意ください。

PLレンズアダプターを取り付けるには

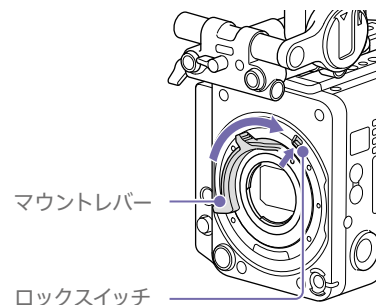
- 1 マウントレバーがロック位置になっていることを確認する。



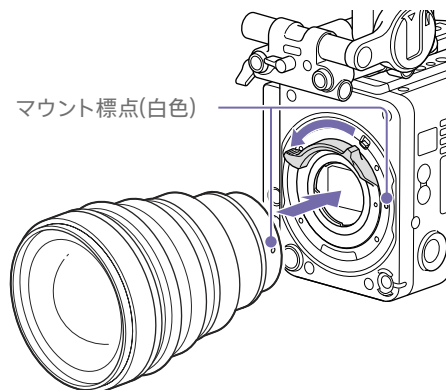
- 2 PLレンズアダプターを元の位置に戻し、六角レンチ(2.5 mm)を使用して、締め付けトルク $0.8 \pm 0.12 \text{ N} \cdot \text{m}$ で六角ネジ(2.5 mm、6本)を締め付ける。

Eマウントレンズを取り付ける

- 1 PLレンズアダプターを取り外す(25ページ)。
- 2 ロックスイッチを上方向に押してから、マウントレバーを時計方向に回してロックを解除する。



- 3 本体とレンズのマウント標点(白色)を合わせ、レンズをマウントに差し込む。
- 4 レンズを支えながら、マウントレバーを反時計方向に回して、レンズを固定する。



【ご注意】

Eマウントレンズ接続時は、12pinレンズコネクターの動作は保証できません

レンズを取り外すには

- 1 ロックスイッチを上方向に押してから、マウントレバーを時計方向に回してロックを解除する。
- 2 レンズを前方に引き抜く。

【ご注意】

別のレンズをすぐに取り付けないときは、マウントキャップの凹部を確実に合わせて、マウントレバーを反時計方向に回して固定してください。

ビューファインダーの取り付け

本機で利用できるビューファインダー
DVF-EL200 : OLEDカラービューファインダー

ビューファインダーは別売りです。
ここではDVF-EL200を取り付ける場合を例に示します。

- ◆ 各ビューファインダーの取り扱いについて詳しくは、使用するビューファインダーの取扱説明書をご覧ください。

警告

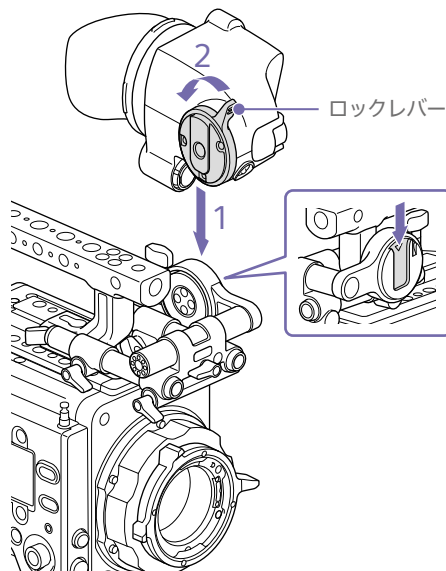
接眼レンズを太陽に向けて放置しないでください。太陽光が接眼レンズを通してビューファインダー内部に焦点を結び、火災の原因となることがあります。

【ご注意】

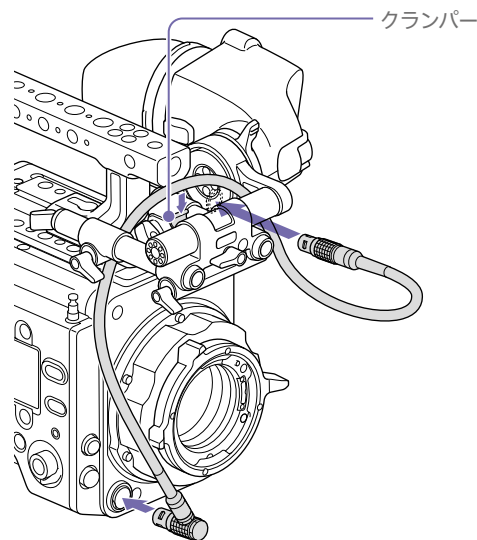
ビューファインダーの取り付け／取り外しは、本機の電源を切った状態で行ってください。

ビューファインダーを取り付ける

- VFアタッチメントのビューファインダー取り付け部の溝に、ビューファインダーのシューを合わせて取り付ける。
- ビューファインダーのロックレバーをLOCK方向に回して固定する。



- ビューファインダーと本機をVF接続ケーブルで接続する。
ビューファインダー側：
コネクタの標点(赤色)を上側にして、奥まで差し込んでください。
本機側：
コネクタの標点(赤色)とVF端子の凹部を合わせて、奥まで差し込んでください。



【ご注意】

必要に応じて、クランパーでケーブルを固定してください。

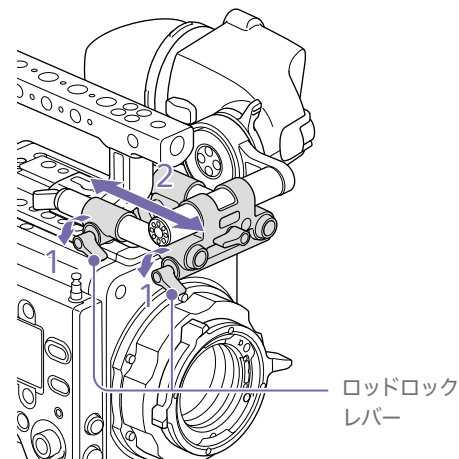
ビューファインダーを取り外すには

- ビューファインダーと本機からVF接続ケーブルを引き抜く。
- ロックレバーをLOCKと反対方向に回してロックを解除し、ビューファインダーをVFアタッチメントから取り外す。

位置を調整する

前後の位置を調整するには

- VFアタッチメントの前後のロッドロックレバーを両方、またはどちらか一方を緩める。
- VFアタッチメントを前後にスライドさせて、ビューファインダーの位置を調整する。



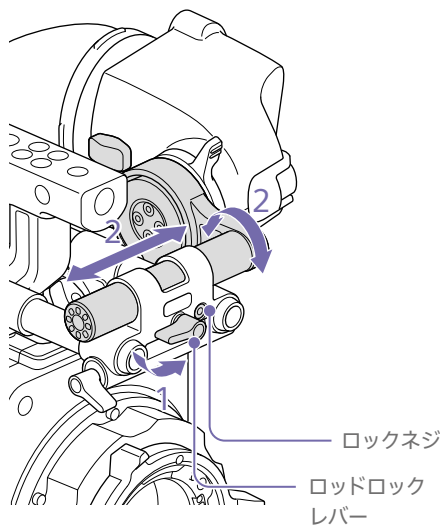
- ロッドロックレバーを締める。

【ご注意】

ロッドロックレバーが回しにくい場合は、レバーを引き出してから操作しやすい位置まで回転させ、押し戻すようにしてください。

左右の位置と高さ(角度) を調整するには

- 1 VFアタッチメントの前面のロッドロックレバーを緩める。
- 2 VFアタッチメントのロッドを左右にスライドさせたり、上下に回して、ビューファインダーの位置を調整する。



- 3 ロッドロックレバーを締める。

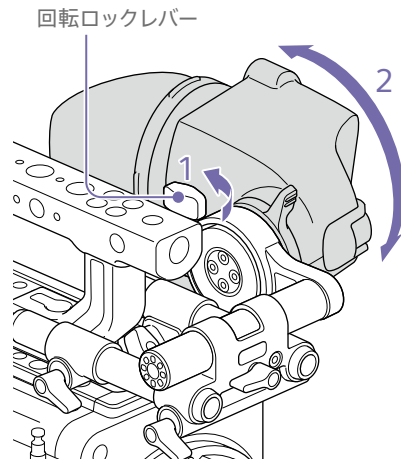
[ご注意]

ロッドロックレバーを緩めたときにビューファインダーが下に回ってしまう場合は、6角レンチ(3 mm) でロックネジを調節してください。

角度を調整するには

主に撮影中にビューファインダーの角度を調整します。

- 1 ビューファインダー取り付け部の回転ロックレバーを緩める。
- 2 ビューファインダーを上下に回して角度を調整する。



- 3 回転ロックレバーを締める。

AXSメモリーカードの取り扱い

本機では、撮影した映像・音声を、カードスロット内のAXSメモリーカード(別売り)に記録します。

【ご注意】

ファイルコピー時のトラブルを防ぐために、AXSメモリーカードのファームウェアは最新バージョンでご使用ください。

AXSメモリーカードについて

本機では、下記のソニー製AXSメモリーカードをご使用ください。

S24

AXS-A1TS24(1 TB/2.4 Gbps)

AXS-A256S24(256 GB/2.4 Gbps)

AXS-A512S24(512 GB/2.4 Gbps)

S48

AXS-A1TS48(1 TB/4.8 Gbps)

AXS-A512S48(512 GB/4.8 Gbps)

S66

AXS-A1TS66(1 TB/6.6 Gbps)

AXSメモリーカードを入れる

- 1 カードスロット部(11ページ)のカバーを開ける。
- 2 AXSメモリーカードを、ラベルを右にしてカードスロットに差し込む。
ACCESSランプ(10ページ)が赤く点灯し、使用可能な状態になると緑で点灯します。

- 3 カバーを閉める。

ACCESSランプによる状態表示

AとBのカードスロットの状態を示すために、それぞれにACCESSランプがあります。

ランプ	スロットの状態
赤で点灯	装着されているAXSメモリーカードにアクセス中(データの書き込み／読み出し中)
緑で点灯	スタンバイ状態(装着されているAXSメモリーカードを使用して記録・再生を行います。)
消灯	<ul style="list-style-type: none">AXSメモリーカードが装着されていない。使用できないカードが装着されている。AXSメモリーカードは装着されているが、別のスロットのカードが選択されている。

AXSメモリーカードを取り出す

- 1 カードスロット部のカバーを開ける。
- 2 AXSメモリーカードカードを抜く。

【ご注意】

メモリーカードにアクセス中に本機の電源を切ったりメモリーカードを抜いた場合はデータは保証されません。カードに記録されたすべてのデータが壊れる可能性があります。電源を切ったり、カードを抜くときは、必ず使用するメモリーカードのACCESSランプが緑で点灯または消灯していることを確認してから操作してください。

使用するAXSメモリーカードを切り換える

カードスロットAとBの両方にAXSメモリーカードが装着されているときは、SLOT SELECTボタン(10ページ)を押して使用するカードを切り換えることができます。
記録実行中にカードがフルになったときは、自動的にもう1枚のカードに切り換わります。

【ご注意】

記録中および再生中は、SLOT SELECTボタンは無効になります。ボタンを押しても切り換わりません。

AXSメモリーカードをフォーマット(初期化)する

フォーマットされていないAXSメモリーカード、または別の仕様でフォーマットされたAXSメモリーカードを装着すると、ファイルシステムが異なることを知らせるメッセージが表示されます。その場合は、以下の操作を行ってメモリーカードをフォーマットします。

- 1 メニューのTC/Mediaカテゴリー > Format Mediaを選択する。
- 2 AXS Slot A(スロットA) またAXS Slot B(スロットB)を選択し、MENUダイヤルを押す。
フォーマットを実行するかどうかの確認画面が表示されます。
- 3 実行する場合はITEMキー 1とITEMキー 3を同時に3秒間押す。
フォーマットが始まり実行中メッセージが表示され、ACCESSランプが赤く点灯します。
フォーマットが終了すると、完了メッセージが表示されます。MENUダイヤルを押してメッセージを消します。

フォーマットできなかったときは

プロテクトされたAXSメモリーカードや本機で使用できないメモリーカードはフォーマットされません。
警告メッセージが表示されますので、メッセージに従って、使用できるAXSメモリーカードに交換してください。

【ご注意】


メモリーカードをフォーマットすると、記録された映像データ、セットアップファイルなどを含む、すべてのデータが消去されます。

残りの記録可能時間を確認する

撮影中(記録中／記録待機中) は、サブディスプレイのホーム画面(43ページ) およびビューファインダー・モニター画面(15ページ) の記録メディア残量表示部で、各スロットに装着したAXSメモリーカードの残量を確認することができます。

現在設定されているビデオフォーマット(記録ビットレート) で撮影した場合に記録可能な時間を、それぞれのスロット内のメディアの残量から計算して分単位で表示します。

【ご注意】

メモリーカードがプロテクトされている場合は、 (プロテクト) マークが表示されます。

AXSメモリーカードの交換時期

- 記録中に挿入されているメモリーカードの残記録可能時間の合計が、Technicalメニュー > Alerts & Tally > Media Near Full Alarm (112ページ) で設定されている時間をきると、記録メディア残量表示が点滅し、RECランプの点滅とブザー音で警告します。空きのあるメディアに交換してください。
- 記録を継続して、残記録可能時間の合計が0になると、メッセージがMedia Fullに変わり記録が停止します。

【ご注意】

- 1枚のAXSメモリーカードに記録可能なクリップ数は以下のとおりです。
S24/S48：約600個
S66：約430から440個
- 記録できるクリップ数の上限に達すると、残時間表示が「0」になり、メッセージMedia Fullが表示されます。

AXSメモリーカードを修復する

何らかの原因でメモリーカード内のデータに異常が発生した場合は、メモリーカードの修復が必要になります。

修復が必要なAXSメモリーカードを挿入したときは、修復を実行するかどうかを確認するメッセージがサブディスプレイに表示されます。

修復を実行するには、MENUダイヤルを回してRunを選択し、MENUダイヤルを押します。

修復が始まります。

実行中メッセージが表示され、ACCESSランプが赤く点灯します。

修復が終了すると、完了メッセージが表示されます。MENUダイヤルを押してメッセージを消します。

修復できなかったときは

- プロテクトされたAXSメモリーカードや、エラーが発生したAXSメモリーカードは修復できません。警告メッセージが表示されますので、メッセージに従って、プロテクトを解除するか、別のAXSメモリーカードに交換してください。
- エラーが発生したAXSメモリーカードは、フォーマットをし直すと再利用できる場合があります。

- 一部のクリップのみが修復できない場合もあります。修復できたクリップは再生可能になります。

【ご注意】

本機で記録されたメディアは、本機で修復してください。本機以外で記録されたメディアや、本機と同一機種であってもバージョンが異なる機器で記録されたメディアは、本機では修復できない場合があります。

AXSメモリーカードに記録する

メニューのProjectカテゴリー > Recording Format(64ページ) で、AXSメモリーカードに記録するフォーマットを選択できます。
AXSメモリーカードは、AXS単独記録実行中にカードがフルになったときは、もう1枚のカードに自動的に切り換わります。

S24、S48またはS66 AXSメモリーカード使用時、Recording FormatとImager Modeの設定によって以下の制限があります。S24またはS48 AXSメモリーカードが使用できない状態のときに、S24またはS48 AXSメモリーカードが検出されると、S66 AXSメモリーカードの使用を促す注意メッセージが表示されます。

MPC-3628

Recording Format	Imager Mode	撮像フレームレートと対応S24/S48/S66 AXSメモリーカード														
		24	25	30	48	50	60	66	72	75	88	90	96	100	110	120
X-OCN XT	8.6K 3:2	S66	S66	S66	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	8.6K 17:9	S48/S66	S48/S66	S66	— ¹⁾	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	8.1K 16:9															
	8.2K 17:9	S48/S66	S48/S66	S48/S66	— ¹⁾	— ¹⁾	— ¹⁾	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	7.6K 16:9															
	8.2K 2.39:1	S48/S66	S48/S66	S48/S66	S66	S66	— ¹⁾	— ¹⁾	— ¹⁾	—	—	—	—	—	—	—
	5.8K 6:5	S48/S66	S48/S66	S48/S66	S66	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	5.8K 4:3	S48/S66	S48/S66	S48/S66	S66	S66	S66	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	5.8K 17:9	S24/ S48/S66	S24/ S48/S66	S24/ S48/S66	S48/S66	S48/S66	S48/S66	S66	S66	S66	— ¹⁾	— ¹⁾	—	—	—	—
	5.4K 16:9															
	5.5K 2.39:1	S24/ S48/S66	S24/ S48/S66	S24/ S48/S66	S48/S66	S48/S66	S48/S66	S48/S66	S48/S66	S48/S66	S66	S66	S66	S66	S66	— ¹⁾

[illegible]

Recording Format	Imager Mode	撮像フレームレートと対応S24/S48/S66 AXSメモリーカード														
		24	25	30	48	50	60	66	72	75	88	90	96	100	110	120
QFHD ProRes 4444	8.6K 3:2 ³⁾	S24/ S48/S66	S24/ S48/S66	S24/ S48/S66	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	8.1K 16:9	S24/ S48/S66	S24/ S48/S66	S24/ S48/S66	S24/ S48/S66	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	7.6K 16:9	S24/ S48/S66	S24/ S48/S66	S24/ S48/S66	S24/ S48/S66	S24/ S48/S66	S48/S66	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	5.8K 6:5 ³⁾	S24/ S48/S66	S24/ S48/S66	S24/ S48/S66	S24/ S48/S66	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	5.8K 4:3 ³⁾	S24/ S48/S66	S24/ S48/S66	S24/ S48/S66	S24/ S48/S66	S24/ S48/S66	S48/S66	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	5.4K 16:9	S24/ S48/S66	S24/ S48/S66	S24/ S48/S66	S24/ S48/S66	S24/ S48/S66	S48/S66	—	—	—	—	—	—	—	—	—
QFHD ProRes 422 HQ	8.6K 3:2 ³⁾	S24/ S48/S66	S24/ S48/S66	S24/ S48/S66	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	8.1K 16:9	S24/ S48/S66	S24/ S48/S66	S24/ S48/S66	S24/ S48/S66	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	7.6K 16:9	S24/ S48/S66	S24/ S48/S66	S24/ S48/S66	S24/ S48/S66	S24/ S48/S66	S24/ S48/S66	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	5.8K 6:5 ³⁾	S24/ S48/S66	S24/ S48/S66	S24/ S48/S66	S24/ S48/S66	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	5.8K 4:3 ³⁾	S24/ S48/S66	S24/ S48/S66	S24/ S48/S66	S24/ S48/S66	S24/ S48/S66	S24/ S48/S66	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	5.4K 16:9	S24/ S48/S66	S24/ S48/S66	S24/ S48/S66	S24/ S48/S66	S24/ S48/S66	S24/ S48/S66	S24/ S48/S66	S24/ S48/S66	S24/ S48/S66	—	—	—	—	—	—

1) S66 AXSメモリーカード使用時は記録フォーマットをX-OCN STまたはLTに変更すれば記録可能。S48 AXSメモリーカード使用時は記録フォーマットをX-OCN LTに変更すれば記録可能。

2) Zoom to Fitが17:9の場合に記録可能。

3) Zoom to Fitが16:9の場合に記録可能。

MPC-3626

Recording Format	Imager Mode	撮像フレームレートと対応S24/S48/S66 AXSメモリーカード														
		24	25	30	48	50	60	66	72	75	88	90	96	100	110	120
X-OCN XT	6K 3:2	S48/S66	S48/S66	S48/S66	S66	S66	S66	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	6K 1.85:1	S24/ S48/S66	S24/ S48/S66	S48/S66	S48/S66	S48/S66	S66	S66	S66	—	—	—	—	—	—	—
	6K 17:9 5.7K 16:9	S24/ S48/S66	S24/ S48/S66	S48/S66	S48/S66	S48/S66	S66	S66	S66	—	—	—	—	—	—	—
	6K 2.39:1	S24/ S48/S66	S24/ S48/S66	S24/ S48/S66	S48/S66	S48/S66	S48/S66	S48/S66	S66	S66	S66	S66	—	—	—	—
	4K 6:5	S24/ S48/S66	S24/ S48/S66	S24/ S48/S66	S48/S66	S48/S66	S48/S66	S48/S66	S48/S66	—	—	—	—	—	—	—
	4K 4:3 Surround View	S24/ S48/S66	S24/ S48/S66	S24/ S48/S66	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	4K 4:3	S24/ S48/S66	S24/ S48/S66	S24/ S48/S66	S48/S66	S48/S66	S48/S66	S48/S66	S48/S66	S48/S66	—	—	—	—	—	—
	4K 17:9 Surround View 3.8K 16:9 Surround View	S24/ S48/S66	S24/ S48/S66	S24/ S48/S66	S24/ S48/S66	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	4K 17:9 3.8K 16:9	S24/ S48/S66	S24/ S48/S66	S24/ S48/S66	S24/ S48/S66	S24/ S48/S66	S24/ S48/S66	S48/S66	S48/S66	S48/S66	S48/S66	S48/S66	S48/S66	S48/S66	S48/S66	—
	4K 2.39:1	S24/ S48/S66	S24/ S48/S66	S24/ S48/S66	S24/ S48/S66	S24/ S48/S66	S24/ S48/S66	S24/ S48/S66	S24/ S48/S66	S24/ S48/S66	S48/S66	S48/S66	S48/S66	S48/S66	S48/S66	S48/S66

[illegible]

[illegible]

Recording Format	Imager Mode	撮像フレームレートと対応S24/S48/S66 AXSメモリーカード														
		24	25	30	48	50	60	66	72	75	88	90	96	100	110	120
QFHD ProRes 4444	6K 3:2 ²⁾	S24/S48/S66	S24/S48/S66	S24/S48/S66	S24/S48/S66	S24/S48/S66	S48/S66	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	5.7K 16:9	S24/S48/S66	S24/S48/S66	S24/S48/S66	S24/S48/S66	S24/S48/S66	S48/S66	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	4K 6:5 ²⁾	S24/S48/S66	S24/S48/S66	S24/S48/S66	S24/S48/S66	S24/S48/S66	S48/S66	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	4K 4:3 ²⁾	S24/S48/S66	S24/S48/S66	S24/S48/S66	S24/S48/S66	S24/S48/S66	S48/S66	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	3.8K 16:9 Surround View	S24/S48/S66	S24/S48/S66	S24/S48/S66	S24/S48/S66	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	3.8K 16:9	S24/S48/S66	S24/S48/S66	S24/S48/S66	S24/S48/S66	S24/S48/S66	S48/S66	—	—	—	—	—	—	—	—	—
QFHD ProRes 422 HQ	6K 3:2 ²⁾	S24/S48/S66	S24/S48/S66	S24/S48/S66	S24/S48/S66	S24/S48/S66	S24/S48/S66	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	5.7K 16:9	S24/S48/S66	S24/S48/S66	S24/S48/S66	S24/S48/S66	S24/S48/S66	S24/S48/S66	S24/S48/S66	S24/S48/S66	—	—	—	—	—	—	—
	4K 6:5 ²⁾	S24/S48/S66	S24/S48/S66	S24/S48/S66	S24/S48/S66	S24/S48/S66	S24/S48/S66	S24/S48/S66	S24/S48/S66	—	—	—	—	—	—	—
	4K 4:3 ²⁾	S24/S48/S66	S24/S48/S66	S24/S48/S66	S24/S48/S66	S24/S48/S66	S24/S48/S66	S24/S48/S66	S24/S48/S66	S24/S48/S66	—	—	—	—	—	—
	3.8K 16:9 Surround View	S24/S48/S66	S24/S48/S66	S24/S48/S66	S24/S48/S66	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	3.8K 16:9	S24/S48/S66	S24/S48/S66	S24/S48/S66	S24/S48/S66	S24/S48/S66	S24/S48/S66	S24/S48/S66	S24/S48/S66	S24/S48/S66	S48/S66	S48/S66	—	—	—	—

1) Zoom to Fitが17:9の場合に記録可能。

2) Zoom to Fitが16:9の場合に記録可能。

設定データ保存用SDカードの取り扱い

本機では、カメラの設定値ファイルをSDカード(別売り)に保存することができます。保存したファイルはSDカードから読み込んで使用できます。

本機で使用可能なSDカード

SDXCメモリーカード*(File System: exFAT/Speed Class : 4 ~ 10/UHS非対応/容量: 64 GB ~ 2 TB)
SDHCメモリーカード*(File System: FAT32/Speed Class : 4 ~ 10/UHS非対応/容量: 4 GB ~ 32 GB)
SDメモリーカード*(File System: FAT16/容量: 2 GBまで)

* 本書ではSDカードと表現しています。

SDカードを入れる

SDカードスロット(14ページ)にSDカードを差し込みます。
ACCESSランプ(12ページ)が赤く点灯し、使用可能な状態になると緑で点灯します。

ACCESS ランプによる状態表示

ランプ	スロットの状態
赤で点灯	装着されているSDカードにアクセス中(データの書き込み／読み出し中)
消灯	<ul style="list-style-type: none">SDカードが装着されていない。使用できないカードが装着されている。

SDカードを取り出す

SDカードを軽く1回押して取り出します。

[ご注意]

- メモリーカードにアクセス中に本機の電源を切ったりメモリーカードを抜いた場合はデータは保証されません。カードに記録されたすべてのデータが壊れる可能性があります。電源を切ったり、カードを抜くときは、必ず使用するメモリーカードのACCESSランプが緑で点灯または消灯していることを確認してから操作してください。
- 出し入れ時にはメモリーカードの飛び出しにご注意ください。

SDカードをフォーマット(初期化) する

本機で初めてSDカードを使用するときは、フォーマットが必要です。

本機で使用するSDカードは、本機のフォーマット機能を使用してフォーマットしてください。SDカードを装着したときに注意メッセージが表示された場合も、フォーマットして使用してください。本機が対応していないフォーマットで初期化されたSDカードを装着すると、ファイルシステムが異なることを知らせるメッセージが表示されます。

1 メニューのTC/Mediaカテゴリー > Format Media > SD Cardを選択し、MENUダイヤルを押す。
フォーマットを実行するかどうかの確認画面が表示されます。

2 実行する場合はITEMキー 1とITEMキー 3を同時に3秒間押す。
フォーマットが始まり実行中メッセージが表

示され、ACCESSランプが赤く点灯します。
フォーマットが終了すると、完了メッセージが表示されます。MENUダイヤルを押してメッセージを消します。

[ご注意]

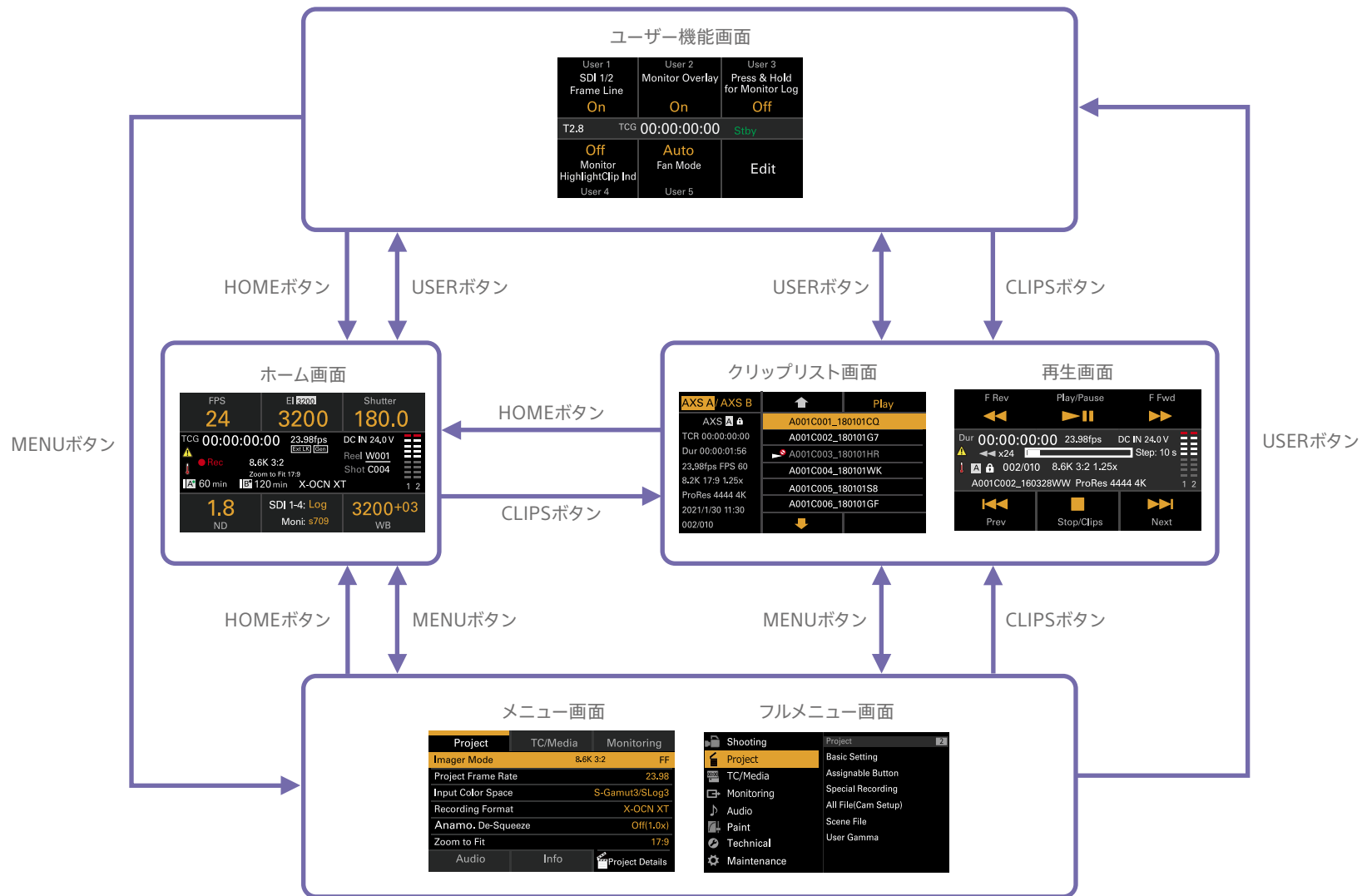
SDカードをフォーマットすると、すべてのデータが消去され、復元できません。

本機でフォーマットしたメディアを他の機器のスロットで使用するには

あらかじめバックアップを取り、お使いになる機器でフォーマットし直して使用してください。

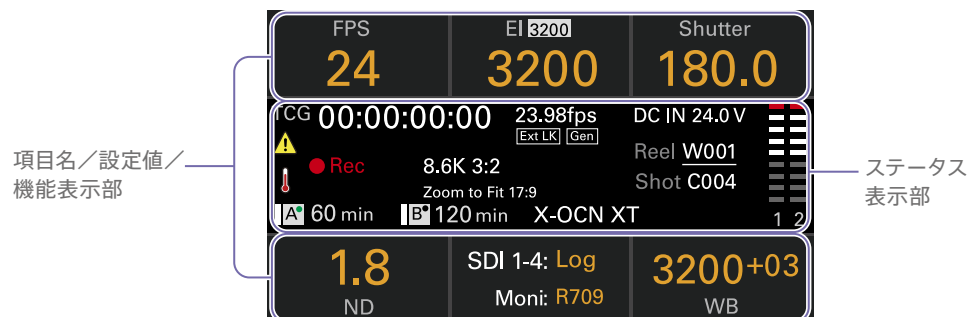
サブディスプレイ

サブディスプレイにはホーム画面、クリップリスト画面、再生画面、メニュー画面、フルメニュー画面、ユーザー機能画面の6種類の画面が表示されます。アシスタントサイドの各ボタンを操作して、サブディスプレイの各画面が下図のように遷移します。

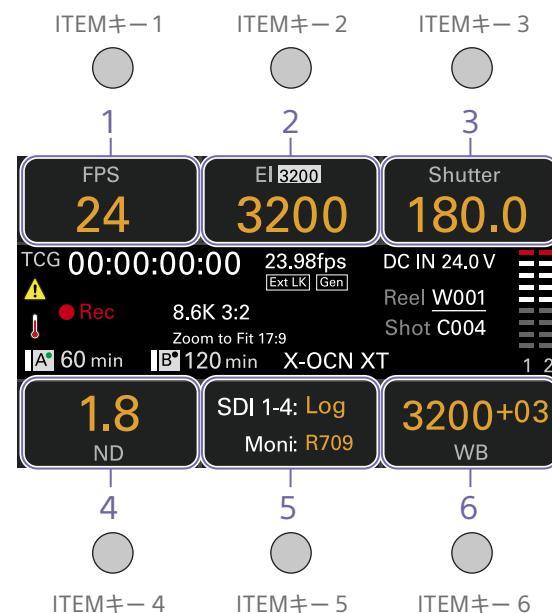


ホーム画面

アシスタントサイドのHOMEボタンを押すとホーム画面が表示されます。ホーム画面では本機の状態の確認や基本的な項目の設定ができます。



項目名／設定値／機能表示部



【ご注意】

1～6に表示される各項目はITEMキー1～6(57ページ)にそれぞれ対応しています。ITEMキーを押すと、対応する項目の操作ができます。オレンジ文字色で表示している機能に対してITEMキーは有効となります。

1. FPS

撮像フレームレートの表示／設定

2. Exposure Index/Gain

Exposure Indexの表示／設定またはRM-B170などのリモートコントロールユニットで設定したゲイン値の表示(上部アイコンには基準感度を表示)

【ご注意】

ゲイン値は、Technicalメニュー > Special Configuration > RM/RCP Paint Control(114ページ)がOnに設定されている場合のみ表示されます。

3. Shutter

電子シャッターの開角度／スピードの表示／設定

4. ND Filter

NDフィルターのポジションの表示／設定

5. LUT

モニター LUTの表示／設定

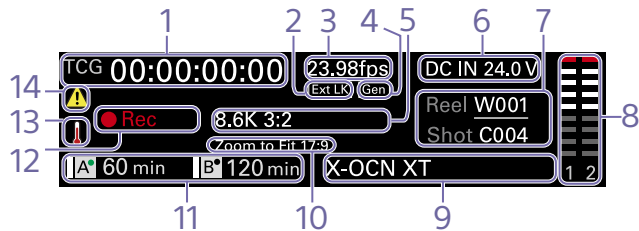
6. WB(White Balance)

ホワイトバランスの表示／設定

【ご注意】

Technicalメニュー > Special Configuration > In-Camera VFX Mode(114ページ) がOnのときは、WB表示の右にICVFX (ICVFX) アイコンが表示され、インカメラVFX機能の表示／設定ができます。

ステータス表示部



1. タイムデータ表示

メニューのTC/Mediaカテゴリー > TC Display
の設定に従って、デュレーションまたはタイムコード
が表示されます(66ページ)。
タイムデータに現在表示しているデータの種類の
は、次のように表示されます。
TCG：記録タイムコード
TCR：再生タイムコード
Dur：デュレーション

2. Ext-LKアイコン

内蔵のタイムコードジェネレーターがTC IN 端子
に接続した外部信号にロックしているときに表示
されます。

3. フレームレート表示

メニューのProjectカテゴリー > Project Frame
Rateの設定値が表示されます(64ページ)。

4. ゲンロックアイコン

ゲンロックがかかっている場合、ロック状態であ
ることが表示されます。

5. イメージャーモード表示

メニューのProjectカテゴリー > Imager Mode
の設定値、およびデスクイーズ情報が表示されま
す。

6. 電源電圧／バッテリー残量表示

電源電圧またはバッテリー残量が表示されます。

7. クリップ名表示

「Reel：Camera ID + Reel Number」と
「ShotNumber」が表示されます。

8. 音声レベルメーター

音声記録レベルまたは再生レベルが表示されま
す。「1」、「2」は音声チャンネル1、2を示します。

9. 記録フォーマット(コーデック) 表示

AXSメモリーカードに記録されるフォーマット名
称が表示されます(70ページ)。

10. Zoom to Fit設定表示

Projectメニュー > Basic Setting > Zoom to
Fitの設定値が表示されます(90ページ)。

【ご注意】

Zoom to FitがOffまたは設定不可の場合は空欄になりま
す。

11. メディア残量表示

記録アクティブアイコン、メディア種類、スロッ
ト種類(A/B)、残時間(現在の記録フォーマットで
記録できる時間) が表示されます。
また、再生中のクリップ名が表示されます。

12. 記録動作状態表示

本機の記録動作状態が次のように表示されます。

表示	説明
Stby	記録待機中
●Rec	記録中
●Cache	ピクチャーキャッシュレック記録 待機中
CALL	CALLコマンド受信中

13. 温度計アイコン

温度上昇に関する警告メッセージがあるときに表
示されます。
メニューのInfoカテゴリーに内容が表示されます。

14. 警告アイコン

温度上昇を除く警告メッセージがあるときに表示
されます。
メニューのInfoカテゴリーに内容が表示されます。

サブディスプレイのホーム画面の操作方法

基本操作

- 1 HOMEボタンを押す。
ホーム画面が表示されます。
- 
- 2 ITEMキー 1 ～ 6で設定したい項目を選ぶ。
設定を変更できる項目は、設定値がオレンジ色になっています。
下図はITEMキー 3を押した場合の表示例です。
- 
- 3 ↑ (ITEMキー 2) ボタン、↓ (ITEMキー 5) ボタンまたはMENUダイヤルで、選択項目または設定値にカーソルを合わせる。
- 4 MENUダイヤルまたはSetボタン (ITEMキー 3) を押して決定する。

サブディスプレイの明るさを変更する

サブディスプレイの明るさは、フルメニューの Technical > Panel Control > Brightness level (112ページ) で変更できます。

また、ホーム画面で、BACKボタンを押しながら MENUダイヤルを時計方向に回すと、サブディスプレイの明るさが、その時点での設定を基点に Minimum→Low→Mid→Highの順で変わります。

ホーム画面で、BACKボタンを押しながら MENUダイヤルを反時計方向に回すと、サブディスプレイの明るさが、その時点での設定を基点に High→Mid→Low→Minimumの順で変わります。

[ご注意]
ディスプレイの明るさの設定はサブディスプレイとミニディスプレイ共通で、設定が両画面に同時に反映されます。

RM/RCP Paint Control有効時の表示と動作について

- Technicalメニュー > Special Configuration > RM/RCP Paint Control(114ページ) が Onに設定されている場合は、EI操作部にはゲイン値が表示されます。この場合、EI値は変更できませんが、ゲイン値を変更できます(46ページ)。ただし、Base ISOの切り換えは可能です。
- Technicalメニュー > Special Configuration > RM/RCP Paint Control(114ページ) が Onで、RM-B170などのリモートコントロールユニット接続時は、以下の操作部はグレーアウトされ操作できません。リモートコントロールユニットで設定してください(143ページ)。
 - シャッター操作部

- WB操作部
- Gain操作部

Step Edit操作

基本操作の手順2でITEMキー 4の位置に「Step Edit」が表示されていた場合は、選択できる設定値を変更することができます。設定値編集画面で設定値の追加と削除が行えます。

- 1 設定値選択画面で、変更または削除したい設定値にカーソルを合わせ、Step Editボタン (ITEMキー 4) を押す。
設定値編集画面が表示されます。

	+	
Step Edit	↑	Use buttons or dial to select.
	90.0	
	↓	
Add Delete	-	Cancel

- 2 設定値を削除する場合は、Delete (ITEMキー 4) を押す。

[ご注意]
Deleteの文字がオレンジ色の場合に、選択している設定値を削除できます。

- 3 ↑ (ITEMキー 2) ボタン、↓ (ITEMキー 5) ボタンまたはMENUダイヤルで、設定値を変更する。

- 4 設定値が決まったら、Addボタン (ITEMキー 4) を押す。

設定値が追加され、設定値選択画面に戻ります。

[ご注意]
Addの文字がオレンジ色の場合に、設定値を追加できます。

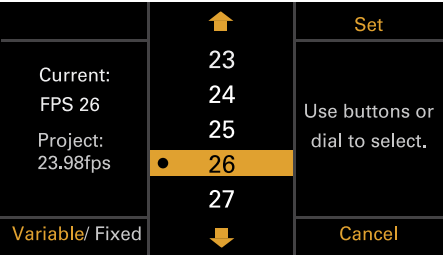
White Balance設定時の操作について

White Balanceの設定値編集画面では、Coarse/Fineボタン (ITEMキー 1) を押すと、1ステップの可変量を「粗い」 (Coarse) または「細かい」 (Fine) に切り換えることができます。また、Temp/Tintボタン (ITEMキー 3) を押すと、変更する値の色温度 (Temp) と色合い (Tint) を切り換えることができます。

Coarse / Fine	+	Temp / Tint
Step Edit	↑	Use buttons or dial to select temp.
(User WB)	3200K +03	
Base: 3200 K + 03	↓	
Add Delete	-	Cancel

FPS操作

ホーム画面でITEMキー 1を押してFPS操作画面表示時、Variable/Fixedボタン(ITEMキー 4)を押すと、Project Frame Rateに対して等速撮影を行う「Fixed」と可変速撮影を行う「Variable (Select FPS)」を切り換えることができます。



- [ご注意]
- Variable(Select FPS) 設定時は音声記録されません。ただし、FPS値がProject Frame Rateと同等である以下の場合には音声記録されます。

Project Frame Rate	FPS
23.98	24
25	25
29.97	30
47.95	48
50	50
59.94	60

- Variable(Select FPS) 設定時は、撮像フレームレートをProject Frame Rateの整数倍に設定しているときのみゲンロック信号とイメージャー読み出しのV位相ロックがかかります。

EI操作/Gain操作

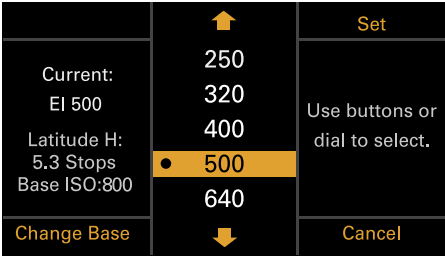
EI値を変更できます。また、Technicalメニュー > Special Configuration > RM/RCP Paint Control(114ページ) がOnの場合は、EI値の代わりにゲイン値が表示されます。RM-B170などのリモートコントロールユニットが接続されていないときに、ゲイン値設定を変更できます。

EI値またはゲイン値を変更する

- [ご注意]
- ここではEI値を変更する場合の画面を例に示します。

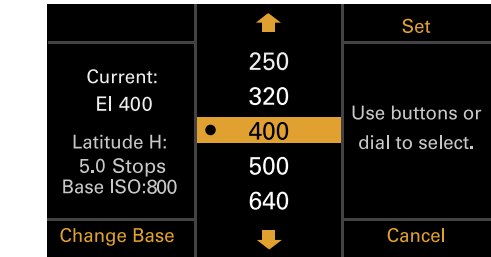
ホーム画面でITEMキー 2を押すと、EI値またはゲイン値を変更できます。

- 1 ホーム画面でITEMキー 2を押す。
EI操作画面またはGain操作画面が表示されます。



- 2 ↑ (ITEMキー 2) ボタン、↓ (ITEMキー 5) ボタンまたはMENUダイヤルで設定値を変更する。

- 3 MENUダイヤルまたはSetボタン(ITEMキー 3)を押して決定する。

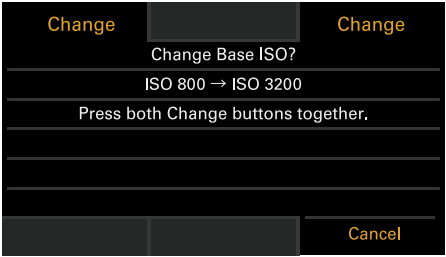


Base ISOを切り換える

EI操作画面またはGain操作画面でITEMキー 4を押すと、Base ISOを切り換えることができます。

- 1 EI操作画面またはGain操作画面でITEMキー 4を押す。
Base ISOの切り換え画面が表示されます。

- 2 2つのChangeボタン(ITEMキー 1とITEMキー 3)を同時に押す。

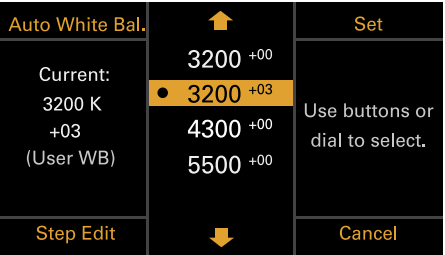


Base ISOが切り換わります(54ページ)。

AWB操作

ホーム画面でITEMキー 6を押してホワイトバランス操作画面表示時、Auto White Bal.ボタン(ITEMキー 1)を押すとオートホワイトバランスを実行します。実行後、Addボタン(ITEMキー 4)

を押して設定値をステップに追加します。また、設定値をステップに追加する前に、Temp/Tintボタン(ITEMキー 3)を押して色温度(Temp)と色合い(Tint)を切り換えることにより各値を微調整できます。



- [ご注意]
- AWB操作を行う場合は、均一適正輝度のホワイトチャートを撮像してください。

インカメラVFX設定操作

LEDウォール色温度(LED Wall Color Temp.) / 照明混合比(Light Blend)を設定する

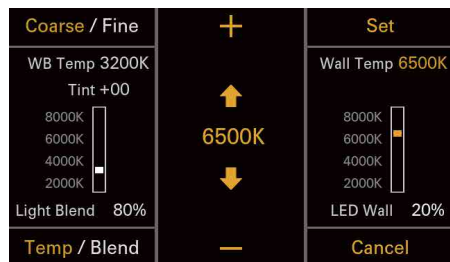
- 1 Technicalメニュー > Special Configuration > In-Camera VFX Mode (114ページ) をOnにする。
ホーム画面のWBボタン表示の右にICVFX (ICVFX) アイコンが表示されます。

- 2 ホーム画面でWBボタン(ITEMキー 6)を押す。
ホワイトバランス操作画面が表示されます。

- 3 ホワイトバランス操作画面に表示されるSet & ICVFX Modeボタン(ITEMキー 3)を押す。インカメラVFX操作画面が表示されます。

【ご注意】

Set & ICVFX Modeボタンを押すと、ホワイトバランス操作画面で変更した設定が保存されます。



Temp/Blendボタン(ITEMキー 4) を押し、LEDウォール色温度(Temp) と照明混合比(Blend) を切り換えることにより各値を調整できます。

また、Coarse/Fineボタン(ITEMキー 1) を押し、1ステップの可変量を「粗い」(Coarse) または「細かい」 (Fine) に切り換えることができます。

LEDウォール色温度

Coarse : 100K

Fine : 1K

照明混合比

Coarse : 10%

Fine : 1%

- 4 ↑ (ITEMキー 2) ボタン、↓ (ITEMキー 5) ボタンまたはMENUダイヤルで、設定値を変更する。

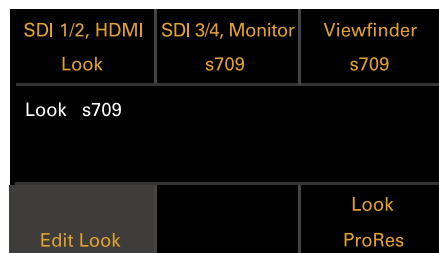
- 5 MENUダイヤルまたはSetボタン(ITEMキー 3) を押し決定する。

LUT操作

LUTを設定する

ホーム画面でITEMキー 5を押すと、各出力系統のLUTを設定できます。

- 1 ホーム画面でITEMキー 5を押す。LUT選択画面が表示されます。



【ご注意】

Projectメニュー > Basic Setting > Input Color Space(88ページ) がRec.2020/User GammaまたはRec.709/User Gammaに設定されている場合は、LUT選択画面にはユーザーガンマの情報が表示されます。

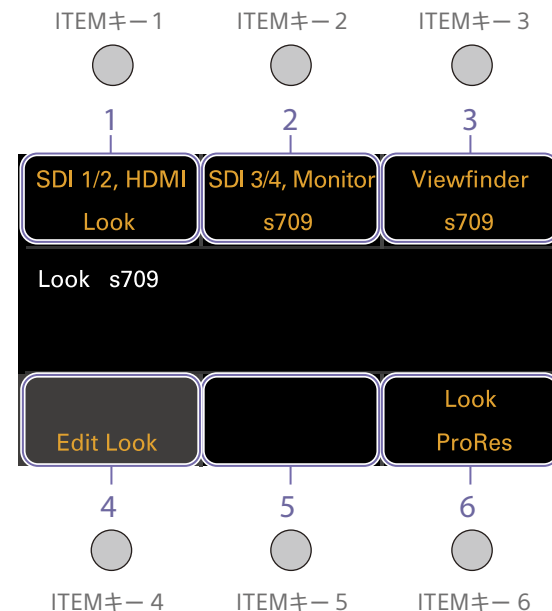
- 2 ITEMキー 1、2、3、6で設定したい出力を選ぶ。設定値変更画面が表示されます。

- 3 ↑ (ITEMキー 2) ボタン、↓ (ITEMキー 5) ボタンまたはMENUダイヤルで、設定値を変更する。

- 4 MENUダイヤルまたはSetボタン(ITEMキー 3) を押し決定する。

LUT選択画面の表示項目

Output Formatの設定によって表示される項目が次のように変わります。



Monitor Out Source(96ページ) の設定がOriginalの場合

Output Format					表示内容				
SDI1/2	SDI3/4	Monitor	HDMI	VF	ITEMキー 1	ITEMキー 2	ITEMキー 3	ITEMキー 5	ITEMキー 6
4K/QFHD 12G/6G	FHD	FHD	4K/QFHD	FHD	SDI 1/2, HDMI	SDI 3/4, Monitor	Viewfinder	空欄	ProRes ¹⁾
			FHD		SDI 1/2	SDI 3/4, Moni, HDMI	Viewfinder	空欄	ProRes ¹⁾
4K/QFHD Square Quad			FHD		SDI 1/2/3/4	空欄	Viewfinder	Monitor, HDMI	ProRes ¹⁾
4K/QFHD 2SI Quad			4K/QFHD		SDI 1-4, HDMI	空欄	Viewfinder	Monitor	ProRes ¹⁾
			FHD		SDI 1/2/3/4	空欄	Viewfinder	Monitor, HDMI	ProRes ¹⁾

Output Format					表示内容				
SDI1/2	SDI3/4	Monitor	HDMI	VF	ITEMキー 1	ITEMキー 2	ITEMキー 3	ITEMキー 5	ITEMキー 6
4K/QFHD 2SI Dual	FHD	FHD	4K/QFHD	FHD	SDI 1/2, HDMI	SDI 3/4, Monitor	Viewfinder	空欄	ProRes ¹⁾
					SDI 1/2	SDI 3/4, Moni, HDMI	Viewfinder	空欄	ProRes ¹⁾
2K/FHD	FHD		FHD		SDI 1/2	SDI 3/4	Viewfinder	Monitor, HDMI	ProRes ¹⁾
FHD	FHD	—	SD		SDI 1/2	SDI 3/4	Viewfinder	Monitor	HDMI

1) Projectメニュー > Basic Setting > Recording FormatがX-OCNフォーマットのときは空欄になります。

Monitor Out Source(96ページ) の設定がVFの場合

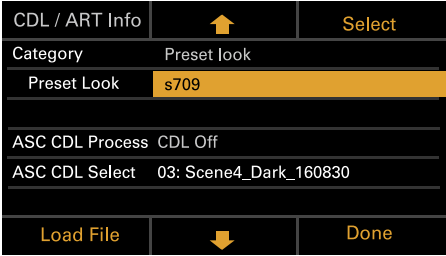
Output Format					表示内容				
SDI1/2	SDI3/4	Monitor	HDMI	VF	ITEMキー 1	ITEMキー 2	ITEMキー 3	ITEMキー 5	ITEMキー 6
4K/QFHD 12G/6G	FHD	FHD	4K/QFHD	FHD	SDI 1/2, HDMI	SDI 3/4	VF, Monitor	空欄	ProRes ¹⁾
					SDI 1/2	SDI 3/4, HDMI	VF, Monitor	空欄	ProRes ¹⁾
4K/QFHD Square Quad			FHD		SDI 1/2/3/4	空欄	VF, Monitor	HDMI	ProRes ¹⁾
					SDI 1-4, HDMI	空欄	VF, Monitor	空欄	ProRes ¹⁾
4K/QFHD 2SI Quad			4K/QFHD	FHD	SDI 1/2/3/4	空欄	VF, Monitor	HDMI	ProRes ¹⁾
					SDI 1/2, HDMI	空欄	VF, Monitor	空欄	ProRes ¹⁾
4K/QFHD 2SI Dual	FHD		4K/QFHD	FHD	SDI 1/2	SDI 3/4, HDMI	VF, Monitor	空欄	ProRes ¹⁾
					SDI 1/2	SDI 3/4, HDMI	VF, Monitor	空欄	ProRes ¹⁾
2K/FHD	FHD		FHD		SDI 1/2	SDI 3/4	VF, Monitor	HDMI	ProRes ¹⁾

1) Projectメニュー > Basic Setting > Recording FormatがX-OCNフォーマットのときは空欄になります。

Preset Lookを変更する

LUT選択画面のEdit Lookボタン(ITEMキー 4) を押すと、LUT選択画面でLookを選択したときのLUTを設定できます。

- 1 LUT選択画面でEdit Lookボタン(ITEMキー 4) を押す。
Look選択画面が表示されます。



- 2 CategoryでPreset Lookを選択して、↓ (ITEMキー 5) ボタンまたはMENUダイヤルでPreset Lookにカーソルを移動し、Selectボタン(ITEMキー 3) を押す。
選択可能な値が表示されます。

- 3 ↑ (ITEMキー 2) ボタン、↓ (ITEMキー 5) ボタンまたはMENUダイヤルで、設定値を変更する。

- 4 MENUダイヤルまたはSetボタン(ITEMキー 3) を押して決定する。

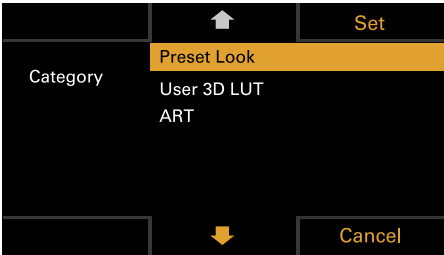
LUT操作のカテゴリーを変更する

LUT操作の対象となるカテゴリーを、User 3D LUT、ART、ACESまたはPreset Lookのいずれかに変更できます(82ページ)。

- 1 LUT選択画面でEdit Lookボタン(ITEMキー 4) を押す。
Look選択画面が表示されます。

- 2 Categoryにカーソルを移動し、MENUダイヤルまたはSelectボタン(ITEMキー 3) を押す。

- 3 ↑ (ITEMキー 2) ボタン、↓ (ITEMキー 5) ボタンまたはMENUダイヤルで、カテゴリー (User 3D LUT、ART、ACESまたはPreset Look) を選択する。



[ご注意]
Projectメニュー > Basic Setting > Input Color Space(88ページ) の設定によって選択肢が以下のようになります。
- S-Gamut3.Cine/SLog3またはS-Gamut3/SLog3 : Preset Look / User 3D LUT / ART
- ACEScct : Preset Look / ACEScct with User 3D / ACESproxy with User 3D / ACES with ART

- 4 MENUダイヤルまたはSetボタン(ITEMキー 3) を押して決定する。

User 3D LUTファイルを読み込む

SDカードに保存されているUser 3D LUTファイルを本機に読み込むことができます。

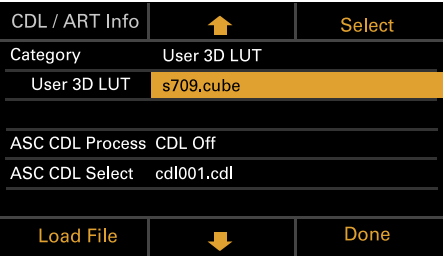
ネットワーク経由でUser 3D LUTファイルを本機に読み込むこともできます(128ページ)。

[ご注意]

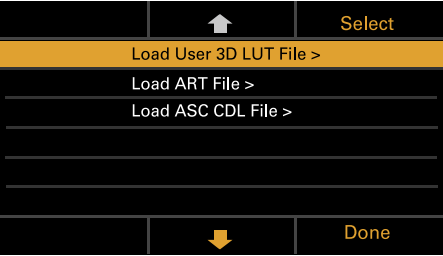
User 3D LUTファイルは、SDカードの以下の階層に保存してください(135ページ)。
PRIVATE\SONY\PRO\LUT\

- 1 SDカードスロット(14 ページ) にSDカードを差し込む。
- 2 LUT選択画面でEdit Lookボタン(ITEMキー 4) を押す。
Look選択画面が表示されます。

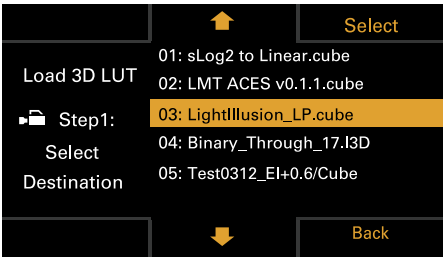
- 3 Load Fileボタン(ITEMキー 4) を押す。
読み込むファイルの種類を選択する画面が表示されます。



- 4 ↑ (ITEMキー 2) ボタン、↓ (ITEMキー 5) ボタンまたはMENUダイヤルで、Load User 3D LUT Fileを選択する。

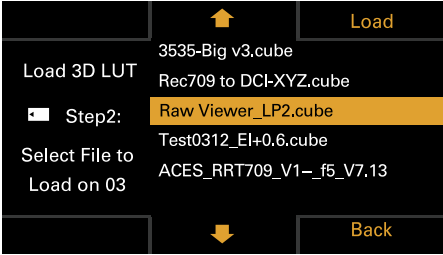


- 5 MENUダイヤルまたはSelectボタン(ITEMキー 3) を押す。
読み込み先の番号(01 ~ 16) が表示されます。
読み込み済みの番号にはファイル名が表示されます。



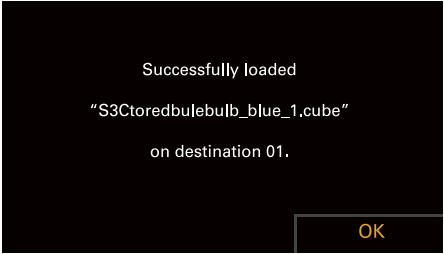
- 6 ↑ (ITEMキー 2) ボタン、↓ (ITEMキー 5) ボタンまたはMENUダイヤルで、読み込み先の番号を選択する。

- 7 MENUダイヤルまたはSelectボタン(ITEMキー 3) を押す。
SDカードに保存されているUser 3D LUTのファイル名が表示されます。



- 8 ↑ (ITEMキー 2) ボタン、↓ (ITEMキー 5) ボタンまたはMENUダイヤルで、ファイルを選択する。

- 9 MENUダイヤルまたはLoadボタン(ITEMキー 3) を押す。
ファイルの読み込みが完了すると、「Successfully loaded」が表示されます。



- 10 OKボタン(ITEMキー 6) を押す。

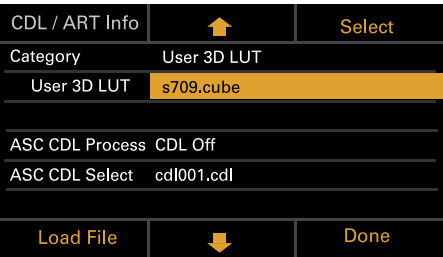
ARTファイルを読み込む

SDカードに保存されているARTファイルを本機に読み込むことができます。
ネットワーク経由でARTファイルを本機に読み込むこともできます(129ページ)。

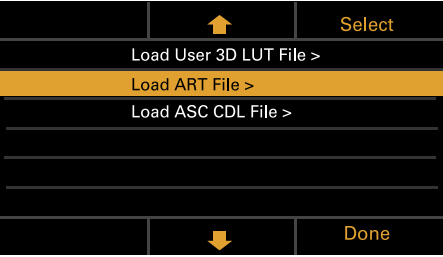
[ご注意]

ARTファイルは、SDカードの以下の階層に保存してください(135ページ)。
MPC-3628 :
PRIVATE\SONY\PRO\CAMERA\MPC3628
MPC-3626 :
PRIVATE\SONY\PRO\CAMERA\MPC3626

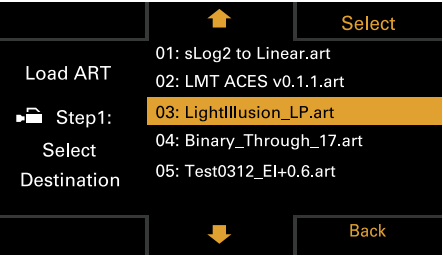
- 1 SDカードスロット(14 ページ) にSDカードを差し込む。
- 2 LUT選択画面でEdit Lookボタン(ITEMキー 4) を押す。
Look選択画面が表示されます。
- 3 Load Fileボタン(ITEMキー 4) を押す。
読み込むファイルの種類を選択する画面が表示されます。



- 4 ↑ (ITEMキー 2) ボタン、↓ (ITEMキー 5) ボタンまたはMENUダイヤルで、Load ART Fileを選択する。



- 5 MENUダイヤルまたはSelectボタン(ITEMキー 3) を押す。
読み込み先の番号(01 ~ 16) が表示されます。
読み込み済みの番号にはファイル名が表示されます。



6 ↑ (ITEMキー 2) ボタン、↓ (ITEMキー 5) ボタンまたはMENUダイヤルで、読み込み先の番号を選択する。

7 MENUダイヤルまたはSelectボタン(ITEMキー 3) を押す。
SDカードに保存されているARTのファイル名が表示されます。



8 ↑ (ITEMキー 2) ボタン、↓ (ITEMキー 5) ボタンまたはMENUダイヤルで、ファイルを選択する。

9 MENUダイヤルまたはLoadボタン(ITEMキー 3) を押す。
ファイルの読み込みが完了すると、「Successfully loaded」が表示されます。



10 OKボタン(ITEMキー 6) を押す。

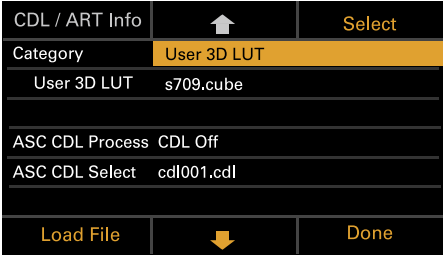
ASC CDLファイルを読み込む

SDカードに保存されているASC CDLファイルを本機に読み込むことができます。
ネットワーク経由でASC CDLファイルを本機に読み込むこともできます(129ページ)。

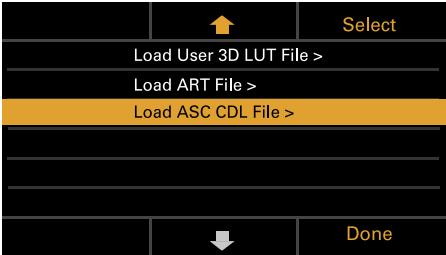
【ご注意】
ASC CDLファイルは、SDカードの以下の階層に保存してください(135ページ)。
PRIVATE\SONY\PRO\CDL\

- 1 SDカードスロット(14ページ) にSDカードを差し込む。
- 2 LUT選択画面でEdit Lookボタン(ITEMキー 4) を押す。
Look選択画面が表示されます。

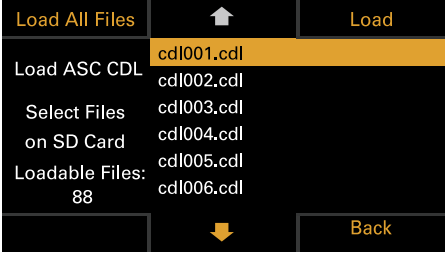
3 Load Fileボタン(ITEMキー 4) を押す。
読み込むファイルの種類を選択する画面が表示されます。



4 Load ASC CDL Fileを選択し、MENUダイヤルまたはSelectボタン(ITEMキー 3) を押す。



SDカードに保存されているASC CDLのファイル名が表示されます。



5 ↑ (ITEMキー 2) ボタン、↓ (ITEMキー 5) ボタンまたはMENUダイヤルで、ファイルを選択する。

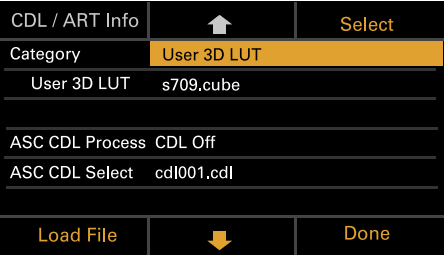
6 MENUダイヤルまたはLoadボタン(ITEMキー 3) を押す。
Load All Filesボタン(ITEMキー 1) を押すと、すべてのファイルを読み込むことができます。
ファイルの読み込みが完了すると、「Successfully loaded」が表示されます。

7 OKボタン(ITEMキー 6) を押す。

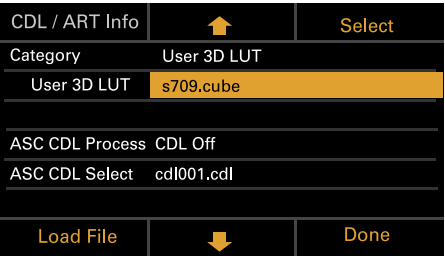
User 3D LUTファイルを変更する

現在選択されているUser 3D LUTファイルを変更できます。

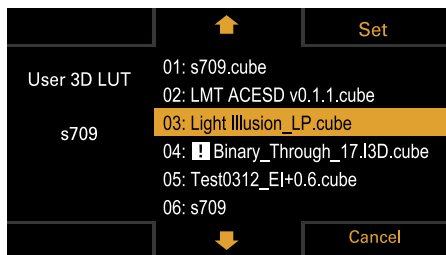
- 1 LUT選択画面でEdit Lookボタン(ITEMキー 4) を押す。
Look選択画面が表示されます。
- 2 Categoryにカーソルを移動し、MENUダイヤルまたはSelectボタン(ITEMキー 3) を押して、User 3D LUTを選択する。



3 User 3D LUTにカーソルを移動し、MENUダイヤルまたはSelectボタン(ITEMキー 3) を押す。



- 4 ↑ (ITEMキー 2) ボタン、↓ (ITEMキー 5) ボタンまたはMENUダイヤルで、User 3D LUTファイルを変更する。

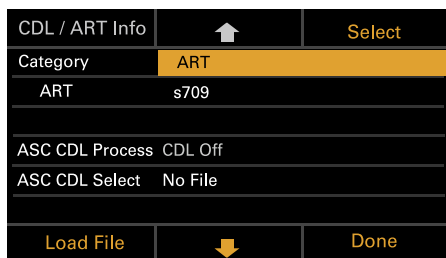


- 5 MENUダイヤルまたはSetボタン(ITEMキー 3) を押して決定する。

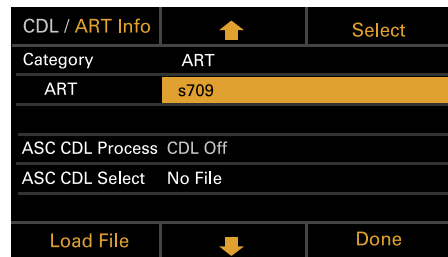
ARTファイルを変更する

現在選択されているARTファイルを変更できます。

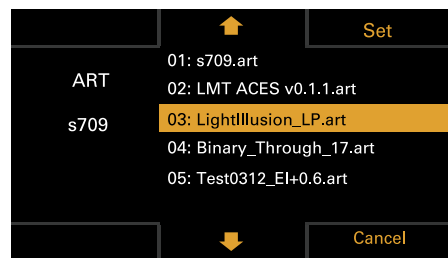
- 1 LUT選択画面でEdit Lookボタン(ITEMキー 4) を押す。
Look選択画面が表示されます。
- 2 Categoryにカーソルを移動し、MENUダイヤルまたはSelectボタン(ITEMキー 3) を押して、ARTを選択する。



- 3 ARTにカーソルを移動し、MENUダイヤルまたはSelectボタン(ITEMキー 3) を押す。



- 4 ↑ (ITEMキー 2) ボタン、↓ (ITEMキー 5) ボタンまたはMENUダイヤルで、ARTファイルを変更する。

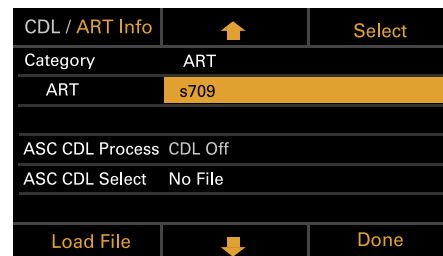


- 5 MENUダイヤルまたはSetボタン(ITEMキー 3) を押して決定する。

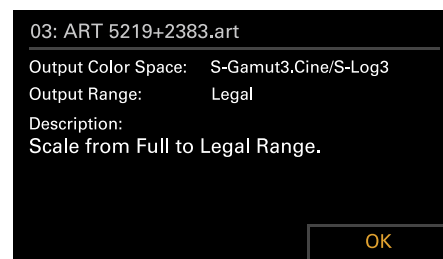
ARTファイルの情報を表示する

現在選択されているARTファイルの情報を表示できます。

- 1 LUT選択画面でEdit Lookボタン(ITEMキー 4) を押す。
Look選択画面が表示されます。
- 2 ARTにカーソル移動し、CDL / ART Infoボタン(ITEMキー 1) を押す。



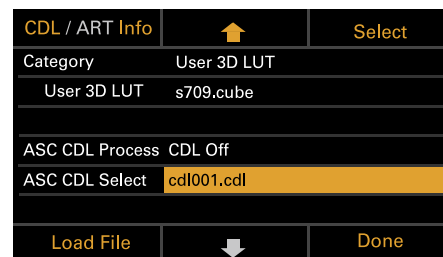
ARTファイルの情報が表示されます。



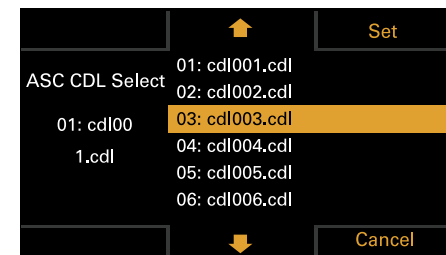
ASC CDLファイルを変更する

現在選択されているASC CDLファイルを変更できます。

- 1 LUT選択画面でEdit Lookボタン(ITEMキー 4) を押す。
Look選択画面が表示されます。
- 2 ASC CDL Selectを選択し、MENUダイヤルまたはSelectボタン(ITEMキー 3) を押す。



- 3 ↑ (ITEMキー 2) ボタン、↓ (ITEMキー 5) ボタンまたはMENUダイヤルで、ASC CDLファイルを変更する。



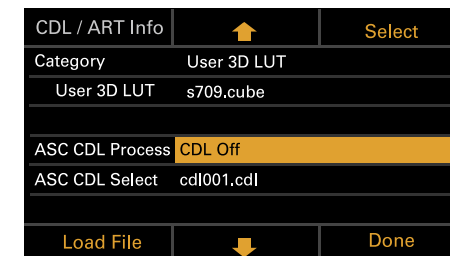
[ご注意]

本機に適用できないファイルはグレイアウト表示されます。

- 4 MENUダイヤルまたはSetボタン(ITEMキー 3) を押して決定する。

ASC CDLファイルの処理順を指定する

Look選択画面のASC CDL ProcessでASC CDLの処理の順番を指定することができます。



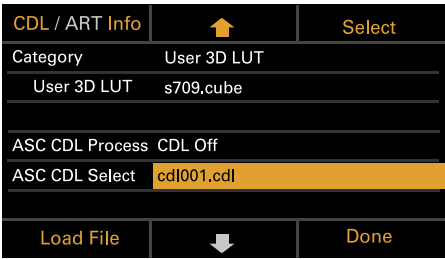
ASC CDLファイルの情報を表示する

現在選択されているASC CDLファイルの情報を表示できます。

- 1 LUT選択画面でEdit Lookボタン(ITEMキー 4) を押す。

Look選択画面が表示されます。

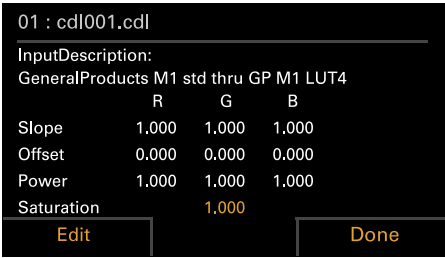
- 2 ASC CDL Selectにカーソルを移動し、CDL / ART Infoボタン(ITEMキー 1) を押す。ASC CDLファイルの情報画面が表示されます。



ASC CDLファイルの情報画面では、Saturationの設定を変更することができません。

Saturationを変更する

- 1 ASC CDLファイルの情報画面でEditボタン (ITEMキー 4) を押す。Saturationの編集画面が表示されます。



- 2 MENUダイヤルで変更する桁にカーソルを移動し、MENUダイヤルを押す。



- 3 MENUダイヤルで設定値を変更し、MENUダイヤルを押す。Saturationの設定可能範囲は0.000 ～ 3.999です。

【ご注意】
設定可能範囲を超えた値を入力してMENUダイヤルを押すと、変更前の値に戻ります。

- 4 MENUダイヤルでSetボタンにカーソルを移動し、MENUダイヤルを押して決定する。

【ご注意】
Saturationの設定値が変更されると、ASC CDLファイルの情報画面の最上段の設定ファイル名の先頭に「Edited:」が表示されます。

ASC CDLファイルの設定可能範囲について

ASC CDLファイルの設定可能範囲は以下のとおりです。範囲を超えたファイルは読み込めません。
Slope : 0.000 ～ 3.999
Offset : -1.000 ～ 1.000
Power : 0.400 ～ 4.000
Saturation : 0.000 ～ 3.999

サブディスプレイのホーム画面設定項目一覧

各項目名称と設定内容は次のとおりです。
太字とアンダーラインで表示されている設定値は、出荷時の設定です。

項目	内容																
FPS	撮像フレームレートを設定する。 Variable/Fixed : 等速撮影と可変速撮影を切り換えます。 「Fixed」を選択した場合、メニューのProjectカテゴリー > Project Frame Rate(64ページ) の設定で値が決まります。																
<table><tr><th>Project Frame Rate</th><th>表示</th></tr><tr><td>23.98</td><td>Fix 23.98</td></tr><tr><td>24</td><td>Fix 24.00</td></tr><tr><td>25</td><td>Fix 25.00</td></tr><tr><td>29.97</td><td>Fix 29.97</td></tr><tr><td>47.95</td><td>Fix 47.95</td></tr><tr><td>50</td><td>Fix 50.00</td></tr><tr><td>59.94</td><td>Fix 59.94</td></tr></table>		Project Frame Rate	表示	23.98	Fix 23.98	24	Fix 24.00	25	Fix 25.00	29.97	Fix 29.97	47.95	Fix 47.95	50	Fix 50.00	59.94	Fix 59.94
Project Frame Rate	表示																
23.98	Fix 23.98																
24	Fix 24.00																
25	Fix 25.00																
29.97	Fix 29.97																
47.95	Fix 47.95																
50	Fix 50.00																
59.94	Fix 59.94																

項目	内容																												
	「Variable」を選択した場合、Projectカテゴリー > Imager Mode(88ページ) とRecording Format(88ページ) の設定によって、設定値が次のように異なります。																												
	X-OCN記録時																												
	MPC-3628																												
	<table><tr><th>Imager Mode</th><th>撮像フレームレート</th></tr><tr><td>8.6K 3:2</td><td>1 ~ 30 FPS</td></tr><tr><td>8.6K 17:9</td><td>1 ~ 48 FPS</td></tr><tr><td>8.1K 16:9</td><td></td></tr><tr><td>8.2K 17:9</td><td>1 ~ 60 FPS</td></tr><tr><td>7.6K 16:9</td><td></td></tr><tr><td>8.2K 2.39:1</td><td>1 ~ 60、66、72 FPS</td></tr><tr><td>5.8K 6:5</td><td>1 ~ 48 FPS</td></tr><tr><td>5.8K 4:3</td><td>1 ~ 60 FPS</td></tr><tr><td>5.8K 17:9</td><td>1 ~ 60、66、72、75、88、90 FPS</td></tr><tr><td>5.4K 16:9</td><td></td></tr><tr><td>5.5K 2.39:1</td><td>1 ~ 60、66、72、75、88、90、96、100、110、120 FPS</td></tr></table>	Imager Mode	撮像フレームレート	8.6K 3:2	1 ~ 30 FPS	8.6K 17:9	1 ~ 48 FPS	8.1K 16:9		8.2K 17:9	1 ~ 60 FPS	7.6K 16:9		8.2K 2.39:1	1 ~ 60、66、72 FPS	5.8K 6:5	1 ~ 48 FPS	5.8K 4:3	1 ~ 60 FPS	5.8K 17:9	1 ~ 60、66、72、75、88、90 FPS	5.4K 16:9		5.5K 2.39:1	1 ~ 60、66、72、75、88、90、96、100、110、120 FPS				
Imager Mode	撮像フレームレート																												
8.6K 3:2	1 ~ 30 FPS																												
8.6K 17:9	1 ~ 48 FPS																												
8.1K 16:9																													
8.2K 17:9	1 ~ 60 FPS																												
7.6K 16:9																													
8.2K 2.39:1	1 ~ 60、66、72 FPS																												
5.8K 6:5	1 ~ 48 FPS																												
5.8K 4:3	1 ~ 60 FPS																												
5.8K 17:9	1 ~ 60、66、72、75、88、90 FPS																												
5.4K 16:9																													
5.5K 2.39:1	1 ~ 60、66、72、75、88、90、96、100、110、120 FPS																												
	MPC-3626																												
	<table><tr><th>Imager Mode</th><th>撮像フレームレート</th></tr><tr><td>6K 3:2</td><td>1 ~ 60 FPS</td></tr><tr><td>6K 1.85:1</td><td>1 ~ 60、66、72 FPS</td></tr><tr><td>6K 17:9</td><td></td></tr><tr><td>5.7K 16:9</td><td></td></tr><tr><td>6K 2.39:1</td><td>1 ~ 60、66、72、75、88、90 FPS</td></tr><tr><td>4K 6:5</td><td>1 ~ 60、66、72 FPS</td></tr><tr><td>4K 4:3</td><td>1 ~ 60、66、72、75 FPS</td></tr><tr><td>4K 4:3 Surround View</td><td>1 ~ 30 FPS</td></tr><tr><td>4K 17:9</td><td>1 ~ 60、66、72、75、88、90、96、100、110 FPS</td></tr><tr><td>3.8K 16:9</td><td></td></tr><tr><td>4K 17:9 Surround View</td><td>1 ~ 48 FPS</td></tr><tr><td>3.8K 16:9 Surround View</td><td></td></tr><tr><td>4K 2.39:1</td><td>1 ~ 60、66、72、75、88、90、96、100、110、120 FPS</td></tr></table>	Imager Mode	撮像フレームレート	6K 3:2	1 ~ 60 FPS	6K 1.85:1	1 ~ 60、66、72 FPS	6K 17:9		5.7K 16:9		6K 2.39:1	1 ~ 60、66、72、75、88、90 FPS	4K 6:5	1 ~ 60、66、72 FPS	4K 4:3	1 ~ 60、66、72、75 FPS	4K 4:3 Surround View	1 ~ 30 FPS	4K 17:9	1 ~ 60、66、72、75、88、90、96、100、110 FPS	3.8K 16:9		4K 17:9 Surround View	1 ~ 48 FPS	3.8K 16:9 Surround View		4K 2.39:1	1 ~ 60、66、72、75、88、90、96、100、110、120 FPS
Imager Mode	撮像フレームレート																												
6K 3:2	1 ~ 60 FPS																												
6K 1.85:1	1 ~ 60、66、72 FPS																												
6K 17:9																													
5.7K 16:9																													
6K 2.39:1	1 ~ 60、66、72、75、88、90 FPS																												
4K 6:5	1 ~ 60、66、72 FPS																												
4K 4:3	1 ~ 60、66、72、75 FPS																												
4K 4:3 Surround View	1 ~ 30 FPS																												
4K 17:9	1 ~ 60、66、72、75、88、90、96、100、110 FPS																												
3.8K 16:9																													
4K 17:9 Surround View	1 ~ 48 FPS																												
3.8K 16:9 Surround View																													
4K 2.39:1	1 ~ 60、66、72、75、88、90、96、100、110、120 FPS																												

項目

内容

ProRes記録時

MPC-3628

Imager Mode	撮像フレームレート	
	4K / QFHD ProRes	
	4444 XQ/4444	422 HQ
8.6K 3:2	1 ~ 30 FPS	1 ~ 30 FPS
8.2K 17:9	1 ~ 60 FPS	1 ~ 60 FPS
7.6K 16:9		
5.8K 4:3		
8.6K 17:9	1 ~ 48 FPS	1 ~ 48 FPS
8.1K 16:9		
5.8K 6:5		
8.2K 2.39:1	1 ~ 60 FPS	1 ~ 60、66、72 FPS
5.8K 17:9	1 ~ 60 FPS	1 ~ 60、66、72、75 FPS
5.5K 2.39:1		
5.4K 16:9		

MPC-3626

Imager Mode	撮像フレームレート	
	4K / QFHD ProRes	
	4444 XQ/4444	422 HQ
6K 17:9	1 ~ 60 FPS	1 ~ 60、66、72 FPS
5.7K 16:9		
6K 2.39:1	1 ~ 60 FPS	1 ~ 60、66、72、75 FPS
4K 6:5	1 ~ 60 FPS	1 ~ 60、66、72 FPS
4K 4:3	1 ~ 60 FPS	1 ~ 60、66、72、75 FPS
4K 17:9	1 ~ 60 FPS	1 ~ 60、66、72、75、
3.8K 16:9		88、90 FPS
4K 17:9 Surround View	1 ~ 48 FPS	1 ~ 48 FPS
3.8K 16:9 Surround View		
4K 2.39:1	1 ~ 60 FPS	1 ~ 60、66、72、75、
		88、90 FPS

【ご注意】

以下に設定されている場合は、7以下の撮像フレームレートを設定できません。

Base ISOがISO 3200

Base ISOがISO 2500かつ記録フォーマットがProRes

Project Frame Rateが24/25/50の場合は33.33 FPSを設定できます。

項目	内容
Exposure Index	<p>EI値を設定する。Change Baseボタン(ITEMキー 4) を押して、次の画面で2つのChangeボタン(ITEMキー 1とITEMキー 3) を同時に押すと、Base ISOを切り換えることができます。Base ISOの設定によって、設定値が次のように異なります。</p> <p>MPC-3628</p> <p>Base ISO 800 :</p> <p>200EI/250EI/320EI/400EI/500EI/640EI/<u>800EI</u>/1000EI/1250EI/1600EI/2000EI/2500EI/3200EI</p> <p>Base ISO 3200 :</p> <p>800EI/1000EI/1250EI/1600EI/2000EI/2500EI/<u>3200EI</u>/4000EI/5000EI/6400EI/8000EI/10000EI/12800EI</p> <p>MPC-3626</p> <p>Base ISO 500 :</p> <p>125EI/160EI/200EI/250EI/320EI/400EI/<u>500EI</u>/640EI/800EI/1000EI/1250EI/1600EI/2000EI</p> <p>Base ISO 2500 :</p> <p>640EI/800EI/1000EI/1250EI/1600EI/2000EI/<u>2500EI</u>/3200EI/4000EI/5000EI/6400EI/8000EI/10000EI</p>
Gain	<p>基準感度を設定する。</p> <p>−6dB/−3dB/<u>0dB</u>/3dB/6dB/9dB/12dB/15dB/18dB</p> <p>[ご注意]</p> <p>Technicalメニュー > Special Configuration > RM/RCP Paint Control(114ページ) がOnで、RM-B170などのリモートコントロールユニットが接続されていない場合のみ設定できます。</p>

項目	内容
Shutter	<p>電子シャッターの開角度／スピードを設定する。</p> <p>Step/Cont.ボタン(ITEMキー 1) を押して、StepとCont.を切り換えることで選択方法が変えられます。</p> <p>Step : ステップシャッターとして登録されている最大16種類のプリセット値から選択する。(選択後、Step Editボタンを(ITEMキー 4) を押すと、任意の設定値をプリセット値から変更することができます。)</p> <p>フルメニューのTechnical > System Configuration > Shutter Mode (109ページ) の設定によって次のように選択肢が表示される。</p> <p>Angle : 開角度表示</p> <p>工場出荷時の選択肢</p> <p>360/180/172.8/144/90/45/22.5/11.2/5.6</p> <p>Speed : スピード表示</p> <p>工場出荷時の選択肢</p> <p>1/24、1/25、1/30、1/50、1/60、1/100、1/120、1/250、1/500、1/1000、1/2000¹⁾</p> <p>[ご注意]</p> <p>スピードの初期値はProject Frame Rate(64ページ) の設定によって次のようになります。</p> <p>23.98/24 : 1/24, 25 : 1/25, 29.97 : 1/30, 47.95 : 1/48, 50 : 1/50, 59.94 : 1/60</p> <p>Cont. : 設定可能な任意の開角度／スピードを選択する。</p>
ND Filter	<p>NDフィルターのポジションを設定する。設定値は以下のとおりです。</p> <p><u>Clear</u>/0.3/0.6/0.9/1.2/1.5/1.8/2.1/2.4</p>

項目	内容
LUT	各種出力映像に適用するLUTに関する設定を行う。メニューのProject カテゴリー > Input Color SpaceおよびTechnicalメニュー > Special Configuration > RM/RCP Paint Control(114ページ) の設定によって設定 値が異なる。
SDI 1/2	SDI 1/2出力映像に適用するLUTを選択する。 RM/RCP Paint ControlがOffのとき： メニューのProjectカテゴリー > Input Color Spaceの設定によって、設定 値が次のように異なります。 S-Gamut3.Cine/SLog3またはS-Gamut3/SLog3 : Log/ Log(Legal)/ Look ACEScct : Log/ Look RM/RCP Paint ControlがOnのとき： メニューのProjectカテゴリー > Input Color Spaceの設定によって、設定 値が次のように異なります。 S-Gamut3.Cine/SLog3またはS-Gamut3/SLog3 : Log /Look HLG(Natural) : HLG(Natural) HLG(Live) : HLG(Live) Rec.2020/User GammaまたはRec.709/User Gamma : User Gamma [ご注意] 項目名表示が「SDI 1-4」の場合(47ページ) は、SDI1/2の設定と共通になります。
SDI 3/4	SDI 3/4出力映像に適用するLUTを選択する。 RM/RCP Paint ControlがOffのとき： メニューのProjectカテゴリー > Input Color Spaceの設定によって、設定 値が次のように異なります。 S-Gamut3.Cine/SLog3またはS-Gamut3/SLog3 : Log/ Log(Legal)/ Look ACEScct : Log/ Look RM/RCP Paint ControlがOnのとき： メニューのProjectカテゴリー > Input Color Spaceの設定によって、設定 値が次のように異なります。 S-Gamut3.Cine/SLog3またはS-Gamut3/SLog3 : Log /Look HLG(Natural) : HLG(Natural) HLG(Live) : HLG(Live) Rec.2020/User GammaまたはRec.709/User Gamma : User Gamma [ご注意] <ul style="list-style-type: none"> 項目名表示が「SDI 3/4, Monitor」または「SDI 3/4, Moni, HDMI」の場合(47ページ) は、Monitorの設定と共通になります。設定値は、Monitor(55ページ) をご覧くだ さい。 項目名表示が「SDI 3/4, HDMI」の場合(47ページ) は、Monitor Out Sourceが OriginalのときのMonitorの設定と共通になります。設定値は、Monitor(55ページ) をご覧ください。

項目	内容
Monitor	Monitor出力映像に適用するLUTを選択する。 RM/RCP Paint ControlがOffのとき： メニューのProjectカテゴリー > Input Color Spaceの設定によって、設定 値が次のように異なります。 S-Gamut3.Cine/SLog3またはS-Gamut3/SLog3 : Log/Log(Legal)/ s709 /R709(800%)/Look ACEScct : Log/ACES 1.0 Output-Rec.709/ s709 /R709(800%)/ Look RM/RCP Paint ControlがOnのとき： メニューのProjectカテゴリー > Input Color Spaceの設定によって、設定 値が次のように異なります。 S-Gamut3.Cine/SLog3またはS-Gamut3/SLog3 : Log /s709/ R709(800%)/Look HLG(Natural) : HLG(Natural) /R709(800%) HLG(Live) : HLG(Live) /R709(800%) Rec.2020/User Gamma : User Gamma /R709-Like Rec.709/User Gamma : User Gamma [ご注意] 項目名表示が「VF, Monitor」となる場合(Monitor Out Sourceの設定がVFの場合(48 ページ)) は、Viewfinderの設定と共通になります。設定値は、Viewfinder(56ページ) をご覧ください。
HDMI	HDMI出力映像に適用するLUTを選択する。 項目名表示(47ページ) によって、設定値が次のように異なります。 「SDI 1/2,HDMI」または「SDI 1-4,HDMI」の場合： SDI 1/2の設定と共通になります。設定値は、SDI 1/2(55ページ) をご 覧ください。 「Monitor,HDMI」または「SDI 3/4,Moni,HDMI」の場合： Monitorの設定と共通になります。設定値は、Monitor(55ページ) を ご覧ください。 「HDMI」または「SDI 3/4,HDMI」の場合： Monitor Out Source(96ページ) がOriginalのときのMonitorの設定 と共通になります。設定値は、Monitor(55ページ) をご覧ください。

項目	内容
Viewfinder	ビューファインダー・モニター画面出力映像に適用するLUTを選択する。 RM/RCP Paint ControlがOffのとき： メニューのProjectカテゴリー > Input Color Spaceの設定によって、設定値が次のように異なります。 S-Gamut3.Cine/SLog3またはS-Gamut3/SLog3 : Log/ s709 / R709(800%)/Look ACEScct : Log/ACES 1.0 Output-Rec.709/ s709 /R709(800%)/ Look RM/RCP Paint ControlがOnのとき： メニューのProjectカテゴリー > Input Color Spaceの設定によって、設定値が次のように異なります。 S-Gamut3.Cine/SLog3またはS-Gamut3/SLog3 : Log/ s709 / R709(800%) /Look HLG(Natural) : HLG(Natural)/ R709(800%) HLG(Live) : HLG(Live)/ R709(800%) Rec.2020/User Gamma : User Gamma/ R709-Like Rec.709/User Gamma : User Gamma
ProRes (Recording)	RM/RCP Paint ControlがOffのとき : Log /Look ProRes記録映像に適用するLUTを選択する。 RM/RCP Paint ControlがOnのとき : Log/HLG(Natural)/HLG(Live)/User Gamma ProRes記録映像の設定値は、メニューのProjectカテゴリー > Input Color Spaceの設定で決まるため表示のみ。 <div>【ご注意】</div> Projectメニュー > Basic Setting > Recording Format(88ページ) がProRes フォーマットの場合に表示され、設定できます。
Edit Look	Lookの各種設定(Category、Preset Look、User 3D LUT、ART、ASC CDL) を変更する。 各設定項目について詳しくは、フルメニュー Shooting > Look(82ページ) をご覧ください。

項目	内容
WB(White Balance)	ホワイトバランスの色温度／色合いを設定する。 工場出荷時の選択肢 3200K+00 /4300K+00/5500K+00 (Step Editボタン(ITEMキー 4) を押すとホワイトバランスのプリセット値と Tint値を変更できます。) Auto White Bal. : オートホワイトバランスを実行する。
ICVFX	インカメラVFX関連の設定を行う。 LED Wall Color Temp. : LEDウォールの色温度を設定する。 2000K ~ 15000K(6500K) Light Blend : インカメラVFX撮影時の標準照明とLEDウォールによる背景照 明の混合比率を設定する。 0% ~ 100% 100% : 標準照明の比率が100% 0% : LEDウォール照明の比率が100% <div>【ご注意】</div> Technicalメニュー > Special Configuration > In-Camera VFX Mode(114ページ) がオンのときのみ表示されます。

1) プロジェクトフレームレートが59.94の場合は1/60以降の値、50.0の場合は1/50以降の値、29.97の場合は1/30以降の値、25.0の場合は1/25以降の値が選択肢となります。

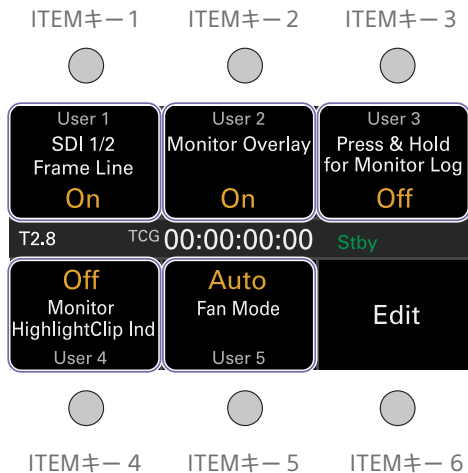
ユーザー機能画面

USERボタン(12ページ)を押すと、サブディスプレイにユーザー機能画面が表示され、ITEMキー1～5をアサインابلボタン(User1～5)として機能させることができます。

また、機能を割り当てて使用できるアサインابلボタン(1～4)が4個^{*}(10ページ、11ページ、12ページ)と、ビューファインダー(DVF-EL200)アサインابلボタン(VF A～VF C)があります。

^{*} CBK-3620XS接続時は(1～7)の7個になります。
CBK-3621XS接続時は(1～5)の5個になります。

これらのボタンへの機能の割り当てはユーザー機能画面で行えるほか、フルメニューのProjectメニュー>Assignable Buttonで行えます。

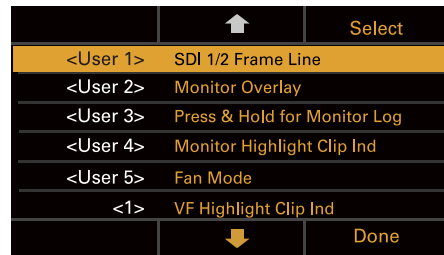


【ご注意】

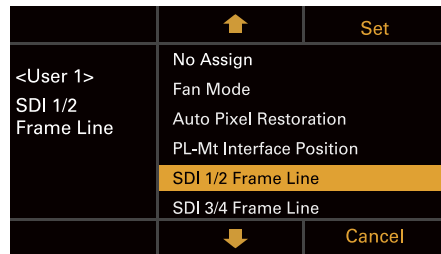
アイリス設定表示対応レンズ装着時は、ユーザー機能画面の左側中央にアイリスの位置が表示されます。

ボタンの機能を変更する

ユーザー機能画面のEdit(ITEMキー 6)を押すとユーザー機能選択画面が表示されます。ユーザー機能選択画面で、User 1～5とアサインابلボタン1～4(CBK-3620XS接続時は1～7、CBK-3621XS接続時は1～5)、ビューファインダーアサインابلボタンA～Cの機能を設定します。



- 1 ユーザー機能選択画面で、変更したいボタンにカーソルを合わせ、Select(ITEMキー 3)を押す。
選択可能な機能が表示されます。



- 2 ↑ (ITEMキー 2) ボタン、↓ (ITEMキー 5) ボタンまたはMENUダイヤルで、設定値を変更する。
- 3 設定値が決まったら、Setボタン(ITEMキー 3)を押す。
画面がユーザー機能画面に切り換わり、変更した機能が表示されます。

工場出荷時には、それぞれ下表に示す機能が割り当てられています。

ボタン	機能	Assignable Buttonの設定
アサインابل1	高輝度のためクリップされた箇所を赤色にしてビューファインダーに表示する。	VF Highlight Clip Ind
アサインابل2	未設定	Not Assigned
アサインابل3	未設定	Not Assigned
アサインابل4	未設定	Not Assigned
アサインابل5 ¹⁾	未設定	Not Assigned
アサインابل6 ²⁾	未設定	Not Assigned
アサインابل7 ²⁾	未設定	Not Assigned
ITEMキー 1	未設定	Not Assigned
ITEMキー 2	未設定	Not Assigned
ITEMキー 3	未設定	Not Assigned
ITEMキー 4	高輝度のためクリップされた箇所を赤色にしてMonitor出力に表示する。	Monitor Highlight Clip Ind
ITEMキー 5	ファンの回転方法を設定する。	Fan Mode
ビューファインダーアサインابلA	ビューファインダーのピント拡大機能をオン/オフする。	VF Focus Magnifier
ビューファインダーアサインابلB	ビューファインダーに表示するフォルスカラー機能をオン/オフする。	VF Exposure Assist
ビューファインダーアサインابلC	ビューファインダー・モニター画面出力映像への情報の表示をオン/オフする。	VF Overlay

1) CBK-3620XSまたはCBK-3621XS接続時に設定可能

2) CBK-3620XS接続時に設定可能

ITEMキー 1～5に割り当て可能な機能

Assignable Buttonの設定	機能	再起動後の状態
No Assign	未設定	—
Fan Mode	ファンの回転方法を選択する。 キーを押すたびにAuto→Max→Off in Rec/ Auto→Off in Rec/Maxと切り換わる。	設定を保持する
Auto Pixel Restoration	Auto Pixel Restorationを実行する。	—

Assignable Button の設定	機能	再起動後の状態
PL-Mt Interface Position	PLマウントレンズのインターフェース位置を設定する。 キーを押すたびにTop→Side→Offと切り換わる。	設定を保持する
SDI 1/2 Frame Line	SDI 1/2出力映像へのフレームラインの重畳をオン／オフする。	設定を保持する
SDI 3/4 Frame Line	SDI 3/4出力映像へのフレームラインの重畳をオン／オフする。	設定を保持する
SDI Overlay	SDI出力映像への情報の表示をオン／オフする。	設定を保持する
Press&Hold for SDI12 Log	押している間だけSDI 1/2出力映像に適用しているLUTをOffにして、LUTを適用しないLogの画質にする。	設定を保持しない
Press&Hold for SDI34 Log	押している間だけSDI 3/4出力映像に適用しているLUTをOffにして、LUTを適用しないLogの画質にする。 SDI 3/4出力とMonitor出力が連動している場合は、Press & Hold for Moni Logも有効になる。	設定を保持しない
Monitor Frame Line	Monitor出力映像へのフレームラインの重畳をオン／オフする。	設定を保持する
Monitor Overlay	Monitor出力映像への情報の表示をオン／オフする。	設定を保持する
Press & Hold for Moni Log ⁴⁾	押している間だけMonitor出力映像に適用しているLUTをOffにして、LUTを適用しない画質にする。 SDI 3/4出力とMonitor出力が連動している場合は、Press&Hold for SDI34 Logも有効になる。 また、HDMI出力とMonitor出力が連動している場合は、HDMI出力も有効になる。	設定を保持しない
Monitor Focus Magnifier ²⁾³⁾	Monitor出力映像のピント拡大機能をオン／オフする。	設定を保持しない
Monitor Mag. Position	Monitor出力映像のピント拡大の拡大対象の位置を選択する。	設定を保持する
Monitor Highlight Clip Ind ¹⁾	高輝度のためクリップされた箇所を赤色にしてMonitor出力映像に表示する機能をオン／オフする。	設定を保持する

Assignable Button の設定	機能	再起動後の状態
Monitor Exposure Assist ⁸⁾	モニターに表示する露出アシスト機能をオン／オフする。	設定を保持する
Peaking	ピーキングの表示をオン／オフする。	設定を保持する
VF/Monitor Peaking (+)	Monitor Out Sourceの設定がVFのときに、ビューファインダーとMonitor出力映像のピーキングレベルを強調する側に切り換える。	設定を保持する
VF/Monitor Peaking (-)	Monitor Out Sourceの設定がVFのときに、ビューファインダーとMonitor出力映像のピーキングレベルを強調しない側に切り換える。またはオフに切り換える。	設定を保持する
Line A: Aspect Ratio Disp.	Line AのAspect Ratioの表示をオン／オフする。	設定を保持する
Line B: Aspect Ratio Disp.	Line BのAspect Ratioの表示をオン／オフする。	設定を保持する
Line A: User Frame Disp.	Line AのUser Frame Line 1およびUser Frame Line 2の表示をオン／オフする。 キーを押すたびにUser Frame Line 1と2を表示→User Frame Line 1を表示→User Frame Line 2を表示→User Frame Line 1と2を非表示と切り換わる。	設定を保持する
Line B: User Frame Disp.	Line BのUser Frame Line 1およびUser Frame Line 2の表示をオン／オフする。 キーを押すたびにUser Frame Line 1と2を表示→User Frame Line 1を表示→User Frame Line 2を表示→User Frame Line 1と2を非表示と切り換わる。	設定を保持する
H & V Flip ⁷⁾	撮影モード時の画像の反転状態を切り換える。	設定を保持する
Anamorphic De- Squeeze	Projectメニュー > Basic Setting > Anamo. De-Squeezeの設定を変更する。 キーを押すたびに、メニュー選択肢の並び順で現在設定されている選択肢より1つ下位の選択肢に設定変更する。	設定を保持する
Auto White Balance ⁵⁾	オートホワイトバランスを実行する。	—
Color Bars ⁵⁾	カラーバーをオン／オフする。	設定を保持する
Picture Cache Rec	ピクチャーキャッシュレック機能をオン／オフする。	設定を保持する

Assignable Button の設定	機能	再起動後の状態
AXS Slot Change	AXSメモリーカードが2枚挿入されているときの アクティブスロットを切り換える。 キーを押すたびにAとBが切り換わる。	設定を保持する
Format Media AXS Slot A	AXS Slot Aをフォーマットする。	—
Format Media AXS Slot B	AXS Slot Bをフォーマットする。	—
Iris Open (1/16 stop) ⁶⁾	レンズのアイリスをOpen側に動かす。 押し続けると連続的にOpen端まで動き続ける。 電動アイリス対応のEマウントレンズ装着時に有 効な機能です。 1/16 stop刻みの設定に対して、アイリス表示は 1/3stop単位になります。	—
Iris Close (1/16 stop) ⁶⁾	レンズのアイリスをClose側に動かす。 押し続けると連続的にClose端まで動き続ける。 電動アイリス対応のEマウントレンズ装着時に有 効な機能です。 1/16 stop刻みの設定に対して、アイリス表示は 1/3stop単位になります。	—

- 1) Technicalメニュー > Special Configuration > RM/RCP Paint Control(114ページ) がOnに設定されている場合
は、キーを押しても何も動作しません。
- 2) HDMI出力がMonitor出力と同じ出力フォーマットの場合、HDMI出力も連動します。Monitoringメニュー >
Overlays/Frame Line > HDMI(99ページ) で設定を確認できます。HDMIがSame as Monitorに設定されている
場合、HDMI出力はMonitor出力と同じです。
- 3) SDIの出力フォーマットが1920x1080iの場合は、ピント拡大機能がオフになり、キーを押しても何も動作しません。
- 4) 押している間だけ、Projectメニュー > Basic Setting > Input Color Space(88ページ) で選択した本線と同じ映像
に切り換わります。
- 5) Technicalメニュー > Special Configuration > RM/RCP Paint Control(114ページ) がOnで、RM-B170などのリ
モートコントロールユニット接続時は、キーを押しても何も動作しません。
- 6) RM-B170などのリモートコントロールユニット接続時は、キーを押しても何も動作しません。
- 7) Monitoringメニュー > Output Display > Flip Image(96ページ) のH & V Flipがグレーアウトされているときは、
キーを押しても何も動作しません。
- 8) Technicalメニュー > Special Configuration > RM/RCP Paint Control(114ページ) がOnで、Projectメニュー
> Basic Setting > Input Color Space(88ページ) がHLG(Natural)、HLG(Live)、Rec.2020/User Gamma、
Rec.709/User Gammaのときは、キーを押しても何も動作しません。

アサインابل1～7ボタンに割り当て可能な機能

【ご注意】

アサインابلボタン5 は、本機にCBK-3620XSまたはCBK-3621XSが接続されている場合のみ割り当てて使用できます。
アサインابلボタン6、7は、本機にCBK-3620XSが接続されている場合のみ割り当てて使用できます。

Assignable Button の設定	機能	再起動後の状態
No Assign	未設定	—
SDI 1/2 Frame Line	SDI 1/2出力映像へのフレームラインの重畳をオ ン／オフする。	設定を保持する
SDI 3/4 Frame Line	SDI 3/4出力映像へのフレームラインの重畳をオ ン／オフする。	設定を保持する
SDI Overlay	SDI出力映像への情報の表示をオン／オフする。	設定を保持する
Press&Hold for SDI12 Log	押している間だけSDI 1/2出力映像に適用してい るLUTをOffにして、LUTを適用しないLogの画 質にする。	設定を保持しない
Press&Hold for SDI34 Log	押している間だけSDI 3/4出力映像に適用してい るLUTをOffにして、LUTを適用しないLogの画 質にする。 SDI 3/4出力とMonitor出力が連動している場 合は、Press & Hold for Moni Logも有効にな る。	設定を保持しない
Monitor Frame Line	Monitor出力映像へのフレームラインの重畳を オン／オフする。	設定を保持する
Monitor Overlay	Monitor出力映像への情報の表示をオン／オフ する。	設定を保持する
Press & Hold for Moni Log ⁴⁾	押している間だけMonitor出力映像に適用して いるLUTをOffにして、LUTを適用しない画質に する。 SDI 3/4出力とMonitor出力が連動している場 合は、Press&Hold for SDI34 Logも有効にな る。 また、HDMI出力とMonitor出力が連動してい る場合は、HDMI出力も有効になる。	設定を保持しない
Monitor Focus Magnifier ²⁾³⁾	Monitor出力映像のピント拡大機能をオン／オ フする。	設定を保持しない
Monitor Mag. Position	Monitor出力映像のピント拡大の拡大対象の位 置を選択する。	設定を保持する

Assignable Button の設定	機能	再起動後の状態
Monitor Highlight Clip Ind ¹⁾	高輝度のためクリップされた箇所を赤色にして Monitor出力映像に表示する機能をオン/オフ する。	設定を保持する
Monitor High/Low Key ¹⁾	Monitor出力の状態を選択する。 ボタンを押すたびにHigh Key(高輝度の白飛び 確認画面)→Low Key(低輝度の暗部の確認画 面)→Off(通常画面)と切り換わる。	設定を保持しない
Monitor Exposure Assist ¹⁰⁾	モニターに表示する露出アシスト機能をオン/オ フする。	設定を保持する
VF Frame Line	ビューファインダー・モニター画面出力映像への フレームラインの重量をオン/オフする。	設定を保持する
VF Overlay	ビューファインダー・モニター画面出力映像への 情報の表示をオン/オフする。	設定を保持する
Press & Hold for VF Log ^{6) 9)}	押している間だけビューファインダー・モニター 画面出力映像に適用しているLUTをOffにして、 LUTを適用しない画質にする。	設定を保持しない
VF Focus Magnifier	ビューファインダーのピント拡大機能をオン/オ フする。	設定を保持しない
VF Mag. Position	ビューファインダーのピント拡大の拡大対象の 位置を選択する。	設定を保持する
VF Highlight Clip Ind ¹⁾	高輝度のためクリップされた箇所を赤色にして ビューファインダーに表示する機能をオン/オフ する。	設定を保持する
VF High/Low Key ¹⁾	ビューファインダー出力の状態を選択する。 ボタンを押すたびにHigh Key(高輝度の白飛び 確認画面)→Low Key(低輝度の暗部の確認画 面)→Off(通常画面)と切り換わる。	設定を保持しない
VF Exposure Assist ¹⁰⁾	ビューファインダーに表示する露出アシスト機能 をオン/オフする。	設定を保持する
Peaking	ピーキングの表示をオン/オフする。	設定を保持する
VF/Monitor Peaking (+)	Monitor Out Sourceの設定がVFのときに、 ビューファインダーとMonitor出力映像のピーキ ングレベルを強調する側に切り換える。	設定を保持する
VF/Monitor Peaking (-)	Monitor Out Sourceの設定がVFのときに、 ビューファインダーとMonitor出力映像のピーキ ングレベルを強調しない側に切り換える。また はオフに切り換える。	設定を保持する

Assignable Button の設定	機能	再起動後の状態
VF Zebra	ビューファインダー・モニター画面出力映像のゼ ブラ機能をオン/オフする。	設定を保持する
Line A: Aspect Ratio Disp.	Line AのAspect Ratioの表示をオン/オフす る。	設定を保持する
Line B: Aspect Ratio Disp.	Line BのAspect Ratioの表示をオン/オフす る。	設定を保持する
Line A: User Frame Disp.	Line AのUser Frame Line 1およびUser Frame Line 2の表示をオン/オフする。 ボタンを押すたびにUser Frame Line 1と2を表 示→User Frame Line 1を表示→User Frame Line 2を表示→User Frame Line 1と2を非表 示と切り換わる。	設定を保持する
Line B: User Frame Disp.	Line BのUser Frame Line 1およびUser Frame Line 2の表示をオン/オフする。 ボタンを押すたびにUser Frame Line 1と2を表 示→User Frame Line 1を表示→User Frame Line 2を表示→User Frame Line 1と2を非表 示と切り換わる。	設定を保持する
H & V Flip ⁸⁾	撮影モード時の画像の反転状態を切り換える。	設定を保持する
Anamorphic De-Squeeze	Projectメニュー > Basic Setting > Anamo. De-Squeezeの設定を変更する。 ボタンを押すたびに、メニュー選択肢の並び順 で現在設定されている選択肢より1つ下位の選 択肢に設定変更する。	設定を保持する
Auto White Balance ⁵⁾	オートホワイトバランスを実行する。	—
Color Bars ⁵⁾	カラーバーをオン/オフする。	設定を保持する
Rec	記録を開始/停止する。	—
Rec Review	レックレビュー機能の実行。	設定を保持しない
Picture Cache Rec	ピクチャーキャッシュレック機能をオン/オフす る。	設定を保持する
AXS Slot Change	AXSメモリーカードが2枚挿入されているときの アクティブスロットを切り換える。 ボタンを押すたびにAとBが切り換わる。	設定を保持する
ND +1stop	NDフィルターを濃度の濃い側に切り換える。	—
ND -1stop	NDフィルターを濃度の薄い側に切り換える。	—

Assignable Button の設定	機能	再起動後の状態
Iris Open (1/16 stop) ⁷⁾	レンズのアイリスをOpen側に動かす。 押し続けると連続的にOpen端まで動き続ける。 電動アイリス対応のEマウントレンズ装着時に有効な機能です。 1/16 stop刻みの設定に対して、アイリス表示は1/3stop単位になります。	—
Iris Close (1/16 stop) ⁷⁾	レンズのアイリスをClose側に動かす。 押し続けると連続的にClose端まで動き続ける。 電動アイリス対応のEマウントレンズ装着時に有効な機能です。 1/16 stop刻みの設定に対して、アイリス表示は1/3stop単位になります。	—

- 1) Technicalメニュー > Special Configuration > RM/RCP Paint Control(114ページ) がOnに設定されている場合は、ボタンを押しても何も動作しません。
- 2) HDMI出力がMonitor出力と同じ出力フォーマットの場合、HDMI出力も連動します。Monitoringメニュー > Overlays/Frame Line > HDMI(99ページ) で設定を確認できます。HDMIがSame as Monitorに設定されている場合、HDMI出力はMonitor出力と同じです。
- 3) SDIの出力フォーマットが1920x1080iの場合は、ピント拡大機能がオフになり、ボタンを押しても何も動作しません。
- 4) 押している間だけ、Projectメニュー > Basic Setting > Input Color Space(88ページ) で選択した本線と同じ映像に切り換わります。
- 5) Technicalメニュー > Special Configuration > RM/RCP Paint Control(114ページ) がOnで、RM-B170などのリモートコントロールユニット接続時は、ボタンを押しても何も動作しません。
- 6) Technicalメニュー > Special Configuration > RM/RCP Paint Control(114ページ) がOnで、Shootingメニュー > LUT Select > VF LUTまたはVF/Monitor LUT(97ページ) がR709(800%)またはR709-Likeに設定されている場合は、押している間だけ本線と同じ映像に切り換わります。または、RM/RCP Paint ControlがOffで、VF LUTがLog以外に設定されている場合は、押している間だけ本線と同じ映像に切り換わります。
- 7) RM-B170などのリモートコントロールユニット接続時は、ボタンを押しても何も動作しません。
- 8) Monitoringメニュー > Output Display > Flip Image(96ページ) のH & V Flipがグレーアウトされているときは、ボタンを押しても何も動作しません。
- 9) Monitoringメニュー > Output Format > Monitor Out Source(96ページ) がVFに設定されている場合、Press & Hold for VF LogでLUT設定を変更すると、Monitor出力のLUT設定も連動して変更されます。この場合は、Press & Hold for Moni Logを割り当てたアサインابلボタンを押しても、Monitor出力のLUT設定は変更されません。Monitor Out Sourceの設定がOriginalのときにSDI 3/4やHDMI設定がMonitor設定と同じ場合(47ページ) は、Monitor Out SourceをVFに変更しても、Press & Hold for Moni Logを割り当てたアサインابلボタンを押して、SDI 3/4またはHDMI出力のLUT設定を変更できます。
- 10) Technicalメニュー > Special Configuration > RM/RCP Paint Control(114ページ) がOnで、Projectメニュー > Basic Setting > Input Color Space(88ページ) がHLG(Natural)、HLG(Live)、Rec.2020/User Gamma、Rec.709/User Gammaのときは、キーを押しても何も動作しません。

ビューファインダー (DVF-EL200) アサインابلA ~ Cボタンに割り当て可能な機能

Assignable Button の設定	機能	再起動後の状態
No Assign	未設定	—
VF Frame Line	ビューファインダー・モニター画面出力映像へのフレームラインの重畳をオン/オフする。	設定を保持する
VF Overlay	ビューファインダー・モニター画面出力映像への情報の表示をオン/オフする。	設定を保持する
Press & Hold for VF Log ^{2) 6)}	押している間だけビューファインダー・モニター画面出力映像に適用しているLUTをOffにして、LUTを適用しない画質にする。	設定を保持しない
VF Focus Magnifier	ビューファインダーのピント拡大機能をオン/オフする。	設定を保持しない
VF Mag. Position	ビューファインダーのピント拡大の拡大対象の位置を選択する。	設定を保持する
VF Highlight Clip Ind ³⁾	高輝度のためクリップされた箇所を赤色にしてビューファインダーに表示する機能をオン/オフする。	設定を保持する
VF High/Low Key ³⁾	ビューファインダー出力の状態を選択する。ボタンを押すたびにHigh Key(高輝度の白飛び確認画面) →Low Key(低輝度の暗部の確認画面) →Off(通常画面) と切り換わる。	設定を保持しない
VF Exposure Assist ⁷⁾	ビューファインダーに表示する露出アシスト機能をオン/オフする。	設定を保持する
Peaking	ピーキングの表示をオン/オフする。	設定を保持する
VF Zebra	ビューファインダー・モニター画面出力映像のゼブラ機能をオン/オフする。	設定を保持する
Line A: Aspect Ratio Disp.	Line AのAspect Ratioの表示をオン/オフする。	設定を保持する
Line B: Aspect Ratio Disp.	Line BのAspect Ratioの表示をオン/オフする。	設定を保持する

Assignable Button の設定	機能	再起動後の状態
Line A: User Frame Disp.	Line AのUser Frame Line 1およびUser Frame Line 2の表示をオン／オフする。 ボタンを押すたびにUser Frame Line 1と2を表示→User Frame Line 1を表示→User Frame Line 2を表示→User Frame Line 1と2を非表示と切り換わる。	設定を保持する
Line B: User Frame Disp.	Line BのUser Frame Line 1およびUser Frame Line 2の表示をオン／オフする。 ボタンを押すたびにUser Frame Line 1と2を表示→User Frame Line 1を表示→User Frame Line 2を表示→User Frame Line 1と2を非表示と切り換わる。	設定を保持する
H & V Flip ⁵⁾	撮影モード時の画像の反転状態を切り換える。	設定を保持する
Anamorphic De-Squeeze	Projectメニュー > Basic Setting > Anamo. De-Squeezeの設定を変更する。 ボタンを押すたびに、メニュー選択肢の並び順で現在設定されている選択肢より1つ下位の選択肢に設定変更する。	設定を保持する
Color Bars ¹⁾	カラーバーをオン／オフする。	設定を保持する
Rec	記録を開始／停止する。	—
Rec Review	レックレビュー機能の実行。	設定を保持しない
Picture Cache Rec	ピクチャーキャッシュレック機能をオン／オフする。	設定を保持する
AXS Slot Change	AXSメモリーカードが2枚挿入されているときのアクティブスロットを切り換える。 ボタンを押すたびにAとBが切り換わる。	設定を保持する
ND +1stop	NDフィルターを濃度の濃い側に切り換える。	—
ND -1stop	NDフィルターを濃度の薄い側に切り換える。	—
Iris Open (1/16 stop) ⁴⁾	レンズのアイリスをOpen側に動かす。 押し続けると連続的にOpen端まで動き続ける。 電動アイリス対応のEマウントレンズ装着時に有効な機能です。 1/16 stop刻みの設定に対して、アイリス表示は1/3stop単位になります。	—

Assignable Button の設定	機能	再起動後の状態
Iris Close (1/16 stop) ⁴⁾	レンズのアイリスをClose側に動かす。 押し続けると連続的にClose端まで動き続ける。 電動アイリス対応のEマウントレンズ装着時に有効な機能です。 1/16 stop刻みの設定に対して、アイリス表示は1/3stop単位になります。	—
1) Technicalメニュー > Special Configuration > RM/RCP Paint Control(114ページ) がOnで、RM-B170などのリモートコントロールユニット接続時は、ボタンを押しても何も動作しません。 2) 押している間だけ、Projectメニュー > Basic Setting > Input Color Space(88ページ) で選択した本線と同じ映像に切り換わります。 3) Technicalメニュー > Special Configuration > RM/RCP Paint Control(114ページ) がOnに設定されている場合は、ボタンを押しても何も動作しません。 4) RM-B170などのリモートコントロールユニット接続時は、ボタンを押しても何も動作しません。 5) Monitoringメニュー > Output Display > Flip Image(96ページ) のH & V Flipがグレースアウトされているときは、ボタンを押しても何も動作しません。 6) Monitoringメニュー > Output Format > Monitor Out Source(96ページ) がVFに設定されている場合、Press & Hold for VF LogでLUT設定を変更すると、Monitor出力のLUT設定も連動して変更されます。この場合は、Press & Hold for Moni Logを割り当てたアサインボタンを押しても、Monitor出力のLUT設定は変更されません。Monitor Out Sourceの設定がOriginalのときにSDI 3/4やHDMI設定がMonitor設定と同じ場合(47ページ) は、Monitor Out SourceをVFに変更しても、Press & Hold for Moni Logを割り当てたアサインボタンを押して、SDI 3/4またはHDMI出力のLUT設定を変更できます。 7) Technicalメニュー > Special Configuration > RM/RCP Paint Control(114ページ) がOnで、Projectメニュー > Basic Setting > Input Color Space(88ページ) がHLG(Natural)、HLG(Live)、Rec.2020/User Gamma、Rec.709/User Gammaのときは、キーを押しても何も動作しません。		

メニューの操作方法

撮影中(記録中/記録待機中) および再生中にMENUボタンを押すと、サブディスプレイにメニュー画面が表示され、操作することができます。

- Projectカテゴリ:基本設定、記録フォーマットの設定
- TC/Mediaカテゴリ: タイムコードの値やTCフォーマットの設定
- Monitoringカテゴリ: SDI、HDMI、Monitorの各外部出力の信号フォーマットやOSDやマーカーの重畳状態の設定
- Audioカテゴリ: オーディオのソースやレベルなどの設定
- Infoカテゴリ: カメラやメディア、バッテリーなどの状態確認

操作部

MENUボタン(11ページ)

サブディスプレイにメニューが表示されます。

ITEMキー 1 ～ 6(11ページ)

メニューのカテゴリを選びます。

SEL/SET ダイアル(MENUダイヤル) (11ページ)

回すとカーソルが上下に移動して、設定項目や設定値を選択できます。

MENUダイヤルを押すと、選択している項目を決定します。

BACKボタン(12ページ)

1つ前の階層に戻ります。確定前の変更はキャンセルされます。

基本操作

- 1 MENUボタンを押す。
メニュー画面が表示されます。
- 2 ITEMキー 1 ～ 6で設定したいカテゴリを選ぶ。
- 3 MENUダイヤルで、選択項目にカーソルを合わせる。
各設定項目には、設定値が表示されています。

◆「メニュー設定項目一覧」(64ページ)

Project	TC/Media	Monitoring
Imager Mode	8.6K 3:2	FF
Project Frame Rate		23.98
Input Color Space		S-Gamut3/SLog3
Recording Format		X-OCN XT
Anamo, De-Squeeze		Off(1.0x)
Zoom to Fit		17:9
Audio	Info	Project Details

- 4 MENUダイヤルを押す。
選んだ項目の横に、設定値の選択画面が表示されます。

Project	TC/Media	Monitoring
Imager Mode		8.6K 3:2 FF
Project Frame Rate		8.6K 17:9 (FF)
Input Color Space		8.2K 17:9 (FF)
Recording Format		8.2K 2.39:1 (FF)
Anamo, De-Squeeze		8.1K 16:9 (FF)
Zoom to Fit		7.6K 16:9 (FF)
Audio	Info	Project Details

- 5 MENUダイヤルで設定値にカーソルを合わせる。

- 6 MENUダイヤルを押して決定する。

メニュー設定項目一覧

各カテゴリーの設定内容は以下のとおりです。

Projectカテゴリー

太字とアンダーラインで表示されている設定値は、出荷時の設定です。

項目	設定値	内容
Imager Mode	MPC-3628 8.6K 3:2/8.6K 17:9/ 8.2K 17:9/8.2K 2.39:1/ 8.1K 16:9/7.6K 16:9/ 5.8K 6:5/5.8K 4:3/ 5.8K 17:9 /5.5K 2.39:1/ 5.4K 16:9 MPC-3626 6K 3:2/6K 1.85:1/6K 17:9/ 6K 2.39:1/5.7K 16:9/ 4K 6:5/4K 4:3/4K 4:3 Surround View/ 4K 17:9 / 4K 17:9 Surround View/ 4K 2.39:1/3.8K 16:9/3.8K 16:9 Surround View	有効画サイズを設定する。 [ご注意] <ul style="list-style-type: none">5.8K 6:5/5.8K 4:3はアナモフィックライセンスインストール時のみ表示されます。7.6K 16:9/8.2K 17:9/8.6K 3:2/8.1K 16:9/8.2K 2.39:1/8.6K 17:9はフルフレームライセンスインストール時のみ表示されます。6K 3:2/6K 1.85:1/6K 17:9/6K 2.39:1/5.7K 16:9はフルフレームライセンスインストール時のみ表示されます。4K 6:5/4K 4:3/4K 4:3 Surround Viewはアナモフィックライセンスインストール時のみ表示されます。Imager Modeの設定値および選択肢の右側に以下の画角情報が表示されます。 FF：Full Frame画角 (FF)：Full Frameに近い画角 (S35)：Super35mmに近い画角 S35：Super35mm画角
Project Frame Rate	23.98 /24/25/29.97/47.95/ 50/59.94	プロジェクトフレームレートを設定する。
Input Color Space	RM/RCP Paint Control (114ページ) がOffのとき： S-Gamut3.Cine/ SLog3 / S-Gamut3/ SLog3 / ACEScct RM/RCP Paint Controlが Onのとき： S-Gamut3.Cine/ SLog3 / S-Gamut3/ SLog3 / HLG(Natural) / HLG(Live) / Rec.2020/ User Gamma / Rec.709/User Gamma	色域を設定する。 [ご注意] HLG(Natural)はHLG BT.2100と同等です。

項目	設定値	内容
Recording Format	X-OCN XT/ X-OCN ST / X-OCN LT/ProRes 4444 XQ 4K/ProRes 4444 XQ QFHD/ProRes 4444 4K/ ProRes 4444 QFHD/ ProRes 422 HQ 4K/ProRes 422 HQ QFHD	AXSメモリーカードに記録するフォーマットを設定する。
	[ご注意] 有効画サイズやプロジェクト フレームレートの組み合わせ によって、設定可能な記録 フォーマットは異なります。 「記録フォーマット設定表」 (70ページ) を参照し、設 定してください。	
Anamo. De-Squeeze	Off(1.0x) /1.25x/1.3x/1.5x/ 1.6x/1.8x/2.0x	アナモフィックライセンスがインストールされている場合、以下に示すImager ModeでAnamo. De-Squeezeの設定を変更できます。
X-OCN記録時 MPC-3628		
Imager Mode		Anamo. De-Squeeze
	Off(1.0x)	1.25x 1.3x 1.5x 1.6x 1.8x 2.0x
8.6K 3:2	○	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○
8.6K 17:9	○	○ ○ ○ — ○ ○ ○
8.2K 17:9	○	○ ○ ○ — ○ ○ ○
8.2K 2.39:1	○	— — — — — —
8.1K 16:9	○	— — — — — —
7.6K 16:9	○	— — — — — —
5.8K 6:5	○	— — — — — ○
5.8K 4:3	○	— ○ — ○ ○ ○ ○
5.8K 17:9	○	○ ○ — ○ ○ ○ ○
5.5K 2.39:1	○	— — — — — —
5.4K 16:9	○	— — — — — —

項目	設定値	内容						
	X-OCN記録時							
	MPC-3626							
	Imager Mode	Anamo. De-Squeeze						
		Off(1.0x)	1.25x	1.3x	1.5x	1.6x	1.8x	2.0x
	6K 3:2	○	○	○	○	○	○	○
	6K 1.85:1	○	—	—	—	—	—	—
	6K 17:9	○	○	○	—	○	○	○
	6K 2.39:1	○	—	—	—	—	—	—
	5.7K 16:9	○	—	—	—	—	—	—
	4K 6:5	○	—	—	—	—	—	○
	4K 4:3 Surround	○	—	○	—	○	○	○
	4K 4:3	○	—	○	—	○	○	○
	4K 17:9 Surround	○	○	○	—	○	○	○
	4K 17:9	○	○	○	—	○	○	○
	4K 2.39:1	○	—	—	—	—	—	—
	3.8K 16:9 Surround	○	—	—	—	—	—	—
	3.8K 16:9	○	—	—	—	—	—	—
	ProRes記録時							
	MPC-3628							
	Imager Mode	Anamo. De-Squeeze						
		Off(1.0x)	1.25x	1.3x	1.5x	1.6x	1.8x	2.0x
	8.6K 3:2	—	○ ¹⁾	○ ¹⁾	○ ¹⁾	○ ¹⁾	○ ¹⁾	○ ¹⁾
	8.6K 17:9	○	—	—	—	—	—	—
	8.2K 17:9	○	—	—	—	—	—	—
	8.2K 2.39:1	○	—	—	—	—	—	—
	8.1K 16:9	○	—	—	—	—	—	—
	7.6K 16:9	○	—	—	—	—	—	—
	5.8K 6:5	—	—	—	—	—	—	○ ²⁾
	5.8K 4:3	—	—	○ ¹⁾	—	○ ¹⁾	○ ¹⁾	○ ¹⁾
	5.8K 17:9	○	—	—	—	—	—	—
	5.5K 2.39:1	○	—	—	—	—	—	—
	5.4K 16:9	○	—	—	—	—	—	—

項目	設定値	内容
	ProRes記録時 MPC-3626	
	Imager Mode	Anamo. De-Squeeze
		Off(1.0x) 1.25x 1.3x 1.5x 1.6x 1.8x 2.0x
	6K 3:2	— ○ ¹⁾ ○ ¹⁾ ○ ¹⁾ ○ ¹⁾ ○ ¹⁾ ○ ¹⁾ ○ ¹⁾
	6K 1.85:1	— — — — — — —
	6K 17:9	○ — — — — — —
	6K 2.39:1	○ — — — — — —
	5.7K 16:9	○ — — — — — —
	4K 6:5	— — — — — — ○ ²⁾
	4K 4:3 Surround	— — — — — — —
	4K 4:3	— — ○ ¹⁾ — ○ ¹⁾ ○ ¹⁾ ○ ¹⁾
	4K 17:9 Surround	○ — — — — — —
	4K 17:9	○ — — — — — —
	4K 2.39:1	○ — — — — — —
	3.8K 16:9 Surround	○ — — — — — —
	3.8K 16:9	○ — — — — — —

1) 4K ProRes記録時にZoom to Fitは17:9、QFHD ProRes記録時にZoom to Fitは16:9になります。

2) 4K ProRes記録時にZoom to FitはOffまたは17:9、QFHD ProRes記録時にZoom to Fitは16:9になります。

項目

設定値

内容

Zoom to Fit

Off/2.39:1/17:9/16:9

ビューファインダー画面、またはMonitor出力に対して、記録映像を切り出して拡大表示するかを設定する。

デスクイーズ 変換処理を行った記録画像については、以下のイメージャーモードの場合に設定できます。

MPC-3628

Imager Mode	Anamo. De-Squeeze						
	Off(1.0x)	1.25x	1.3x	1.5x	1.6x	1.8x	2.0x
8.6K 3:2	17:9 ¹⁾ 16:9 ¹⁾	17:9 16:9	17:9 16:9	17:9 16:9	2.39:1 ¹⁾ 17:9 16:9	2.39:1 ¹⁾ 17:9 16:9	2.39:1 ¹⁾ 17:9 16:9
5.8K 6:5	—	—	—	—	—	—	17:9 16:9
5.8K 4:3	—	—	17:9 16:9	—	17:9 16:9	17:9 16:9	17:9 16:9
5.8K 17:9	—	—	2.39:1 ¹⁾	—	2.39:1 ¹⁾	2.39:1 ¹⁾	2.39:1 ¹⁾

1) X-OCN記録時のみ対応

MPC-3626

Imager Mode	Anamo. De-Squeeze						
	Off(1.0x)	1.25x	1.3x	1.5x	1.6x	1.8x	2.0x
6K 3:2	17:9 ¹⁾ 16:9 ¹⁾	17:9 16:9	17:9 16:9	17:9 16:9	2.39:1 ¹⁾ 17:9 16:9	2.39:1 ¹⁾ 17:9 16:9	2.39:1 ¹⁾ 17:9 16:9
4K 6:5	—	—	—	—	—	—	17:9 16:9
4K 4:3	—	—	17:9 16:9	—	17:9 16:9	17:9 16:9	17:9 16:9
4K 17:9	—	—	2.39:1 ¹⁾	—	2.39:1 ¹⁾	2.39:1 ¹⁾	2.39:1 ¹⁾

1) X-OCN記録時のみ対応

【ご注意】

• Project Frame Rateが47.95のときは、16:9を選択できません。

• 17:9または2.39:1の場合はSDI出力フォーマットをQFHDに設定できません。16:9の場合はSDI出力フォーマットを4Kに設定できません。

• ProRes記録時は、記録フォーマットが4Kの場合は、16:9に設定できません。記録フォーマットがQFHDの場合は、17:9や2.39:1に設定できません。

• ProRes記録時は、Imager Modeが5.8K 6:5/4K 6:5かつAnamo. De-Squeezeが2.0xの場合を除き、Offに設定できません。

項目	設定値	内容
Project Details(ITEMキー 6)		フルメニューのProjectメニュー（88ページ）の内容が表示されます。
TC/Mediaカテゴリ		
太字とアンダーラインで表示されている設定値は、出荷時の設定です。		
項目	設定値	内容
TC Mode	Preset F-Run (Ext-Lk)/ Preset R-Run /Int Regen	タイムコードの歩進モードを設定する。 Preset F-Run (Ext-Lk)：記録に関係なく設定された状態から常に歩進する。 Preset R-Run：記録時のみ設定された状態から歩進する。 Int Regen：前のクリップのタイムコードに続けて歩進する。
TC Display	Timecode /Duration	タイムデータの表示を切り換える。
TC Setting (別画面に移行して設定)	Setting (H、M、S、F)	タイムコードを任意の値に設定する。
	Reset	タイムコードを00:00:00:00にリセットする。
	TC Format DF/ NDF	タイムコードのフォーマットを設定する。 DF：ドロップフレーム NDF：ノンドロップフレーム
	TC Source Internal/External	表示のみ。
Camera ID	TC/Mediaメニュー > Clip Name Format > Double Digit Camera ID(95ページ) がOffのとき： A ～Z TC/Mediaメニュー > Clip Name Format > Double Digit Camera IDがOnのとき： AA ～ZZ	クリップ名の生成時のカメラIDを設定する。 クリップ名：Camera ID + Reel Number + Shot Number + 年月日 + ランダム文字列
Reel Number	001 ～999	クリップ名の生成時のReel Numberの数字部分を設定する。 クリップ名：Camera ID + Reel Number + Shot Number + 年月日 + ランダム文字列

項目	設定値	内容
Camera Position	C /L/R	クリップ名の生成時のShot Numberの先頭文字部分を設定する。 クリップ名: Camera ID + Reel Number + Shot Number + 年月日 + ランダム文字列 [ご注意] TC/Mediaメニュー > Clip Name Format > Double Digit Camera ID(95ページ) がOnに設定されている場合は、Camera Positionはグレーアウトされ設定を変更できません。
Format Media (別画面に移行して実行)	AXS Slot A	スロットAのAXSメモリーカードを初期化する。
	AXS Slot B	スロットBのAXSメモリーカードを初期化する。
	SD Card	SDカードを初期化する。
Media Details (ITEMキー 6)		フルメニューのTC/Mediaメニュー (94ページ) の内容が表示されます。

Monitoringカテゴリー

太字とアンダーラインで表示されている設定値は、出荷時の設定です。

[ご注意]

- 本機では、Status InfoとFrame Lineの2種類を系統別に設定できます。AとBの出力映像の表示情報は、Monitoringメニュー (96ページ) で設定してください。
- Output Formatの設定によってInfoおよびFrame Lineが表示できない場合があります。その際は「-」が表示され、設定値の変更ができません。

項目	設定値	内容
VFまたはVF/Moni	Overlay Info A /Info B/Rec Ind./Off	ビューファインダーの映像に重畳して表示する情報を選択する。
[ご注意] Monitoringメニュー > Output Format > Monitor Out Source (96ページ) がOriginalに設定されている場合は「VF」と表示されます。 VFに設定されている場合は、「VF/Moni」と表示されます。	Frame Line Line A /Line B/ Off	ビューファインダーの映像に重畳して表示するフレームラインを選択する。

項目	設定値	内容
SDI 1/2	Output Format	Imager Mode、プロジェクトフレームレート、Recording Formatの設定に応じて変わる。
	Overlay	Info A/ Info B /Rec Ind./Off
	Frame Line	Line A/Line B/ Off SDI 1/2出力には情報表示は重畳されません。 [ご注意] 出力フォーマットが4K/QFHD以外のときはフレームラインは重畳されません。
SDI 3/4 [ご注意] SDI 1/2のOutput Formatの設定によっては、SDI 3/4のOutput Format、Info、Frame Lineが空欄となり、設定値の変更ができません。	Output Format	SDI 1/2の設定に応じて変わる。
	Overlay	Info A/ Info B /Rec Ind./Off
	Frame Line	Line A/Line B/ Off SDI 3/4出力に重畳して表示するフレームラインを選択する。
Monitor	Output Format	SDI 1/2の設定に応じて変わる。
	Overlay	Info A/ Info B /Rec Ind./Off
	Frame Line	Line A/Line B/ Off Monitor出力に重畳して表示するフレームラインを選択する。
HDMI	Output Format	SDI 1/2の設定に応じて変わる。
	Overlay	Info A/ Info B /Rec Ind./Off
	Frame Line	Line A/Line B/ Off HDMI出力に重畳して表示する情報を選択する。
Moni. Details (ITEMキー 6)		フルメニューのMonitoringメニュー (96ページ) の内容が表示されます。

1) 選択可能なフォーマットは「SDI OUT端子の出力フォーマット」(155ページ) を参照してください。

2) 選択可能なフォーマットは「MONITOR OUT端子/HDMI OUT端子の出力フォーマット」(160ページ) を参照してください。

Audioカテゴリー

太字とアンダーラインで表示されている設定値は、出荷時の設定です。

項目	設定値	内容
Source Switch	LINE / AES/EBU / MIC	CH-1とCH-2の入力源を設定するAUDIO INスイッチ(12ページ) の位置が表示される。 [ご注意] Audioメニュー > Audio InputのInternal Mic Select(105ページ) がCH-1/CH-2に設定されているときは、Source Switchの入力源はCH-3とCH-4に反映されます。
XLR Audio L Level	Auto/Manual/Fixed −99 ~ <u>±0</u> ~ +99	Autoにすると、録音レベルは自動調整される。Manualを選択時、手動で録音レベルを調整する。 [ご注意] Source Switchの入力源がAES/EBUのときはFixed固定になります。
XLR Audio R Level	Auto/Manual/Fixed −99 ~ <u>±0</u> ~ +99	Autoにすると、録音レベルは自動調整される。Manualを選択時、手動で録音レベルを調整する。 [ご注意] Source Switchの入力源がAES/EBUのときはFixed固定になります。
XLR Mic Reference	−60dB/ <u>−50dB</u> /−40dB	マイクの基準入力レベルを選択する。
Monitor CH	Monitor Output CH PairがCH-1/CH-2の場合 <u>CH-1/CH-2</u> 、CH-1、CH-2 Monitor Output CH PairがCH-3/CH-4の場合 <u>CH-3/CH-4</u> 、CH-3、CH-4	ヘッドホンおよびスピーカーに出力する音声チャンネルを選択する。
Monitor Level	<u>0</u> ~ 99	モニター音量を調整する。
CH1 Level Meter	—	CH1のレベルメーターが表示される。
CH2 Level Meter	—	CH2のレベルメーターが表示される。
CH3 Level Meter	—	CH3のレベルメーターが表示される。
CH4 Level Meter	—	CH4のレベルメーターが表示される。

項目	設定値	内容
Audio Details(ITEMキー 6)		フルメニューのAudioメニュー (105ページ) の内容が表示されます。

Infoカテゴリーで本機の状態を確認する

Infoカテゴリーでは、メディアやバッテリーなどの状態や、発生している警告やエラーの内容を確認できます。本機の状態の変化に応じて、表示内容がリアルタイムに更新されます。

Infoカテゴリーは、次の9種類の情報ページで構成されています。MENUダイヤルを回すと、ページを移動できます。

No.	ページ	内容
1	Camera Condition	警告メッセージとエラーメッセージが表示されます。何もメッセージがないときは、一番上の表示エリアに「All Systems are OK」が表示されます。
2	Firmware	本機のシリアルナンバーやファームウェアバージョンが表示されます。
3	License	本機のオプションのライセンス名称とインストール状態または期限が表示されます。オプションを追加していないときは、インストール状態表示は「Not Installed」または「Expired」となります。
4	System	次のシステム情報が表示されます。 <ul style="list-style-type: none">設定日時ファン回転速度センサー検出温度アワーズメーターIP Address <div>【ご注意】</div> <ul style="list-style-type: none">センサー検出温度は、検出温度が65℃以上のときはHigh Tempの警告状態となります。IPアドレスを取得できない場合は「0.0.0.0」が表示されます。
5	Battery	次のバッテリー情報が表示されます。 <ul style="list-style-type: none">検出されたバッテリーの品名または種類残容量(パーセント)予想残時間残容量(Ah)電圧(V)充電を行った回数電源供給源供給電源電圧
6	Media	AXSメモリーカード、SDカードの残量と記録可能時間、寿命データが表示されます。

No.	ページ	内容
7	Lens	本機に装着されている次のレンズ情報が表示されます。 <ul style="list-style-type: none">レンズの型名アイリスのT値 <div>【ご注意】</div> <p>T値が取得できない場合など、T値ではなくF値が表示される場合があります。</p> <ul style="list-style-type: none">焦点距離フォーカス距離被写界深度シリアルナンバー
8	Network	次のネットワーク接続の設定情報が表示されます。 <ul style="list-style-type: none">設定状態(LAN/Wireless Access Point/Wireless Station/Off)IP AddressSSIDMAC Address <div>【ご注意】</div> <p>IPアドレスを取得できない場合は「0.0.0.0」が表示されます。</p>
9	Technicalメニュー > Exposure Assist > Type (112ページ) がFalse Color のとき False Color Scale	次のFalse Colorの設定情報が表示されます。 <ul style="list-style-type: none">設定色設定下限値～上限値説明 <div>【ご注意】</div> <p>設定下限値～上限値が初期値と異なる場合は、文字の色がグレーになります。</p>
	Technicalメニュー > Exposure Assist > Type (112ページ) がEL Zone のとき EL Zone Color Scale	EL Zoneの色見本情報が表示されます。

記録フォーマット設定表

有効画サイズやプロジェクトフレームレートの組み合わせによって、以下の記録フォーマットの設定が可能です。

MPC-3628

有効画サイズ(Imager Mode)	記録フォーマット	Project Frame Rate						
		23.98	24.00	25.00	29.97	47.95	50	59.94
8.6K 3:2	X-OCN XT	○	○	○	○	—	—	—
	X-OCN ST	○	○	○	○	—	—	—
	X-OCN LT	○	○	○	○	—	—	—
	4K ProRes 4444 XQ	○ ¹⁾	○ ¹⁾	○ ¹⁾	○ ¹⁾	—	—	—
	QFHD ProRes 4444 XQ	○ ²⁾	○ ²⁾	○ ²⁾	○ ²⁾	—	—	—
	4K ProRes 4444	○ ¹⁾	○ ¹⁾	○ ¹⁾	○ ¹⁾	—	—	—
	QFHD ProRes 4444	○ ²⁾	○ ²⁾	○ ²⁾	○ ²⁾	—	—	—
	4K ProRes 422 HQ	○ ¹⁾	○ ¹⁾	○ ¹⁾	○ ¹⁾	—	—	—
	QFHD ProRes 422 HQ	○ ²⁾	○ ²⁾	○ ²⁾	○ ²⁾	—	—	—
8.6K 17:9	X-OCN XT	○	○	○	○	—	—	—
	X-OCN ST	○	○	○	○	○	—	—
	X-OCN LT	○	○	○	○	○	—	—
	4K ProRes 4444 XQ	○	○	○	○	—	—	—
	QFHD ProRes 4444 XQ	—	—	—	—	—	—	—
	4K ProRes 4444	○	○	○	○	—	—	—
	QFHD ProRes 4444	—	—	—	—	—	—	—
	4K ProRes 422 HQ	○	○	○	○	—	—	—
	QFHD ProRes 422 HQ	—	—	—	—	—	—	—
8.2K 17:9	X-OCN XT	○	○	○	○	—	—	—
	X-OCN ST	○	○	○	○	○	○	○
	X-OCN LT	○	○	○	○	○	○	○
	4K ProRes 4444 XQ	○	○	○	○	—	○	○
	QFHD ProRes 4444 XQ	—	—	—	—	—	—	—
	4K ProRes 4444	○	○	○	○	—	○	○
	QFHD ProRes 4444	—	—	—	—	—	—	—
	4K ProRes 422 HQ	○	○	○	○	—	○	○
	QFHD ProRes 422 HQ	—	—	—	—	—	—	—

有効画サイズ(Imager Mode)	記録フォーマット	Project Frame Rate						
		23.98	24.00	25.00	29.97	47.95	50	59.94
8.2K 2.39:1	X-OCN XT	○	○	○	○	○	○	—
	X-OCN ST	○	○	○	○	○	○	○
	X-OCN LT	○	○	○	○	○	○	○
	4K ProRes 4444 XQ	○	○	○	○	—	○	○
	QFHD ProRes 4444 XQ	—	—	—	—	—	—	—
	4K ProRes 4444	○	○	○	○	—	○	○
	QFHD ProRes 4444	—	—	—	—	—	—	—
	4K ProRes 422 HQ	○	○	○	○	—	○	○
	QFHD ProRes 422 HQ	—	—	—	—	—	—	—
8.1K 16:9	X-OCN XT	○	○	○	○	—	—	—
	X-OCN ST	○	○	○	○	—	—	—
	X-OCN LT	○	○	○	○	—	—	—
	4K ProRes 4444 XQ	—	—	—	—	—	—	—
	QFHD ProRes 4444 XQ	○	○	○	○	—	—	—
	4K ProRes 4444	—	—	—	—	—	—	—
	QFHD ProRes 4444	○	○	○	○	—	—	—
	4K ProRes 422 HQ	—	—	—	—	—	—	—
	QFHD ProRes 422 HQ	○	○	○	○	—	—	—
7.6K 16: 9	X-OCN XT	○	○	○	○	—	—	—
	X-OCN ST	○	○	○	○	—	○	○
	X-OCN LT	○	○	○	○	—	○	○
	4K ProRes 4444 XQ	—	—	—	—	—	—	—
	QFHD ProRes 4444 XQ	○	○	○	○	—	○	○
	4K ProRes 4444	—	—	—	—	—	—	—
	QFHD ProRes 4444	○	○	○	○	—	○	○
	4K ProRes 422 HQ	—	—	—	—	—	—	—
	QFHD ProRes 422 HQ	○	○	○	○	—	○	○

有効画サイズ(Imager Mode)	記録フォーマット	Project Frame Rate						
		23.98	24.00	25.00	29.97	47.95	50	59.94
5.8K 6:5	X-OCN XT	○	○	○	○	○	—	—
	X-OCN ST	○	○	○	○	○	—	—
	X-OCN LT	○	○	○	○	○	—	—
	4K ProRes 4444 XQ	○	○	○	○	—	—	—
	QFHD ProRes 4444 XQ	○ ²⁾	○ ²⁾	○ ²⁾	○ ²⁾	—	—	—
	4K ProRes 4444	○	○	○	○	—	—	—
	QFHD ProRes 4444	○ ²⁾	○ ²⁾	○ ²⁾	○ ²⁾	—	—	—
	4K ProRes 422 HQ	○	○	○	○	—	—	—
	QFHD ProRes 422 HQ	○ ²⁾	○ ²⁾	○ ²⁾	○ ²⁾	—	—	—
5.8K 4:3	X-OCN XT	○	○	○	○	○	○	○
	X-OCN ST	○	○	○	○	○	○	○
	X-OCN LT	○	○	○	○	○	○	○
	4K ProRes 4444 XQ	○ ¹⁾	○ ¹⁾	○ ¹⁾	○ ¹⁾	—	○ ¹⁾	○ ¹⁾
	QFHD ProRes 4444 XQ	○ ²⁾	○ ²⁾	○ ²⁾	○ ²⁾	—	○ ²⁾	○ ²⁾
	4K ProRes 4444	○ ¹⁾	○ ¹⁾	○ ¹⁾	○ ¹⁾	—	○ ¹⁾	○ ¹⁾
	QFHD ProRes 4444	○ ²⁾	○ ²⁾	○ ²⁾	○ ²⁾	—	○ ²⁾	○ ²⁾
	4K ProRes 422 HQ	○ ¹⁾	○ ¹⁾	○ ¹⁾	○ ¹⁾	—	○ ¹⁾	○ ¹⁾
	QFHD ProRes 422 HQ	○ ²⁾	○ ²⁾	○ ²⁾	○ ²⁾	—	○ ²⁾	○ ²⁾
5.8K 17:9	X-OCN XT	○	○	○	○	○	○	○
	X-OCN ST	○	○	○	○	○	○	○
	X-OCN LT	○	○	○	○	○	○	○
	4K ProRes 4444 XQ	○	○	○	○	—	○	○
	QFHD ProRes 4444 XQ	—	—	—	—	—	—	—
	4K ProRes 4444	○	○	○	○	—	○	○
	QFHD ProRes 4444	—	—	—	—	—	—	—
	4K ProRes 422 HQ	○	○	○	○	—	○	○
	QFHD ProRes 422 HQ	—	—	—	—	—	—	—

有効画サイズ(Imager Mode)	記録フォーマット	Project Frame Rate						
		23.98	24.00	25.00	29.97	47.95	50	59.94
5.5K 2.39:1	X-OCN XT	○	○	○	○	○	○	○
	X-OCN ST	○	○	○	○	○	○	○
	X-OCN LT	○	○	○	○	○	○	○
	4K ProRes 4444 XQ	○	○	○	○	—	○	○
	QFHD ProRes 4444 XQ	—	—	—	—	—	—	—
	4K ProRes 4444	○	○	○	○	—	○	○
	QFHD ProRes 4444	—	—	—	—	—	—	—
	4K ProRes 422 HQ	○	○	○	○	—	○	○
	QFHD ProRes 422 HQ	—	—	—	—	—	—	—
5.4K 16:9	X-OCN XT	○	○	○	○	—	○	○
	X-OCN ST	○	○	○	○	—	○	○
	X-OCN LT	○	○	○	○	—	○	○
	4K ProRes 4444 XQ	—	—	—	—	—	—	—
	QFHD ProRes 4444 XQ	○	○	○	○	—	○	○
	4K ProRes 4444	—	—	—	—	—	—	—
	QFHD ProRes 4444	○	○	○	○	—	○	○
	4K ProRes 422 HQ	—	—	—	—	—	—	—
	QFHD ProRes 422 HQ	○	○	○	○	—	○	○

1) Zoom to Fit 17:9で記録可能。
2) Zoom to Fit 16:9で記録可能。

[ご注意]
対応Anamo. De-Squeezeについて詳しくは、メニューのProjectカテゴリー > Anamo. De-Squeeze(64ページ) をご覧ください。

MPC-3626

有効画サイズ(Imager Mode)	記録フォーマット	Project Frame Rate						
		23.98	24.00	25.00	29.97	47.95	50	59.94
6K 3:2	X-OCN XT	○	○	○	○	○	○	○
	X-OCN ST	○	○	○	○	○	○	○
	X-OCN LT	○	○	○	○	○	○	○
	4K ProRes 4444 XQ	○ ¹⁾	○ ¹⁾	○ ¹⁾	○ ¹⁾	—	○ ¹⁾	○ ¹⁾
	QFHD ProRes 4444 XQ	○ ²⁾	○ ²⁾	○ ²⁾	○ ²⁾	—	○ ²⁾	○ ²⁾
	4K ProRes 4444	○ ¹⁾	○ ¹⁾	○ ¹⁾	○ ¹⁾	—	○ ¹⁾	○ ¹⁾
	QFHD ProRes 4444	○ ²⁾	○ ²⁾	○ ²⁾	○ ²⁾	—	○ ²⁾	○ ²⁾
	4K ProRes 422 HQ	○ ¹⁾	○ ¹⁾	○ ¹⁾	○ ¹⁾	—	○ ¹⁾	○ ¹⁾
	QFHD ProRes 422 HQ	○ ²⁾	○ ²⁾	○ ²⁾	○ ²⁾	—	○ ²⁾	○ ²⁾
6K 1.85:1	X-OCN XT	○	○	○	○	○	○	○
	X-OCN ST	○	○	○	○	○	○	○
	X-OCN LT	○	○	○	○	○	○	○
	4K ProRes 4444 XQ	—	—	—	—	—	—	—
	QFHD ProRes 4444 XQ	—	—	—	—	—	—	—
	4K ProRes 4444	—	—	—	—	—	—	—
	QFHD ProRes 4444	—	—	—	—	—	—	—
	4K ProRes 422 HQ	—	—	—	—	—	—	—
	QFHD ProRes 422 HQ	—	—	—	—	—	—	—
6K 17:9	X-OCN XT	○	○	○	○	○	○	○
	X-OCN ST	○	○	○	○	○	○	○
	X-OCN LT	○	○	○	○	○	○	○
	4K ProRes 4444 XQ	○	○	○	○	—	○	○
	QFHD ProRes 4444 XQ	—	—	—	—	—	—	—
	4K ProRes 4444	○	○	○	○	—	○	○
	QFHD ProRes 4444	—	—	—	—	—	—	—
	4K ProRes 422 HQ	○	○	○	○	—	○	○
	QFHD ProRes 422 HQ	—	—	—	—	—	—	—

有効画サイズ(Imager Mode)	記録フォーマット	Project Frame Rate						
		23.98	24.00	25.00	29.97	47.95	50	59.94
6K 2.39:1	X-OCN XT	○	○	○	○	○	○	○
	X-OCN ST	○	○	○	○	○	○	○
	X-OCN LT	○	○	○	○	○	○	○
	4K ProRes 4444 XQ	○	○	○	○	—	○	○
	QFHD ProRes 4444 XQ	—	—	—	—	—	—	—
	4K ProRes 4444	○	○	○	○	—	○	○
	QFHD ProRes 4444	—	—	—	—	—	—	—
	4K ProRes 422 HQ	○	○	○	○	—	○	○
	QFHD ProRes 422 HQ	—	—	—	—	—	—	—
5.7K 16:9	X-OCN XT	○	○	○	○	—	○	○
	X-OCN ST	○	○	○	○	—	○	○
	X-OCN LT	○	○	○	○	—	○	○
	4K ProRes 4444 XQ	—	—	—	—	—	—	—
	QFHD ProRes 4444 XQ	○	○	○	○	—	○	○
	4K ProRes 4444	—	—	—	—	—	—	—
	QFHD ProRes 4444	○	○	○	○	—	○	○
	4K ProRes 422 HQ	—	—	—	—	—	—	—
	QFHD ProRes 422 HQ	○	○	○	○	—	○	○
4K 6:5	X-OCN XT	○	○	○	○	○	○	○
	X-OCN ST	○	○	○	○	○	○	○
	X-OCN LT	○	○	○	○	○	○	○
	4K ProRes 4444 XQ	○	○	○	○	—	○	○
	QFHD ProRes 4444 XQ	○ ²⁾	○ ²⁾	○ ²⁾	○ ²⁾	—	○ ²⁾	○ ²⁾
	4K ProRes 4444	○	○	○	○	—	○	○
	QFHD ProRes 4444	○ ²⁾	○ ²⁾	○ ²⁾	○ ²⁾	—	○ ²⁾	○ ²⁾
	4K ProRes 422 HQ	○	○	○	○	—	○	○
	QFHD ProRes 422 HQ	○ ²⁾	○ ²⁾	○ ²⁾	○ ²⁾	—	○ ²⁾	○ ²⁾

有効画サイズ(Imager Mode)	記録フォーマット	Project Frame Rate						
		23.98	24.00	25.00	29.97	47.95	50	59.94
4K 4:3	X-OCN XT	○	○	○	○	○	○	○
	X-OCN ST	○	○	○	○	○	○	○
	X-OCN LT	○	○	○	○	○	○	○
	4K ProRes 4444 XQ	○ ¹⁾	○ ¹⁾	○ ¹⁾	○ ¹⁾	—	○ ¹⁾	○ ¹⁾
	QFHD ProRes 4444 XQ	○ ²⁾	○ ²⁾	○ ²⁾	○ ²⁾	—	○ ²⁾	○ ²⁾
	4K ProRes 4444	○ ¹⁾	○ ¹⁾	○ ¹⁾	○ ¹⁾	—	○ ¹⁾	○ ¹⁾
	QFHD ProRes 4444	○ ²⁾	○ ²⁾	○ ²⁾	○ ²⁾	—	○ ²⁾	○ ²⁾
	4K ProRes 422 HQ	○ ¹⁾	○ ¹⁾	○ ¹⁾	○ ¹⁾	—	○ ¹⁾	○ ¹⁾
	QFHD ProRes 422 HQ	○ ²⁾	○ ²⁾	○ ²⁾	○ ²⁾	—	○ ²⁾	○ ²⁾
4K 4:3 Surround	X-OCN XT	○	○	○	○	—	—	—
	X-OCN ST	○	○	○	○	—	—	—
	X-OCN LT	○	○	○	○	—	—	—
	4K ProRes 4444 XQ	—	—	—	—	—	—	—
	QFHD ProRes 4444 XQ	—	—	—	—	—	—	—
	4K ProRes 4444	—	—	—	—	—	—	—
	QFHD ProRes 4444	—	—	—	—	—	—	—
	4K ProRes 422 HQ	—	—	—	—	—	—	—
	QFHD ProRes 422 HQ	—	—	—	—	—	—	—
4K 17:9	X-OCN XT	○	○	○	○	○	○	○
	X-OCN ST	○	○	○	○	○	○	○
	X-OCN LT	○	○	○	○	○	○	○
	4K ProRes 4444 XQ	○	○	○	○	—	○	○
	QFHD ProRes 4444 XQ	—	—	—	—	—	—	—
	4K ProRes 4444	○	○	○	○	—	○	○
	QFHD ProRes 4444	—	—	—	—	—	—	—
	4K ProRes 422 HQ	○	○	○	○	—	○	○
	QFHD ProRes 422 HQ	—	—	—	—	—	—	—

有効画サイズ(Imager Mode)	記録フォーマット	Project Frame Rate						
		23.98	24.00	25.00	29.97	47.95	50	59.94
4K 17:9 Surround	X-OCN XT	○	○	○	○	—	—	—
	X-OCN ST	○	○	○	○	—	—	—
	X-OCN LT	○	○	○	○	—	—	—
	4K ProRes 4444 XQ	○	○	○	○	—	—	—
	QFHD ProRes 4444 XQ	—	—	—	—	—	—	—
	4K ProRes 4444	○	○	○	○	—	—	—
	QFHD ProRes 4444	—	—	—	—	—	—	—
	4K ProRes 422 HQ	○	○	○	○	—	—	—
	QFHD ProRes 422 HQ	—	—	—	—	—	—	—
4K 2.39:1	X-OCN XT	○	○	○	○	○	○	○
	X-OCN ST	○	○	○	○	○	○	○
	X-OCN LT	○	○	○	○	○	○	○
	4K ProRes 4444 XQ	○	○	○	○	—	○	○
	QFHD ProRes 4444 XQ	—	—	—	—	—	—	—
	4K ProRes 4444	○	○	○	○	—	○	○
	QFHD ProRes 4444	—	—	—	—	—	—	—
	4K ProRes 422 HQ	○	○	○	○	—	○	○
	QFHD ProRes 422 HQ	—	—	—	—	—	—	—
3.8K 16:9	X-OCN XT	○	○	○	○	—	○	○
	X-OCN ST	○	○	○	○	—	○	○
	X-OCN LT	○	○	○	○	—	○	○
	4K ProRes 4444 XQ	—	—	—	—	—	—	—
	QFHD ProRes 4444 XQ	○	○	○	○	—	○	○
	4K ProRes 4444	—	—	—	—	—	—	—
	QFHD ProRes 4444	○	○	○	○	—	○	○
	4K ProRes 422 HQ	—	—	—	—	—	—	—
	QFHD ProRes 422 HQ	○	○	○	○	—	○	○

有効画サイズ(Imager Mode)	記録フォーマット	Project Frame Rate						
		23.98	24.00	25.00	29.97	47.95	50	59.94
3.8K 16:9 Surround	X-OCN XT	○	○	○	○	—	—	—
	X-OCN ST	○	○	○	○	—	—	—
	X-OCN LT	○	○	○	○	—	—	—
	4K ProRes 4444 XQ	—	—	—	—	—	—	—
	QFHD ProRes 4444 XQ	○	○	○	○	—	—	—
	4K ProRes 4444	—	—	—	—	—	—	—
	QFHD ProRes 4444	○	○	○	○	—	—	—
	4K ProRes 422 HQ	—	—	—	—	—	—	—
	QFHD ProRes 422 HQ	○	○	○	○	—	—	—

1) Zoom to Fit 17:9で記録可能。
2) Zoom to Fit 16:9で記録可能。

[ご注意]
対応Anamo. De-Squeezeについて詳しくは、メニューのProjectカテゴリー > Anamo. De-Squeeze(64ページ) をご覧ください。

フルメニューの操作方法

MENUボタンを2秒以上長押しすると、撮影や再生に必要な各種設定を行うフルメニューがサブディスプレイに表示されます。

または、MENUダイヤルと共にMENUボタン押すことにより、フルメニュー画面を表示することもできます。

メニュー構成

Shootingメニュー

撮影に関する設定をするときに使用するメニューです。

Projectメニュー

プロジェクトの基本的な設定をするときに使用するメニューです。

TC/Mediaメニュー

タイムコードと記録メディアに関する設定をするときに使用するメニューです。

Monitoringメニュー

ビデオ出力やビューファインダー出力に関する設定をするときに使用するメニューです。

Audioメニュー

オーディオに関する設定をするときに使用するメニューです。

Paintメニュー

ペイント機能に関する設定をするときに使用するメニューです。

Technicalメニュー > Special Configuration > RM/RCP Paint Control(114ページ) がOnに設定されている場合のみ、Paintメニューを表示選択できます。

Technicalメニュー

技術的な内容の設定をするときに使用するメニューです。

Maintenanceメニュー

時計や言語設定などの機器設定をするときに使用するメニューです。

操作部

MENUボタン(11ページ)

2秒以上長押しすると、サブディスプレイにフルメニューが表示されます。

SEL/SET ダイヤル(MENUダイヤル) (11ページ)

回すとカーソルが上下に移動して、設定項目や設定値を選択できます。

MENUダイヤルを押すと、選択している項目を決定します。

BACKボタン(12ページ)

1つ前の階層に戻ります。確定前の変更はキャンセルされます。

メニューを設定する

MENUダイヤルを回して設定したい項目にカーソルを合わせ、MENUダイヤルを押して決定します。

- 選択項目が表示される選択肢エリアは最大9行表示です。選択肢が1度に表示できない場合は、カーソルを上下に移動すると表示がスクロールします。
- 選択肢の範囲が大きい項目の場合(例：-99 ～ +99) は、選択肢エリアは表示されません。文字がハイライト表示になり設定変更が可能な状態であることを示します。
- 実行項目でRunを選択した場合は、対応する機能が実行されます。
- 実行前に確認が必要な項目を選択すると、確認メッセージが表示されます。メッセージに従って、実行するかキャンセルするかを選択してください。

Shootingメニュー

各メニュー項目の機能および設定値は次のとおりです。
太字とアンダーラインで表示されている設定値は、出荷時の設定です。

Shooting > **FPS**
撮像フレームレートを設定します。

メニュー項目	設定値	内容														
Fixed/Variable Select	Fixed /Variable	FPS設定を等速撮影にするか、可変速撮影するかを選択する。 [ご注意] <ul style="list-style-type: none">Variableに設定した場合、音声記録されません。ただし、FPS値がProject Frame Rateと同等である以下の場合には音声記録されます。 <table><tr><th>Project Frame Rate</th><th>FPS</th></tr><tr><td>23.98</td><td>24</td></tr><tr><td>25</td><td>25</td></tr><tr><td>29.97</td><td>30</td></tr><tr><td>47.95</td><td>48</td></tr><tr><td>50</td><td>50</td></tr><tr><td>59.94</td><td>60</td></tr></table> <ul style="list-style-type: none">Variableに設定した場合、撮像フレームレートをProject Frame Rateの整数倍に設定しているときのみゲンロック信号とイメージャー読み出しのV位相ロックがかかります。	Project Frame Rate	FPS	23.98	24	25	25	29.97	30	47.95	48	50	50	59.94	60
Project Frame Rate	FPS															
23.98	24															
25	25															
29.97	30															
47.95	48															
50	50															
59.94	60															

Shooting > FPS 撮像フレームレートを設定します。																										
メニュー項目	設定値	内容																								
FPS Select	Fixed/Variable SelectがFixedの場合、次のいずれかの値が表示されます。 Fixed 23.98/Fixed 24.00/Fixed 25.00/ Fixed 29.97/Fixed 47.95/ Fixed 50.00/Fixed 59.94 Fixed/Variable SelectがVariableの場合の設定値は以下になります。 1 ~ 60/66/72/75/88/ 90/96/100/110/120 [ご注意] <ul style="list-style-type: none">設定可能な最大値はImager Modeと記録フォーマットの組み合わせによって変わります(53ページ)。記録可能な最大設定値はImager Mode、記録フォーマット、使用するAXSメモリーカード種類の組み合わせによって変わります(30ページ)。Project Frame Rateが24/25/50の場合は33.33を設定できます。	撮像フレームレートを選択する。 Project Frame Rateの設定によって初期値が次のように異なります。 <table><tr><th>Project Frame Rate</th><th>Fixed/Variable SelectがVariableの場合の初期値</th><th>Fixed/Variable SelectがFixedの場合の表示値</th></tr><tr><td>59.94</td><td>60</td><td>Fixed 59.94</td></tr><tr><td>50</td><td>50</td><td>Fixed 50.00</td></tr><tr><td>47.95</td><td>48</td><td>Fixed 47.95</td></tr><tr><td>29.97</td><td>30</td><td>Fixed 29.97</td></tr><tr><td>25</td><td>25</td><td>Fixed 25.00</td></tr><tr><td>24</td><td>24</td><td>Fixed 24.00</td></tr><tr><td>23.97</td><td>24</td><td>Fixed 23.98</td></tr></table> [ご注意] 以下に設定されている場合は、7以下の撮像フレームレートを設定できません。 <ul style="list-style-type: none">Base ISOがISO 3200Base ISOがISO 2500かつ記録フォーマットがProRes	Project Frame Rate	Fixed/Variable SelectがVariableの場合の初期値	Fixed/Variable SelectがFixedの場合の表示値	59.94	60	Fixed 59.94	50	50	Fixed 50.00	47.95	48	Fixed 47.95	29.97	30	Fixed 29.97	25	25	Fixed 25.00	24	24	Fixed 24.00	23.97	24	Fixed 23.98
Project Frame Rate	Fixed/Variable SelectがVariableの場合の初期値	Fixed/Variable SelectがFixedの場合の表示値																								
59.94	60	Fixed 59.94																								
50	50	Fixed 50.00																								
47.95	48	Fixed 47.95																								
29.97	30	Fixed 29.97																								
25	25	Fixed 25.00																								
24	24	Fixed 24.00																								
23.97	24	Fixed 23.98																								

Shooting > **Shutter**

電子シャッターに関する設定を行います。

【ご注意】

Technicalメニュー > Special Configuration > RM/RCP Paint Control(114ページ) がOnで、RM-B170などのリモートコントロールユニット接続時は、Shutterはグレースアウトされ設定を変更できません。

メニュー項目	設定値	内容
Shutter Select	Shutter Mode(109ページ) がSpeedの場合 工場出荷時の選択肢 1/24、1/25、1/30、1/48、 1/50、1/60、1/100、 1/120、1/250、1/500、 1/1000、1/2000 ¹⁾ Shutter Mode(109ページ) がAngleの場合 工場出荷時の選択肢 360.0/ 180.0 /172.8/ 144.0/90.0/45.0/22.5/ 11.2/5.6 Step/Cont. Selectで Continuousを選択すると、 360.0 ~ 4.2(Angleの場合) ま たは1/24 ¹⁾ ~ 1/8000 ²⁾ (Speed の場合) の範囲からの選択とな ります。	電子シャッターの開角度またはスピードを選択 する。 スピードの初期値はProject Frame Rate(88 ページ) の設定によって次のようになります。 23.98/24 : 1/24 25 : 1/25 29.97 : 1/30 47.95 : 1/48 50 : 1/50 59.94 : 1/60 1) プロジェクトフレームレートが59.94の場合は1/60 以降の値、50.0の場合は1/50以降の値、29.97の 場合は1/30以降の値、25.0の場合は1/25以降の 値が選択肢となります。 2) プロジェクトフレームレートが50.0または25.0の場 合は1/7000までの値、24.0または23.98の場合は 1/6000までの値が選択肢となります。
Step/Cont. Select	Step /Continuous	電子シャッターの値をステップ単位で選択する か、連続的に選択するかを設定する。
Add/Change Step		Shutter SelectのStepでの選択肢を追加または 変更する。 追加できる選択肢は最大16個になります。
Delete Step		Shutter SelectのStepでの選択肢の1つを削除 する。
Shooting > Flicker Reduce フリッカー低減に関する設定を行います。		
メニュー項目	設定値	内容
Mode	On/ Off	フリッカー低減機能をオン/オフする。
Frequency	50Hz/ 60Hz	フリッカーの原因となる照明の電源周波数を設 定する。

Shooting > **ND**

NDフィルターのポジションを設定します。

メニュー項目	設定値	内容
ND Position	Clear /0.3/0.6/0.9/1.2/1.5/ 1.8/2.1/2.4	NDフィルターの濃度を選択する。

Shooting > **Exposure Index**

EI値を設定します。

【ご注意】

Technicalメニュー > Special Configuration > RM/RCP Paint Control(114ページ) がOnに設定されている場合は、Exposure Indexはグレースアウトされ設定を変更できません。

メニュー項目	設定値	内容
EI Select	Projectメニュー > Basic Setting > Base ISO(88ペー ジ) の設定によって、設定値が 次のように異なります。 MPC-3628 Base ISO 800 : 200EI/250EI/320EI/ 400EI/500EI/640EI/ 800EI /1000EI/1250EI/ 1600EI/2000EI/2500EI/ 3200EI Base ISO 3200 : 800EI/1000EI/1250EI/ 1600EI/2000EI/2500EI/ 3200EI /4000EI/5000EI/ 6400EI/8000EI/ 10000EI/12800EI MPC-3626 ISO 500 : 125EI/160EI/200EI/250E I/320EI/400EI/ 500EI / 640EI/800EI/1000EI/ 1250EI/1600EI/2000EI ISO 2500 : 640EI/800EI/1000EI/ 1250EI/1600EI/2000EI/ 2500EI /3200EI/4000EI/ 5000EI/6400EI/8000EI/ 10000EI	EI値を選択する。 【ご注意】 Technicalメニュー > Special Configuration > RM/ RCP Paint Control(114ページ) がOnに設定されて いる場合は、設定値が以下のように固定されます。 Base ISOがISO500のとき : 500EI Base ISOがISO2500のとき : 2500EI Base ISOがISO800のとき : 800EI Base ISOがISO3200のとき : 3200EI

Shooting > **Gain**

ゲインに関する設定を行います。

【ご注意】

Technicalメニュー > Special Configuration > RM/RCP Paint Control(114ページ) がOffに設定されている場合、またはRM-B170などのリモートコントロールユニットが接続されている場合は、Gainの設定を変更できません。

メニュー項目	設定値	内容
Gain Select	－6dB/－3dB/ 0dB /3dB/6dB/9dB/12dB/15dB/18dB	基準感度を設定する。

Shooting > **White Balance**

ホワイトバランスに関する設定を行います。

【ご注意】

Technicalメニュー > Special Configuration > RM/RCP Paint Control(114ページ) がOnで、RM-B170などのリモートコントロールユニット接続時は、White Balanceはグレースアウトされ設定を変更できません。

メニュー項目	設定値	内容
Color Temp. Select	3200K+00 /4300K+00/5500K+00 および追加された選択肢(計16個まで)	ホワイトバランスの色温度／色合いを表示および選択する。
Add/Change Step		ホワイトバランスのColor TempとTint値を変更して、選択肢を追加または変更する。
Delete Step		追加された選択肢の1つを選択肢から削除する。
Auto White Balance	Run/Cancel	オートホワイトバランスを実行する(Runで実行)。
LED Wall Color Temp.	2000K ～ 15000K(6500K)	インカメラVFX撮影時のLEDウォールの色温度を設定する。 【ご注意】 Technicalメニュー > Special Configuration > In-Camera VFX Mode(114ページ) がオンのときのみ表示されます。
Light Blend	0% ～ 100%	インカメラVFX撮影時の標準照明とLEDウォールによる背景照明の混合比率を設定する。 100% : 標準照明の比率が100% 0% : LEDウォール照明の比率が100% 【ご注意】 Technicalメニュー > Special Configuration > In-Camera VFX Mode(114ページ) がオンのときのみ表示されます。

Shooting > **Look**

Preset Lookに関する設定を行います。

【ご注意】

Projectメニュー > Basic Setting > Input Color Space(88ページ) がS-Gamut3.Cine/SLog3またはS-Gamut3/SLog3の場合を除き、Technicalメニュー > Special Configuration > RM/RCP Paint Control(114ページ) がOnに設定されている場合は、Lookはグレースアウトされ設定を変更できません。

メニュー項目	設定値	内容
Category	Preset Look /User 3D LUT/ART/ACEScct with User 3D/ACESproxy with User 3D/ACES with ART	LUTのカテゴリを選択する。 【ご注意】 ACEScct with User 3D/ACESproxy with User 3D/ACES with ARTは、Projectメニュー > Basic Setting > Input Color Space(88ページ) がACEScctに設定されている場合のみ選択できます。
Preset Look Select	s709 /R709(800%) / S-Gamut3.Cine/ SLog3 / S-Gamut3/ SLog3 / ACESproxy / ACEScct / ACES 1.0 Output-Rec.709	Preset Lookを選択する。 カラーグレーディングの開始点に適した映像やプリントフィルムに近づけた映像を出力する。 s709 : シネマ色 R709(800%) : 忠実色 S-Gamut3/SLog3 : 広い色域 S-Gamut3.Cine/SLog3 : デジタルシネマを考慮した色域 ACESproxy : アカデミーにより規定されている広色域(AP1) のLogカーブです。 ACEScct : ACESproxyにコントラストを抑えたToe特性を持たせた広色域(AP1) のLogカーブです。 ACES 1.0 Output-Rec.709 : アカデミーにより規定されているRec.709のリファレンスルックです。 【ご注意】 <ul style="list-style-type: none">CategoryがPreset Lookに設定されている場合のみ設定できます。「S-Gamut3/SLog3」は、Projectメニュー > Basic Setting > Input Color Space(88ページ) がS-Gamut3/SLog3に設定されている場合のみ選択できます。ACESproxy/ACEScct/ACES 1.0 Output-Rec.709は、Projectメニュー > Basic Setting > Input Color Space(88ページ) がACEScctに設定されている場合のみ選択できます。

Shooting > **Look**

Preset Lookに関する設定を行います。

【ご注意】

Projectメニュー > Basic Setting > Input Color Space(88ページ) がS-Gamut3.Cine/SLog3またはS-Gamut3/SLog3の場合を除き、Technicalメニュー > Special Configuration > RM/RCP Paint Control(114ページ) がOnに設定されている場合は、Lookはグレーアウトされ設定を変更できません。

メニュー項目	設定値	内容
User 3D LUT Select	内蔵メモリーに保存されているUser 3D LUTのファイル名(01 ~ 16)	User 3D LUTファイルを選択する。 【ご注意】 CategoryがUser 3D LUT、ACEScct with User 3DまたはACESproxy with User 3Dに設定されている場合のみ設定できます。
ART Select	内蔵メモリーに保存されているARTのファイル名(01 ~ 16)	ARTファイルを選択する。 【ご注意】 CategoryがARTまたはACES with ARTに設定されている場合のみ設定できます。
ART Information		ART Selectで選択したARTファイルの情報を表示する。 【ご注意】 CategoryがARTまたはACES with ARTに設定されている場合のみ表示できます。
ASC CDL Process	CDL Off /Look-> CDL/CDL -> Look/CDL On	出力映像にASC CDL を適用するかを設定する。 適用する場合、ASC CDLの処理の順番を指定する。 CDL Off : 出力映像にASC CDLを適用しない。 Look->CDL : CDLをLook適用処理の後に適用する。 CDL->Look : CDLをLook適用処理の前に適用する。 CDL On : 出力映像にASC CDLを適用する。 【ご注意】 <ul style="list-style-type: none"> ASC CDLは、Shootingメニュー > LUT Select (84ページ) でLookが選択された出力に有効です。 ASC CDL Processの各選択肢が有効になる条件は次表のとおりです。

Shooting > **Look**

Preset Lookに関する設定を行います。

【ご注意】

Projectメニュー > Basic Setting > Input Color Space(88ページ) がS-Gamut3.Cine/SLog3またはS-Gamut3/SLog3の場合を除き、Technicalメニュー > Special Configuration > RM/RCP Paint Control(114ページ) がOnに設定されている場合は、Lookはグレーアウトされ設定を変更できません。

メニュー項目	設定値	内容
ASC CDL Process	Shooting > Look	Project > Basic Setting > Input Color Space
	Category	Preset Look Select
	Preset Look	s709
		S-Gamut3/Slog3 S-Gamut3.Cine/Slog3
		CDL Off Look -> CDL CDL->Look
		R709(800%) S-Gamut3/Slog3
		S-Gamut3/Slog3 S-Gamut3.Cine/Slog3
		CDL Off Look -> CDL
		S-Gamut3.Cine/Slog3
		S-Gamut3/Slog3 S-Gamut3.Cine/Slog3
		CDL Off Look -> CDL
		ACESproxy ACEScct ACES 1.0 Output-Rec.709
		CDL Off Look -> CDL CDL->Look
	User 3D LUT	—
		S-Gamut3/Slog3 S-Gamut3.Cine/Slog3
		CDL Off Look -> CDL CDL->Look
	ART	—
		S-Gamut3/Slog3 S-Gamut3.Cine/Slog3
		CDL Off Look -> CDL CDL->Look
	ACEScct with User 3D ACESproxy with User 3D	—
		ACEScct
		CDL Off CDL->Look
	ACES with ART	—
		ACEScct
		CDL Off CDL->Look

Shooting > **Look**
Preset Lookに関する設定を行います。

【ご注意】
Projectメニュー > Basic Setting > Input Color Space(88ページ) がS-Gamut3.Cine/SLog3またはS-Gamut3/SLog3の場合を除き、Technicalメニュー > Special Configuration > RM/RCP Paint Control(114ページ) がOnに設定されている場合は、Lookはグレーアウトされ設定を変更できません。

メニュー項目	設定値	内容
ASC CDL Select	No File/ Not Selected /内蔵メモリーに保存されているASC CDLファイル名(01 ~ 99)	本機に登録されたASC CDLを選択する。 【ご注意】 外部からASC CDLファイルにアクセスする場合は、ファイル数が98個以下である必要があります。
ASC CDL Information		ASC CDL Selectで選択したASC CDLの情報を表示する。 表示された画面でSaturationの設定を変更することができます。

Shooting > **Look File**
User 3D LUTファイルを本機に読み込みます。

【ご注意】
Projectメニュー > Basic Setting > Input Color Space(88ページ) がS-Gamut3.Cine/SLog3またはS-Gamut3/SLog3の場合を除き、Technicalメニュー > Special Configuration > RM/RCP Paint Control(114ページ) がOnに設定されている場合は、Look Fileはグレーアウトされ設定を変更できません。

メニュー項目	設定値	内容
Load User 3D LUT		SDカードに保存されているUser 3D LUTファイルを本機に読み込む。
Reset User 3D LUT		任意のUser 3D LUTデータ設定をリセットする。
Reset All User 3D LUTs	Run/Cancel	すべてのUser 3D LUTデータ設定をリセットする(Runで実行)。
Load ART		SDカードに保存されているARTファイルを本機に読み込む。
Reset ART		任意のARTデータ設定をリセットする。
Reset All ARTs	Run/Cancel	すべてのARTデータ設定をリセットする(Runで実行)。
Load ASC CDL		ASC CDLデータをSDカードから読み込む。
Reset ASC CDL		任意のASC CDLデータ設定をリセットする。
Reset All ASC CDLs	Run/Cancel	すべてのASC CDLデータ設定をリセットする(Runで実行)。

Shooting > **LUT Select**
各種出力映像に適用するLUTに関する設定を行います。

【ご注意】
Projectメニュー > Basic Setting > Input Color Space(88ページ) およびTechnicalメニュー > Special Configuration > RM/RCP Paint Control(114ページ) の設定によって各メニュー項目の設定値が異なります(SDR Gainを除く)。

メニュー項目	設定値	内容
SDI 1/2	RM/RCP Paint ControlがOffのとき、Input Color Spaceの設定によって、設定値が次のように異なります。 S-Gamut3.Cine/SLog3またはS-Gamut3/SLog3 : Log/Log(Legal)/ Look ACEScct : Log/ Look RM/RCP Paint ControlがOnのとき、Input Color Spaceの設定によって、設定値が次のように異なります。 S-Gamut3.Cine/SLog3またはS-Gamut3/SLog3 : Log /Look HLG(Natural) : HLG(Natural) HLG(Live) : HLG(Live) Rec.2020/User Gamma またはRec.709/User Gamma : User Gamma	SDI 1/2出力映像に適用するLUTを選択する。

Shooting > **LUT Select**

各種出力映像に適用するLUTに関する設定を行います。

[ご注意]

Projectメニュー > Basic Setting > Input Color Space(88ページ) およびTechnicalメニュー > Special Configuration > RM/RCP Paint Control(114ページ) の設定によって各メニュー項目の設定値が異なります(SDR Gainを除く)。

メニュー項目	設定値	内容
SDI 3/4	RM/RCP Paint ControlがOff のとき、Input Color Spaceの 設定によって、設定値が次の ように異なります。 S-Gamut3.Cine/SLog3また はS-Gamut3/SLog3: Log/Log(Legal)/ Look ACEScct: Log/ Look RM/RCP Paint ControlがOn のとき、Input Color Spaceの 設定によって、設定値が次の ように異なります。 S-Gamut3.Cine/SLog3また はS-Gamut3/SLog3: Log /Look HLG(Natural): HLG(Natural) HLG(Live): HLG(Live) Rec.2020/User Gamma またはRec.709/User Gamma: User Gamma	SDI 3/4出力映像に適用するLUTを選択する。 [ご注意] SDI 1/2出力が以下の場合、SDI 1/2と同じ設定値に 固定されます。 - 4K/QFHD Quad出力 SDI 1/2出力が以下の場合、Monitorと同じ設定値 に固定されます。 - 4K/QFHD 12G/6G出力 - 4K/QFHD Dual出力

Shooting > **LUT Select**

各種出力映像に適用するLUTに関する設定を行います。

[ご注意]

Projectメニュー > Basic Setting > Input Color Space(88ページ) およびTechnicalメニュー > Special Configuration > RM/RCP Paint Control(114ページ) の設定によって各メニュー項目の設定値が異なります(SDR Gainを除く)。

メニュー項目	設定値	内容
Monitor	RM/RCP Paint ControlがOff のとき、Input Color Spaceの 設定によって、設定値が次の ように異なります。 S-Gamut3.Cine/SLog3また はS-Gamut3/SLog3: Log/Log(Legal)/ s709 / R709(800%)/Look/--- ACEScct: Log/ACES 1.0 Output- Rec.709/ s709 / R709(800%)/Look RM/RCP Paint ControlがOn のとき、Input Color Spaceの 設定によって、設定値が次の ように異なります。 S-Gamut3.Cine/SLog3また はS-Gamut3/SLog3: Log /s709/R709(800%)/ Look HLG(Natural): HLG(Natural) / R709(800%) HLG(Live): HLG(Live) /R709(800%) Rec.2020/User Gamma: User Gamma /R709- Like Rec.709/User Gamma: User Gamma	Monitor出力映像に適用するLUTを選択する。 [ご注意] <ul style="list-style-type: none">Technicalメニュー > Special Configuration > SD HDMI(114ページ) がOnのときは無出力となるため、「---」(無効)表示になります。Monitoringメニュー > Output Format > Monitor Out Source(96ページ) がVFに設定されている場合は、メニュー項目名はグレーアウトされますが、Monitor出力映像には、メニューのVF/Monitor LUTの設定が適用されます。Monitor Out SourceがOriginalで、SDI 3/4やHDMI設定がMonitor設定と同じ場合(47ページ) は、Monitor Out SourceをVFに変更してもSDI 3/4やHDMI設定には、メニューのMonitorの設定が適用されます。 Monitor出力映像に適用するLUTを選択する。 [ご注意] <ul style="list-style-type: none">ビューファインダー・モニター画面出力映像にはSDRゲイン値(-12dB) が反映されます。R709(800%)またはR709-Likeに設定されている場合に、SDR Gainで出力ゲインを変更することができます。Monitoringメニュー > Output Format > Monitor Out Source(96ページ) がVFに設定されている場合は、メニュー項目名はグレーアウトされますが、Monitor出力映像には、メニューのVF/Monitor LUTの設定が適用されます。Monitor Out SourceがOriginalで、SDI 3/4やHDMI設定がMonitor設定と同じ場合(47ページ) は、Monitor Out SourceをVFに変更してもSDI 3/4やHDMI設定には、メニューのMonitorの設定が適用されます。

Shooting > **LUT Select**

各種出力映像に適用するLUTに関する設定を行います。

[ご注意]

Projectメニュー > Basic Setting > Input Color Space(88ページ) およびTechnicalメニュー > Special Configuration > RM/RCP Paint Control(114ページ) の設定によって各メニュー項目の設定値が異なります(SDR Gainを除く)。

メニュー項目	設定値	内容
HDMI	RM/RCP Paint ControlがOff のとき(4K/QFHD出力時) : Log/Log(Legal)/ Look	HDMI出力映像の設定値はSDI 1/2と同じため表示のみ。
	RM/RCP Paint ControlがOff のとき(2K/HD出力時) : Log/Log(Legal)/ s709 / R709(800%)/Look/ACES 1.0 Output-Rec.709	HDMI出力映像の設定値はMonitorと同じため表示のみ。 [ご注意] Technicalメニュー > Special Configuration > SD HDMI(114ページ) がOnのときはLogに固定されます。
	RM/RCP Paint ControlがOn のとき(4K/QFHD出力時) : Log /Look/ HLG(Natural)/HLG(Live)/ User Gamma	HDMI出力映像の設定値はSDI 1/2と同じため表示のみ。
	RM/RCP Paint ControlがOn のとき(2K/HD出力時) : Log /s709/R709(800%)/ Look/HLG(Natural)/ HLG(Live)/User Gamma/ R709-Like	HDMI出力映像の設定値はMonitorと同じため表示のみ。

Shooting > **LUT Select**

各種出力映像に適用するLUTに関する設定を行います。

[ご注意]

Projectメニュー > Basic Setting > Input Color Space(88ページ) およびTechnicalメニュー > Special Configuration > RM/RCP Paint Control(114ページ) の設定によって各メニュー項目の設定値が異なります(SDR Gainを除く)。

メニュー項目	設定値	内容
VF LUTまたは VF/Monitor LUT	RM/RCP Paint ControlがOff のとき、Input Color Spaceの 設定によって、設定値が次の ように異なります。 S-Gamut3.Cine/SLog3また はS-Gamut3/SLog3 : Log/ s709 /R709(800%)/ Look ACEScct : Log/ACES 1.0 Output- Rec.709/ s709 / R709(800%)/Look	ビューファインダー・モニター画面出力映像に適用するLUTを選択する。
	RM/RCP Paint ControlがOn のとき、Input Color Spaceの 設定によって、設定値が次の ように異なります。 S-Gamut3.Cine/SLog3また はS-Gamut3/SLog3 : Log/s709/ R709(800%) / Look HLG(Natural) : HLG(Natural)/ R709(800%) HLG(Live) : HLG(Live)/ R709(800%) Rec.2020/User Gamma : User Gamma/ R709-Like Rec.709/User Gamma : User Gamma	ビューファインダー・モニター画面出力映像に適用するLUTを選択する。 [ご注意] <ul style="list-style-type: none">ビューファインダー・モニター画面出力映像にはSDR ゲイン値(−12dB) が反映されます。R709(800%)またはR709-Likeに設定されている場合は、SDR Gainで出力ゲインを変更することができます。

Shooting > **LUT Select**

各種出力映像に適用するLUTに関する設定を行います。

【ご注意】

Projectメニュー > Basic Setting > Input Color Space(88ページ) およびTechnicalメニュー > Special Configuration > RM/RCP Paint Control(114ページ) の設定によって各メニュー項目の設定値が異なります(SDR Gainを除く)。

メニュー項目	設定値	内容
ProRes	RM/RCP Paint ControlがOff のとき： Log /Look/---	ProRes記録映像に適用するLUTを選択する。 【ご注意】 Projectメニュー > Basic Setting > Recording Format(88ページ) がX-OCNフォーマットのときは「---」(無効)表示になります。
	RM/RCP Paint ControlがOn のとき： Log/HLG(Natural)/ HLG(Live)/User Gamma	ProRes記録映像の設定値は、Projectメニュー > Basic Setting > Input Color Space(88ページ) の設定で決まるため表示のみ。
SDR Gain	−15dB ~ 0dB(−12dB) (1 dB 刻み)	RM/RCP Paint ControlがOnのときのSDR出力ゲインを設定する。 R709(800%)またはR709-Likeに設定されているMonitorまたはビューファインダーの出力ゲインを変更することができます。 【ご注意】 RM/RCP Paint ControlがOnに設定されている場合に設定できます。

Projectメニュー

各メニュー項目の機能および設定値は次のとおりです。
太字とアンダーラインで表示されている設定値は、出荷時の設定です。

Project > Basic Setting 画サイズやプロジェクトフレームレートに関する設定を行います。		
メニュー項目	設定値	内容
Imager Mode	MPC-3628 8.6K 3:2/8.6K 17:9/ 8.2K 17:9/8.2K 2.39:1/ 8.1K 16:9/7.6K 16:9/ 5.8K 6:5/5.8K 4:3/ 5.8K 17:9 /5.5K 2.39:1/ 5.4K 16:9 MPC-3626 6K 3:2/6K 1.85:1/6K 17:9/6K 2.39:1/5.7K 16:9/4K 6:5/4K 4:3/4K 4:3 Surround View/ 4K 17:9 /4K 17:9 Surround View/4K 2.39:1/3.8K 16:9/3.8K 16:9 Surround View	有効画サイズを選択する。 [ご注意] <ul style="list-style-type: none">5.8K 6:5/5.8K 4:3はアナモフィックライセンスイン ストール時のみ表示されます。7.6K 16:9/8.2K 17:9/8.6K 3:2/8.1K 16:9/8.2K 2.39:1/8.6K 17:9はフルフレームライセンスインス トール時のみ表示されます。6K 3:2/6K 1.85:1/6K 17:9/6K 2.39:1/5.7K 16:9は フルフレームライセンスインストール時のみ表示され ます。4K 6:5/4K 4:3/4K 4:3 Surround Viewはアナモ フィックライセンスインストール時のみ表示されま す。Imager Modeの設定値および選択肢の右側に以下 の画角情報が表示されます。 FF : Full Frame画角 (FF) : Full Frameに近い画角 (S35) : Super35mmに近い画角 S35 : Super35mm画角
Project Frame Rate	23.98 /24/25/29.97/47.95/ 50/59.94	プロジェクトフレームレートを選択する。
Input Color Space	RM/RCP Paint Control(114 ページ) がOffのとき : S-Gamut3.Cine/SLog3 / S-Gamut3/SLog3 / ACEScct RM/RCP Paint ControlがOn のとき : S-Gamut3.Cine/SLog3 / S-Gamut3/SLog3 / HLG(Natural) / HLG(Live) / Rec.2020/User Gamma / Rec.709/User Gamma	色域を設定する。 [ご注意] HLG(Natural)はHLG BT.2100と同等です。

Project > Basic Setting 画サイズやプロジェクトフレームレートに関する設定を行います。		
メニュー項目	設定値	内容
Recording Format	X-OCN XT/ X-OCN ST / X-OCN LT/ProRes 4444 XQ 4K/ProRes 4444 XQ QFHD/ ProRes 4444 4K/ProRes 4444 QFHD/ProRes 422 HQ 4K/ProRes 422 HQ QFHD	AXSメモリーカードに記録するビデオフォーマッ トを選択する。
[ご注意] 有効画サイズやプロジェ クトフレームレートの組 み合わせによって、設 定可能な記録フォーマッ トは異なります。「記 録フォーマット設定表」 (70ページ) を参照し、 設定してください。		
Base ISO	MPC-3628 ISO 800 /ISO 3200 MPC-3626 ISO 500 /ISO 2500	基準感度を設定する。
Anamo. De-Squeeze	Off(1.0x) /1.25x/1.3x/1.5x/ 1.6x/1.8x/2.0x	アナモフィックライセンスがインストールさ れている場合、以下に示すImager Modeで Anamo. De-Squeezeの設定を変更できます。
X-OCN記録時 MPC-3628		
Imager Mode		Anamo. De-Squeeze
		Off(1.0x) 1.25x 1.3x 1.5x 1.6x 1.8x 2.0x
8.6K 3:2		○ ○ ○ ○ ○ ○ ○
8.6K 17:9		○ ○ ○ — ○ ○ ○
8.2K 17:9		○ ○ ○ — ○ ○ ○
8.2K 2.39:1		○ — — — — — —
8.1K 16:9		○ — — — — — —
7.6K 16:9		○ — — — — — —
5.8K 6:5		○ — — — — — ○
5.8K 4:3		○ — ○ — ○ ○ ○
5.8K 17:9		○ ○ ○ — ○ ○ ○
5.5K 2.39:1		○ — — — — — —
5.4K 16:9		○ — — — — — —

Project > **Basic Setting**

画サイズやプロジェクトフレームレートに関する設定を行います。

メニュー項目	設定値	内容						
	MPC-3626							
	Imager Mode	Anamo. De-Squeeze						
		Off(1.0x)	1.25x	1.3x	1.5x	1.6x	1.8x	2.0x
	6K 3:2	○	○	○	○	○	○	○
	6K 1.85:1	○	—	—	—	—	—	—
	6K 17:9	○	○	○	—	○	○	○
	6K 2.39:1	○	—	—	—	—	—	—
	5.7K 16:9	○	—	—	—	—	—	—
	4K 6:5	○	—	—	—	—	—	○
	4K 4:3 Surround	○	—	○	—	○	○	○
	4K 4:3	○	—	○	—	○	○	○
	4K 17:9 Surround	○	○	○	—	○	○	○
	4K 17:9	○	○	○	—	○	○	○
	4K 2.39:1	○	—	—	—	—	—	—
	3.8K 16:9	○	—	—	—	—	—	—
	Surround							
	3.8K 16:9	○	—	—	—	—	—	—
	ProRes記録時							
	MPC-3628							
	Imager Mode	Anamo. De-Squeeze						
		Off(1.0x)	1.25x	1.3x	1.5x	1.6x	1.8x	2.0x
	8.6K 3:2	—	○ ¹⁾	○ ¹⁾	○ ¹⁾	○ ¹⁾	○ ¹⁾	○ ¹⁾
	8.6K 17:9	○	—	—	—	—	—	—
	8.2K 17:9	○	—	—	—	—	—	—
	8.2K 2.39:1	○	—	—	—	—	—	—
	8.1K 16:9	○	—	—	—	—	—	—
	7.6K 16:9	○	—	—	—	—	—	—
	5.8K 6:5	—	—	—	—	—	—	○ ²⁾
	5.8K 4:3	—	—	○ ¹⁾	—	○ ¹⁾	○ ¹⁾	○ ¹⁾
	5.8K 17:9	○	—	—	—	—	—	—
	5.5K 2.39:1	○	—	—	—	—	—	—
	5.4K 16:9	○	—	—	—	—	—	—

Project > **Basic Setting**

画サイズやプロジェクトフレームレートに関する設定を行います。

メニュー項目	設定値	内容						
	MPC-3626							
	Imager Mode	Anamo. De-Squeeze						
		Off(1.0x)	1.25x	1.3x	1.5x	1.6x	1.8x	2.0x
6K 3:2	—	○ ¹⁾	○ ¹⁾	○ ¹⁾	○ ¹⁾	○ ¹⁾	○ ¹⁾	○ ¹⁾
6K 1.85:1	—	—	—	—	—	—	—	—
6K 17:9	○	—	—	—	—	—	—	—
6K 2.39:1	○	—	—	—	—	—	—	—
5.7K 16:9	○	—	—	—	—	—	—	—
4K 6:5	—	—	—	—	—	—	—	○ ²⁾
4K 4:3 Surround	—	—	—	—	—	—	—	—
4K 4:3	—	—	○ ¹⁾	—	○ ¹⁾	○ ¹⁾	○ ¹⁾	○ ¹⁾
4K 17:9 Surround	○	—	—	—	—	—	—	—
4K 17:9	○	—	—	—	—	—	—	—
4K 2.39:1	○	—	—	—	—	—	—	—
3.8K 16:9	○	—	—	—	—	—	—	—
Surround								
3.8K 16:9	○	—	—	—	—	—	—	—

1) 4K ProRes記録時にZoom to Fitは17:9、QFHD ProRes記録時にZoom to Fitは16:9になります。

2) 4K ProRes記録時にZoom to FitはOffまたは17:9、QFHD ProRes記録時にZoom to Fitは16:9になります。

Project > **Basic Setting**
画サイズやプロジェクトフレームレートに関する設定を行います。

メニュー項目	設定値	内容
Zoom to Fit	Off /2.39:1/17:9/16:9	ビューファインダー画面、またはMonitor出力に対して、記録映像を切り出して拡大表示するかを設定する。

デスクイーズ 変換処理を行った記録画像については、以下のイメージャーモードの場合に設定できます。

MPC-3628

Imager Mode	Anamo. De-Squeeze						
	Off(1.0x)	1.25x	1.3x	1.5x	1.6x	1.8x	2.0x
8.6K 3:2	17:9 ¹⁾	17:9	17:9	17:9	2.39:1 ¹⁾	2.39:1 ¹⁾	2.39:1 ¹⁾
	16:9 ¹⁾	16:9	16:9	16:9	17:9	17:9	17:9
5.8K 6:5	—	—	—	—	16:9	16:9	16:9
	—	—	—	—	—	—	17:9
5.8K 4:3	—	—	17:9	—	17:9	17:9	17:9
	—	—	16:9	—	16:9	16:9	16:9
5.8K 17:9	—	—	2.39:1 ¹⁾	—	2.39:1 ¹⁾	2.39:1 ¹⁾	2.39:1 ¹⁾

1) X-OCN記録時のみ対応

MPC-3626

Imager Mode	Anamo. De-Squeeze						
	Off(1.0x)	1.25x	1.3x	1.5x	1.6x	1.8x	2.0x
6K 3:2	17:9 ¹⁾	17:9	17:9	17:9	2.39:1 ¹⁾	2.39:1 ¹⁾	2.39:1 ¹⁾
	16:9 ¹⁾	16:9	16:9	16:9	17:9	17:9	17:9
4K 6:5	—	—	—	—	16:9	16:9	16:9
	—	—	—	—	—	—	17:9
4K 4:3	—	—	17:9	—	17:9	17:9	17:9
	—	—	16:9	—	16:9	16:9	16:9
4K 17:9	—	—	2.39:1 ¹⁾	—	2.39:1 ¹⁾	2.39:1 ¹⁾	2.39:1 ¹⁾

1) X-OCN記録時のみ対応

[ご注意]

- Project Frame Rateが47.95のときは、16:9を選択できません。
- 17:9または2.39:1の場合はSDI出力フォーマットをQFHDに設定できません。16:9の場合はSDI出力フォーマットを4Kに設定できません。
- ProRes記録時は、記録フォーマットが4Kの場合は、16:9に設定できません。記録フォーマットがQFHDの場合は、17:9や2.39:1に設定できません。
- ProRes記録時は、Imager Modeが5.8K 6:5/4K 6:5かつAnamo. De-Squeezeが2.0xの場合を除き、Offに設定できません。

Project > **Assignable Button**
アサインابلボタンに機能を割り当てます。

◆ 機能の割り当てについて詳しくは、「ユーザー機能画面」(57ページ)をご覧ください。

メニュー項目	設定値	内容
<1>	57ページ	アサインابل1ボタンに機能を割り当てる。
<2>	57ページ	アサインابل2ボタンに機能を割り当てる。
<3>	57ページ	アサインابل3ボタンに機能を割り当てる。
<4>	57ページ	アサインابل4ボタンに機能を割り当てる。
<5>	57ページ	アサインابل5ボタンに機能を割り当てる。

[ご注意]

本機にCBK-3620XSまたはCBK-3621XSが接続されている場合のみ表示されます。

<6>	57ページ	アサインابل6ボタンに機能を割り当てる。
-----	-------	-----------------------

[ご注意]

本機にCBK-3620XSが接続されている場合のみ表示されます。

<7>	57ページ	アサインابل7ボタンに機能を割り当てる。
-----	-------	-----------------------

[ご注意]

本機にCBK-3620XSが接続されている場合のみ表示されます。

<VF A>	57ページ	ビューファインダー (DVF-EL200) のアサインابلAボタンに機能を割り当てる。
<VF B>	57ページ	ビューファインダー (DVF-EL200) のアサインابلBボタンに機能を割り当てる。
<VF C>	57ページ	ビューファインダー (DVF-EL200) のアサインابلCボタンに機能を割り当てる。
<User 1>	57ページ	ITEMキー 1に機能を割り当てる。
<User 2>	57ページ	ITEMキー 2に機能を割り当てる。
<User 3>	57ページ	ITEMキー 3に機能を割り当てる。
<User 4>	57ページ	ITEMキー 4に機能を割り当てる。
<User 5>	57ページ	ITEMキー 5に機能を割り当てる。

Project > Special Recording ピクチャーキャッシュレックに関する設定を行います。		
メニュー項目	設定値	内容
Cache Rec Select	On/ <u>Off</u>	ピクチャーキャッシュレック機能をオン／オフする。
Max Cache Rec Duration	<u>2 s</u> /4 s/6 s/8 s/10 s/15 s/ 24 s/30 s	ピクチャーキャッシュメモリーに画像を蓄積するときの再生時間長を設定する。 AXSメモリーカードに設定可能な最大値は以下のとおりです。 [ご注意] FPSがVariableに設定されている場合は、実際の再生時間長はMax Cache Rec Durationの設定と異なります。

Project > **Special Recording**
ピクチャーキャッシュレックに関する設定を行います。

メニュー項目	設定値	内容						
X-OCN記録時 MPC-3628								
Imager Mode	Recording Format	Project Frame Rate						
		23.98	24	25	29.97	47.95	50	59.94
8.6K 3:2	X-OCN XT	4	4	4	2	—	—	—
	X-OCN ST	10	10	8	6	—	—	—
	X-OCN LT	15	15	15	15	—	—	—
8.6K 17:9	X-OCN XT	6	6	6	4	—	—	—
	X-OCN ST	10	10	10	10	4	—	—
	X-OCN LT	30	30	24	15	10	—	—
8.2K 17:9	X-OCN XT	8	8	8	6	—	—	—
	X-OCN ST	15	15	15	10	4	4	2
	X-OCN LT	30	30	30	24	10	10	8
8.2K 2.39:1	X-OCN XT	10	10	10	8	2	2	—
	X-OCN ST	15	15	15	15	8	6	4
	X-OCN LT	30	30	30	30	15	15	10
8.1K 16:9	X-OCN XT	6	6	6	4	—	—	—
	X-OCN ST	10	10	10	10	—	—	—
	X-OCN LT	30	30	24	15	—	—	—
7.6K 16:9	X-OCN XT	8	8	8	6	—	—	—
	X-OCN ST	15	15	15	10	—	4	2
	X-OCN LT	30	30	30	24	—	10	8
5.8K 6:5	X-OCN XT	10	10	10	8	2	—	—
	X-OCN ST	15	15	15	15	8	—	—
	X-OCN LT	30	30	30	30	15	—	—
5.8K 4:3	X-OCN XT	15	15	15	10	4	4	2
	X-OCN ST	24	24	24	15	10	10	6
	X-OCN LT	30	30	30	30	15	15	15
5.8K 17:9	X-OCN XT	24	24	24	15	8	8	6
	X-OCN ST	30	30	30	30	15	15	10
	X-OCN LT	30	30	30	30	30	30	24
5.5K 2.39:1	X-OCN XT	30	30	30	24	15	10	10
	X-OCN ST	30	30	30	30	24	24	15
	X-OCN LT	30	30	30	30	30	30	30
5.4K 16:9	X-OCN XT	24	24	24	15	—	8	6
	X-OCN ST	30	30	30	30	—	15	10
	X-OCN LT	30	30	30	30	—	30	24

Project > **Special Recording**

ピクチャーキャッシュレックに関する設定を行います。

メニュー項目	設定値	内容							
MPC-3626									
Imager Mode	Recording Format	Project Frame Rate							
		23.98	24	25	29.97	47.95	50	59.94	
6K 3:2	X-OCN XT	15	15	15	10	4	4	2	
	X-OCN ST	24	24	24	15	10	10	6	
	X-OCN LT	30	30	30	30	15	15	15	
6K 1.85:1	X-OCN XT	15	15	15	15	8	6	4	
	X-OCN ST	30	30	30	24	15	10	10	
	X-OCN LT	30	30	30	30	30	24	15	
6K 17:9	X-OCN XT	15	15	15	15	8	8	4	
	X-OCN ST	30	30	30	24	15	10	10	
	X-OCN LT	30	30	30	30	30	24	15	
6K 2.39:1	X-OCN XT	30	30	24	15	10	10	8	
	X-OCN ST	30	30	30	30	15	15	15	
	X-OCN LT	30	30	30	30	30	30	30	
5.7K 16:9	X-OCN XT	15	15	15	15	—	8	4	
	X-OCN ST	30	30	30	24	—	10	10	
	X-OCN LT	30	30	30	30	—	24	15	
4K 6:5	X-OCN XT	30	30	30	24	10	10	10	
	X-OCN ST	30	30	30	30	24	15	15	
	X-OCN LT	30	30	30	30	30	30	30	
4K 4:3	X-OCN XT	30	30	30	30	15	15	10	
	X-OCN ST	30	30	30	30	24	24	15	
	X-OCN LT	30	30	30	30	30	30	30	
4K 4:3 Surround	X-OCN XT	30	30	30	30	—	—	—	
	X-OCN ST	30	30	30	30	—	—	—	
	X-OCN LT	30	30	30	30	—	—	—	
4K 17:9	X-OCN XT	30	30	30	30	24	24	15	
	X-OCN ST	30	30	30	30	30	30	30	
	X-OCN LT	30	30	30	30	30	30	30	
4K 17:9 Surround	X-OCN XT	30	30	30	30	—	—	—	
	X-OCN ST	30	30	30	30	—	—	—	
	X-OCN LT	30	30	30	30	—	—	—	
4K 2.39:1	X-OCN XT	30	30	30	30	30	30	24	
	X-OCN ST	30	30	30	30	30	30	30	
	X-OCN LT	30	30	30	30	30	30	30	
3.8K 16:9	X-OCN XT	30	30	30	30	—	24	15	
	X-OCN ST	30	30	30	30	—	30	30	
	X-OCN LT	30	30	30	30	—	30	30	
3.8K 16:9 Surround	X-OCN XT	30	30	30	30	—	—	—	
	X-OCN ST	30	30	30	30	—	—	—	
	X-OCN LT	30	30	30	30	—	—	—	

Project > **Special Recording**

ピクチャーキャッシュレックに関する設定を行います。

メニュー項目	設定値	内容						
ProRes記録時								
	Recording Format	Project Frame Rate						
		23.98	24	25	29.97	47.95	50	59.94
	ProRes 4444 XQ 4K	24	24	15	15	—	8	6
	ProRes 4444 4K	30	30	30	30	—	15	10
	ProRes 422 HQ 4K	30	30	30	30	—	24	15
	ProRes 4444 XQ QFHD	24	24	24	15	—	8	6
	ProRes 4444 QFHD	30	30	30	30	—	15	10
	ProRes 422 HQ QFHD	30	30	30	30	—	30	24

Project > **All File(Cam Setup)**

Allファイルに関する設定を行います。

メニュー項目	設定値	内容
Load SD Card		Allファイルの設定をSDカードから読み出す。
Save SD Card		Allファイルの設定をSDカードに保存する。
File ID		AllファイルのFile IDを表示し、編集する。
Load Network Data	On /Off	Allファイルを読み出す場合に、Allファイルのネットワーク設定を含む(On) か、含まない(Off)かを設定する。
Format SD Card		SD Cardをフォーマットする。

Project > **Scene File**

Sceneファイルに関する設定を行います。

【ご注意】

Technicalメニュー > Special Configuration > RM/RCP Paint Control(114ページ) がOnに設定されている場合のみ、Scene Fileを表示・選択できます。

メニュー項目	設定値	内容
Recall Internal Memory		Sceneファイルの設定を内蔵メモリーから読み出す。
Store Internal Memory		Sceneファイルの設定を内蔵メモリーに保存する。
Load SD Card		Sceneファイルの設定をSDカードから読み出す。
Save SD Card		Sceneファイルの設定をSDカードに保存する。
File ID		SceneファイルのFile IDを表示し、編集する。

Project > **User Gamma**

ユーザーガンマファイルに関する設定を行います。

【ご注意】

Technicalメニュー > Special Configuration > RM/RCP Paint Control(114 ページ) がOnに設定されている場合のみ、User Gammaを表示・選択できます。

メニュー項目	設定値	内容
Current Settings		内蔵メモリー上の、現在のユーザーガンマファイル名を表示する。
Load SD Card		SDカード内のユーザー作成によるガンマテーブルデータ(ユーザーガンマファイル) を内蔵メモリーに読み込む。 RAW Viewerで作成されたユーザーガンマファイルを本機で使用する際には、SDカードの以下の階層に保存してください。 MPC-3628: PRIVATE\SONY\PRO\CAMERA\ MPC3628 MPC-3626: PRIVATE\SONY\PRO\CAMERA\ MPC3626
Reset	1/2/3/4/5/All	内蔵メモリー上のユーザーガンマファイルを初期値に戻す。 1 ～ 5 : 個別 All : 全部

TC/Mediaメニュー

各メニュー項目の機能および設定値は次のとおりです。
太字とアンダーラインで表示されている設定値は、出荷時の設定です。

TC/Media > Timecode タイムコードに関する設定を行います。		
メニュー項目	設定値	内容
Mode	Preset F-Run (Ext-Lk)/ <u>Preset R-Run</u> /Int Regen	タイムコードの歩進モードを選択する。 Preset F-Run (Ext-Lk) : 設定された状態から歩進し、外部入力タイムコードに同期する。 Preset R-Run : 記録時のみ設定された状態から歩進する。 Int Regen : 前のクリップのタイムコードに続けて歩進する。
Manual Setting	00:00:00:00 ~ 23:59:59:29	任意のタイムコード値を設定する。
Reset	Run/Cancel	タイムコードを00:00:00:00にリセットする (Runで実行)
TC Format	DF/ <u>NDF</u>	タイムコードのフォーマットを選択する。 DF : ドロップフレーム NDF : ノンドロップフレーム
TC Source	Internal/External	TCGの同期元を表示する。
Time Data Display	<u>Timecode</u> /Duration	表示するタイムデータを選択する。
TC/Media > Genlock ゲンロックに関する設定を行います。		
メニュー項目	設定値	内容
Input Source	<u>HD SDI</u> /Analog	ゲンロック入力信号を選択する。 HD SDI : デジタル Analog : アナログ

TC/Media > Genlock ゲンロックに関する設定を行います。		
メニュー項目	設定値	内容
Reference Lock Type	Internal/ External(HD 59.94i)/ External(HD 50i)/ External(HD 48i)/ External(HD 47.95i)/ External(HD 29.97P)/ External(HD 25P)/ External(HD 24P)/ External(HD 23.98P)/ External(SD 59.94i)/ External(SD 50i)	ゲンロックの状態を表示する。ゲンロックがかかっている場合は信号の種別を表示する。 Internal : かかっていない。 External(HD) : HD syncでかかっている。 External(SD) : SD syncでかかっている。 対応するゲンロック入力に対する設定値表示は以下のとおりです。
設定値表示		ゲンロック入力信号
External(HD 59.94i)		1920×1080 59.94i(29.97PsF)
External(HD 50i)		1920×1080 50i(25PsF)
External(HD 48i)		1920×1080 48i(24PsF)
External(HD 47.95i)		1920×1080 47.95i(23.98PsF)
External(HD 29.97P)		1920×1080 29.97P
External(HD 25P)		1920×1080 25P
External(HD 24P)		1920×1080 24P
External(HD 23.98P)		1920×1080 23.98P
External(SD 59.94i)		720×486 59.94i
External(SD 50i)		720×576 50i

TC/Media > Genlock ゲンロックに関する設定を行います。		
メニュー項目	設定値	内容
Sync Shift	0(0.000μs) Projectメニュー > Basic Setting > Project Frame Rate (88ページ) の設定によって、調整範囲上限のステップ数が変わります。 x.xxx μsは、ステップ値に応じた位相シフト時間を表示します。 59.94 : 0 ~ 247500(+x.xxx μs) 50 : 0 ~ 297000(+x.xxx μs) 47.95 : 0 ~ 309375(+x.xxx μs) 29.97 : 0 ~ 495000(+x.xxx μs) 25 : 0 ~ 594000(+x.xxx μs) 24/23.98 : 0 ~ 618750(+x.xxx μs)	ゲンロック入力信号の位相をステップ単位で調整する(150ページ)。 [ご注意] FPS値がProject Frame Rateと同等である場合を除く可変速撮影時には、Sync Shiftはグレイアウトされ設定を変更できません。

TC/Media > Clip Name Format クリップ名を設定します。(クリップ名 : Camera ID + Reel Number + Shot Number + 年月日 + ランダム文字列)		
メニュー項目	設定値	内容
Camera ID	Double Digit Camera ID (95ページ) がOffのとき : A ~ Z Double Digit Camera IDがOnのとき : AA ~ ZZ	クリップ名の生成時のカメラIDを設定する。
Reel Number	001 ~ 999	クリップ名の生成時のReel Numberの数字部分を設定する。
Camera Position	C /L/R	クリップ名の生成時のShot Numberの先頭文字部分を選択する。 [ご注意] Double Digit Camera IDがOnに設定されている場合は、Camera Positionはグレイアウトされ設定を変更できません。

TC/Media > Clip Name Format クリップ名を設定します。(クリップ名 : Camera ID + Reel Number + Shot Number + 年月日 + ランダム文字列)		
メニュー項目	設定値	内容
Double Digit Camera ID	On/ Off	Camera IDを2桁表示する機能をオン/オフする。
TC/Media > Format Media メディアのフォーマット、メディア内の管理ファイルの更新を行います。		
メニュー項目	設定値	内容
AXS Slot A	Run/Cancel	スロットAのAXSメモリーカードを初期化する(Runで実行)。
AXS Slot B	Run/Cancel	スロットBのAXSメモリーカードを初期化する(Runで実行)。
SD Card	Run/Cancel	SDカードを初期化する(Runで実行)。

Monitoringメニュー

各メニュー項目の機能および設定値は次のとおりです。
太字とアンダーラインで表示されている設定値は、出荷時の設定です。

Monitoring > Output Format 出力フォーマットに関する設定を行います。		
メニュー項目	設定値	内容
SDI 1/2	Imager Mode、プロジェクト フレームレート、Recording Formatの設定に応じて変わる。	SDI 1/2の出力フォーマットを選択する。 記録フォーマットにより設定値が異なる(155 ページ)。
SDI 3/4	SDI 1/2の設定に応じて変わる。	SDI 3/4の出力フォーマットを選択する。 記録フォーマットにより設定値が異なる(155 ページ)。
Monitor	SDI 1/2の設定に応じて変わる。	Monitorの出力フォーマットを選択する。 記録フォーマットにより設定値が異なる(160 ページ)。 [ご注意] <ul style="list-style-type: none">Monitoringメニュー > Output Format > Monitor Out Source(96ページ) がVFに設定 されている場合は、メニュー項目名のみグレーアウ トされますが、Monitor出力映像には、メニューの VF/Monitorの設定が適用されます。Monitor Out SourceがOriginalで、SDI 3/4や HDMI設定がMonitor設定と同じ場合(47ペー ジ) は、Monitor Out SourceがVFの場合でもSDI 3/4やHDMI設定には、メニューのMonitorの設定 が適用されます。
HDMI	SDI 1/2の設定に応じて変わる。	HDMIの出力フォーマットを選択する。 記録フォーマットにより設定値が異なる(160 ページ)。
3G SDI 1/2/3/4 Output	Level A/ Level B	3G SDI出力フォーマットをLevelAにするか Level Bにするかを選択する。

Monitoring > Output Format 出力フォーマットに関する設定を行います。		
メニュー項目	設定値	内容
Monitor Out Source	Original /VF	MONITOR OUT端子から出力する信号を選択 する。 Original : MONITOR OUT端子からMonitor 信号を出力する。 VF : MONITOR OUT端子からVF信号を出力す る。 [ご注意] VFに設定した場合は以下にご注意ください。 <ul style="list-style-type: none">Monitor関連メニューは設定は可能ですが、Monitor出力映像には反映されません。以下のメニューは項目名はグレー アウトしますが、設定は可能です。<ul style="list-style-type: none">LUT Select > Monitor(85ページ)Output Format > Monitor(96ページ)Overlays/Frame Line > Monitor(99ページ)以下のアサインブル機能はMonitor出力映像には反映されません。<ul style="list-style-type: none">Monitor Frame Line, Monitor Overlay, Press & Hold for Moni Log, Monitor Focus Magnifier, Monitor Mag. Position, Monitor Highlight Clip Ind, Monitor Exposure Assist, Monitor High/Low KeyVF関連およびMonitor関連メニューの表示および動作が変わります。<ul style="list-style-type: none">LUT SelectのVF LUTがVF/Monitor LUTに変更(86ページ)VF DisplayのVF LUT がVF/Monitor LUTに変更(97ページ)Overlays/Frame Line のVFがVF/Moniに変更(98ページ)
Monitoring > Output Display モニターの表示に関する設定を行います。		
メニュー項目	設定値	内容
Flip Image	Normal /Horizontal Flip/ Vertical Flip/H & V Flip	撮影モード時の画像の反転状態を設定する。 Normalに設定すると画像反転しない。 [ご注意] <ul style="list-style-type: none">AXS記録画像は反転されずに記録されます。Vertical FlipまたはH & V Flip選択時は、映像信号 と音声信号共に撮像フレームレートで内部の処理が 約1 Frame遅延します。
Audio/Video Delay	Off /1frame	映像信号と音声信号を遅延させて画像反転して いる他の機器と同期する機能を有効にするかを 選択する。 Off : 遅延制御をしない 1frame : 映像信号と音声信号、メタデータ(タイ ムコードを含む) を約1 Frame遅延させる。 [ご注意] Flip ImageがVertical FlipまたはH & V Flipに設定さ れている場合は1frame固定になります。

Monitoring > Output Display		
モニターの表示に関する設定を行います。		
メニュー項目	設定値	内容
Monitor Magnifier Mode	Toggle /Press & Hold	<p>Monitor出力映像のピント拡大機能をオン／オフする方法を選択する。</p> <p>Toggle : Monitor Focus Magnifierを割り当てたアサインブルボタンを押すたびにオン／オフが切り替わる。</p> <p>Press & Hold : Monitor Focus Magnifierを割り当てたアサインブルボタンを押している間だけオンになる。</p>
Monitor Magnifier Ratio	x2.0 / x4.0 / x2.0/x4.0	<p>Monitor出力映像の拡大フォーカス機能の拡大率を選択する。</p> <p>【ご注意】</p> <ul style="list-style-type: none"> Project Frame Rate(88ページ) が59.94または50のときは、x2.0のみ選択可能です。 Monitor Magnifier ModeがPress & Holdのときは、x2.0/x4.0は選択できません。

Monitoring > VF Display ビューファインダーの表示に関する設定を行います。		
メニュー項目	設定値	内容
VF LUTまたは VF/Monitor LUT	Technicalメニュー > Special Configuration > RM/RCP Paint Control(114ページ) がOffのとき： Log/ s709 /R709(800%)/ Look	ビューファインダー・モニター画面出力映像に適用するLUTを選択する。
[ご注意] • Monitoringメニュー > Output Format > Monitor Out Source (96ページ) が Originalに設定されている場合は「VF LUT」と表示されます。VF に設定されている場合は、「VF/Monitor LUT」と表示されます。 • Shootingメニュー > LUT Select > VF LUT またはVF/Monitor LUT(86ページ) と設定は共通で連動します。	RM/RCP Paint ControlがOn のとき： Projectメニュー > Basic Setting > Input Color Space(88ページ) の設定によって、設定値が次のように異なります。 S-Gamut3.Cine/SLog3またはS-Gamut3/SLog3： Log/ R709(800%) HLG(Natural)： HLG(Natural)/ R709(800%) HLG(Live)： HLG(Live)/ R709(800%) Rec.2020/User Gamma： User Gamma/ R709-Like Rec.709/User Gamma： User Gamma	ビューファインダー・モニター画面出力映像の種類を選択する。 [ご注意] • ビューファインダー・モニター画面出力映像にはSDR ゲイン値(-12dB) が反映されます。 • R709(800%)またはR709-Likeに設定されている場合に、SDR Gainで出力ゲインを変更することができます。
Overlay	Info. A /Info. B/Rec Ind./Off	ビューファインダー・モニター画面出力映像に重畳して表示する情報を選択する。
Frame Line	Frame Line A/Frame Line B/ Off	ビューファインダー・モニター画面出力映像に重畳して表示するフレームラインを選択する。
VF Magnifier Mode	Toggle /Press & Hold	ビューファインダーのピント拡大機能をオン／オフする方法を選択する。 Toggle：VF Focus Magnifierのアサインابل ボタンを押すたびにオン／オフが切り替わる。 Press & Hold：VF Focus Magnifierのアサイン ナブルボタンを押している間だけオンになる。

Monitoring > VF Display ビューファインダーの表示に関する設定を行います。		
メニュー項目	設定値	内容
VF Magnifier Ratio	x2.0 / x4.0 / x2.0/x4.0	ビューファインダーの拡大フォーカス機能の拡大率を選択する。 [ご注意] VF Magnifier ModeがPress & Holdのときは、x2.0/x4.0は選択できません。
Color	−99 ~ ±0 ~ +99	ビューファインダー映像の色の濃さを調整する。
SDR Gain	−15dB ~ 0dB(−12dB) (1 dB 刻み)	RM/RCP Paint ControlがOnのときのSDR出力ゲインを設定する。 R709(800%)またはR709-Likeに設定されているMonitorまたはビューファインダーの出力ゲインを変更することができます。 [ご注意] <ul style="list-style-type: none">Shootingメニュー > LUT Select > SDR Gain (87ページ) と設定は共通で連動します。Technicalメニュー > Special Configuration > RM/RCP Paint Control(114ページ) がOnに設定されている場合に設定できます。
Monitoring > VF Function ビューファインダーの機能に関する設定を行います。		
メニュー項目	設定値	内容
Double Speed Scan	On/ Off	ビューファインダー倍速駆動機能をオン/オフする。
Peaking	On/ Off	ピーキングの表示をオン/オフする。
VF/Moni Peaking Level	0 ~ 99	ビューファインダーおよびMonitor出力映像に重畳するピーキングレベルを設定する。 [ご注意] Monitoringメニュー > Output Format > Monitor Out Source(96ページ) がOriginalに設定されている場合は、VF/Moni Peaking Levelはグレースアウトされ設定を変更できません。
Peaking Frequency	Normal /High	ピーキング周波数を、標準にするか高くするかを選択する。 [ご注意] ピーキングレベルはビューファインダーメニューで設定します。

Monitoring > VF Function ビューファインダーの機能に関する設定を行います。		
メニュー項目	設定値	内容
Assign<VF A>	57ページ	ビューファインダー (DVF-EL200) のアサインابلAボタンに機能を割り当てる。
Assign<VF B>	57ページ	ビューファインダー (DVF-EL200) のアサインابلBボタンに機能を割り当てる。
Assign<VF C>	57ページ	ビューファインダー (DVF-EL200) のアサインابلCボタンに機能を割り当てる。
Zebra	On/ Off	ゼブラ機能をオン/オフする。
Zebra Select	1 /2/Both	ゼブラ表示の種類(ゼブラ1、ゼブラ2、または両方)を選択する。
Zebra1 Level	0% ~ 107%(41%)	ゼブラ1を表示するレベルを設定する。
Zebra1 Aperture Level	1% ~ 20%(10%)	ゼブラ1のアパーチャーレベルを設定する。
Zebra2 Level	0% ~ 109%(61%)	ゼブラ2を表示するレベルを設定する。
Monitoring > Overlays/Frame Line 各種出力信号に重畳する情報やフレームラインに関する設定を行います。 On/Offの設定はチェックボックスで行います(Frame Line on Playbackを除く)。 On : チェックを付ける Off : チェックを外す		
メニュー項目	設定値	内容
VFまたはVF/Moni	Overlay(On /Off、 Info. A /Info. B/Rec Ind.)	ビューファインダー・モニター画面出力映像に重畳して表示する情報を選択する。
[ご注意] Monitoringメニュー > Output Format > Monitor Out Source (96ページ) がOriginalに設定されている場合は「VF」と表示されます。VFに設定されている場合は、「VF/Moni」と表示されます。	Frame Line(On/ Off 、 Line A /Line B)	ビューファインダー・モニター画面出力映像に重畳して表示するフレームラインを選択する。
SDI 1/2	Overlay(On /Off、Info. A/ Info. B /Rec Ind.)	SDI 1/2出力信号に重畳して表示する情報を選択する。
	Frame Line(On/ Off 、Line A/ Line B)	SDI 1/2出力信号に重畳して表示するフレームラインを選択する。

Monitoring > **Overlays/Frame Line**

各種出力信号に重畳する情報やフレームラインに関する設定を行います。
On/Offの設定はチェックボックスで行います(Frame Line on Playbackを除く)。
On : チェックを付ける
Off : チェックを外す

メニュー項目	設定値	内容
SDI 3/4	Overlay(On /Off、Info. A/ Info. B /Rec Ind.)	SDI 3/4出力信号に重畳して表示する情報を選択する。
	Frame Line(On/ Off 、Line A/ Line B)	SDI 3/4出力信号に重畳して表示するフレームラインを選択する。
	Same as Monitor	SDI 3/4出力信号に重畳して表示する情報の設定がMonitorと同じかを表示する。
Monitor	Overlay(On /Off、Info. A/ Info. B /Rec Ind.)	Monitor出力信号に重畳して表示する情報を選択する。
<div><div>[ご注意]</div><div>• Monitoringメニュー > Output Format > Monitor Out Source (96ページ) がVFに設定されている場合は、メニュー項目名のみグレースアウトされますが、Monitor出力映像には、メニューのVF/Monitorの設定が適用されます。</div><div>• Monitor Out Source がOriginalで、SDI 3/4やHDMI設定がMonitor設定と同じ場合(47ページ)は、Monitor Out Source がVFの場合でもSDI 3/4やHDMI設定には、メニューのMonitorの設定が適用されます。</div></div>	Frame Line(On/ Off 、Line A/ Line B)	Monitor出力信号に重畳して表示するフレームラインを選択する。
HDMI	Overlay(On /Off、Info. A/Info. B/Rec Ind.)	HDMI出力信号に重畳して表示する情報を選択する。
	Frame Line(On/ Off 、Line A/ Line B)	HDMI出力信号に重畳して表示するフレームラインを選択する。
	Same as SDI 1/2/3/4 / Same as SDI 1/2 / Same as Monitor	HDMI出力信号に重畳して表示する情報の設定が、どの出力と同じかを表示する。

Monitoring > **Overlays/Frame Line**

各種出力信号に重畳する情報やフレームラインに関する設定を行います。
On/Offの設定はチェックボックスで行います(Frame Line on Playbackを除く)。
On : チェックを付ける
Off : チェックを外す

メニュー項目	設定値	内容
Overlay A/B Setup	Brightness Level Option(1 /2/3/4/5)	画面表示およびフレームライン表示の明るさを調整する。
	Project Info. A(On /Off) Info. B(On /Off)	Overlay AおよびOverlay Bに設定した出力情報にプロジェクト情報を表示するかを選択する。
	Camera ID Status Info. A(On /Off) Info. B(On/ Off)	Overlay AおよびOverlay Bに設定した出力情報にCamera ID情報を表示するかを選択する。
	TC/Genlock Status Info. A(On/ Off) Info. B(On/ Off)	Overlay AおよびOverlay Bに設定した出力情報に、タイムコードの外部ロック状態およびゲンロック状態の情報を表示するかを選択する。
	Timecode Info. A(On/ Off) Info. B(On /Off)	Overlay AおよびOverlay Bに設定した出力情報にタイムコード情報を表示するかを選択する。
	Audio Level Meter Info. A(On/ Off) Info. B(On/ Off)	Overlay AおよびOverlay Bに設定した出力情報にオーディオレベルメーターを表示するかを選択する。
	Look Status Info. A(On/ Off) Info. B(On/ Off)	Overlay AおよびOverlay Bに設定した出力情報に選択されているLOOKの種類を表示するかを選択する。
	Output LUT Info. A(On/ Off) Info. B(On /Off)	Overlay AおよびOverlay Bに設定した出力情報に出力LUT情報を表示するかを選択する。
	Rec Format/LUT Info. A(On /Off) Info. B(On /Off)	Overlay AおよびOverlay Bに設定した出力情報に記録フォーマット、および記録LUT情報を表示するかを選択する。
	VF Status Info. A(On /Off) Info. B(On/ Off)	Overlay AおよびOverlay Bに設定した出力情報にビューファインダーの情報を表示するかを選択する。

Monitoring > **Overlays/Frame Line**

各種出力信号に重畳する情報やフレームラインに関する設定を行います。
On/Offの設定はチェックボックスで行います(Frame Line on Playbackを除く)。
On : チェックを付ける
Off : チェックを外す

メニュー項目	設定値	内容
	Roll/Tilt Value Info. A(On /Off) Info. B(On/ Off)	Overlay AおよびOverlay Bに設定した出力情報に水準器状態の情報を数値表示するかを選択する。 [ご注意] <ul style="list-style-type: none">本機にCBK-3620XSが接続されている場合は、Roll/Tilt Valueはセンサーブロック側の水準器データとなります。本機にCBK-3621XSが接続されている場合は、Roll/Tilt Valueはカメラヘッドブロック側の水準器データとなります。
	Level Gauge Info. A(On /Off) Info. B(On/ Off) Option(Original /Bubble)	Overlay AおよびOverlay Bに設定した出力情報に水準器状態の情報をグラフィカル表示するかを選択する。
	Lens Status Info. A(On /Off) Info. B(On /Off) Option(Meter/ Feet)	Overlay AおよびOverlay Bに設定した出力情報にレンズ情報を表示するかを選択する。 フォーカスポジション表示の単位を選択する。
	Remote Control Status Info. A(On /Off) Info. B(On/ Off)	Overlay AおよびOverlay Bに設定した出力情報にリモート設定情報を表示するかを選択する。
	Playback Position Info. A(On/ Off) Info. B(On/ Off)	Info AおよびInfo Bに設定した出力にクリップの再生位置表示を再生画面に表示するかを選択する。
	Rec Indicator Position Option (1 /2/3/4/5/6/7/8)	OverlayをRec Ind.に設定した出力の記録・再生動作状態の表示位置を変更する。 「1」に設定すると、記録・再生動作状態が画面中央下に表示され、設定値を上げると表示位置が上になります。「8」に設定すると、画面中央に表示されます。

Monitoring > **Overlays/Frame Line**

各種出力信号に重畳する情報やフレームラインに関する設定を行います。
On/Offの設定はチェックボックスで行います(Frame Line on Playbackを除く)。
On : チェックを付ける
Off : チェックを外す

メニュー項目	設定値	内容
Frame Line A/B Setup	Color Option(White /Yellow/Cyan/Green/Magenta/Red/Blue)	フレームラインの表示色を設定する。
	Brightness Level Option(1/2/3/4/ 5)	画面表示およびフレームライン表示の明るさを調整する。
	Transparency Level Option(0 ~ 15)	フレームラインの透明度レベルを設定する。
	Center Marker Line A(On /Off) Line B(On /Off) Option(Cross /Open Cross/Dot)	Frame Line A およびFrame Line Bに設定した出力情報にセンターマーカを表示するかを選択する。 センターマーカの表示形態(Cross/Open Cross/Dot) を選択する。
	Picture Area Line A(On /Off) Line B(On /Off)	Frame Line A およびFrame Line Bに設定した出力情報にピクチャーエリアマーカを表示するかを選択する。 [ご注意] ピクチャーエリアとは、Projectメニュー > Basic SettingのImager Mode(88ページ) で設定する有効画サイズのことを指します。
	Aspect Ratio Line A(On /Off) Line B(On /Off) Option(17:9/15:9/14:9/13:9/9:16/4:3/1:1/1.43:1/1.66:1/1.85:1/2:1/2.2:1/2.35:1/2.39:1)	Frame Line A およびFrame Line Bに設定した出力情報にアスペクトマーカを表示するかを選択する。 アスペクトマーカを表示するときのモード(17:9/16:9/15:9/14:9/13:9/9:16/4:3/1:1/1.43:1/1.66:1/1.85:1/2:1/2.2:1/2.35:1/2.39:1) を設定する。
	Aspect Ratio Type Option(Line /Mask/Line&Mask)	アスペクトマーカの表示形態を選択する。 Line : Colorで設定されている色の線で表示する。 Mask : マーカー範囲外のビデオ信号レベルを下げて表示する。 Line&Mask : マーカー範囲外のビデオ信号レベルを下げて、Colorで設定されている色の線で表示する。

Monitoring > **Overlays/Frame Line**
各種出力信号に重畳する情報やフレームラインに関する設定を行います。
On/Offの設定はチェックボックスで行います(Frame Line on Playbackを除く)。
On : チェックを付ける
Off : チェックを外す

メニュー項目	設定値	内容
	Surround View Type Option(Line /Mask/ Line&Mask)	サラウンドビューマーカの表示形態を選択する。 Line : 記録領域を線で表示する。 Mask : 記録領域外側部のビデオ信号レベルを落として表示する。 Line&Mask : 記録領域外側部のビデオ信号レベルを落として、記録領域を線で表示する。
	Mask Level Option(0 ~ 15(12))	Aspect Ratio TypeまたはSurround View TypeがMaskのとき、マーカの外側の映像の明るさを選択する。
	Safety Zone Line A(On/ Off) Line B(On/ Off) Option (80%/90%/92.5%/95%)	Frame Line A およびFrame Line Bに設定した出力情報にセーフティーゾーンを表示するかを選択する。 セーフティーゾーンの範囲 (80%/90%/92.5%/95%) を選択する。
	Aspect Safety Zone Line A(On/ Off) Line B(On/ Off) Option (80%/90%/92.5%/95%)	Frame Line A およびFrame Line Bに設定した出力情報にアスペクトセーフティーゾーンを表示するかを選択する。 アスペクトセーフティーゾーンマーカの大きさ (画面全体に対する比率) を選択する。
	User Frame Line 1 Line A(On/ Off) Line B(On/ Off) Option (Preset/ Variable /User File)	Frame Line A およびFrame Line Bに設定した出力情報にユーザーフレームライン1を表示するかを選択する。 ユーザーフレームライン1を任意に設定した表示にするか、固定のアスペクト比を表示するかを選択する。
	User Frame Line 2 Line A(On/ Off) Line B(On/ Off) Option (Preset/ Variable /User File)	Frame Line A およびFrame Line Bに設定した出力情報にユーザーフレームライン2を表示するかを選択する。 ユーザーフレームライン2を任意に設定した表示にするか、固定のアスペクト比を表示するかを選択する。
	Frame Line on Playback Option(On /Off)	再生時にフレームラインを重畳する機能をオン/オフする。

Monitoring > **Frame Line Setup**
出力映像に表示するラインやマーカに関する設定を行います。

メニュー項目	設定値	内容
Color	White /Yellow/Cyan/ Green/Magenta/Red/Blue	フレームラインの表示色を選択する。 [ご注意] この設定はユーザーフレームラインには反映されません。ユーザーフレームラインの表示色は、User Frame Line 1またはUser Frame Line 2のColorで設定できます。
Brightness Level	1/2/3/4/ 5	画面表示およびフレームライン表示の明るさを調整する。
Transparency Level	0 ~ 15	フレームラインの透明度レベルを設定する。
Center Marker	Cross /Open Cross/Dot	センターマーカの表示形態を選択する。
Aspect Ratio	17:9/ 16:9 /15:9/14:9/13:9/ 9:16/4:3/1:1/1.43:1/1.66:1/ 1.85:1/2:1/2.2:1/2.35:1/2.39:1	アスペクトマーカを表示するときのモードを選択する。
Aspect Ratio Type	Line /Mask/Line&Mask	アスペクトマーカの表示形態を選択する。 Line : Colorで設定されている色の線で表示する。 Mask : マーカ範囲外のビデオ信号レベルを下げて表示する。 Line&Mask : マーカ範囲外のビデオ信号レベルを下げて、Colorで設定されている色の線で表示する。
Surround View Type	Line /Mask/Line&Mask	サラウンドビューマーカの表示形態を選択する。 Line : 記録領域を線で表示する。 Mask : 記録領域外側部のビデオ信号レベルを落として表示する。 Line&Mask : 記録領域外側部のビデオ信号レベルを落として、記録領域を線で表示する。
Mask Level	0 ~ 15(12)	Aspect Ratio TypeまたはSurround View TypeがMaskのとき、マーカの外側の映像の明るさを選択する。
Safety Zone	80%/90%/92.5%/95%	セーフティーゾーンの範囲を選択する。
Aspect Safety Zone	80%/90%/92.5%/95%	アスペクトセーフティーゾーンマーカの大きさ (画面全体に対する比率) を選択する。
Frame Line on Playback	On /Off	再生時にフレームラインを重畳する機能をオン/オフする。

Monitoring > User Frame Line 1 ユーザーフレームライン1に関する設定を行います。		
メニュー項目	設定値	内容
Select	Preset/ Variable /User File	ユーザーフレームライン1を任意に設定した表示にするか、固定のアスペクト比の表示にするか、またはファイルから読み込んで任意に設定した表示にするかを選択する。 Preset : Preset Aspect Ratio、Scaling、Preset Aspect Ratio Typeで設定したアスペクト比を表示する。 Variable : Width、Height、H Position、V Position、Variable Aspect Typeで設定した任意の矩形枠を表示する。
Select User File	内蔵メモリーに保存されているFrame Lineのファイル名(01 ~ 05)	Frame Lineファイルを選択する。 [ご注意] SelectがUser Fileに設定されている場合のみ設定できます。
Color	White /Yellow/Cyan/Green/Magenta/Red/Blue	ユーザーフレームライン1の表示色を設定する。
Preset Aspect Ratio	17:9/ 16:9 /15:9/14:9/13:9/9:16/4:3/1:1/1.43:1/1.66:1/1.85:1/2:1/2.2:1/2.35:1/2.39:1/1.90:1 (W34)* * 1.43:1設定時の水平画サイズを維持したフレームラインです。6K 3:2モードのときは、水平画サイズが約34 mmとなります。	固定のアスペクト比を表示するときのモードを選択する。 [ご注意] SelectがPresetに設定されている場合のみ設定できます。
Scaling	1% ~ 100% /---	固定のアスペクト比の拡大・縮小率を設定する。 [ご注意] • SelectがPresetに設定されている場合のみ設定できます。 • Preset Aspect Ratioが1.90:1 (W34)に設定されている場合は、「---」が表示され設定できません。

Monitoring > User Frame Line 1 ユーザーフレームライン1に関する設定を行います。		
メニュー項目	設定値	内容
Preset Aspect Ratio Type	Line /Mask/Line&Mask	固定のアスペクト比の表示形態を選択する。 Line : 線で表示する。 Mask : マーカー範囲外のビデオ信号レベルを下げて表示する。 Line&Mask : マーカー範囲外のビデオ信号レベルを下げて線で表示する。 [ご注意] SelectがPresetに設定されている場合のみ設定できます。
Aspect Ratio(Pixels)	アスペクト比(画素数、アナモフィック倍率)	有効画サイズに対するユーザーフレームライン1のアスペクト比、画素数、アナモフィック倍率を表示する。 [ご注意] 画素数はデアナモ変換する前の有効画サイズに対しての値になります。
Width	3 ~ 480(240)	ユーザーフレームライン1の幅(中心から左右端までの距離)を設定する。 [ご注意] SelectがVariableに設定されている場合、または、SelectがUser Fileに設定されていてSelect User FileでFrame Lineファイルが選択されている場合のみ設定できます。
Height	3 ~ 270(135)	ユーザーフレームライン1の高さ(中心から上下端までの距離)を設定する。 [ご注意] SelectがVariableに設定されている場合、または、SelectがUser Fileに設定されていてSelect User FileでFrame Lineファイルが選択されている場合のみ設定できます。
H Position	最大－477 ~ 477(±0)	ユーザーフレームライン1の中心の水平位置を設定する。 Widthを3より大きくした分だけ設定可能範囲は狭くなります。 [ご注意] SelectがVariableに設定されている場合、または、SelectがUser Fileに設定されていてSelect User FileでFrame Lineファイルが選択されている場合のみ設定できます。

Monitoring > User Frame Line 1 ユーザーフレームライン1に関する設定を行います。		
メニュー項目	設定値	内容
V Position	最大−267 ~ 267(<u>±0</u>)	ユーザーフレームライン1の中心の垂直位置を設定する。 Heightを3より大きくした分だけ設定可能範囲は狭くなります。 [ご注意] SelectがVariableに設定されている場合、または、SelectがUser Fileに設定されていてSelect User FileでFrame Lineファイルが選択されている場合のみ設定できます。
Variable Aspect Type	Line	任意に設定するユーザーフレームライン1表示の種類を表示する。 [ご注意] SelectがVariableに設定されている場合、または、SelectがUser Fileに設定されていてSelect User FileでFrame Lineファイルが選択されている場合のみ表示されます。
Monitoring > User Frame Line 2 ユーザーフレームライン2に関する設定を行います。		
メニュー項目	設定値	内容
Select	Preset/ <u>Variable</u> /User File	ユーザーフレームライン2を任意に設定した表示にするか、固定のアスペクト比の表示にするか、またはファイルから読み込んで任意に設定した表示にするかを選択する。 Preset : Preset Aspect Ratio、Scaling、Preset Aspect Ratio Typeで設定したアスペクト比を表示する。 Variable : Width、Height、H Position、V Position、Variable Aspect Typeで設定した任意の矩形枠を表示する。
Select User File	内蔵メモリーに保存されているFrame Lineのファイル名(<u>01</u> ~ 05)	Frame Lineファイルを選択する。 [ご注意] SelectがUser Fileに設定されている場合のみ設定できます。
Color	<u>White</u> /Yellow/Cyan/ Green/Magenta/Red/Blue	ユーザーフレームライン2の表示色を設定する。

Monitoring > User Frame Line 2 ユーザーフレームライン2に関する設定を行います。		
メニュー項目	設定値	内容
Preset Aspect Ratio	17:9/ <u>16:9</u> /15:9/14:9/13:9/ 9:16/4:3/1:1/1.43:1/1.66:1/ 1.85:1/2:1/2.2:1/2.35:1/ 2.39:1/1.90:1 (W34)* * 1.43:1設定時の水平画サイズを維持したフレームラインです。6K 3:2モードのときは、水平画サイズが約34 mmとなります。	固定のアスペクト比を表示するときのモードを選択する。 [ご注意] SelectがPresetに設定されている場合のみ設定できます。
Scaling	1% ~ <u>100%</u> /---	固定のアスペクト比の拡大・縮小率を設定する。 [ご注意] <ul style="list-style-type: none">SelectがPresetに設定されている場合のみ設定できます。Preset Aspect Ratioが1.90:1 (W34)に設定されている場合は、「---」が表示され設定できません。
Preset Aspect Ratio Type	Line	固定のアスペクト比の表示形態を表示する。 [ご注意] SelectがPresetに設定されている場合のみ表示されます。
Aspect Ratio(Pixels)	アスペクト比(画素数、アナモフィック倍率)	有効画サイズに対するユーザーフレームライン2のアスペクト比、画素数、アナモフィック倍率を表示する。 [ご注意] 画素数はデアナモ変換する前の有効画サイズに対しての値になります。
Width	3 ~ 480(<u>240</u>)	ユーザーフレームライン2の幅(中心から左右端までの距離)を設定する。 [ご注意] SelectがVariableに設定されている場合、または、SelectがUser Fileに設定されていてSelect User FileでFrame Lineファイルが選択されている場合のみ設定できます。

Monitoring > User Frame Line 2 ユーザーフレームライン2に関する設定を行います。		
メニュー項目	設定値	内容
Height	3 ~ 270(135)	ユーザーフレームライン2の高さ(中心から上下端までの距離)を設定する。 [ご注意] SelectがVariableに設定されている場合、または、SelectがUser Fileに設定されていてSelect User FileでFrame Lineファイルが選択されている場合のみ設定できます。
H Position	最大-477 ~ 477(±0)	ユーザーフレームライン2の中心の水平位置を設定する。 Widthを3より大きくした分だけ設定可能範囲は狭くなります。 [ご注意] SelectがVariableに設定されている場合、または、SelectがUser Fileに設定されていてSelect User FileでFrame Lineファイルが選択されている場合のみ設定できます。
V Position	最大-267 ~ 267(±0)	ユーザーフレームライン2の中心の垂直位置を設定する。 Heightを3より大きくした分だけ設定可能範囲は狭くなります。 [ご注意] SelectがVariableに設定されている場合、または、SelectがUser Fileに設定されていてSelect User FileでFrame Lineファイルが選択されている場合のみ設定できます。
Variable Aspect Type	Line	任意に設定するユーザーフレームライン2表示の種類を表示する。 [ご注意] SelectがVariableに設定されている場合、または、SelectがUser Fileに設定されていてSelect User FileでFrame Lineファイルが選択されている場合のみ表示されます。

Monitoring > Load User Frame Line ユーザーフレームライン1 および2に反映するFrame Lineファイルに関する設定を行います。		
メニュー項目	設定値	内容
View File List		本体内蔵メモリーに保存したFrame Lineファイルの一覧を表示する。
Load SD Card		Frame LineファイルをSDカードから読み出し、内蔵メモリーに保存する。
Reset	1/2/3/4/5/All	内蔵メモリーに保存したFrame Lineファイルの設定をリセットする。

Audioメニュー

各メニュー項目の機能および設定値は次のとおりです。

太字とアンダーラインで表示されている設定値は、出荷時の設定です。

Audio > Audio Input 録音レベルに関する設定を行います。		
【ご注意】 AES/EBU信号が選択されている場合の録音レベルは固定になります。		
メニュー項目	設定値	内容
Internal Mic Select	Off / CH-1/CH-2 / CH-3/ CH-4	内蔵マイクの入力チャンネルを選択する。
XLR Audio L Select	Auto /Manual	Autoにすると、録音レベルは自動調整される。
XLR Audio R Select	Auto /Manual	Autoにすると、録音レベルは自動調整される。
XLR Audio L Level	−99 ~ ±0 ~ +99	CH-1 Audio SelectでManualを選択時、録音レベルを調整する。
XLR Audio R Level	−99 ~ ±0 ~ +99	CH-2 Audio SelectでManualを選択時、録音レベルを調整する。
XLR Mic Reference	−60dB/ −50dB /−40dB	マイクの基準入力レベルを選択する。
Audio > Audio Monitor 音声モニターに関する設定を行います。		
メニュー項目	設定値	内容
Monitor CH	Monitor Output CH Pairが CH-1/CH-2の場合 CH-1/CH-2 、CH-1、CH-2 Monitor Output CH Pairが CH-3/CH-4の場合 CH-3/CH-4 、CH-3、 CH-4	ヘッドホンおよびスピーカーに出力する音声チャンネルを選択する。 CH-1/CH-2(CH-3/CH-4) :チャンネル1、2(チャンネル3、4) CH-1(CH-3) :チャンネル1(チャンネル3) のみ CH-2(CH-4) :チャンネル2(チャンネル4) のみ
Monitor Level	0 ~ 99	モニター音量を調整する。
Audio > Audio Configuration 音声の入出力に関する設定を行います。		
メニュー項目	設定値	内容
Alarm Level	0 ~ 99	アラームの音量を調整する。
Input Limiter Mode	Off /−6dB/−9dB/−12dB/ −15dB/−17dB	オーディオ入力レベルの手動調整時、大きな入力信号に対するリミッター特性(飽和レベル)を選択する。リミッターを使用しない場合はOffを選択する。
AGC Level	−6dB /−9dB/−12dB/ −15dB/−17dB	AGCの特性(飽和レベル)を選択する。

Audio > Audio Configuration 音声の入出力に関する設定を行います。		
メニュー項目	設定値	内容
AGC Mono/Stereo	Mono/ Stereo	チャンネル1、2に記録するアナログオーディオ信号の入力レベルの自動調整を、各チャンネルで独立して行うか(Mono)、ステレオモードで行うか(Stereo)を選択する。
MIC Input Mono/Stereo	Mono/ Stereo	フロントマイクをモノラル(Mono)にするか、ステレオ(Stereo)にするかを選択する。
Phantom Power +48V	On /Off	マイクに外部電源(ファントム電源) +48Vを供給する機能をオン/オフする。
Monitor Output CH Pair	CH-1/CH-2 、CH-3/CH-4	ヘッドホン、スピーカーおよびMonitorとHDMI出力の音声出力をチャンネル1と2にするか、チャンネル3と4にするかを選択する。
Headphone Mono/ST	Mono /Stereo	ヘッドホンをモノラル(Mono)にするか、ステレオ(Stereo)にするかを選択する。

Paintメニュー

各メニュー項目の機能および設定値は次のとおりです。

[ご注意]

Paintメニューの各項目を設定するには、Technicalメニュー > Special Configuration > RM/RCP Paint Control(114ページ) がOnに設定されている必要があります。

太字とアンダーラインで表示されている設定値は、出荷時の設定です。

Paint > Black ブラックレベルに関する設定を行います。		
メニュー項目	設定値	内容
Master Black	−99 ～ ±0 ～ +99	マスターブラックレベルを設定する。
R Black	−99 ～ ±0 ～ +99	Rブラックレベルを設定する。
B Black	−99 ～ ±0 ～ +99	Bブラックレベルを設定する。
Paint > Flare フレア補正に関する設定を行います。		
メニュー項目	設定値	内容
Setting	On/ Off	フレア補正機能をオン／オフする。
Master Flare	−99 ～ ±0 ～ +99	本体に起因するフレア補正のマスターフレアのユーザー調整値を設定する。
R Flare	−99 ～ ±0 ～ +99	本体に起因するフレア補正のRフレアのユーザー調整値を設定する。
G Flare	−99 ～ ±0 ～ +99	本体に起因するフレア補正のGフレアのユーザー調整値を設定する。
B Flare	−99 ～ ±0 ～ +99	本体に起因するフレア補正のBフレアのユーザー調整値を設定する。
Paint > Gamma ガンマ補正に関する設定を行います。		
メニュー項目	設定値	内容
Setting	On /Off	ガンマ補正機能をオン／オフする。
Gamma Category	S-Log3/HLG(Natural)/HLG(Live)/User	ガンマカテゴリーの設定値は、Projectメニュー > Basic Setting > Input Color Space(88ページ) の設定で決まるため表示のみ。

Paint > Gamma ガンマ補正に関する設定を行います。		
メニュー項目	設定値	内容
Gamma Select	Gamma CategoryがS-Log3のとき： S-Log3 Gamma CategoryがHLG(Natural)のとき： HLG(Natural) Gamma CategoryがHLG(Live)のとき： HLG(Live) Gamma CategoryがUserのとき： User 1 /User 2/User 3/ User 4/User 5	ガンマ補正に使用するガンマテーブルを選択する。
Paint > Black Gamma ブラックガンマ補正に関する設定を行います。		
[ご注意] Projectメニュー > Basic Setting > Input Color Space(88ページ) がS-Gamut3.Cine/SLog3またはS-Gamut3/SLog3に設定されている場合は、Black Gammaはグレースアウトされ設定を変更できません。		
メニュー項目	設定値	内容
Setting	On/ Off	ブラックガンマ補正機能をオン／オフする。
Range	Low/L.Mid/ H.Mid	ブラックガンマ補正の有効範囲を選択する。 Low : 0% ～ 3.6% L.Mid : 0% ～ 7.2% H.Mid : 0% ～ 14.4%
Master Black Gamma	−99 ～ ±0 ～ +99	マスターブラックガンマレベルを設定する。
Paint > Saturation 飽和度(サチュレーション) に関する設定を行います。		
メニュー項目	設定値	内容
Setting	On/ Off	画面全域の飽和度(サチュレーション) の調整機能をオン／オフする。
Level	−99 ～ ±0 ～ +99	画面全域の飽和度(サチュレーション) レベルを調整する。

Paint > Knee ニー補正に関する設定を行います。		
【ご注意】 Projectメニュー > Basic Setting > Input Color Space(88ページ) がS-Gamut3.Cine/SLog3またはS-Gamut3/SLog3に設定されている場合は、Kneeはグレーアウトされ設定を変更できません。		
メニュー項目	設定値	内容
Setting	On/ Off	ニー補正機能をオン/オフする。
Point	−99 ~ ±0 ~ +99	ニーポイントを設定する。
Slope	−99 ~ ±0 ~ +99	ニースロープを設定する。
Paint > White Clip ホワイトクリップ調整に関する設定を行います。		
【ご注意】 Projectメニュー > Basic Setting > Input Color Space(88ページ) がS-Gamut3.Cine/SLog3またはS-Gamut3/SLog3に設定されている場合は、White Clipはグレーアウトされ設定を変更できません。		
メニュー項目	設定値	内容
Setting	On/ Off	ホワイトクリップ調整機能をオン/オフする。
Level	60.0% ~ 108.0% ~ 109.0%	ホワイトクリップレベルを設定する。
Paint > Detail ディテール調整に関する設定を行います。		
メニュー項目	設定値	内容
Setting	On /Off	ディテール調整機能をオン/オフする。
Level	−99 ~ ±0 ~ +99	ディテールレベルを設定する。
H/V Ratio	−99 ~ ±0 ~ +99	HディテールレベルとVディテールレベルのミックス比を設定する。
Crispening	−99 ~ ±0 ~ +99	クリスプニングレベルを設定する。
Level Depend	On /Off	レベルディPEND調整機能をオン/オフする。
Level Depend Level	−99 ~ ±0 ~ +99	レベルディPENDのレベルを設定する。
Frequency	−99 ~ ±0 ~ +99	Hディテール信号の中心周波数を設定する。(値を大きくするほどディテールは細くなる。)
Knee Aperture	On/ Off	ニーアパーチャー補正機能をオン/オフする。
Knee Aperture Level	−99 ~ ±0 ~ +99	ニーアパーチャーレベルを設定する。
Limit	−99 ~ ±0 ~ +99	白側、黒側両方向のディテールリミッターを設定する。
White Limit	−99 ~ ±0 ~ +99	白側のディテールリミッターを設定する。
Black Limit	−99 ~ ±0 ~ +99	黒側のディテールリミッターを設定する。

Paint > Skin Detail スキンディテール補正に関する設定を行います。		
メニュー項目	設定値	内容
Setting	On/ Off	スキンディテール補正機能をオン/オフする。
Skin Gate	CH1/CH2/CH3/ Off	スキンディテール補正の対象となる色のエリアにゼブラを表示する機能を設定する。
Natural Skin Detail	On/ Off	人の顔や髪の輪郭を残してスキンディテール補正するナチュラルスキンディテール補正機能をオン/オフする。
Zoom Link	Setting On/ Off	ズームレンズの焦点距離とスキンディテール補正量を連動させて、広角側で効果を弱める機能をオン/オフする。
	Tele 0 ~ 99	ズームレンズの望遠側連動範囲(上限) を調整する。
	Wide 0 ~ 99	ズームレンズの広角側連動範囲(下限) を調整する。
Channel Switch	CH1 On	CH1のスキンディテール補正機能設定を表示する(On固定)。
	CH2 On/ Off	CH2のスキンディテール補正機能をオン/オフする。
	CH3 On/ Off	CH3のスキンディテール補正機能をオン/オフする。
CH1 Detail Settings	Hue Run/Cancel	スキンディテール補正の対象となる色を検出する(Runで実行)。
CH2 Detail Settings	Phase 0 ~ 359	スキンディテール補正の対象となる色の色相(ヒュー)を設定する。
CH3 Detail Settings	Width 0 ~ 40 ~ 90	スキンディテール補正の対象となる色の色相の範囲を設定する。
	Saturation −99 ~ ±0 ~ +99	スキンディテール補正の対象となる色の彩度/飽和度(サチュレーション)を設定する。
	Level −99 ~ ±0 ~ +99	スキンディテールレベルを設定する。
	Y Limit 0 ~ 99	スキンディテール機能を適用する輝度レベルの下限を調整する。

Paint > Matrix マトリクス補正に関する設定を行います。		
メニュー項目	設定値	内容
Setting	On/ Off	マトリクス補正機能をオン／オフする。
User Matrix	On/ Off	ユーザーマトリクス補正機能をオン／オフする。
User Matrix R-G	−99 ～ ±0 ～ +99	マトリクス係数を個別に設定し、映像全域の色相を微調整する。
User Matrix R-B	−99 ～ ±0 ～ +99	
User Matrix G-R	−99 ～ ±0 ～ +99	
User Matrix G-B	−99 ～ ±0 ～ +99	
User Matrix B-R	−99 ～ ±0 ～ +99	
User Matrix B-G	−99 ～ ±0 ～ +99	
Paint > Multi Matrix マルチマトリクス補正に関する設定を行います。		
[ご注意] MatrixがOffに設定されている場合は、Multi Matrixはグレーアウトされ設定を変更できません。		
メニュー項目	設定値	内容
Setting	On/ Off	16軸の色相(ヒュー) 空間で飽和度(サチュレーション) を設定するマルチマトリクス補正をオン／オフする。
Area Indication	On/ Off	画面上のマルチマトリクス補正の対象となる色の部分にゼブラパターンを表示する機能をオン／オフする。
Reset	Run/Cancel	各軸の[Hue]と[Saturation]をすべて初期値にする(Runで実行)。
Axis	B /B+/MG-/MG/MG+/R/R+/YL-/YL/YL+/G-/G/G+/CY/CY+/B-	マルチマトリクス補正の対象となる色(16軸モード) を設定する。
Hue	−99 ～ ±0 ～ +99	マルチマトリクス補正の対象となる色の色相(ヒュー) を16軸ごとに設定する。
Saturation	−99 ～ ±0 ～ +99	マルチマトリクス補正の対象となる色の飽和度(サチュレーション) を16軸ごとに設定する。

Technicalメニュー

各メニュー項目の機能および設定値は次のとおりです。

太字とアンダーラインで表示されている設定値は、出荷時の設定です。

Technical > System Configuration 本機の制御に関する設定を行います。		
メニュー項目	設定値	内容
Fan Control	Auto / Max / Off in Rec/Auto / Off in Rec/Max	ファンの制御モードを選択する。 Auto：常時内部温度に応じて自動制御する。 Max：常時最大回転数で動作する。 Off in Rec/Auto：録画中は静音状態で動作し、録画中以外は内部温度に応じて自動制御する。 Off in Rec/Max：録画中は静音状態で動作し、録画中以外は最大回転数で動作する。
Shutter Mode	Speed/ Angle	電子シャッターの動作モードを選択する。
SDI Rec Remote Trigger	Off / HD SDI Remote I/F / Parallel Rec	SDIリモート制御方式を選択する。 Off：リモート制御しない。 HD SDI Remote I/F：制御方式をHD SDI Remoteにする。 Parallel Rec：制御方式をValid Flagにする。 [ご注意] MONITOR OUTからSDI Rec Remote Trigger信号は出力されません。
Level Gauge Select	Original /Bubble	水準器の指針動作と表示を選択する。 Original：指針形状はバー型()。指針は傾斜下り方向に移動する。 Bubble：指針形状は気泡型(⊙)。指針は傾斜上り方向に移動する。
Level Gauge Adjust	Run/Cancel	本体の水準器のゼロ調整を実行する(Runで実行)。 [ご注意] 本機にCBK-3620XSまたはCBK-3621XSが接続されている場合は、Level Gauge Adjustはグレーアウトされ水準器のゼロ調整を実行できません。
Level Gauge Reset	Run/Cancel	本体の水準器のゼロ調整値をリセットする(Runで実行)。
3620XS Lev. Gauge Adj.	Run/Cancel	CBK-3620XSの水準器のゼロ調整を実行する(Runで実行)。 [ご注意] 本機にCBK-3620XSが接続されている場合のみ、CBK-3620XSの水準器のゼロ調整を実行できます。

Technical > System Configuration 本機の制御に関する設定を行います。		
メニュー項目	設定値	内容
3620XS Lev. Gauge Rst.	Run/Cancel	CBK-3620XSの水準器のゼロ調整値をリセットする(Runで実行)。 [ご注意] 本機にCBK-3620XSが接続されている場合のみ、CBK-3620XSの水準器のゼロ調整をリセットできます。
3621XS Lev. Gauge Adj.	Run/Cancel	CBK-3621XSの水準器のゼロ調整を実行する(Runで実行)。 [ご注意] 本機にCBK-3621XSが接続されている場合のみ、CBK-3621XSの水準器のゼロ調整を実行できます。
3621XS Lev. Gauge Rst.	Run/Cancel	CBK-3621XSの水準器のゼロ調整値をリセットする(Runで実行)。 [ご注意] 本機にCBK-3621XSが接続されている場合のみ、CBK-3621XSの水準器のゼロ調整をリセットできます。

Technical > Lens Configuration レンズに関する設定を行います。		
メニュー項目	設定値	内容
PL Lens Data Input	Lens /External	PLレンズメタデータの入力元を選択する。 Lens：PLレンズメタデータをレンズから入力する。 External：PLレンズメタデータをCBK-3621XSのPLマウントアダプターのLENS META IN端子から入力する。
PL-Mt Interface Position	Top /Side/Off	PLマウントレンズのインターフェース位置を設定する。 [ご注意] 接続するレンズに応じて、接続前にあらかじめ設定してください。レンズを装着した状態で設定を変更した場合は、本機を再起動してください。
PL-Mt Voltage	8 V → 24 V /24 V	PLマウントレンズとの通電方式を設定する。
Focus Distance Format	Meter/ Feet	フォーカスポジション表示の単位を選択する。

Technical > Lens Configuration レンズに関する設定を行います。		
メニュー項目	設定値	内容
Lens 12pin	On/ Off	レンズIF 12pinをオン/オフする。 [ご注意] <ul style="list-style-type: none">• レンズを装着した状態で設定を変更した場合は、本機を再起動してください。• PLマウントレンズのインターフェースと併用可能なレンズを装着する場合は、レンズによっては起動時のアイリス収束値を正しく再現できないことがあります。その場合は本設定をOffにしてください。
E-Mount Shading Comp.	Auto /Off	対応レンズが装着されている場合に周辺光量落ちを補正するかを設定する。
E-Mt Chro. Aber. Comp.	Auto /Off	対応レンズが装着されている場合に倍率色収差を補正するかを設定する。
Technical > Auto Pixel Restore Auto Pixel Restoration(イメージセンサーの自動調整) を実行します。		
メニュー項目	設定値	内容
Auto Pixel Restoration	Run/Cancel	自動欠陥補正(自動ピクセルノイズリダクション)機能を実行する(Runで実行)。
Reset	Run/Cancel	APRの実行によって追加登録された白点データを削除する(Runで実行)。
Technical > Authentication ネットワークの基本認証に関する設定を行います。		
メニュー項目	設定値	内容
User Name	(現在のユーザー名を表示)	アクセス認証に使用する任意のユーザー名を設定する。 出荷時はadminに設定されています。
Password	(*****)	アクセス認証に使用するパスワードを設定する(8文字以上で英数字をそれぞれ1文字以上)。 パスワード入力時、サブディスプレイのITEMキー1を押している間、「*」(アスタリスク)を入力した文字に変更して表示する。

Technical > Network ネットワークに関する設定を行います。		
メニュー項目	設定値	内容
Setting	LAN/Wireless/ Off	ネットワーク接続の方法を設定する。 [ご注意] Technicalメニュー > Authentication > Password (110ページ) が設定されていない場合は、グレースアウトされ設定できません。
LAN	DHCP(On /Off)	DHCPを設定する。 Onにすると、自動的に本機にIPアドレスを割り当てる。手動で本機のIPアドレスを入力する場合は、Offにする。
	IP Address(DHCP/On : 自動取得 、DHCP/Off : 192.168.2.50)	本機のIPアドレスを入力する。 DHCPがOffのときに有効。
	Subnet Mask(DHCP/On : 自動取得 、DHCP/Off : 255.255.255.0)	本機のサブネットマスクを入力する。 DHCPがOffのときに有効。

Technical > Network ネットワークに関する設定を行います。		
メニュー項目	設定値	内容
Wireless	Network Mode(Access Point /Station)	ワイヤレス接続する際のネットワークモードを設定する。
	Scan Networks(Run/Cancel)	接続先のアクセスポイントの自動検出を実行する(Runで実行)。 [ご注意] Network ModeがStationに設定されている場合のみ設定できます。
SSID		Network ModeがAccess Pointの場合 本機のワイヤレス接続用のSSIDを表示する。 Network ModeがStationの場合 接続先のアクセスポイントのSSIDを設定・表示する。 [ご注意] 表示または入力できる文字は以下のとおりです。 アルファベット(A ~ Z、a ~ z) 数字(0 ~ 9、@ _ ()) 記号(! " # \$ % & ' * + , / : ; < = > ? [\] ^ { } ~ -)
		Network ModeがAccess Pointの場合 本機のワイヤレス接続用のパスワードを表示する。 Network ModeがStationの場合 接続先のアクセスポイントのパスワードを設定する。 パスワード入力時、サブディスプレイのITEMキー 1を押している間、「*」(アスタリスク)を入力した文字に変更して表示する。 [ご注意] 表示または入力できる文字は以下のとおりです。 アルファベット(A ~ Z、a ~ z) 数字(0 ~ 9、@ _ ()) 記号(! " # \$ % & ' * + , / : ; < = > ? [\] ^ { } ~ -)
Password		
WPS(Run/Cancel)		WPSによる接続設定を開始する(Runで実行)。

Technical > Network ネットワークに関する設定を行います。		
メニュー項目	設定値	内容
	Channel(Auto(5GHz)/ Auto /CH1/CH2/CH3/CH4/CH5/CH6/CH7/CH8/CH9/CH10/CH11)	アクセスポイントのチャンネルを設定する。 [ご注意] <ul style="list-style-type: none">Network ModeがAccess Pointに設定されている場合のみ設定できます。Auto(5GHz)は、ご使用になるワイヤレスLANモジュールにより、表示されない場合があります。ワイヤレスLANモジュールが、ご使用になる国／地域に対応しているかご確認ください。詳しくは、ワイヤレスLANモジュールの取扱説明書をご覧ください。
	DHCP(On /Off)	DHCPを設定する。 Onにすると、自動的に本機にIPアドレスを割り当てる。手動で本機のIPアドレスを入力する場合は、Offにする。 [ご注意] Network ModeがStationに設定されている場合のみ設定できます。
	IP Address(DHCP/On : 自動取得 、DHCP/Off : 192.168.1.50)	本機のIPアドレスを入力する。 DHCPがOffのときに有効。 [ご注意] Network ModeがStationに設定されている場合のみ設定できます。
	Subnet Mask(DHCP/On : 自動取得 、DHCP/Off : 255.255.255.0)	本機のサブネットマスクを入力する。 DHCPがOffのときに有効。 [ご注意] Network ModeがStationに設定されている場合のみ設定できます。
	MAC Address	本機に接続されているワイヤレスLANアダプターのMACアドレスを表示する。
	Regenerate Password(Run/Cancel)	パスワードの再生成を実行する(Runで実行)。 [ご注意] Network ModeがAccess Pointに設定されている場合のみ実行できます。

Technical > Alerts & Tally		
RECボタンとメディア残量アラームに関する設定を行います。		
メニュー項目	設定値	内容
Rec Light	On /Off	RECランプをオン/オフする。
Rec Start/Stop Beep	0 ~ 99	記録開始・終了操作時のビーブ音量を調整する。
Media Near Full Alarm	1min/3min/ 5min	メディア残量が少なくなったことを知らせるアラームの閾値を設定する。
Technical > Batt./Voltage Alarm		
バッテリーと外部DC電源電圧アラームに関する設定を行います。		
メニュー項目	設定値	内容
Near End:Info Battery	5% ~ 100%(5%刻み)	インフォバッテリー使用時にバッテリー残量表示が点滅するしきい値を設定する。
End:Info Battery	0% ~ 5%	インフォバッテリー使用時に「Battery End」を表示するしきい値を設定する。
Near End:Sony Battery	11.5V ~ 17V (0.1V刻み)	ソニー製の非インフォバッテリー使用時にバッテリー残量表示が点滅するしきい値を設定する。
End:Sony Battery	11.0V ~ 12.5V (0.1V刻み)	ソニー製の非インフォバッテリー使用時に「Battery End」を表示するしきい値を設定する。
Near End:Other Battery	11.5V ~ 17V(11.8V) (0.1V刻み)	ソニー製以外のバッテリー使用時にバッテリー残量表示が点滅するしきい値を設定する。
End:Other Battery	11.0V ~ 14V (0.1V刻み)	ソニー製以外のバッテリー使用時に「Battery End」を表示するしきい値を設定する。
Detected Battery	Sony Info Battery/Sony Battery/Other Battery/DC IN (12V)/DC IN (24V)	バッテリーの種類を自動判別した結果を表示する。
DC Low Voltage1	11.5V ~ 17V (0.1V刻み)	DC IN端子に外部電源を接続している場合に入力電圧の低下警告を表示するしきい値を設定する。
DC Low Voltage2	11.0V ~ 14V (0.1V刻み)	DC IN端子に外部電源を接続している場合に入力電圧の不足警告を表示するしきい値を設定する。
DC(24V) Low Voltage1	22.5V ~ 34.0V (0.1V刻み)	DC IN端子に24V外部電源を接続している場合に入力電圧の低下警告を表示するしきい値を設定する。
DC(24V) Low Voltage2	22.0V ~ 28.0V (0.1V刻み)	DC IN端子に24V外部電源を接続している場合に入力電圧の不足警告を表示するしきい値を設定する。

Technical > Panel Control		
ディスプレイに関する設定を行います。		
メニュー項目	設定値	内容
Brightness level	High /Mid/Low/Minimum	サブディスプレイとミニディスプレイの明るさを調整する。
Lock Operator Side	without Rec Button / without Assign3 Button / without Rec/Assign3 / with Rec/Assign3 Button	オペレーターサイドのLOCKスイッチによってロックされるボタンにRECボタンまたはAssign3ボタンを含めるかどうかを設定する。
Lock Assistant Side	without Rec Button / with Rec Button	アシスタントサイドのLOCKスイッチによってロックされるボタンにRECボタンを含めるかどうかを設定する。
Technical > Exposure Assist		
EL Zoneまたはフォルスカラーに関する設定を行います。		
[ご注意] <ul style="list-style-type: none">EL Zone Color Scaleは、TypeがEL Zoneの場合のみ設定できます。EL Zone Color Scale以外の項目は、TypeがFalse Colorの場合のみ設定できます。		
メニュー項目	設定値	内容
Type	False Color /EL Zone	Exposure Assistの表示タイプを設定する。
EL Zone Color Scale	Enable /Disable	EL Zone色見本の表示・非表示を設定する。
Level	Preset /Manual	ビューファインダーおよびモニター出力のフォルスカラーの各色のオン/オフと閾値をプリセットにするか手動にするかを設定する。Manualにすると、これ以降の項目を設定できます。
Red	On /Off	赤色の表示のオン/オフを設定する。
Red Upper Limit	0.0% ~ 109.0%(96.1%) (0.1%刻み)	赤色で表示する上限値を設定する。
Red Lower Limit	0.0% ~ 109.0%(93.4%) (0.1%刻み)	赤色で表示する下限値を設定する。
Yellow	On /Off	黄色の表示のオン/オフを設定する。
Yellow Upper Limit	0.0% ~ 109.0%(93.4%) (0.1%刻み)	黄色で表示する上限値を設定する。
Yellow Lower Limit	0.0% ~ 109.0%(91.3%) (0.1%刻み)	黄色で表示する下限値を設定する。
Orange	On /Off	オレンジ色の表示のオン/オフを設定する。
Orange Upper Limit	0.0% ~ 109.0%(90.6%) (0.1%刻み)	オレンジ色で表示する上限値を設定する。

Technical > Exposure Assist EL Zoneまたはフォスカラーに関する設定を行います。		
【ご注意】		
• EL Zone Color Scaleは、TypeがEL Zoneの場合のみ設定できます。 • EL Zone Color Scale以外の項目は、TypeがFalse Colorの場合のみ設定できます。		
メニュー項目	設定値	内容
Orange Lower Limit	0.0% ~ 109.0%(87.7%) (0.1% 刻み)	オレンジ色で表示する下限値を設定する。
Pink	On /Off	ピンク色の表示のオン/オフを設定する。
Pink Upper Limit	0.0% ~ 109.0%(58.0%) (0.1%刻み)	ピンク色で表示する上限値を設定する。
Pink Lower Limit	0.0% ~ 109.0%(54.3%) (0.1%刻み)	ピンク色で表示する下限値を設定する。
Light Pink	On /Off	ライトピンク色の表示のオン/オフを設定する。
Light Pink Upper Limit	0.0% ~ 109.0%(50.8%) (0.1%刻み)	ライトピンク色で表示する上限値を設定する。
Light Pink Lower Limit	0.0% ~ 109.0%(47.8%) (0.1% 刻み)	ライトピンク色で表示する下限値を設定する。
Cyan	On /Off	シアン色の表示のオン/オフを設定する。
Cyan Upper Limit	0.0% ~ 109.0%(46.5%) (0.1%刻み)	シアン色で表示する上限値を設定する。
Cyan Lower Limit	0.0% ~ 109.0%(43.8%) (0.1%刻み)	シアン色で表示する下限値を設定する。
Green	On /Off	緑色の表示のオン/オフを設定する。
Green Upper Limit	0.0% ~ 109.0%(42.2%) (0.1%刻み)	緑色で表示する上限値を設定する。
Green Lower Limit	0.0% ~ 109.0%(38.9%) (0.1%刻み)	緑色で表示する下限値を設定する。
Light Blue	On /Off	ライトブルー色の表示のオン/オフを設定する。
Light Blue Upper Limit	0.0% ~ 109.0%(34.4%) (0.1%刻み)	ライトブルー色で表示する上限値を設定する。
Light Blue Lower Limit	0.0% ~ 109.0%(24.6%) (0.1%刻み)	ライトブルー色で表示する下限値を設定する。
Blue	On /Off	青色の表示のオン/オフを設定する。
Blue Upper Limit	0.0% ~ 109.0%(5.6%) (0.1% 刻み)	青色で表示する上限値を設定する。
Blue Lower Limit	0.0% ~ 109.0%(3.5%) (0.1% 刻み)	青色で表示する下限値を設定する。

Technical > Exposure Assist EL Zoneまたはフォスカラーに関する設定を行います。		
【ご注意】		
• EL Zone Color Scaleは、TypeがEL Zoneの場合のみ設定できます。 • EL Zone Color Scale以外の項目は、TypeがFalse Colorの場合のみ設定できます。		
メニュー項目	設定値	内容
Purple	On /Off	紫色の表示のオン/オフを設定する。
Purple Upper Limit	0.0% ~ 109.0%(3.5%) (0.1% 刻み)	紫色で表示する上限値を設定する。
Purple Lower Limit	-7.3% ~ 109.0%(-7.3%) (0.1%刻み)	紫色で表示する下限値を設定する。
Reset	Run/Cancel	各色のオン/オフと閾値を初期値にする(Runで実行)。
Technical > Test Signals カラーバーに関する設定を行います。		
メニュー項目	設定値	内容
Color Bars	On/ Off	カラーバーをオン/オフする。 【ご注意】 • RM-B170などのリモートコントロールユニット接続時は、リモートコントロールユニットからの設定値が表示され、グレイアウトされます。 • カラーバーをオンにしてもカラーバーは記録されません。撮影した映像が記録されます。
Color Bar Type	ARIB /SMPTE	カラーバーの種類を選択する。
1kHz Tone on Color Bars	On/ Off	カラーバーモード時に1kHzのテスト信号を出力する機能をオン/オフする。
Test Saw	On/ Off	テスト信号をオン/オフする。
Test Saw Type	Saw /Step Saw	テスト信号の種類を選択する。 Saw : テスト信号としてSaw波形を出力する。 Step Saw : テスト信号としてStep波形を出力する。

Technical > Special Configuration 本機の制御に関する設定を行います。		
メニュー項目	設定値	内容
RM/RCP Paint Control	On/ Off	RM-B170などのリモートコントロールユニットのペイント機能をオン／オフする。 [ご注意] RM/RCP Paint Controlの設定を変更すると、本機のすべての設定が初期化されます。ただし、RM/RCP Paint Controlやネットワークの設定など一部初期化されない設定があります。
RM/RCP Shutter Control	Enable/ Disable	RM/RCP Paint Controlがオフ時のRM-B170などのリモートコントロールユニットのシャッター機能を有効／無効にする。 [ご注意] <ul style="list-style-type: none">RM/RCP Paint Controlがオフのときのみ表示されます。RM/RCP Paint Controlがオンのときは、このメニュー設定に関係なく、リモートコントロールユニットのシャッター機能は有効となります。
RM/RCP WB Control	Enable/ Disable	RM/RCP Paint Controlがオフ時のRM-B170などのリモートコントロールユニットのホワイトバランス機能を有効／無効にする。 [ご注意] <ul style="list-style-type: none">RM/RCP Paint Controlがオフのときのみ表示されます。RM/RCP Paint Controlがオンのときは、このメニュー設定に関係なく、リモートコントロールユニットのホワイトバランス機能は有効となります。
In-Camera VFX Mode	On/ Off	インカメラVFXモード機能をオン／オフする。
Moiré Alert Display	Off /High Only/High & Middle/High&Mid.&Out of Range/All	モアレアラートの表示レベルを設定する。(15ページ) Off : モアレアラートアイコン表示しない。 High Only : モアレアラートレベルがHighのときのみアイコン表示する。 High & Middle : モアレアラートレベルがHighまたはMiddleのときのみアイコン表示する。 High&Mid.&Out of Range : モアレアラートレベルがLow以外のときにアイコン表示する。 All : すべてのモアレアラートレベルをアイコン表示する。 メタデータにもモアレアラートレベルが記録されます。

Technical > Special Configuration 本機の制御に関する設定を行います。		
メニュー項目	設定値	内容
NR(4K 17:9/16:9)	On/ Off	4K 17:9/16:9 記録画像のノイズリダクションのオン／オフを設定する。 [ご注意] 以下の機能が有効のときはオフ固定になります。 <ul style="list-style-type: none">Select FPSAnamo. De-Squeeze : Off(1.0x)以外Flip Image : Normal以外
SD HDMI	On/ Off	HDMI出力信号をSDフォーマットにする機能をオン／オフする。 [ご注意] <ul style="list-style-type: none">以下の条件をすべて満たす場合に、Onに設定できます。 Imager Mode : 16:9(Zoom to Fitが16:9のときを含む) Recording Format : X-OCN ST Project Frame Rate : 50または59.94 Shootingメニュー > FPS > Fixed/Variable SelectがFixedMonitoringメニュー > Output Format > Monitor Out Source(96ページ) がVFに設定されている場合は、SD HDMIはグレイアウトされ設定を変更できません。
360° Shutter Setting	Pre Shutter On /Pre Shutter Off	360°シャッター(シャッターオフ)時のプリシャッターをオン／オフする。 Pre Shutter On : プリシャッターをオンにする。 Pre Shutter Off : プリシャッターをオフにする。 [ご注意] Pre Shutter Offに設定すると、フラッシュなどの過大光量入射時に残像が1フレーム残る場合があります。

Maintenanceメニュー

各メニュー項目の機能および設定値は次のとおりです。
太字とアンダーラインで表示されている設定値は、出荷時の設定です。

Maintenance > Language メニューとメッセージの表示言語を選択します。		
メニュー項目	設定値	内容
Select	English/中文(简)	フルメニューとメニュー、メッセージの表示言語を選択する。

Maintenance > Clock Set 内蔵時計に関する設定を行います。		
メニュー項目	設定値	内容
Time Zone	UTC +14:00 ~ UTC Greenwich ~ UTC -12:00(30分単位)	UTC(グリニッジ標準時)からの時差を30分単位で選択する。
Date Mode	YYMMDD /MMDDYY/DDMMYY	年月日の表示方式を選択する。 YYMMDD : 年月日の順 MMDDYY : 月日年の順 DDMMYY : 日月年の順
Date	現在の日付を設定する(Setを押して決定)。	
Time	現在の時刻を設定する(Setを押して決定)。	

Maintenance > Hours Meter 積算時間を表示します。		
メニュー項目	設定値	内容
Hours (System)	本機の積算使用時間(リセット不可)を表示する。	
Hours (Resettable)	本機の積算使用時間(リセット可)を表示する。	
Reset	Run/Cancel	本機のHours (Resettable)表示を0にリセットする(Runで実行)。

Maintenance > Reset to Default 本機を工場出荷状態に戻します。		
メニュー項目	設定値	内容
Reset	Run/Cancel	本機のすべての設定を初期化する(Runで実行)。

Maintenance > Network Reset ネットワーク関連設定を工場出荷状態に戻します。		
メニュー項目	設定値	内容
Reset	Run/Cancel	ネットワーク関連の設定を初期化する(Runで実行)。

Maintenance > Factory Reset 本機を工場出荷状態に戻します。		
メニュー項目	設定値	内容
Reset	Run/Cancel	本機を工場出荷状態に戻す(Runで実行)。 内蔵メモリーに保存した以下のデータもリセットされます。 <ul style="list-style-type: none">Scene FileUser 3D LUT FileART FileASC CDL FileUser Gamma FileFrame Line File各種Password [ご注意] Resetを実行しても、工場調整値はリセットされません。

Maintenance > License Options ソフトウェアオプションをインストールします。		
メニュー項目	設定値	内容
Install: 「対象ライセン	Run/Cancel	ソフトウェアオプションをインストールする(Runで実行)。
Anamorphic	XXdays Remaining (Ykeys)/ Permanent License Installed/Not Installed/Expired	アナモフィックオプションが有効かどうかを表示する。 XXdays Remaining (Ykeys) : 時限ライセンス期限内 Permanent License Installed : 永久ライセンスインストール済み Not Installed : 未インストール Expired : 時限ライセンス期限切れ
Full-Frame	XXdays Remaining (Ykeys)/ Permanent License Installed/Not Installed/Expired	フルフレームオプションが有効かどうかを表示する。 XXdays Remaining (Ykeys) : 時限ライセンス期限内 Permanent License Installed : 永久ライセンスインストール済み Not Installed : 未インストール Expired : 時限ライセンス期限切れ
Unique Device ID	ソフトウェアオプションのライセンスキーの発行手続きに使用するIDを表示する。	

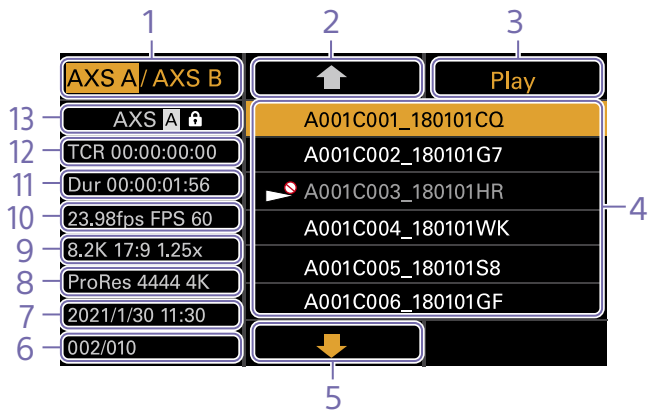
Maintenance > Firmware		
本機のバージョン表示および本機のバージョンアップを実行します。		
メニュー項目	設定値	内容
Version		本機のファームウェアバージョンを表示する(Vx.xx)。
Firmware Update	Run/Cancel	<p>本機をバージョンアップする(Runで実行する)。</p> <p>【ご注意】</p> <ul style="list-style-type: none">• 本機のファームウェアの更新版の存在が確認された場合、項目名の「Firmware Update」の先頭に「*」が追加され、「*Firmware Update」と表示されます。同様に上位階層の「Maintenance」および「Firmware」にも先頭に「*」が追加されます。また、「Firmware Update」の設定値の表示が「Update Available」に変わります。• 必要に応じて、ソニープロフェッショナル/業務用製品サイトホームページよりファームウェアをダウンロードのうえ、バージョンアップを行ってください。• 本機の電源をOFFからONにしたとき、かつ、前回確認から1日以上経過している場合に確認が実行されます。• 本機能ではインターネット経由で専用のカスタマーサポートサーバー（CSサーバー）に接続して確認を行うため、以下の環境および設定が必要になります。<ul style="list-style-type: none">– インターネット回線に接続する(ルーター経由)– DHCPをOnに設定する– ワイヤレス接続の場合はネットワークモードをStationに設定する外部ネットワークへのアクセスはCSサーバーに限定されます。 <p>ネットワークの設定方法については、「ネットワークの設定方法と操作方法」（124ページ）を参照してください。</p>

サブディスプレイのクリップ操作

クリップ操作は、クリップリスト画面と再生画面の2つの画面で構成されています。サブディスプレイに表示されるクリップリスト画面から再生するクリップを選択して、クリップを再生できます。

クリップリスト画面

アシスタントサイドのCLIPSボタン(12ページ)を押すと、サブディスプレイに再生可能なメディアのクリップリスト画面が表示されます。



1. メディア切り換えボタン

ITEMキー 1を押すと再生するメディアスロットを切り換えることができます。

2. 上方向カーソル移動ボタン


ITEMキー 2を押して、クリップ一覧から再生するクリップを選択します。

3. 再生開始ボタン

ITEMキー 3を押すと、再生画面(18ページ)が表示され、再生が開始されます。

4. クリップ一覧

再生アクティブメディア内のクリップ一覧が表示されます。また、クリップの状態がアイコンで表示されます。

アイコン	意味
 (再生不可)	再生できないクリップ

5. 下方向カーソル移動ボタン

ITEMキー 5を押して、クリップ一覧から再生するクリップを選択します。

6. 再生メディア内のクリップ位置

カーソルがあるクリップのクリップ番号/総数が表示されます。

7. 作成日時

カーソルがあるクリップの作成日時が表示されます。

8. フォーマット(コーデック)

カーソルがあるクリップのフォーマット(コーデック)が表示されます。

9. 画サイズ表示

カーソルがあるクリップを記録したときの有効画サイズが表示されます。

10. プロジェクトフレームレート/特殊記録表示

カーソルがあるクリップのプロジェクトフレームレートと特殊記録が表示されます。

11. デュレーション(Dur)


カーソルがあるクリップのデュレーションが表示されます。

12. タイムコード(TCR)

カーソルがあるクリップの先頭フレームのタイムコードが表示されます。

13. 再生アクティブメディア

表示しているリストの再生アクティブメディアが表示されます。メディアの状態がアイコンで表示されます。

アイコン	意味
 (プロテクト)	書き込み禁止されているメディア

再生画面

クリップリスト画面で再生するクリップを選択し、MENUダイヤルまたはPlayボタン(ITEMキー 3)を押すと、再生画面が表示されます。

機能表示部



1. F Revボタン

逆方向に高速再生します。

2. Play/Pauseボタン

クリップの再生または再生を一時停止します。

3. F Fwdボタン

順方向に高速再生します。

4. Prevボタン

逆方向にクリップの頭出しをします。

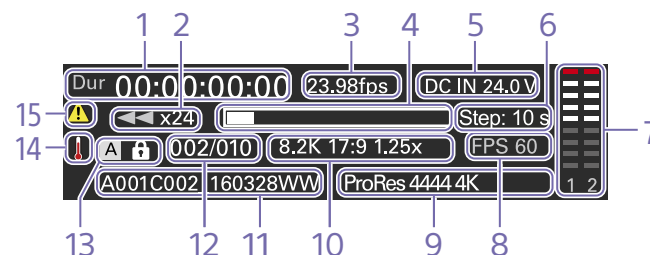
5. Stop/Clipsボタン

再生を停止し、クリップ一覧画面に戻ります。

6. Nextボタン

順方向にクリップの頭出しをします。

ステータス表示部



1. タイムデータ表示

再生位置のタイムコードが表示されます。

2. 再生状態

再生状態が表示されます。

CALLコマンドを受信すると、「CALL」が表示されます。

3. フレームレート表示

プロジェクトフレームレートが表示されます。

4. 再生位置表示

再生クリップの再生位置が表示されます。

5. 電源電圧/バッテリー残量表示

電源電圧またはバッテリー残量が表示されます。

6. フレームジャンプステップコマ数表示

フレームジャンプ再生で選択したフレームコマ数が表示されます(119ページ)。

7. 音声レベルメーター

再生音声レベルが表示されます。

8. 特殊記録表示

再生クリップの特殊記録情報が表示されます。

9. 再生クリップフォーマット(コーデック)表示

再生クリップのフォーマット(コーデック)が表示されます。

10. イメージャーモード表示

画サイズが表示されます。

11. クリップ名

クリップ名が表示されます。

12. クリップ番号

再生中のクリップ番号/再生可能なクリップ総数が表示されます。

13. メディア表示

再生しているメディアが表示されます。
メモリーカードがプロテクトされている場合は、右に (P) (プロテクト) アイコンが表示されます。

14. 温度計アイコン

温度上昇に関する警告メッセージがあるときに表示されます。
メニューのInfoカテゴリーに内容が表示されません。

15. 警告アイコン

温度上昇を除く警告メッセージがあるときに表示されます。
メニューのInfoカテゴリーに内容が表示されません。

再生

本機が記録停止中(Stby) のときは、記録したクリップを再生することができます。

[ご注意]

- Shootingメニュー > LUT Select > ProRes(87ページ) をLookに設定してProRes記録されたクリップを再生した場合、Shootingメニュー > LUT Select(84ページ) で設定したLUTは再生映像に適用されません。
- 各再生項目はITEMキー 1 ～ 6(11ページ) にそれぞれ対応しています。ITEMキーを押すと、対応する項目の操作ができます。

- 再生するAXSメモリーカードを入れる。
- アシスタントサイドのCLIPSボタン(12ページ) を押す。
サブディスプレイに再生アクティブなメディアのクリップリスト画面が表示されます。
- ↑ (ITEMキー 2) ボタン、↓ (ITEMキー 5) ボタンまたはMENUダイヤルで再生するクリップを選択する。
- MENUダイヤルまたはPlayボタン(ITEMキー 3) を押す。
ビューファインダー・モニター画面に再生画面が表示されます。



Monitoringメニュー > Overlays/Frame Line > Overlay A/B SetupのPlayback Position(100ページ) で、再生クリップの再生位置表示(18ページ) をオン/オフすることができます。

再生操作について

再生操作はサブディスプレイのボタンで行います(118ページ)。

Play/Pauseボタン：再生を一時停止します。もう一度押すと再生モードに戻ります。

F Fwdボタン/F Revボタン：高速再生します。
Play/Pauseボタンを押すと標準再生に戻ります。

Stop/Clipsボタン：再生を停止し、クリップリスト画面になります。

MENUダイヤル：フレームジャンプして再生します。

フレームジャンプして再生する

- 一時停止中にMENUダイヤルを押し、フレームジャンプするフレームコマ数を選択する。
MENUダイヤルを押すたびに、1 f→10 f→1 s→10 s→1 fと切り換わります(f:フレーム、s:秒)。
ビューファインダー・モニター画面および再生画面(118ページ) に設定値が表示されます。
- MENUダイヤルを回す。
MENUダイヤルを回した分のクリック数×設定したフレームコマ数でフレームジャンプします。

[ご注意]

プロジェクトフレームレートが50P/60Pのクリップを再生する場合は、2フレームのセットでタイムコードのフレーム値をベースにフレームジャンプします。

音声を聞く

標準再生モードでは、記録されている音声を内蔵スピーカー (10ページ) またはヘッドホンでモニターできます。

ヘッドホン端子(10ページ) にヘッドホンをつなぐと、内蔵スピーカーはオフになります。
モニターするチャンネルの選択および音量の調整は、メニューのAudioカテゴリー > Monitor CHおよびMonitor Level(68ページ)で行います。

頭出しする

クリップの先頭から再生するにはサブディスプレイ(118ページ) のPrevボタンを押して頭出しします。
PrevボタンまたはNextボタンを複数回押すことで、クリップを飛ばして頭出しすることができます。

AXSメモリーカードを切り換える

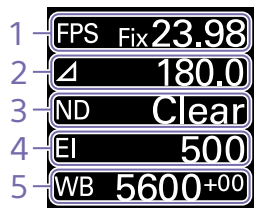
AXSメモリーカードが2枚装着されているときは、SLOT SELECTボタン(10ページ) を押して切り換えます。または、サブディスプレイにクリップリスト画面が表示されているときは、サブディスプレイのITEMキー 1を押して切り換えることもできます。

[ご注意]

再生中にAXSメモリーカードを切り換えることはできません。またスロットAからスロットBへの連続再生はできません。

ミニディスプレイのホーム画面の操作方法

ミニディスプレイのホーム画面では、本機の状態の確認や基本的な項目を設定できます。



1. FPS

撮像フレームレートの設定

2. Shutter

電子シャッターの開角度／スピードの表示／設定

3. ND Filter

NDフィルターの濃度の表示／設定

4. Exposure Index/Gain

Exposure Indexの表示／設定またはRM-B170などのリモートコントロールユニットで設定したゲイン値(dB単位)の表示／設定

[ご注意]

ゲイン値は、Technicalメニュー > Special Configuration > RM/RCP Paint Control(114ページ)がOnに設定されている場合のみ表示されます。

5. WB(White Balance)

ホワイトバランスの表示／設定

RM/RCP Paint Control有効時の表示と動作について

- Technicalメニュー > Special Configuration > RM/RCP Paint Control(114ページ)がOnに設定されている場合は、Exposure Indexの代わりにゲイン値が表示されます。この場合、EI値は変更できませんが、ゲイン値を変更できます。

- Technicalメニュー > Special Configuration > RM/RCP Paint Control(114ページ)がOnで、RM-B170などのリモートコントロールユニット接続時は、以下の項目は操作できません。リモートコントロールユニットで設定してください(144ページ)。
 - Shutter
 - WB(White Balance)

操作部

HOMEボタン(10ページ)

ホーム画面に戻ります。確定前の変更はキャンセルされます。

ITEMキー1(↑(上)) (10ページ)

ホーム画面の項目を選びます。

ITEMキー2(●(決定)) (10ページ)

選択している項目を決定します。

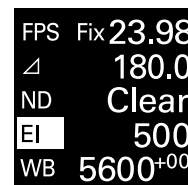
ITEMキー3(↓(下)) (10ページ)

ホーム画面の項目を選びます。

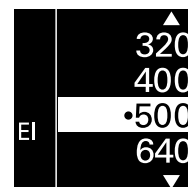
基本操作

- 1 ITEMキー1、2、3のいずれかを押す。カーソルが表示されます。

- 2 ↑(ITEMキー1) ボタン、↓(ITEMキー3) ボタンで設定したい項目を選ぶ。



- 3 ●(決定) ボタン(ITEMキー2) を押す。選んだ項目の設定値の選択画面が表示されます。



[ご注意]

●(黒丸) アイコンは現在の設定値を示しています。

- 4 ↑(ITEMキー1) ボタン、↓(ITEMキー3) ボタンで、選択項目または設定値にカーソルを合わせる。

- 5 ●(決定) ボタン(ITEMキー2) を押して決定する。

- 6 HOMEボタンを押してカーソルを消す。

ミニディスプレイのホーム画面設定項目一覧

各項目名称と設定内容は次のとおりです。
太字とアンダーラインで表示されている設定値は、出荷時の設定です。

項目	内容																
FPS	撮像フレームレートを設定する。 Fixed/Variable：サブディスプレイのホーム画面(52ページ) で等速撮影と可変速撮影を切り換えます。 「Fixed」を選択した場合、メニューのProjectカテゴリー > Project Frame Rate(64ページ) の設定で値が決まります。 <table><tr><th>Project Frame Rate</th><th>表示</th></tr><tr><td>23.98</td><td>Fix 23.98</td></tr><tr><td>24</td><td>Fix 24.00</td></tr><tr><td>25</td><td>Fix 25.00</td></tr><tr><td>29.97</td><td>Fix 29.97</td></tr><tr><td>47.95</td><td>Fix 47.95</td></tr><tr><td>50</td><td>Fix 50.00</td></tr><tr><td>59.94</td><td>Fix 59.94</td></tr></table> 「Variable」を選択した場合、Projectカテゴリー > Imager Mode(88ページ) とRecording Format(88ページ) の設定によって、設定値が次のように異なります。	Project Frame Rate	表示	23.98	Fix 23.98	24	Fix 24.00	25	Fix 25.00	29.97	Fix 29.97	47.95	Fix 47.95	50	Fix 50.00	59.94	Fix 59.94
Project Frame Rate	表示																
23.98	Fix 23.98																
24	Fix 24.00																
25	Fix 25.00																
29.97	Fix 29.97																
47.95	Fix 47.95																
50	Fix 50.00																
59.94	Fix 59.94																

項目	内容																												
	X-OCN記録時 MPC-3628 <table><tr><th>Imager Mode</th><th>撮像フレームレート</th></tr><tr><td>8.6K 3:2</td><td>1 ～ 30 FPS</td></tr><tr><td>8.6K 17:9</td><td>1 ～ 48 FPS</td></tr><tr><td>8.1K 16:9</td><td></td></tr><tr><td>8.2K 17:9</td><td>1 ～ 60 FPS</td></tr><tr><td>7.6K 16:9</td><td></td></tr><tr><td>8.2K 2.39:1</td><td>1 ～ 60、66、72 FPS</td></tr><tr><td>5.8K 6:5</td><td>1 ～ 48 FPS</td></tr><tr><td>5.8K 4:3</td><td>1 ～ 60 FPS</td></tr><tr><td>5.8K 17:9</td><td>1 ～ 60、66、72、75、88、90 FPS</td></tr><tr><td>5.4K 16:9</td><td></td></tr><tr><td>5.5K 2.39:1</td><td>1 ～ 60、66、72、75、88、90、96、100、110、120 FPS</td></tr></table>	Imager Mode	撮像フレームレート	8.6K 3:2	1 ～ 30 FPS	8.6K 17:9	1 ～ 48 FPS	8.1K 16:9		8.2K 17:9	1 ～ 60 FPS	7.6K 16:9		8.2K 2.39:1	1 ～ 60、66、72 FPS	5.8K 6:5	1 ～ 48 FPS	5.8K 4:3	1 ～ 60 FPS	5.8K 17:9	1 ～ 60、66、72、75、88、90 FPS	5.4K 16:9		5.5K 2.39:1	1 ～ 60、66、72、75、88、90、96、100、110、120 FPS				
Imager Mode	撮像フレームレート																												
8.6K 3:2	1 ～ 30 FPS																												
8.6K 17:9	1 ～ 48 FPS																												
8.1K 16:9																													
8.2K 17:9	1 ～ 60 FPS																												
7.6K 16:9																													
8.2K 2.39:1	1 ～ 60、66、72 FPS																												
5.8K 6:5	1 ～ 48 FPS																												
5.8K 4:3	1 ～ 60 FPS																												
5.8K 17:9	1 ～ 60、66、72、75、88、90 FPS																												
5.4K 16:9																													
5.5K 2.39:1	1 ～ 60、66、72、75、88、90、96、100、110、120 FPS																												
	MPC-3626 <table><tr><th>Imager Mode</th><th>設定値</th></tr><tr><td>6K 3:2</td><td>1 ～ 60 FPS</td></tr><tr><td>6K 1.85:1</td><td>1 ～ 60、66、72 FPS</td></tr><tr><td>6K 17:9</td><td></td></tr><tr><td>5.7K 16:9</td><td></td></tr><tr><td>6K 2.39:1</td><td>1 ～ 60、66、72、75、88、90 FPS</td></tr><tr><td>4K 6:5</td><td>1 ～ 60、66、72 FPS</td></tr><tr><td>4K 4:3</td><td>1 ～ 60、66、72、75 FPS</td></tr><tr><td>4K 4:3 Surround View</td><td>1 ～ 30 FPS</td></tr><tr><td>4K 17:9</td><td>1 ～ 60、66、72、75、88、90、96、100、110 FPS</td></tr><tr><td>3.8K 16:9</td><td></td></tr><tr><td>4K 17:9 Surround View</td><td>1 ～ 48 FPS</td></tr><tr><td>3.8K 16:9 Surround View</td><td></td></tr><tr><td>4K 2.39:1</td><td>1 ～ 60、66、72、75、88、90、96、100、110、120 FPS</td></tr></table>	Imager Mode	設定値	6K 3:2	1 ～ 60 FPS	6K 1.85:1	1 ～ 60、66、72 FPS	6K 17:9		5.7K 16:9		6K 2.39:1	1 ～ 60、66、72、75、88、90 FPS	4K 6:5	1 ～ 60、66、72 FPS	4K 4:3	1 ～ 60、66、72、75 FPS	4K 4:3 Surround View	1 ～ 30 FPS	4K 17:9	1 ～ 60、66、72、75、88、90、96、100、110 FPS	3.8K 16:9		4K 17:9 Surround View	1 ～ 48 FPS	3.8K 16:9 Surround View		4K 2.39:1	1 ～ 60、66、72、75、88、90、96、100、110、120 FPS
Imager Mode	設定値																												
6K 3:2	1 ～ 60 FPS																												
6K 1.85:1	1 ～ 60、66、72 FPS																												
6K 17:9																													
5.7K 16:9																													
6K 2.39:1	1 ～ 60、66、72、75、88、90 FPS																												
4K 6:5	1 ～ 60、66、72 FPS																												
4K 4:3	1 ～ 60、66、72、75 FPS																												
4K 4:3 Surround View	1 ～ 30 FPS																												
4K 17:9	1 ～ 60、66、72、75、88、90、96、100、110 FPS																												
3.8K 16:9																													
4K 17:9 Surround View	1 ～ 48 FPS																												
3.8K 16:9 Surround View																													
4K 2.39:1	1 ～ 60、66、72、75、88、90、96、100、110、120 FPS																												

項目	内容		
	ProRes記録時 MPC-3628		
	Imager Mode	撮像フレームレート	
		4K / QFHD ProRes	
		4444 XQ/4444	422 HQ
	8.6K 3:2	1 ~ 30 FPS	1 ~ 30 FPS
	8.2K 17:9	1 ~ 60 FPS	1 ~ 60 FPS
	7.6K 16:9		
	5.8K 4:3		
	8.6K 17:9	1 ~ 48 FPS	1 ~ 48 FPS
	8.1K 16:9		
	5.8K 6:5		
	8.2K 2.39:1	1 ~ 60 FPS	1 ~ 60、66、72 FPS
	5.8K 17:9	1 ~ 60 FPS	1 ~ 60、66、72、
	5.5K 2.39:1		75 FPS
	5.4K 16:9		
	MPC-3626		
	Imager Mode	撮像フレームレート	
		4K / QFHD ProRes	
		4444 XQ/4444	422 HQ
	6K 17:9	1 ~ 60 FPS	1 ~ 60、66、72 FPS
	5.7K 16:9		
	6K 2.39:1	1 ~ 60 FPS	1 ~ 60、66、72、
			75 FPS
	4K 6:5	1 ~ 60 FPS	1 ~ 60、66、72 FPS
	4K 17:9	1 ~ 60 FPS	1 ~ 60、66、72、75、
	3.8K 16:9		88、90 FPS
	4K 17:9 Surround View	1 ~ 48 FPS	1 ~ 48 FPS
	3.8K 16:9 Surround View		
	4K 2.39:1	1 ~ 60 FPS	1 ~ 60、66、72、75、
			88、90 FPS
<div>【ご注意】</div> <div><div></div><div>以下に設定されている場合は、7以下の撮像フレームレートを設定できません。</div><div><div>– Base ISOがISO 3200</div><div>– Base ISOがISO 2500かつ記録フォーマットがProRes</div></div><div>Project Frame Rateが24/25/50の場合は33.33 FPSを設定できます。</div></div>			

項目	内容
Exposure Index	EI値を設定する。Projectメニュー > Basic Setting > Base ISO(88ページ)の設定によって、設定値が次のように異なります。 MPC-3628 Base ISO 800： 200EI/250EI/320EI/400EI/500EI/640EI/ 800EI /1000EI/1250EI/1600EI/2000EI/2500EI/3200EI Base ISO 3200： 800EI/1000EI/1250EI/1600EI/2000EI/2500EI/ 3200EI /4000EI/5000EI/6400EI/8000EI/10000EI/12800EI MPC-3626 ISO 500： 125EI/160EI/200EI/250EI/320EI/400EI/ 500EI /640EI/800EI/1000EI/1250EI/1600EI/2000EI ISO 2500： 640EI/800EI/1000EI/1250EI/1600EI/2000EI/ 2500EI /3200EI/4000EI/5000EI/6400EI/8000EI/10000EI
Gain	基準感度を設定する。 －6dB/－3dB/ 0dB /3dB/6dB/9dB/12dB/15dB/18dB <div>【ご注意】</div> <div>Technicalメニュー > Special Configuration > RM/RCP Paint Control(114ページ)がOnで、RM-B170などのリモートコントロールユニットが接続されていない場合のみ設定できます。</div>
Shutter	電子シャッターの開角度／スピードを設定する。 ステップシャッターとして登録されているプリセット値から選択する。 <div>【ご注意】</div> <div>電子シャッター動作をContinuousにしているときは操作できません。</div> <div>フルメニューのTechnical > System Configuration > Shutter Mode (109ページ) の設定によって次のように選択肢が表示される。 Angle(Δ)：開角度表示 360.0/180.0/172.8/144.0/90.0/45.0/22.5/11.2/5.6¹⁾ Speed(SS)：スピード表示 1/24、1/25、1/30、1/48、1/50、1/60、1/100、1/120、1/250、1/500、1/1000、1/2000¹⁾</div>
ND Filter	NDフィルターの濃度を設定する。設定値は以下のとおりです。 Clear /0.3/0.6/0.9/1.2/1.5/1.8/2.1/2.4
WB(White Balance)	ホワイトバランスの色温度を設定する。 WBステップとして登録されているプリセット値から選択します。 3200K+00 /4300K+00/5500K+00 ¹⁾

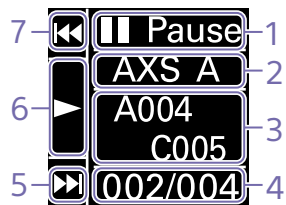
1) 選択肢はサブディスプレイのホーム画面でStep Editから変更することができます。

ミニディスプレイのクリップ操作

ミニディスプレイに表示されるクリップ画面から再生するクリップを選択して、クリップを再生できます。

クリップ画面

オペレーターサイドのCLIPSボタン(10ページ)を押すと、ミニディスプレイに再生可能なメディアのクリップ画面が表示されます。



1. 再生状態表示

クリップの再生状態が表示されます。

2. 再生アクティブメディア

選択しているクリップの再生アクティブメディアが表示されます。

3. クリップ名

選択しているクリップのクリップ名が表示されます。

4. 再生メディア内のクリップ位置

選択しているクリップのクリップ番号/総数が表示されます。

5. F Fwd/Nextボタン

再生一時停止中に⏮ (ITEMキー 3) ボタンを押すと次のクリップに移動します。

再生中に⏮ (ITEMキー 3) ボタンを押すと順方向にクリップの頭出しをします。

6. Play/Pauseボタン

● (ITEMキー 2) ボタンを押すとクリップの再生をします。または再生を一時停止します。

7. F Rev/Prevボタン

再生一時停止中に⏪ (ITEMキー 1) ボタンを押すと1つ前のクリップに移動します。

再生中に⏪ (ITEMキー 1) ボタンを押すと逆方向にクリップの頭出しをします。

再生する

本機が記録停止中(Stby) のときは、記録したクリップを再生することができます。

1 再生するAXSメモリーカードを入れる。

2 オペレーターサイドのCLIPSボタン(10ページ) を押す。
ミニディスプレイに再生アクティブなクリップが表示されます。

3 Prevボタン(ITEMキー 1) またはNextボタン (ITEMキー 3) で再生するクリップを選択する。

4 Play/Pauseボタン(ITEMキー 2) を押す。
ビューファインダー・モニター画面に再生画面が表示されます。

再生操作について

Play/Pause ボタン：再生を一時停止します。もう一度押すと再生モードに戻ります。

F Fwd ボタン/F Rev ボタン：高速再生します。

Play/Pause ボタンを押すと標準再生に戻ります。

ネットワークの設定方法と操作方法

本機をネットワークに接続すると、コンピュータやスマートフォン、タブレットなどのデバイスから本機の各種機能を制御したり、本機の各種情報を表示することができます。

【ご注意】
インターネットへの接続には、ルーターまたはルーター機能を持つ機器やファイヤーウォールなどを経由し、外部からの攻撃を受けないようにしてください。

ネットワーク機能の概要

本機とデバイスを有線LANまたは無線LAN接続し、デバイスのブラウザーから本機にアクセスすると、Webリモコンが表示され、次の各種操作を行うことができます。

- 本機の記録制御(127ページ)
- 本機の再生制御(128ページ)
- 本機の撮影設定(128ページ)
- 本機のレンズ制御(128ページ)
- 本機のアサインボタンの設定および操作(128ページ)

Webリモコンを使用すると、記録の開始／停止や撮影設定を遠隔操作で調整できるため、本機を離れた場所に固定する場合や、本機をクレーンに装着して使用する場合などに有効です。

対応デバイスについて

本機の設定や操作にはコンピュータやスマートフォン、タブレットを使用することができます。確認済みのデバイス、OS、ブラウザーは次のとおりです。

デバイス	OS	ブラウザー
コンピューター	Microsoft Windows 11	Chrome
	macOS 15.x	Safari
スマートフォン	Android 15.x/16.x	Chrome
	iOS 18.x	Safari
タブレット	Android 15.x/16.x	Chrome
	iPadOS 18.x	Safari

【ご注意】
使用するブラウザーのバージョンによっては、正常に描写できない場合があります。確認済みのブラウザーのバージョンは次のとおりです
Safari : 18
Chrome : 141

本機とデバイスを有線LAN接続する

本機のネットワーク端子を使用して、有線LAN接続により直接デバイスに接続、またはルーター経由で接続することができます。

- 1 本機ネットワーク端子(13ページ) とコンピュータをLANケーブルで接続する。または、本機ネットワーク端子とルーターをLANケーブルで接続する。
- 2 Technicalメニュー > Network > Setting (110ページ) をLANにする。

【ご注意】
Technicalメニュー > Authentication > Password (110ページ) が設定されていない場合は、グレースアウトされ設定できません。

- 3 本機の設定をする。
自動的に本機にIPアドレスを割り当てる場合：
Technicalメニュー > Network > LAN > DHCP(110ページ) をOnにして、Setを選択して確定する。
接続先のIPアドレスを手動で入力する場合：
Technicalメニュー > Network > LAN > DHCP をOffにし、LAN > IP Addressで指定のIPアドレスを入力後、Setを選択して確定する。

【ご注意】
Technicalメニュー > Network > LANの設定画面でSetを選択してください。Setを選択しなかった場合は設定した内容が反映されません。

有線LAN接続が有効になると、ビューファインダー・モニター画面にネットワーク接続状態表示(16ページ) のLANアイコンが点灯します。

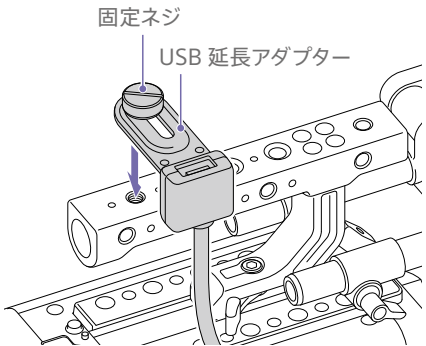
本機とデバイスを無線LAN接続する

本機にワイヤレスLANアダプター CBK-WA02(別売り) を取り付けると、本機とデバイスを無線LANで接続することができます。

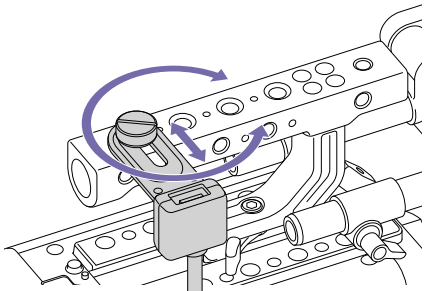
CBK-WA02を取り付ける

【ご注意】
CBK-WA02の取り付けは、本機の電源を切った状態で行ってください。

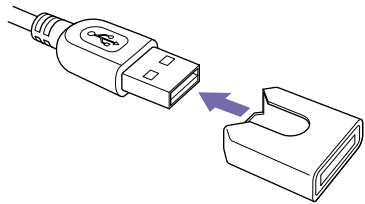
- 1 USB延長アダプターを下図の位置に取り付け、固定ネジを時計方向に回して固定する。



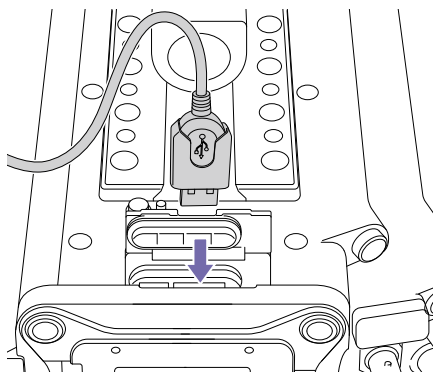
USB延長アダプターは、図に示す範囲で取り付け位置を調節することができます。



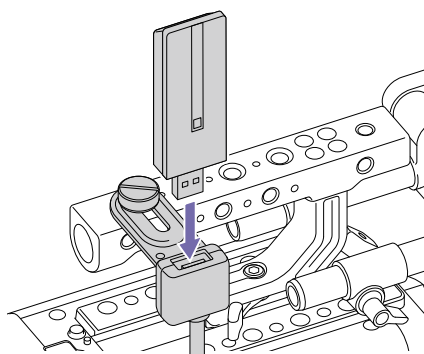
- 2 USB延長アダプターのUSB端子に保護キャップ(付属) を取り付ける。



- 3 外部機器接続端子のカバーを開け、USB延長アダプターのUSB端子を外部機器接続端子に差し込む。

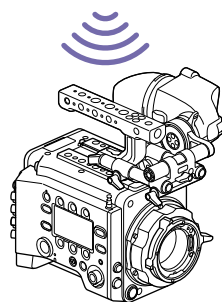
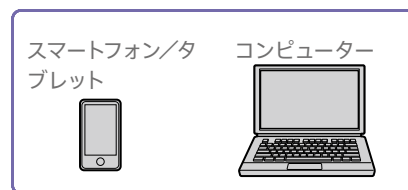


- 4 CBK-WA02 をUSB 延長アダプターのUSB 端子に差し込む。



アクセスポイントモードで接続する

本機をアクセスポイントとしてデバイスと無線 LAN 接続します。



WPS機能搭載のデバイスで接続する

デバイスがWPSをサポートしている場合には、WPSでの接続が可能です。

- 1 Technicalメニュー > Network > Setting (110ページ) をWirelessにする。

【ご注意】

Technicalメニュー > Authentication > Password (110ページ) が設定されていない場合は、グレーアウトされ設定できません。

- 2 Technicalメニュー > Network > Wireless > Network Mode(111ページ) をAccess Pointにする。

- 3 Technicalメニュー > Network > Wireless > WPS(111ページ) を選択する。

- 4 MENUダイヤルを回してRunを選択し、MENUダイヤルを押す。

- 5 デバイスのNetwork設定／Wi-Fi設定を開き、Wi-FiをOnにする。

- 6 デバイスのNetwork設定／Wi-Fi設定の詳細設定からWPS Push Buttonを押す。

【ご注意】

使用する機器によっては、操作が異なる場合があります。

デバイスでSSID、パスワードを入力して接続する

デバイス側でSSIDとパスワードを入力して接続します。

- 1 Technicalメニュー > Network > Setting (110ページ) をWirelessにする。

【ご注意】

Technicalメニュー > Authentication > Password (110ページ) が設定されていない場合は、グレーアウトされ設定できません。

- 2 Technicalメニュー > Network > Wireless > Network Mode(111ページ) をAccess Pointにする。

- 3 デバイスのNetwork設定／Wi-Fi設定を開き、Wi-FiをOnにする。

- 4 Wi-Fi NetworkのSSID一覧から、本機のSSIDを選択し、パスワードを入力して接続する。
本機のSSIDおよびパスワードについては、Technicalメニュー > Network > Wireless > SSIDとPassword(111ページ) をご確認ください。

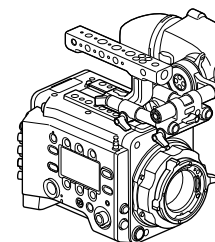
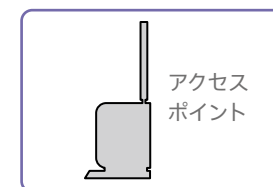
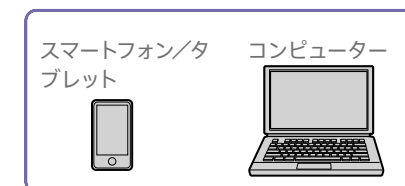
【ご注意】

使用する機器によっては、操作が異なる場合があります。

ステーションモードで接続する

本機をクライアントとして既存の無線LANのアクセスポイントに接続します。

デバイスとはアクセスポイント経由で接続します。



WPS機能を使ってアクセスポイントに接続する

アクセスポイントがWPS機能対応の場合は、簡単な設定で接続することができます。

- 1 アクセスポイントの電源を入れる。

2 本機の電源を入れる。

3 Technicalメニュー > Network > Setting (110ページ) をWirelessにする。

【ご注意】

Technicalメニュー > Authentication > Password (110ページ) が設定されていない場合は、グレーアウトされ設定できません。

4 Technicalメニュー > Network > Wireless > Network Mode(111ページ) をStationにする。

5 Technicalメニュー > Network > Wireless > WPS(111ページ) を選択する。

6 MENUダイヤルを回してRunを選択し、MENUダイヤルを押す。

7 アクセスポイントのWPS ボタンを押す。
WPSボタンの操作については、アクセスポイントの取扱説明書をご覧ください。

【ご注意】

接続に失敗した場合は手順1からやり直してください。

SSID、パスワードを入力して接続する

本機でSSIDとパスワードを入力して接続します。

1 Technicalメニュー > Network > Setting (110ページ) をWirelessにする。

【ご注意】

Technicalメニュー > Authentication > Password (110ページ) が設定されていない場合は、グレーアウトされ設定できません。

2 Technicalメニュー > Network > Wireless > Network Mode(111ページ) をStationにする。

3 Technicalメニュー > Network > Wireless (111ページ) の以下の項目を設定する。

- SSID
- Password
- DHCP
- IP Address
- Subnet Mask

4 Setを選択して確定する。

【ご注意】

必ずSetで確定してください。Setで確定しなかった場合は設定した内容が反映されません。

アクセスポイントを自動検出して接続する
接続先のアクセスポイントを自動検出して、SSIDを手動入力しないで接続することができます。

1 Technicalメニュー > Network > Setting (110ページ) をWirelessにする。

【ご注意】

Technicalメニュー > Authentication > Password (110ページ) が設定されていない場合は、グレーアウトされ設定できません。

2 Technicalメニュー > Network > Wireless > Network Mode(111ページ) をStationにする。

3 Technicalメニュー > Network > Wireless > Scan Networks(111ページ) を選択する。

4 MENUダイヤルを回してRunを選択し、MENUダイヤルを押す。
本機が接続先のアクセスポイントの自動検出を開始します。自動検出が終了すると、接続可能なネットワークがリスト表示されます。

5 MENUダイヤルを回して接続するネットワークを選択し、MENUダイヤルを押す。

6 Setを選択して確定する。
パスワードの入力画面が表示されます。

7 パスワードを入力してDoneを選択する。
Wireless設定詳細画面が表示されます。

8 Technicalメニュー > Network > Wirelessの以下の項目を入力した後、Setを選択して確定する。

- DHCP
- IP Address
- Subnet Mask

【ご注意】

必ずSetで確定してください。Setで確定しなかった場合は設定した内容が反映されません。

Webリモコンを表示する

デバイスのブラウザーから本機にアクセスしてWebリモコンを表示します。Webリモコン画面は、デバイスの画面サイズに応じて自動で切り換わります。

1 「本機とデバイスを有線LAN接続する」または「本機とデバイスを無線LAN接続する」の手順に従って、本機とデバイスを接続する。

2 デバイスでブラウザーを起動し、「http://本機のIPアドレス/rm.html」にアクセスする。
本機のIPアドレスは、Infoカテゴリー > SystemのIP Address(69ページ) で確認できます。
例：IPアドレスが「192.168.1.1」の場合は、アドレスバーに「http://192.168.1.1/rm.html」と入力します。


3 ブラウザー画面に、ユーザー名とパスワード(Technicalメニュー > Authentication (110ページ)) を入力する。
接続が完了すると、デバイスにWebリモコン画面が表示されます。

【ご注意】

スマートフォン等でモバイル用ページ表示設定にしている場合、正しく表示されないことがあります。デスクトップ用ページ表示設定に変更してください。

Webリモコン画面

Global Menu

Webリモコン画面左上の  (Global Menu) を選択するとGlobal Menuが表示されます。設定したい項目を選択します。



Camera Control画面

Camera Control画面は、Camera画面とLens画面、Info画面で構成されています。Cameraタブを選択するとCamera画面が、Lensタブを選択するとLens画面が、Infoタブを選択するとInfo画面が表示されます。

Camera Control画面では、各種表示項目と操作ボタンが配置されています(Camera画面／Lens画面／Info画面／再生画面共通)。

- ネットワーク接続状態(Connected/Disconnected)
- Camera ID*
- Recボタン
- アサインボタン(1～7、A～C)

* Camera IDの文字色は、Frame Line A/B SetupのColorと同じ色になります。

Camera画面



Camera画面では、サブディスプレイのホーム画面と同じ内容が表示され各種設定ができます。

【ご注意】

サブディスプレイ画面と同様に、Technicalメニュー > Special Configuration > RM/RCP Paint Control(114ページ) がOnに設定されている場合は、EI表示がGain表示に切り換わり、操作項目に制限がかかります(45ページ)。

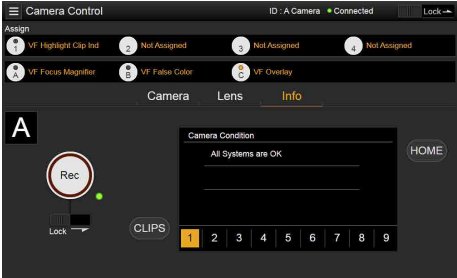
- 撮影設定(43ページ)
FPS、EI、Shutter、ND、LUT、WB
- カメラステータス表示(44ページ)
動作状態、タイムデータ、音声レベルメーター、クリップ名、記録フォーマット、メディア状態／残量、電源電圧／バッテリー残量

Lens画面



Lens画面では、ズーム、フォーカス、アイリスの各レンズコントロールが表示されます。

Info画面



Info画面では、サブディスプレイのメニュー画面のInfoカテゴリー (69ページ) と同じ内容が

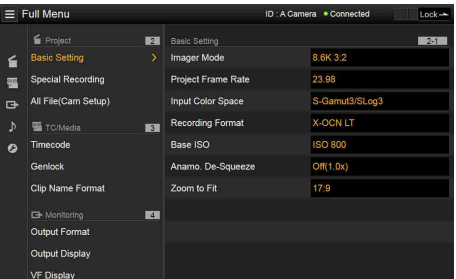
表示され、カメラやメディア、バッテリーなどの状態を確認できます。

Full Menu画面

Global MenuでFull Menuを選択すると、フルメニューの設定画面が表示され、各項目を設定できます(79ページ)。

【ご注意】

Webリモコンでは一部設定できない項目があります。



OSS(Open Source Software) Information画面

Global MenuでOSS Informationを選択するとオープンソースソフトウェアの情報が表示されます。

再生画面



再生画面では、クリップの再生機能の操作を行うことができます。また画面には再生しているクリップの情報がステータス表示部に表示されます。

- 機能表示(118ページ)
F Rev、Play/Pause、F Fwd、Prev、Stop/Clips、Next
- 再生ステータス表示(118ページ)
タイムデータ表示、クリップ番号、フレームレート／再生クリップ画サイズ表示、特殊記録表示、音声レベルメーター、再生クリップフォーマット(コーデック) 表示、アイコン表示(保護)、クリップ名、再生メディア表示、再生状態

HOMEボタン

HOMEボタンを押すと、Camera画面に切り換わりします。

本体が再生状態で、Webリモコン画面に再生画面を表示していても、HOMEボタンを押すと、カメラ撮像状態に戻ります。

CLIPSボタン

CLIPSボタンを押すと、再生画面に切り換わりします。(本体はクリップリスト画面に切り換わりします(117ページ)。)

記録する

Camera Control画面でRecボタンを押すと記録が始まりRECランプが赤色に点灯し、もう一度押すと記録が停止します。Recボタン右下のREC ACTIVEランプが緑のときRecボタンを操作できます。

Recボタンをロックするには

Recボタン下のLockつまみを右にスライドすると、Recボタンの操作を禁止することができます。

再生する

Camera画面でCLIPSボタンを押すと、再生画面に切り換わり、本体が再生状態になります。(本体のサブディスプレイはクリップリスト画面が表示されます(117ページ)。)

再生画面で再生するクリップの選択、再生操作を行うことができます。

再生メディアを切り換えるには

メディア切り換えボタンを押すと再生するメディアスロットを切り換えることができます。

撮影設定をする

Camera画面で、本機のサブディスプレイのホーム画面と同じ項目の設定と操作を行うことができます。

【ご注意】
ShutterのStep Edit操作はできません。

操作方法はサブディスプレイのホーム画面と同じです。

◆「サブディスプレイのホーム画面の操作方法」(45ページ)

レンズを制御する

Lens画面で、Eマウントレンズ設定(ズーム、フォーカス、アイリス)の状態を確認したり、制御可能なレンズを装着していた場合はスライダー操作でズーム、フォーカス、アイリスを制御できます。Lens画面で、PLマウントCookeレンズ通信制御が可能です。
また、Lens画面で、12pinレンズ通信制御が可能です。

【ご注意】
Technicalメニュー>Special Configuration>RM/RCP Paint Control(114ページ)がOnで、RM-B170などのリモートコントロールユニット接続時は、スライダーはグレースアウトされ操作できません。フォーカスとズームのスライダーは、フォーカスまたはズームのリモート操作を有効にした場合にグレースアウトされます。

アサインブルボタンを設定／操作する

Camera Control画面には、アサインブル1～4ボタンとアサインブル5～7ボタンまたはビューファインダーアサインブルA～Cボタンが配置されています。

本機のアサインブル1～4ボタン、CBK-3620XSのアサインブル5～7ボタン、CBK-3621XSのアサインブル5ボタンまたはDVF-EL200のアサインブルA～Cボタンを操作したときと同様に、アサインブルボタンを押すと、割り当てられた機能のオン(有効)とオフ(無効)を切り換えたり、割り当てられた機能を起動したりできます。
アサインブルボタンの機能名を選択すると、切り換え可能な選択肢がプルダウン表示され、選択

肢を選択することにより、アサインブルボタンに割り当てる機能を変更できます。

- ◆「アサインブル1～7ボタンに割り当て可能な機能」(59ページ)
- ◆「ビューファインダー (DVF-EL200) アサインブルA～Cボタンに割り当て可能な機能」(61ページ)

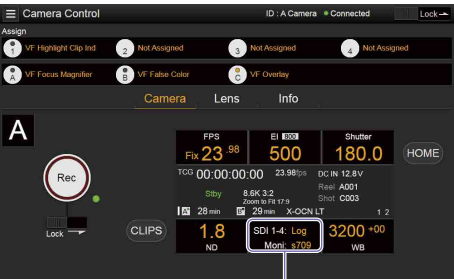
- 【ご注意】**
- アサインブル5ボタンは、本機にCBK-3620XSまたはCBK-3621XSが接続されている場合のみ、アサインブル6、7ボタンは、本機にCBK-3620XSが接続されている場合のみ設定／操作できます。
 - 本機にCBK-3620XSが接続されている場合は、DVF-EL200のアサインブルA～Cボタンの表示位置にアサインブル5～7ボタンが表示されます。
 - 本機にCBK-3621XSが接続されている場合は、DVF-EL200のアサインブルA～Cボタンの表示位置にアサインブル5ボタンが表示されます。
 - アサインブルボタンに割り当てた機能が、ボタンを押している間だけ有効になる機能、またはボタンを長押しして有効になる機能だった場合、Webリモコンのアサインブルボタンからの操作は無効になります。対象となる機能は以下のとおりです。
 - Press&Hold for SDI12 Log
 - Press&Hold for SDI34 Log
 - Press & Hold for Moni Log
 - Press & Hold for VF Log
 - Iris Open (1/16 stop)
 - Iris Close (1/16 stop)
 - Monitor Focus Magnifier(Monitor Magnifier ModeがPress & Holdのとき)
 - VF Focus Magnifier(VF Magnifier ModeがPress & Holdのとき)

各種ファイルを読み込む

Camera画面のLUT選択画面で、User 3D LUTファイルやARTファイル、ASC CDLファイルを本機に読み込むことができます。

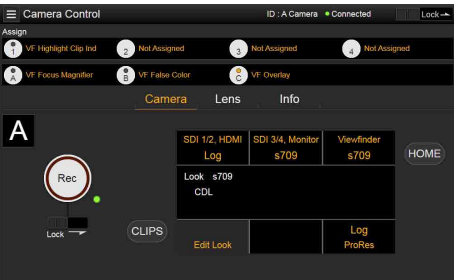
LUT選択画面を表示する

Camera画面のサブディスプレイのホーム画面でLUT選択部をクリック、またはタッチする。



LUT選択部

LUT選択画面が表示されます。

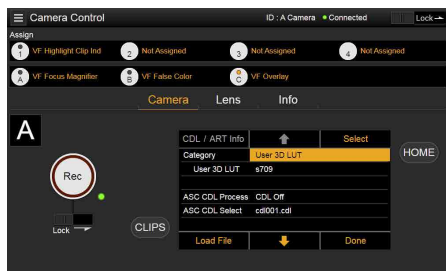


User 3D LUTファイルを読み込む

User 3D LUTファイルをネットワーク接続したデバイスから本機に読み込むことができます。

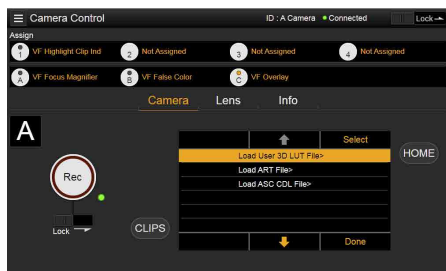
1 LUT選択画面でEdit Lookボタンをクリック、またはタッチする。
Look選択画面が表示されます。

2 Load Fileボタンをクリック、またはタッチする。
読み込むファイルの種類を選択する画面が表示されます。

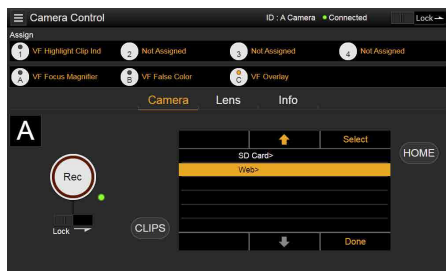


- 3 Load User 3D LUT Fileにカーソルを移動し、Selectボタンをクリック、またはタッチする。

読み込み先を選択する画面が表示されます。

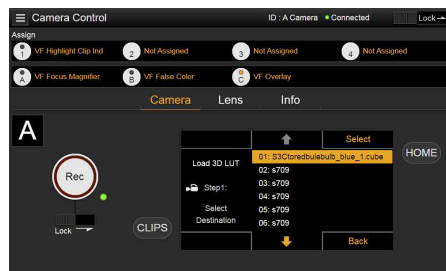


- 4 Webにカーソルを移動し、Selectボタンをクリック、またはタッチする。



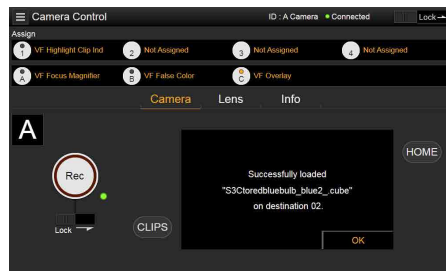
読み込み先の番号(01 ~ 16)が表示されます。

読み込み済みの番号にはファイル名が表示されます。



- 5 ↑ボタン、↓ボタンまたはダイレクトタッチで、読み込み先の番号にカーソルを移動し、Selectボタンをクリック、またはタッチする。

- 6 ネットワーク接続したデバイスの任意のフォルダを開き、読み込むファイルを選択する。ファイルの読み込みが完了すると、「Successfully loaded」が表示されます。



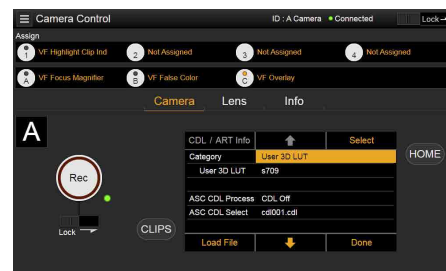
ARTファイルを読み込む

ARTファイルをネットワーク接続したデバイスから本機に読み込むことができます。

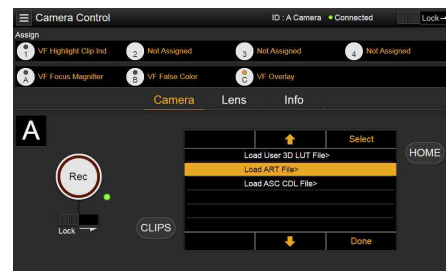
- 1 LUT選択画面でEdit Lookボタンをクリック、またはタッチする。
Look選択画面が表示されます。

- 2 Load Fileボタンをクリック、またはタッチする。

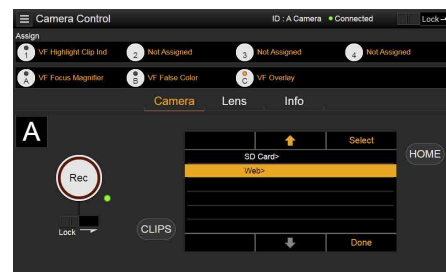
読み込むファイルの種類を選択する画面が表示されます。



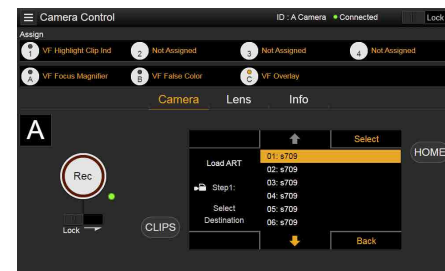
- 3 Load ART Fileにカーソルを移動し、Selectボタンをクリック、またはタッチする。
読み込み先を選択する画面が表示されます。



- 4 Webにカーソルを移動し、Selectボタンをクリック、またはタッチする。

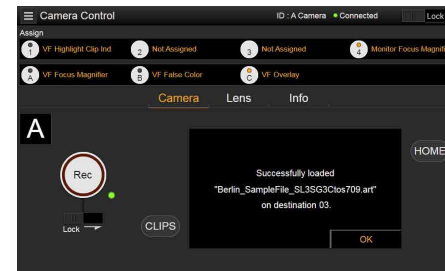


読み込み先の番号(01 ~ 16)が表示されます。
読み込み済みの番号にはファイル名が表示されます。



- 5 ↑ボタン、↓ボタンまたはダイレクトタッチで、読み込み先の番号にカーソルを移動し、Selectボタンをクリック、またはタッチする。

- 6 ネットワーク接続したデバイスの任意のフォルダを開き、読み込むファイルを選択する。ファイルの読み込みが完了すると、「Successfully loaded」が表示されます。



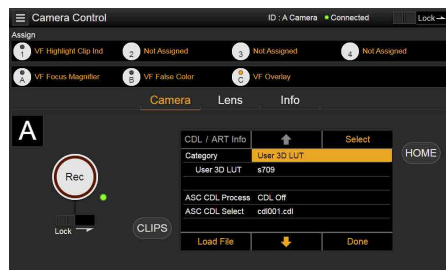
ASC CDLファイルを読み込む

ASC CDLファイルをネットワーク接続したデバイスから本機に読み込むことができます。

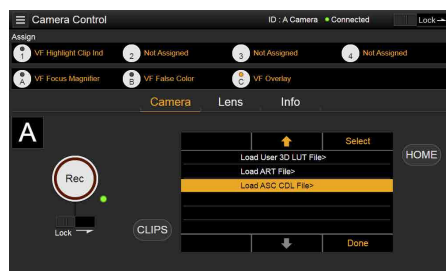
- 1 LUT選択画面でEdit Lookボタンをクリック、またはタッチする。
Look選択画面が表示されます。

- 2 Load Fileボタンをクリック、またはタッチする。

読み込むファイルの種類を選択する画面が表示されます。



- 3 Load ASC CDL Fileにカーソルを移動し、Selectボタンをクリック、またはタッチする。読み込み先を選択する画面が表示されます。

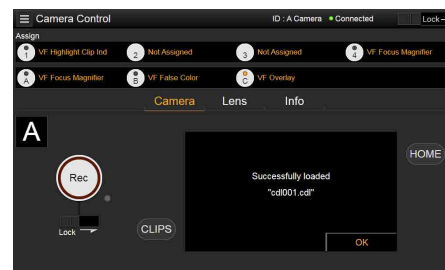


- 4 Webにカーソルを移動し、Selectボタンをクリック、またはタッチする。



- 5 ネットワーク接続したデバイスの任意のフォルダを開き、読み込むファイルを選択する。ファイルの読み込みが完了すると、

「Successfully loaded」が表示されます。



ASC CDLファイルの Saturation を変更する

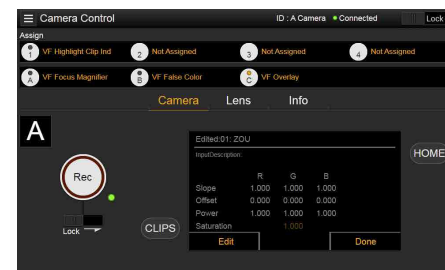
Camera画面のLUT選択画面で、ASC CDLファイルのSaturationの設定を変更することができます。

- 1 LUT選択画面でEdit Lookボタンをクリック、またはタッチする。Look選択画面が表示されます。

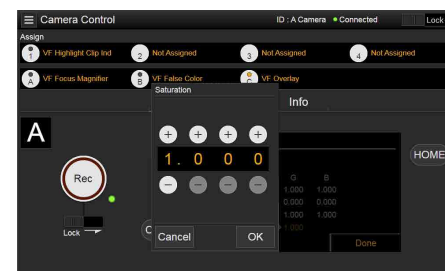
- 2 ASC CDL Selectにカーソルを移動し、CDL/ART Infoをクリック、またはタッチする。ASC CDLファイルの情報画面が表示されます。



- 3 Editボタンをクリック、またはタッチする。Saturationの編集画面が表示されます。



- 4 +ボタン、-ボタンをクリック、またはタッチして、設定値を変更する。



- 5 OKボタンをクリック、またはタッチして決定する。

Webリモコン画面をロックする

Webリモコン画面右上のLockつまみを右にスライドすると、Webリモコン画面の操作を禁止することができます。

基本操作

基本的な撮影は次の手順で行います。

- 1 必要な機器が取り付けられ、電源が供給されていることを確認する。
- 2 電源スイッチ(10ページ) をONにする。
ビューファインダーに撮影画面が表示されます。
- 3 必要なメモリーカードを入れる。
AXSメモリーカードは2枚入れておくと、1枚目がフルになった時点で自動的に2枚目に切り換わります。
- 4 RECボタン(10、12ページ) を押す。
RECランプが点灯して、記録が始まります。

[ご注意]
REC操作を受け付けた後、すぐに記録を開始できない場合はRECランプが点滅に変わり、記録開始されると点灯します。
- 5 記録を終了するときには、もう一度RECボタンを押す。
記録が停止し、本機はSTBY(記録待機) モードになります。
記録を停止すると、開始から停止までの画像・音声と付随データが、ひとつのクリップとして記録されます。

クリップ名について

Cam ID + Reel#形式のクリップ名で記録を行います。以下の規則に従ってクリップ名が生成されます。

- 挿入されたAXSメモリーカードにCam ID + Reel#形式のクリップ名が存在している場合は、最終クリップの情報が継承されます。
例 : 「B002C003_XXXXXXXX」がAXSメモリーカードに存在している場合
次に生成されるクリップは「B002C004_XXXXXXXX」になります。
- 空のAXSメモリーカードを挿入した場合は、前回記録したクリップのReel Numberに1だけ追加されます。
例 : カード1で「D001CXXX_XXXXXXXX」まで記録した後、空のカード2を入れて記録を行った場合
次に生成されるクリップは「D002C001_XXXXXXXX」になり、記録開始までクリップ名表示に下線が表示されます。
- メニューのTC/MediaカテゴリーのCamera IDや、Reel Numberを設定した場合は、その情報が有効になります。
例 : 「E003CXXX_XXXXXXXX」まで記録したAXSメモリーカードのCamera IDとReel Numberをメニューから変更した場合
Camera IDを「F」に、Reel Numberを「001」に変更すると、次に記録されるクリップは「F001CXXX_XXXXXXXX」になります。また、Camera IDだけを変更すると、Reel Numberは「001」に変更されます。

便利な機能

ユーザーフレームライン表示

ユーザーフレームラインは任意に設定した表示にするか、固定のアスペクト比を表示するかを選択することができます。

ユーザーフレームラインは、User Frame Line 1とUser Frame Line 2を設定することができます。

任意に設定する場合は、Monitoringメニュー > User Frame Line 1(102ページ) または User Frame Line 2(103ページ) > Select でVariableを選択し、Width、Height、H Position、V Positionの各メニュー項目で設定することができます。

固定のアスペクト比を設定する場合は、Monitoringメニュー > User Frame Line 1 (102ページ) またはUser Frame Line 2(103ページ) > SelectでPresetを選択し、Preset Aspect Ratio、Scaling、Preset Aspect Ratio Typeの各メニュー項目で設定することができます。

任意の設定、固定のアスペクト比の設定ともに、Aspect Ratio(Pixels)(102ページ) で、設定したユーザーフレームラインのアスペクト比、画素数、アナモフィック倍率を確認することができます。

【ご注意】

- User Frame Line 2 > Preset Aspect Ratio Typeの設定はLineに固定されています。
- アナモフィック倍率を設定できない有効画サイズ (Imager Mode) 設定のときは、アナモフィック倍率は表示されません。

アサインابلボタンの操作について

アサインابل1 ～ 4 (CBK-3620XS接続時は1 ～ 7、CBK-3621XS接続時は1 ～ 5)、ビューファインダーアサインابلA ～ C、ITEMキー 1 ～ 5(57ページ) のいずれかにLine A: User Frame Disp.を割り当てると、Line Aに設定しているUser Frame Line 1およびUser Frame Line 2の表示・非表示を切り換えることができます。

アサインابلボタンを押すたびに、User Frame Line 1と2を表示→User Frame Line 1を表示→User Frame Line 2を表示→User Frame Line 1と2を非表示の順に切り換わります。

同様にLine B: User Frame Disp.を割り当てると、Line Bに設定しているUser Frame Line 1およびUser Frame Line 2の表示・非表示を切り換えることができます。

また、アサインابل1 ～ 4(CBK-3620XS接続時は1 ～ 7、CBK-3621XS接続時は1 ～ 5)、ビューファインダーアサインابلA ～ C、ITEMキー 1 ～ 5のいずれかに、Line A: Aspect Ratio Disp.またはLine B: Aspect Ratio Disp.を割り当てると、Line AまたはLine Bに設定しているAspect Ratioの表示・非表示を切り換えることができます。

アサインابلボタンを押すたびに、Aspect Ratioの表示・非表示が切り換わります。

Frame Line Toolで作成したフレームラインファイルを表示する

内蔵メモリーに保存したフレームラインファイルを確認することができます。

詳しくは「内蔵メモリーに保存されているフレームラインファイルを確認する」(141ページ) をご覧ください。

フレームラインの表示色を設定する

ユーザーフレームラインは個々に表示色を設定することができます。

Monitoringメニュー > User Frame Line 1 (102ページ) またはUser Frame Line 2(103ページ) のColorで設定します。

ピクチャーキャッシュレック

撮影している映像／音声データを、本機のメモリーに蓄えておくことにより、記録を開始したとき、その数秒前からの映像を記録することができます。

Projectメニュー > Special RecordingのCache Rec Select(91ページ) をOnにして記録を開始すると、Projectメニュー > Special RecordingのMax Cache Rec Duration(91ページ) で設定した蓄積時間にさかのぼって映像を記録します。

Picture Cache Recを割り当てたアサインابلボタンを押して、ピクチャーキャッシュレック機能をオン／オフすることもできます。

【ご注意】

- プロジェクトフレームレートや記録フォーマット、記録するメディアによってMax Cache Rec Durationの設定に制限があります。詳しくは91ページを参照してください。
- 記録フォーマットなどのシステム設定を変更すると、メモリーに蓄えられていた画像がクリアされます。変更直後に記録を開始しても、変更前に撮影した映像は記録されません。ピクチャーキャッシュモードは自動的に解除されます。
- 記録中にピクチャーキャッシュの設定を変更することはできません。

レックレビュー

アサインابل1 ～ 4(CBK-3620XS接続時は1 ～ 7、CBK-3621XS接続時は1 ～ 5) ボタン(57ページ) のいずれかにRec Reviewを割り当てると、直前に記録したクリップの映像を画面で確認(レックレビュー) できます。

記録を停止し、Rec Reviewを割り当てたアサインابلボタンを押すと、クリップの最初のフレームから1倍速で再生します。

クリップの終わりまで再生すると、レックレビューは終了し、STBY(記録待機) モードに戻ります。

また、再生中にオペレーターサイドもしくはアシスタントサイドのHOMEボタンを押すと、再生が停止し記録可能な状態になります。

Zoom to Fit

実際に運用する映像画サイズよりも広めに撮影・記録する場合に、ビューファインダー画面やモニター画面で記録映像を実際の運用画面サイズに拡大して見るすることができます。

また、以下のイメージャーモードでは、デスクイーズ変換処理を行った画像をZoom to Fit機能で拡大表示できます。

MPC-3628 : 8.6K 3:2、5.8K 6:5、5.8K 4:3、5.8K 17:9

MPC-3626 : 6K 3:2、4K 6:5、4K 4:3、4K 17:9

Projectメニュー > Basic Setting > Zoom to Fit(90ページ) で設定できます。

対応するイメージャーモードとデスクイーズ処理の組み合わせについては、Projectメニュー >

Basic Setting > Zoom to Fit(90ページ) の表を参照してください。

【ご注意】
再生時は、Zoom to Fit機能は無効になります。

高精細拡大フォーカス機能

ビューファインダー画面、またはMonitor出力に対して、拡大表示することができます。
本機に装着されたビューファインダー（DVF-EL200、DVF-L700）のFOCUS MAGボタンや、VF Focus Magnifierを割り当てたアサインابلボタンを押すことによって、ビューファインダーの画面中央部分が拡大表示され、フォーカスを合わせやすくなります。または、Monitor Focus Magnifierを割り当てたアサインابلボタンを押すことによって、Monitor出力映像の画面中央部分が拡大表示され、フォーカスを合わせやすくなります。
拡大表示中は、記録映像やMonitor出力を除いた他の出力信号に影響はありません。
通常の拡大フォーカスは、それまで表示されている画の一部分を拡大するため解像度が荒くなりますが、本機のx2倍フォーカスは、拡大した部分が記録映像やMonitor出力を除いた他の出力信号とは別に4K映像からの切り出しで表示されるため解像度を保ったまま拡大フォーカス調整することが可能です。
また、さらに4K切り出し映像からの拡大でx4倍フォーカスも選択できます。
アサインابلボタン(57ページ) に割り当てることができる拡大フォーカス機能は以下のとおりです。

ビューファインダー画面の拡大フォーカス機能：VF Focus Magnifier
Monitor出力の拡大フォーカス機能：Monitor Focus Magnifier
FOCUS MAGボタンや、拡大フォーカス機能を割り当てたアサインابلボタンの動作順は以下の項目で設定できます。
ビューファインダー画面：Monitoringメニュー > VF Display > VF Magnifier Ratio(98ページ)
Monitor出力：Monitoringメニュー > Output Display > Monitor Magnifier Ratio(97ページ)
VF Magnifier Ratioをx2.0/x4.0に設定すると、VF Focus Magnifierを割り当てたアサインابلボタンを押すたびに、x2.0→x4.0→x1.0→x2.0の順に拡大率が切り換わります。
同様にMonitor Magnifier Ratioをx2.0/x4.0に設定すると、Monitor Focus Magnifierを割り当てたアサインابلボタンを押すたびに、拡大率が切り換わります。

【ご注意】

- Shootingメニュー > FPS > Fixed/Variable Select (80ページ) がVariableのときは、4K映像からの切り出し表示ができないため、x2/x4倍フォーカスの表示映像の解像度が下がります。
- Project Frame Rateが59.94または50のとき、Monitor出力設定が1920x1080Pの場合、Monitor Magnifier Ratioはx4.0およびx2.0/x4.0には設定できません。また、Monitor出力設定が1920x1080iの場合、Monitor Focus Magnifierは動作しません。
- HDMI出力がMonitor出力と同じ出力フォーマットの場合にMonitor Focus MagnifierはHDMI出力に対しても拡大表示されます。Monitoringメニュー > Overlays/Frame Line > HDMI(99ページ) で設定を確認できます。HDMIがSame as Monitorに設定されている場合、HDMI出力はMonitor出力と同じです。
- Monitoringメニュー > Output Format > Monitor Out Source(96ページ) がVFに設定されている場合、ビューファインダー出力映像をピント拡大すると、

Monitor出力映像もピント拡大表示されます。この場合は、Monitor Focus Magnifierを割り当てたアサインابلボタンを押してもMonitor出力映像には反映されません。

ピント拡大の拡大対象の位置の変更

以下のアサインابلボタンで、ビューファインダー画面とMonitor出力のピント拡大の拡大対象の位置を変更することができます。
ビューファインダー画面：VF Mag. Position
Monitor出力：Monitor Mag. Position
上記を割り当てたアサインابلボタンを押すたびに、拡大位置が撮像画面内を9分割した画面の画面中央→中央右→画面下左→下中央→下右→画面上左→上中央→上右→画面中央左→中央の順序で移動します。
また、Monitor Focus Magnifierがオンのときに、サブディスプレイがHOME画面を表示している場合、MENUダイヤルを回すと拡大位置を移動することができます。

【ご注意】

- Monitoringメニュー > Output Format > Monitor Out Source(96ページ) がVFに設定されている場合、ビューファインダーのピント拡大位置を変更すると、Monitor出力映像のピント拡大位置も変更されます。この場合は、Monitor Focus Magnifierを割り当てたアサインابلボタンを押してもMonitor出力映像には反映されません。
- 以下の条件下では、拡大位置は3分割になります。
 - MPC-3628の場合:Imager Modeが8.6K 17:9、8.2K 17:9、5.8K 17:9のいずれか、かつAnamo. De-Squeezeが2.0xのとき
 - MPC-3626の場合：Imager Modeが6K 17:9、4K 17:9、4K 17:9 Surround Viewのいずれか、かつAnamo. De-Squeezeが2.0xのとき

拡大フォーカス機能を割り当てたアサインابلボタンの操作設定について

拡大フォーカス機能を割り当てたアサインابلボタンを押すたびにオン/オフを切り換えるか、ボタンを押している間だけオンにするかを以下の項目で設定できます。
ビューファインダー画面：Monitoringメニュー > VF Display > VF Magnifier Mode(97ページ)
Monitor出力：Monitoringメニュー > Output Display > Monitor Magnifier Mode(97ページ)

ハイライトクリップインジケータ

高輝度のためクリップされた箇所を赤色にしてMonitor出力映像およびビューファインダー出力映像に表示することができます。
Monitor Highlight Clip IndおよびVF Highlight Clip Indを割り当てたアサインابلボタン(57ページ参照、59ページ参照) を押すと、ハイライトクリップインジケータのオン/オフを切り換えることができます。

【ご注意】

- Technicalメニュー > Special Configuration > RM/RCP Paint Control(114ページ) がOnに設定されている場合は、ハイライトクリップインジケータは動作しません。
- Monitoringメニュー > Output Format > Monitor Out Source(96ページ) がVFに設定されている場合、VF映像にVF Highlight Clip Indでハイライトクリップインジケータのオン/オフを切り換えると、Monitor出力映像も切り換わります。この場合、Monitor Highlight Clip Indを割り当てたアサインابلボタンを押してもMonitor出力映像には反映されません。

ハイ／ローキー

Monitor出力映像およびビューファインダー出力映像を、高輝度の白飛び確認または低輝度の暗部確認の状態にすることができます。

High Keyが有効になると、高輝度部分の差異が見やすくなり、高輝度の白飛びを確認できます。

Low Keyが有効になると、低輝度部分の差異が見やすくなり、低輝度の暗部を確認できます。

Monitor High/Low KeyおよびVF High/Low Keyを割り当てたアサインابل1～4

(CBK-3620XS接続時は1～7、CBK-3621XS接続時は1～5) ボタン(59ページ) を押すと、ハイ／ローキーの設定を切り換えることができます。

【ご注意】

- Technicalメニュー > Special Configuration > RM/ RCP Paint Control(114ページ) がOnに設定されている場合は、ハイ／ローキーは動作しません。
- Monitoringメニュー > Output Format > Monitor Out Source(96ページ) がVFに設定されている場合、VF映像にVF High/Low Keyでハイ／ローキーの設定を切り換えると、Monitor出力映像も切り換わります。この場合、Monitor High/Low Keyを割り当てたアサインابلボタンを押してもMonitor出力映像には反映されません。

露出アシスト表示

モニター出力映像またはビューファインダー出力映像に露出アシスト機能として、フォルスカラーまたはEL Zoneを選択表示することができます。露出アシスト機能は、Technicalメニュー > Exposure Assist > Type(112ページ) でフォルスカラーかEL Zoneかを選択することができます。

VF Exposure Assistを割り当てたアサインابلボタンを押すと、ビューファインダーに表示するフォルスカラーまたはEL Zone機能をオン/オフできます。

Monitor Exposure Assistを割り当てたアサインابلボタンを押すと、モニターに表示するフォルスカラーまたはEL Zone機能をオン/オフできます。

本機に装着されたビューファインダー(DVF-EL200)のB/False Colorボタン^{*}、またはビューファインダー(DVF-L700)のSPAREボタンを押すことによって、ビューファインダー映像に露出アシスト表示を行うこともできます。

^{*} ビューファインダー(DVF-EL200)のボタン名称はB/False Colorですが、EL Zoneを表示することが可能です。

EL Zoneについて

色の切り替わり目で、露出レベルのStop値を18%グレー基準を0として表示します。

あらかじめ、Technicalメニュー > Exposure Assist > Type(112ページ) をEL Zoneに設定します。

Technicalメニュー > Exposure Assist > EL Zone Color Scale(112ページ) をEnableにすると、EL Zone機能オン時に映像画面右端の情報表示領域に色見本を表示することができます。



【ご注意】

Technicalメニュー > Exposure Assist > EL Zone Color Scale(112ページ) をEnableにしていた場合、アサインابلボタンに割り当てたVF Exposure AssistまたはMonitor Exposure Assistのいずれかの機能をオンにすると、ビューファインダーおよびモニター画面の両方にEL Zoneの色見本が表示されます。

フォルスカラーについて

あらかじめ、Technicalメニュー > Exposure Assist > Type(112ページ) をFalse Colorに設定します。

Technicalメニュー > Exposure Assist > Level(112ページ) で、ビューファインダーおよびモニター出力のフォルスカラーの各色のオン/オフと閾値をプリセットにするか手動にするかを設定できます。

表示色	信号レベル	
	S-Log3 (初期値)	S-Log2(PMW-F55 参考値)
赤	93.4% ~ 96.1%	105.5% ~ 109.5%
黄	91.3% ~ 93.4%	102.5% ~ 105.5%
オレンジ	87.7% ~ 90.6%	97.4% ~ 101.5%
ピンク	54.3% ~ 58.0%	50.2% ~ 55.2%
ライト ピンク	47.8% ~ 50.8% (18%Gray+1stop)	41.5% ~ 45.4% (18%Gray+1stop)
シアン	43.8% ~ 46.5%	36.3% ~ 39.6%
緑	38.9% ~ 42.2%(18%Gray)	30.4% ~ 34.4%(18%Gray)
ライト ブルー	24.6% ~ 34.4%	15.5% ~ 25.2%
青	3.5% ~ 5.6%	3.0% ~ 4.0%
紫	-7.3% ~ 3.5%	-7.3% ~ 3.0%

プリセットの場合、上表のS-Log3(初期値) 列の各表示色と閾値で表示されます。

手動の場合、上表の各表示色のオン/オフ設定および閾値を変更することができます。

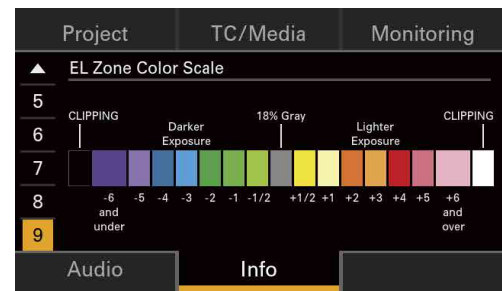
フォルスカラーおよびEL Zone色見本表示について

メニュー画面のInfoカテゴリー No.9の情報ページに、フォルスカラーの設定情報またはEL Zoneの色見本が表示されます。

Technicalメニュー > Exposure Assist > Type(112ページ) がFalse Colorのときは、フォルスカラーの設定情報が表示されます。



Technicalメニュー > Exposure Assist > Type(112ページ) がEL Zoneのときは、EL Zoneの色見本が表示されます。



【ご注意】

- Technicalメニュー > Special Configuration > RM/ RCP Paint Control(114ページ) がOnで、Projectメニュー > Basic Setting > Input Color Space(88ページ) がHLG(Natural)、HLG(Live)、Rec.2020/User Gamma、Rec.709/User Gammaのときは、フォルスカラーまたはEL Zone機能は動作しません。
- Paintメニュー > GammaのSetting(106ページ) をOffに設定して記録したProResクリップの再生映像には、EL Zoneを正しく表示できません。

再生時のフォスカラーおよびEL Zone表示について

再生するときのカメラ設定と、再生クリップを記録したときのカメラ設定が以下の条件で一致する場合は、再生時もフォスカラーおよびEL Zoneを表示することができます。

- Projectメニュー > Basic Setting > Input Color Space(88ページ) がS-Gamut3/ SLog3、S-Gamut3.Cine/SLog3、ACEScctの場合に、再生クリップのRec FormatがX-OCNのとき、
または再生クリップのRec FormatがProResでProRes記録LUTがLogのとき

ただし、再生クリップのRec FormatがProResでProRes記録LUTがLogのときは、Input Color SpaceがACEScctの場合に、フォスカラーを表示することはできません。

ビューファインダー倍速駆動機能

プロジェクトフレームレートが23.98P、24P、25P、29.97Pの場合、フレーム周波数が低いため左右に振って撮影するような場合に映像がぶれて見にくい場合があります。
このような場合にビューファインダー倍速駆動機能を有効にすることで、ビューファインダーの映像のブレが軽減され、見やすくすることができます。
Monitoringメニュー > VF FunctionのDouble Speed Scan(98ページ) をOnに設定することで、機能を有効にすることができます。

【ご注意】

- 本機能が有効なときは、電子シャッターは開角度換算で180°以下に制限されます。
- 可変速撮影時は本機能はOffになります。ただし、FPS値がProject Frame Rateと同等である場合を除きます。
- 本機能が有効になるイメージサイズとプロジェクトフレームレートは以下のとおりです。
MPC-3628：
8.2K 2.39:1(23.98p、24p)
5.8K 4:3(23.98p、24p、25p)
5.8K 6:5(23.98p、24p)
5.8K 17:9(23.98p、24p、25p、29.97p)
5.5K 2.39:1(23.98p、24p、25p、29.97p)
5.4K 16:9(23.98p、24p、25p、29.97p)
MPC-3626：
4K 4:3(23.98p、24p)
4K 17:9(23.98p、24p、25p、29.97p)
4K 17:9 Surround View(23.98p、24p)
4K 2.39:1(23.98p、24p、25p、29.97p)
3.8K 16:9(23.98p、24p、25p、29.97p)
3.8K 16:9 Surround View(23.98p、24p)

User 3D LUT

本機では、RAW ViewerやBlackmagic Design Pty. Ltd.製DaVinci Resolveで生成される17格子点、33格子点または65格子点のCUBEファイル(*.cube) をインポートすることができます(48ページ)。
また、ネットワーク経由でUser 3D LUTファイルを本機に読み込むこともできます(128ページ)。
CUBEファイル生成時のInput Color Spaceと本機のInput Color Spaceは合わせてください。
S-Gamut3.Cine/SLog3で生成した場合は、本機のProject > Basic SettingのInput Color Space(88ページ) をS-Gamut3.Cine/SLog3に設定してください。

生成されたUser 3D LUTファイルは、SDカードの以下の階層に保存してください。

PRIVATE\SONY\PRO\LUT\

【ご注意】

65格子点のUser 3D LUTファイルを読み込んだ場合は、SDIからの出力は33格子のLUTデータとして表示されます。
また、起動時のデータ転送に時間を要するため、LUTデータの出力が遅れる場合があります。

ART

本機では、RAW Viewerなどで生成されるART (Advanced Rendering Transform) ファイル(*.art) をインポートすることができます(49ページ)。
また、ネットワーク経由でARTファイルを本機に読み込むこともできます(129ページ)。

ARTファイルは、バイナリフォーマットで生成されたソニー独自のLookファイルです。ARTファイルを使用することにより、本機にUser 3D LUTをインポートするより高品質なモニター出力が可能です。

本機に生成されたARTファイルは、SDカードの以下の階層に保存してください。

MPC-3628：
PRIVATE\SONY\PRO\CAMERA\MPC3628
MPC-3626：
PRIVATE\SONY\PRO\CAMERA\MPC3626

【ご注意】

MPC-3610のARTファイルと互換性はありません。

ASC CDL

本機では、外部ツールで生成されたASC CDL(The American Society of Cinematographers Color Decision List) ファイル(*.cdl) をインポートすることができます(50ページ)。

また、ネットワーク経由でASC CDLファイルを本機に読み込むこともできます(129ページ)。
ASC CDLのパラメーターをLookに適用して撮影を行うことができます。

生成されたASC CDLファイルは、SDカードの以下の階層に保存してください。

PRIVATE\SONY\PRO\CDL\
また、ウェブブラウザ経由でASC CDLのパラメーターを変更したり、Pomfort社製のLivegradeで制御したりすることも可能です。

インカメラVFXモード機能

バーチャルプロダクションワークフローにおけるインカメラVFX撮影にて、前景の人物等に当てる通常の照明に加えて、背景のLEDウォール照明が混ざった状態でも、それぞれの照明の色温度と混合比率を設定することによって、人肌等の色を改善した色調整をすることができます。
Technicalメニュー > Special Configuration > In-Camera VFX Mode(114ページ) をOnにして、インカメラVFX操作画面(46ページ) またはShootingメニュー > White Balance > LED Wall Color Temp.(82ページ) とLight Blend(82ページ) で設定します。

ユーザー設定データ

フルメニューの設定内容は、本機の内蔵メモリーまたはSDカードに保存／読み込みすることができます。このデータを使って、適切なセットアップ状態をすばやく再現できます。

設定データをSDカードに保存する場合は、あらかじめ、書き込み可能なSDカード(41ページ)をSDカードスロット(14ページ)に挿入しておきます。

各ファイルに保存される設定値については、「ファイルに保存される項目」(169ページ)をご覧ください。

Allファイル

全メニューの設定データを保存／読み込みします。
SDカードに64個まで保存することができます。

【ご注意】

機器固有のデータ(機器ごとに調整が必要なシェーディングや出力レベルなど)は保存されません。

Sceneファイル

撮影シーンに合わせて設定したペイント項目の設定値を保存／読み込みします。本機の内蔵メモリーに5個、SDカードに64個まで保存することができます。

Technicalメニュー > Special Configuration > RM/RCP Paint Control(114ページ) がOnに設定されている場合に、設定値の保存／読み込みができます。

次のデータをSceneファイルに保存できます。

- Paintメニューを使用して設定した値
- シャッター、NDフィルター、Gain、Base ISO、Input Color Space、NRの設定
- ホワイトバランスのデータ

ユーザーガンマファイル

ユーザーが作成したユーザーガンマファイルを本機の内蔵メモリーに5個まで保存することができます。

Technicalメニュー > Special Configuration > RM/RCP Paint Control(114ページ) がOnに設定されている場合に保存できます。

フレームラインファイル

Frame Line Tool(<https://pro.sony/frame-line-tool>) で作成したフレームラインファイルを本機の内蔵メモリーに5個まで保存することができます。

Allファイル

設定データをAllファイルとして保存する

- 1
- Projectメニュー > All File(Cam Setup) > Save SD Card(92ページ) を選択する。
Allファイルの保存先画面が表示されます。
- 2
- MENUダイヤルを回して保存先を選択し、MENUダイヤルを押す。
File IDがNo Fileの行にファイルを保存することができます。
File IDにFile IDが記載されている行を選択すると、そのファイルに上書きされます。
File IDは自動的に付けられますが、変更することもできます。
- 3
- MENUダイヤルを回して確認画面のRunを選択し、MENUダイヤルを押す。

ファイルの保存が実行されないときは

操作中または操作後に次のエラーメッセージが表示されたときは、ファイルは保存されません。

エラーメッセージ	状況	対策
File Access NG	保存可能なSDカードが挿入されていない	保存可能なSDカードを挿入する

File IDを変更する

- 1
- Projectメニュー > All File(Cam Setup) > File ID(92ページ) を選択する。
File IDの編集画面が表示されます。
- 2
- 文字を選択してFile IDを入力する。
- 3
- MENUダイヤルを回してDoneを選択し、MENUダイヤルを押す。
File IDの変更が完了します。

設定データを読み込む

あらかじめ、Projectメニュー > All File(Cam Setup) > Load Network Data(92ページ) のOn/Off設定をしておく、読み込む設定データにネットワーク設定関連メニューを含むか、含まないかを設定することができます。
On：ネットワーク設定関連メニューを含む
Off：ネットワーク設定関連メニューを含まない

1

Projectメニュー > All File(Cam Setup) > Load SD Card(92ページ) を選択する。
Allファイル一覧画面が表示されます。

- 2
- MENUダイヤルを回して読み込むファイルを選択し、MENUダイヤルを押す。
確認画面が表示されます。

- 3
- MENUダイヤルを回してRunを選択し、MENUダイヤルを押す。

- [ご注意]
- SDカードからファイルを読み込むと、本機内部に保存されているデータは上書きされます。
 - ファイルを保存した機器より古いバージョンの機器では読み込まないでください。故障の原因となることがあります。
 - 設定データを読み込むと、本機は自動的に再起動されます。
 - MPC-3628はMPC-3626のAllファイルを読み込めません。また、MPC-3626はMPC-3628のAllファイルを読み込めません。

ファイルの読み込みが実行されないときは

操作中または操作後に次のエラーメッセージが表示された場合は、ファイルの読み込みは行われません。

エラーメッセージ	状況	対策
File Access NG	<ul style="list-style-type: none">ファイルの読み込みが異常終了したSDカードの該当ファイルのデータが壊れている	<ul style="list-style-type: none">読み込みを再実行するSDカードを再挿入するSDカードに正常なファイルを保存する

[ご注意]
各ソフトウェアオプションをインストールした本機で保存されたファイルは、該当ソフトウェアオプションがインストールされていない本機に読み込むことはできません。

現在の設定値をすべて初期値に戻す

- 1
- Maintenanceメニュー > Reset to Default (115ページ) を選択する。
確認画面が表示されます。
- 2
- MENUダイヤルを回してRunを選択し、MENUダイヤルを押す。

[ご注意]
実行後、本機は自動的に再起動されます。

Sceneファイル

Sceneファイルを内蔵メモリーに保存する

- 1 Projectメニュー > Scene File > Store Internal Memory(92ページ) を選択する。
Sceneファイル一覧画面が表示されます。File IDがStandardの保存先にはあらかじめ標準設定が保存されます。
- 2 MENUダイヤルを回して保存先を選択し、MENUダイヤルを押す。
選択した保存先にSceneファイルが上書きされます。
- 3 MENUダイヤルを回して確認画面のRunを選択し、MENUダイヤルを押す。

SceneファイルをSDカードに保存する

- 1 Projectメニュー > Scene File > Save SD Card(92ページ) を選択する。
Sceneファイル保存先画面が表示されます。
- 2 MENUダイヤルを回して保存先を選択し、MENUダイヤルを押す。
File IDがNo Fileの行にファイルを保存することができます。
File IDにFile IDが記載されている行を選択すると、そのファイルに上書きされます。File IDは自動的に付けられますが、変更することもできます。
- 3 MENUダイヤルを回して確認画面のRunを選択し、MENUダイヤルを押す。

File IDを変更する

- 1 Projectメニュー > Scene File > File ID (92ページ) を選択する。
File IDの編集画面が表示されます。
- 2 文字を選択してFile IDを入力する。
- 3 MENUダイヤルを回してDoneを選択し、MENUダイヤルを押す。
File IDの変更が完了します。

Sceneファイルを内蔵メモリーから読み込む

- 1 Projectメニュー > Scene File > Recall Internal Memory(92ページ) を選択する。
Sceneファイル一覧画面が表示されます。
- 2 MENUダイヤルを回して読み込むファイルを選択し、MENUダイヤルを押す。
確認画面が表示されます。
- 3 MENUダイヤルを回してRunを選択し、MENUダイヤルを押す。

[ご注意]

MPC-3628はMPC-3626のSceneファイルを読み込めません。また、MPC-3626はMPC-3628のSceneファイルを読み込めません。

SceneファイルをSDカードから読み込む

- 1 Projectメニュー > Scene File > Load SD Card(92ページ) を選択する。
Sceneファイル一覧画面が表示されます。
- 2 MENUダイヤルを回して読み込むファイルを選択し、MENUダイヤルを押す。
確認画面が表示されます。
- 3 MENUダイヤルを回してRunを選択し、MENUダイヤルを押す。

[ご注意]

MPC-3628はMPC-3626のSceneファイルを読み込めません。また、MPC-3626はMPC-3628のSceneファイルを読み込めません。

ユーザーガンマファイル

RAW Viewer V4.0以降で作成したユーザーガンマファイルを使用する

RAW Viewer V4.0以降で作成したユーザーガンマファイルを本機で使うことができます。作成したデータを使うにはSDカードの以下の階層に保存してください。

```
MPC-3628 :
PRIVATE\SONY\PRO\CAMERA\
MPC3628
MPC-3626 :
PRIVATE\SONY\PRO\CAMERA\
MPC3626
```

RAW Viewer V4.0以降について詳しくは、お買い上げ店またはソニーのサービス窓口にお問い合わせください。

ユーザーガンマファイルの読み込みや確認、リセットなどの操作を行うには、Technicalメニュー > Special Configuration > RM/RCP Paint Control(114 ページ) をOnに設定して、ペイント機能をオンにします。

SDカードからユーザーガンマファイルを読み込む

- 1 Projectメニュー > User Gamma > Load SD Card(93ページ) を選択する。ユーザーガンマファイル一覧画面が表示されます。ユーザーガンマファイル一覧画面では、5個のファイルが一度に選択されます。

User Gamma : Load SD Card			
No.	Name	Date/Time	Comment
01	0234567890ABC	2019/12/10 10:33	0234567890
02	0234567890	2019/12/10 10:59	0234567890
03	0234567890ABCDE	2019/12/10 11:10	0234567890
04	0234567890ABCDE	2019/12/10 11:32	0234567890
05	0234567890	2019/12/10 12:33	0234567890

[ご注意]
読み込み操作は5個まとめて行われます。1個だけファイルを選択することはできません。

- 2 MENUダイヤルを押す。確認画面が表示されます。
- 3 MENUダイヤルを回してRunを選択し、MENUダイヤルを押す。5個のファイルが内蔵メモリーに読み込まれます。

現在の内蔵メモリーに保存されているユーザーガンマファイルを確認する

Projectメニュー > User Gamma > Current Settings(93ページ) を選択すると、現在本機内蔵メモリーに保存されているユーザーガンマファイル一覧画面が表示されます。

User Gamma : Load SD Card			
No.	Name	Date/Time	Comment
01	0234567890ABC	2019/12/10 10:33	0234567890
02	0234567890	2019/12/10 10:59	0234567890
03	0234567890ABCDE	2019/12/10 11:10	0234567890
04	0234567890ABCDE	2019/12/10 11:32	0234567890
05	0234567890	2019/12/10 12:33	0234567890

[ご注意]
SDカードからユーザーガンマファイルを読み込む前は、Projectメニュー > Basic Setting > Input Color Space (88ページ) がRec.709/User Gammaに設定されている場合、Nameには初期値である「709(800%)」が表示されます。Rec.709/User Gamma以外に設定されている場合は、「HLG(Natural)」が表示されます。

内蔵メモリーに保存したユーザーガンマファイルを設定する

- 1 Projectメニュー > Basic Setting > Input Color Space(88ページ) をRec.2020/User GammaまたはRec.709/User Gammaに設定する。

[ご注意]
Rec.2020/User GammaまたはRec.709/User Gammaは、Technicalメニュー > Special Configuration > RM/RCP Paint Control(114 ページ) がOnに設定されている場合のみ選択できません。
- 2 Paintメニュー > Gamma > Gamma Select(106ページ) で、User 1 ~ User 5 のいずれかを選択する。

[ご注意]
Gamma Selectの選択肢User 1 ~ User 5は、ユーザーガンマファイル一覧画面のNo.1 ~ 5に該当します。

内蔵メモリーに保存されているユーザーガンマファイルを初期状態にリセットする

- 1 Projectメニュー > User Gamma > Reset (93ページ) を選択する。
リセットするガンマファイル番号の選択肢画面が表示されます。
- 2 MENUダイヤルを回してリセットするガンマファイル番号(1 ～ 5) を選択する。
すべてのガンマファイルをリセットする場合はAllを選択します。
確認画面が表示されます。
- 3 MENUダイヤルを回してRunを選択し、MENUダイヤルを押す。

フレームラインファイル

Frame Line Toolで作成したフレームラインファイルを使用する

Frame Line Toolで作成したフレームラインファイルを本機の内蔵メモリーに保存することで、ユーザーフレームライン1および2にデータを反映することができます。

Webリモコンのフルメニュー画面からも設定することができます。

作成したデータを使用するには、SDカードの以下の階層のフォルダに保存してください。

MPC-3628:

PRIVATE/SONY/PRO/CAMERA/MPC3628

MPC-3626:

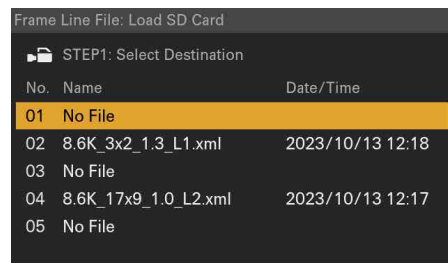
PRIVATE/SONY/PRO/CAMERA/MPC3626

Frame Line Toolは、以下のURLからアクセスすることができます。

<URL> <https://pro.sony/frame-line-tool>

SDカードからフレームラインファイルを読み込む

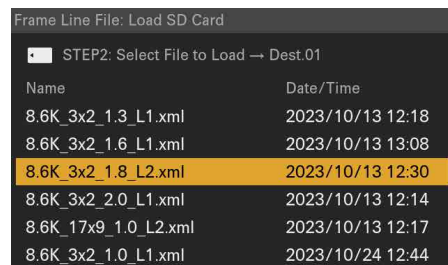
- 1 Monitoringメニュー > Load User Frame Line > Load SD Card(104ページ) を選択する。
フレームラインファイルの保存先画面が表示されます。



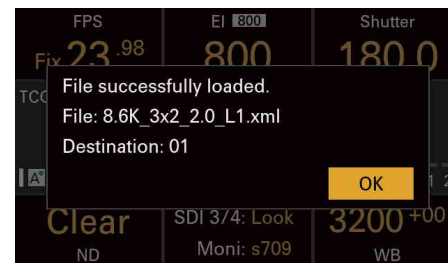
【ご注意】

MPC-3628の場合は、SDカードの指定フォルダ(MPC3628)に保存したファイルが表示されます。また、MPC-3626の場合は、SDカードの指定フォルダ(MPC3626)に保存したファイルが表示されます。

- 2 MENUダイヤルを回して保存先を選択し、MENUダイヤルを押す。
SDカードに保存されているフレームラインファイルの一覧が表示されます。



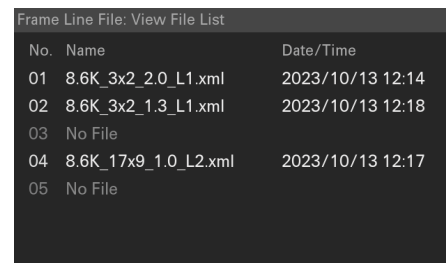
- 3 MENUダイヤルを回してファイルを選択し、MENUダイヤルを押す。
ファイルの読み込みが完了すると、「File successfully loaded」が表示されます。



- 4 OKボタンを押す。

内蔵メモリーに保存されているフレームラインファイルを確認する

Monitoringメニュー > Load User Frame Line > View File List(104ページ) を選択すると、本機の内蔵メモリーに保存されているフレームラインファイル一覧画面が表示されます。



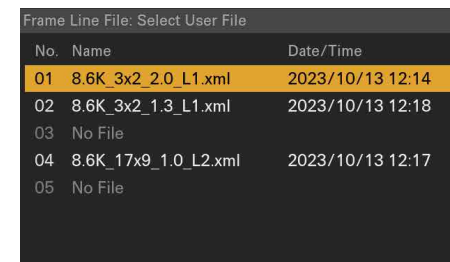
内蔵メモリーに保存したフレームラインファイルを設定する

- 1 Monitoringメニュー > User Frame Line 1(102ページ) または2(103ページ) > Select>User Fileに設定する。
- 2 Monitoringメニュー > User Frame Line 1 または2 > Select User Fileを選択する。

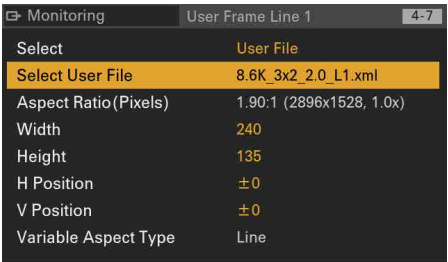
【ご注意】

フレームラインファイルが選択されていないときは、Select User Fileの設定値は「No File」が表示されます。

本機の内蔵メモリーに保存されているフレームラインファイル一覧画面が表示されます。



- 3 MENUダイヤルを回して設定するファイルを選択し、MENUダイヤルを押す。
ユーザーフレームラインにファイルデータが反映され、設定値にファイル名が表示されます。



ファイルデータを反映したユーザーフレームラインを微調整したい場合は、Monitoringメニュー > User Frame Line 1または2 > Width、Height、H Position、V Positionで調整できます。

[ご注意]

Monitoringメニュー > User Frame Line 1または2 > Width、Height、H Position、V Positionで微調整を行った場合、Select User Fileの設定値のファイル名の先頭に「Edited:」が表示され、日付が更新されます。

内蔵メモリーに保存されているフレームラインファイルを初期状態にリセットする

- 1 Monitoringメニュー > Load User Frame Line > Reset(104ページ) を選択する。
リセットするフレームラインファイル番号の選択画面が表示されます。
- 2 MENUダイヤルを回してリセットするフレームラインファイル番号(1 ～ 5) を選択する。
すべてのフレームラインファイルをリセットする場合はAllを選択します。
確認画面が表示されます。

- 3 MENUダイヤルを回してRunを選択し、MENUダイヤルを押す。

リモートコントロールユニットを接続する

リモートコントロールユニットRM-B170やリモートコントロールパネルRCP-1001/1501/3100/3501などのコントロールユニットを接続すると、それらの機器から本機の機能の一部をコントロールすることが可能です。

Paint Control(114ページ) をOnに設定する必要があります。

リモートコントロールユニットを接続する

リモートケーブルを使って、本機のREMOTE端子(8ピン) と、コントロールユニットのカメラ端子を接続します。
接続後に本機の電源を入れると、本機はリモートコントロールモードになり、本機のメニュー操作や撮影操作が可能となります。

[ご注意]

- 本機の電源を入れたままコントロールユニットを接続したり、接続を外さないでください。
- リモートコントロールパネルRCP-1001/1501/3100/3501にはリモートケーブルは付属されていません。

リモートコントロールモードを解除する

本機の電源を切り、コントロールユニットを取り外します。

ペイント機能を設定する

ペイント機能を設定するには、Technicalメニュー > Special Configuration > RM/RCP

RCP-1001/1501/3100/3501、RM-B170/B750で操作できる主な機能

表の見かた

操作表示の記号の意味は次のとおりです。

○：操作できる

一：操作できない

項目	小項目	細目	選択肢	RCP-1001	RCP-1501/3501	RCP-3100	RM-B170	RM-B750	
Shooting	FPS	Fixed/Variable Select	On/Off	—	○	—	○ ¹⁾	○	
		FPS Select	1FPS ~ 120FPS	—	○	—	○ ¹⁾	○	
	Shutter Select ¹²⁾	Shutter ON/OFF	On/Off	—	○	○	○	○	
		ECS ON/OFF	On/Off	—	○	○	○	○	
		Shutter Speed	Step用に登録した任意の値。 以下の値を表示可能。 1/32 1/33 1/48 1/50 1/60 1/96 1/100 1/120 1/125 1/250 1/500 1/1000 1/2000 1/3000 1/4000 1/5000	—	○	○	○	○	
		ECS Frequency	—	—	○	○	○	○	
		ND	ND Position	1 : (CLEAR)	○	○	○	○	○
				2 : (濃度0.3)					
				3 : (濃度0.6)					
				4 : (濃度0.9)					
				5 : (濃度1.2)					
				6 : (濃度1.5)					
				7 : (濃度1.8)					
				8 : (濃度2.1)					
				9 : (濃度2.4)					

項目	小項目	細目	選択肢	RCP-1001	RCP-1501/3501	RCP-3100	RM-B170	RM-B750
	Gain ²⁾	Gain(Step)	−6dB/−3dB/0dB/3dB/6dB/9dB/12dB/15dB/18dB	○	○	○ ¹⁾	○	○
	White Balance ¹³⁾	Color Temp	2000K ~ 15000K ³⁾	—	○	○ ¹⁾	—	○
		Color Temp Balance (Tint.相当)	−99 ~ ±0 ~ +99 ⁴⁾	—	○	○ ¹⁾	—	○
		R Gain	−99 ~ ±0 ~ +99	○	○	—	○	○
		B Gain	−99 ~ ±0 ~ +99	○	○	—	○	○
		Auto White Balance	—	○	○	○	○	○
Project	Scene File ²⁾⁵⁾	—	—	—	○	○	—	○
	Standard File ⁶⁾	—	—	○	○	—	—	○
Paint ²⁾	Switch Status	Gamma	On/Off	—	○	○ ¹⁾	○ ¹⁾	○
		Black Gamma ⁷⁾	On/Off	—	○	○ ¹⁾	○ ¹⁾	○
		Matrix	On/Off	—	○	○ ¹⁾	—	○
		Knee ⁷⁾	On/Off	—	○	○ ¹⁾	○ ¹⁾	○
		White Clip ⁷⁾	On/Off	—	○	○ ¹⁾	—	○
		Detail	On/Off	—	○	○ ¹⁾	—	○
		Flare	On/Off	—	○	○	○ ¹⁾	○
		Test Saw ⁸⁾	On/Off	—	○	○	○ ¹⁾	○
	Black	Master Black	−99 ~ ±0 ~ +99	○	○	○	○	○
		R Black	−99 ~ ±0 ~ +99	○	○	○	○	○
		B Black	−99 ~ ±0 ~ +99	○	○	○	○	○
	Flare	Setting	On/Off	—	○	○	○ ¹⁾	○
		Master Flare	−99 ~ ±0 ~ +99	—	○	○	○ ¹⁾	—
		R Flare	−99 ~ ±0 ~ +99	—	○	○	—	○
		G Flare	−99 ~ ±0 ~ +99	—	○	○	—	○
		B Flare	−99 ~ ±0 ~ +99	—	○	○	—	○
	Gamma	Setting	On/Off	—	○	○ ¹⁾	○ ¹⁾	○
		Gamma Category(表示のみ) ⁹⁾	User	—	○	—	—	○
		Gamma Select	User 1/User 2/User 3/User 4/ User 5	—	○	—	—	○
	Black Gamma ⁷⁾	Setting	On/Off	—	○	○	○ ¹⁾	○
		Range	Low/L.Mid/H.Mid	—	○	—	—	○
		Master Black Gamma	−99 ~ ±0 ~ +99	—	○	○	○ ¹⁾	○
	Saturation	Setting	On/Off	—	○	○	—	○
		Level	−99 ~ ±0 ~ +99	—	○	○	—	○

項目	小項目	細目	選択肢	RCP-1001	RCP-1501/3501	RCP-3100	RM-B170	RM-B750
	Knee ⁷⁾¹⁰⁾	Setting	On/Off	○	○	○ ¹⁾	○	○
		Point	−99 ~ ±0 ~ +99	○	○	○ ¹⁾	○	○
		Slope	−99 ~ ±0 ~ +99	○	○	○ ¹⁾	—	○
	White Clip ⁷⁾	Setting	On/Off	—	○	○ ¹⁾	—	○
		Level	−99 ~ ±0 ~ +99	—	○	—	—	○
	Detail	Setting	On/Off	—	○	○	—	○
		Level	−99 ~ ±0 ~ +99	—	○	○	—	○
		H/V Ratio	−99 ~ ±0 ~ +99	—	○	—	—	○
		Crispening	−99 ~ ±0 ~ +99	—	○	—	—	○
		Level Depend	On/Off	—	○	—	—	○
		Level Depend Level	−99 ~ ±0 ~ +99	—	○	—	—	○
		Frequency	−99 ~ ±0 ~ +99	—	○	—	—	○
		Knee Aperture	On/Off	—	○	—	—	○
		Knee Aperture Level	−99 ~ ±0 ~ +99	—	○	—	—	○
		Limit	−99 ~ ±0 ~ +99	—	○	—	—	○
		White Limit	−99 ~ ±0 ~ +99	—	○	—	—	○
		Black Limit	−99 ~ ±0 ~ +99	—	○	—	—	○
	Skin Detail	Setting	On/Off	—	○	○ ¹⁾	—	○
		Skin Gate	CH1/CH2/CH3/Off	—	○	○ ¹⁾¹⁴⁾	—	○
		Natural Skin Detail	On/Off	—	○	—	—	—
		Zoom Link	Setting : On/Off	—	○	—	—	—
		Channel Switch	CH2 : On/Off	—	○	—	—	○
			CH3 : On/Off	—	○	—	—	○
		CH1 Detail Settings	Hue : Run/Cancel	—	○	—	—	○
		CH2 Detail Settings	Phase : 0 ~ 359	—	○	—	—	○
		CH3 Detail Settings	Width : 0 ~ 40 ~ 90	—	○	—	—	○
			Saturation : −99 ~ ±0 ~ +99	—	○	—	—	○
			Level : −99 ~ ±0 ~ +99	—	○	○ ¹⁾¹⁴⁾	—	○
			Y Limit : 0 ~ 99	—	○	—	—	—

項目	小項目	細目	選択肢	RCP-1001	RCP-1501/3501	RCP-3100	RM-B170	RM-B750
	Matrix	Setting	On/Off	—	○	○ ¹⁾	—	○
		User Matrix	On/Off	—	○	—	—	○
		User Matrix R-G	−99 ~ ±0 ~ +99	—	○	—	—	○
		User Matrix R-B	−99 ~ ±0 ~ +99	—	○	—	—	○
		User Matrix G-R	−99 ~ ±0 ~ +99	—	○	—	—	○
		User Matrix G-B	−99 ~ ±0 ~ +99	—	○	—	—	○
		User Matrix B-R	−99 ~ ±0 ~ +99	—	○	—	—	○
		User Matrix B-G	−99 ~ ±0 ~ +99	—	○	—	—	○
	Multi Matrix	Setting	On/Off	—	○	—	—	○
		Area Indication	On/Off	—	○	—	—	○
		Reset	Run/Cancel	—	○	—	—	○
		Axis	B/B+/MG-/MG+/R/R+/YL-/YL/YL+/G-/G/G+/CY/CY+/B-	—	○	—	—	○
		Hue	−99 ~ ±0 ~ +99	—	○	—	—	○
		Saturation	−99 ~ ±0 ~ +99	—	○	—	—	○
Technical	Test Signals	Color Bars On/Off	On/Off	○	○	○	○	○
		Test Saw ⁸⁾	On/Off	—	○	○	○ ¹⁾	○
Rec	—	—	—	—	—	—	○	○
Play	—	—	—	—	—	—	○	○
Stop	—	—	—	—	—	—	○	○
F.Rev	—	—	—	—	—	—	○	○
F.Fwd	—	—	—	—	—	—	○	○
Rec Review	—	—	—	—	—	—	○	○
Next	—	—	—	—	—	—	○	—
Prev.	—	—	—	—	—	—	○	—
White Mode ²⁾	Preset ON/OFF	—	On/Off	—	—	—	○	○
Iris	Iris Level	—	(対象レンズの制御範囲)	○	○	○	○	○
	Close	—	On/Off	○	○	○	—	○
Zoom ¹¹⁾	Remote	—	On/Off	—	○ ¹⁾	○ ¹⁾	○ ¹⁾	—
	Speed	—	—	—	—	—	—	—
	Tele ~ Wide	—	—	—	○ ¹⁾	○ ¹⁾	○ ¹⁾	—
	Zoom Value[%]	—	—	—	○ ¹⁾	○ ¹⁾	○ ¹⁾	—
	Focal Length[mm]	—	—	—	○ ¹⁾	○ ¹⁾	○ ¹⁾	—

項目	小項目	細目	選択肢	RCP-1001	RCP-1501/3501	RCP-3100	RM-B170	RM-B750
Focus ¹¹⁾	Remote	—	On/Off	—	○ ¹⁾	○ ¹⁾	○ ¹⁾	—
	Focus Position	—	—	—	○ ¹⁾	○ ¹⁾	○ ¹⁾	—
	Focus Value[%]	—	—	—	○ ¹⁾	○ ¹⁾	○ ¹⁾	—
	Focus Length[m]	—	—	—	○ ¹⁾	○ ¹⁾	○ ¹⁾	—
Call	—	—	—	○	○	○	○	○

- 1) コントローラーの操作部に割り当てれば制御可能です。
- 2) Technicalメニュー > Special Configuration > RM/RCP Paint Control(114ページ) がOnに設定されている場合のみ設定可能です。
- 3) Color Tempは、R/B Gain操作時に2000Kや15000Kでクリップされるため、R/B Gain値の正確なColor Temp値を表示できない場合があります。
- 4) Color Temp Balanceは±99で表示クリップされるため、R/B Gain値の正確なColor Temp Balance値を表示できない場合があります。
- 5) 本機に読み込み済みのScene File 1～5の選択および選択解除のみ可能です。
- 6) コントローラーからの操作で、本機の設定をScene Fileが読み込まれていない標準状態に戻すことができます。
- 7) Projectメニュー > Basic Setting > Input Color Space(88ページ) がHLG(Natural)、HLG(Live)、Rec.2020/User GammaまたはRec.709/User Gammaに設定されている場合のみ設定可能です。
- 8) オートホワイトバランスの実行中は、テスト信号のOn/Offを切り換えることはできません。
- 9) コントローラーの機種やバージョンによっては表示できないものもあります。
- 10)本機では、通常のKneeコントロールによって、HDR Kneeと同等の高輝度Kneeを制御します。
- 11) Eマウントレンズ装着時、リモートコントロールユニットからのズームおよびフォーカスの駆動指示は無効になります。
- 12) Technicalメニュー > Special Configuration > RM/RCP Paint Control(114ページ) がOnに設定されている場合、またはTechnicalメニュー > Special Configuration > RM/RCP Paint ControlがOffでTechnicalメニュー > Special Configuration > RM/RCP Shutter Control(114ページ) がEnableに設定されている場合に設定可能です
- 13) Technicalメニュー > Special Configuration > RM/RCP Paint Control(114ページ) がOnに設定されている場合、またはTechnicalメニュー > Special Configuration > RM/RCP Paint ControlがOffでTechnicalメニュー > Special Configuration > RM/RCP WB Control(114ページ) がEnableに設定されている場合に設定可能です
- 14) CH1のみ。

外部モニターや記録装置を接続する

記録・再生画像を外部モニターに表示させるときは、本機の出力信号を選択し、接続するモニターに応じた接続ケーブルを使用してください。VTRなどの記録装置を接続して、本機の出力信号を記録することもできます。

外部モニターにビューファインダーと同様の各種ステータス情報やメニューなどを表示させることができます。モニターに出力する信号に応じて、Monitoringメニュー（96ページ）で表示する内容を設定してください。

【ご注意】

FPSをVariableに設定しているとき、4K出力のみにおいて水平方向の画ズレが発生する場合があります。これは、速いFPS設定時に顕著な現象です。ただし、記録画には影響がないため、再生画像は正しく表示できます。

SDI OUT端子(BNC型)

Monitoringメニュー（96ページ）で、出力フォーマットを設定します。

接続には市販の75Ω同軸ケーブルを使用してください。

【ご注意】

本機と外部機器の間のアースが確実に接地されていることを確認してから、電源を入れてください。（75Ω同軸ケーブルを接続した後に、本機と外部機器の電源を入れることをお勧めします。）

やむを得ず、電源投入状態で外部機器を接続する場合は、75Ω同軸ケーブルを外部機器に接続した後に、本機と接続してください。

本機と同時に外部機器で記録を開始するには

SDI信号出力時は、メニューのTechnical > System Configuration > SDI Rec Remote

Trigger(109ページ)をHD SDI Remote I/FまたはParallel Recに設定すると、SDI OUT端子に接続した外部機器にRECトリガー信号を出力することによって、本機と同期した記録が可能になります。

【ご注意】

- 接続した外部機器がRECトリガー信号に対応していない場合は動作しません。
- SDI 3/4にモニター信号を出力しているときは、RECトリガー信号は出力されません。
- SDI 1/2出力が以下の場合は、SDI 3/4にモニター信号を出力します。
 - 4K/QFHD 12G/6G出力
 - 4K/QFHD Dual出力

MONITOR OUT端子(BNC型)

HD SDI信号を出力します。

Monitoringメニュー（96ページ）で出力フォーマットを設定します。

また、Monitoringメニュー > Output Format > Monitor Out Source(96ページ)がVFに設定されている場合は、VF信号を出力します。

接続には市販の75Ω同軸ケーブルを使用してください。

【ご注意】

- MONITOR OUTからタイムコードは出力されません。
- Monitor Out Sourceの設定がVFのときは音声は出力されません。

HDMI OUT端子(Type Aコネクタ)

Monitoringメニュー（96ページ）で、出力フォーマットを設定します。

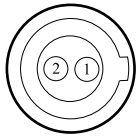
接続には、市販のHDMI接続ケーブルを使用します。

出力フォーマットがMONITOR OUT端子と同一の解像度の場合は、同じ映像信号が出力されます。

HDMIとして出力できる4K/QFHDフォーマットを、SDI 1/2と同じフォーマットで設定するかを選択できます。

12V OUT端子(DC OUT 12V、Lemo 2ピン)

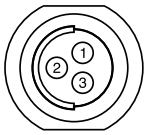
電源スイッチがONの場合に、アクセサリにDC 12Vの電源を供給します。



No.	信号	I/O	仕様
1	UNREG GND	—	GND
2	UNREG +12 V OUT	OUT	+11 V to 17 V DC output 11 V ~ 17 V入力時 出力電圧：入力電圧と同じ 出力最大電流：1.0 A 22 V ~ 32 V入力時 出力電圧：16.8 V 出力最大電流：1.0 A

24V OUT端子(DC OUT 24V、Fischer 3ピン)

電源スイッチがONの場合に、アクセサリにDC 24Vの電源を供給します。また、24V OUT端子を経由して、REC Trigger信号の入力を行うことが可能です。



No.	信号	仕様
1	GND	
2	24V-OUT	11 V ~ 17 V入力時 出力電圧：24 V 出力最大電流：1.0 A 22 V ~ 32 V入力時 出力電圧：入力電圧と同じ 出力最大電流：2.0 A
3	REC TRIGGER IN	Open or +5 V DC: Normal GND: Active(REC)

AUX 端子(BNC型)

タイムコード信号または製造／サービスでの調整用クロック信号を出力します。

- TC OUT
- Factory Use

接続には市販の75Ω同軸ケーブルを使用してください。

外部同期

本機を複数台使用して撮影するときなど、特定の基準信号に同期させたり、タイムコードを合わせるすることができます。

[ご注意]

FPSをVariableに設定しているときは、撮像フレームレートをProject Frame Rateの整数倍に設定しているときのみゲンロック信号とイメージャー読み出しのV位相ロックがかかります。

映像信号の位相を合わせる(ゲンロック)

本機のGENLOCK IN端子(13ページ)に以下の基準信号を入力することによって、ゲンロックが可能です。

- HDSDI 1.5G デジタル(interlace/PsF/Progressive)
- HD Yアナログ(interlace/PsF/Progressive)
- SD VBSアナログ

ゲンロック入力信号は、フルメニューのTC/Media > Genlock > Input Source (94ページ)で設定できます。

また、フルメニューのTC/Media > Genlock > Reference Lock Type(94ページ)、サブディスプレイのホーム画面(43ページ)、ゲンロック状態表示(15ページ)で状態を確認できます。

入力できる基準信号は、設定されているプロジェクトフレームレートによって異なります。

プロジェクトフレームレート	入力可能な基準信号	
	アナログ	デジタル
23.98/47.95	1920×1080 47.95i(23.98PsF) 1920×1080 23.98P	1920×1080 47.95i(23.98PsF) 1920×1080 23.98P
24	1920×1080 48i(24PsF) 1920×1080 24P	1920×1080 48i(24PsF) 1920×1080 24P
25/50	1920×1080 50i(25PsF) 720×576 50i 1920×1080 25P	1920×1080 50i(25PsF) 1920×1080 25P
29.97/59.94	1920×1080 59.94i(29.97PsF) 720×486 59.94i 1920×1080 29.97P	1920×1080 59.94i(29.97PsF) 1920×1080 29.97P

ゲンロックの状態は、メニューのTC/Media > Genlock > Reference Lock Type(94ページ)で確認できます。

[ご注意]

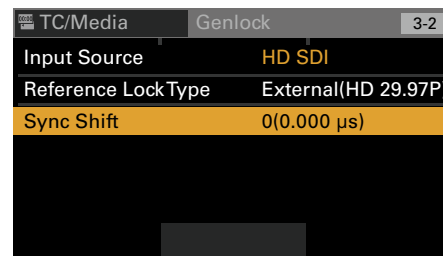
- 基準信号が不安定な場合は、ゲンロックできません。
- サブキャリアは同期しません。

ゲンロック入力信号の位相を調整するには

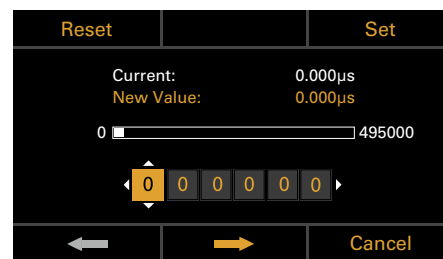
ゲンロック入力信号の位相をステップ単位で調整できます。

Webリモコンのフルメニューからでも調整ができます。

- 1 TC/Mediaメニュー > Genlock > Sync Shift(95ページ)を選択し、MENUダイヤルを押す。

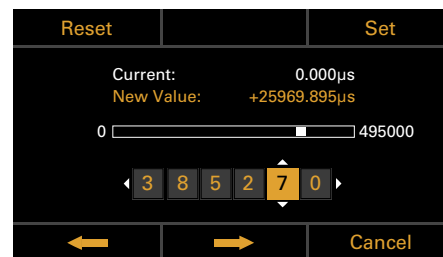


ゲンロックの位置調整画面が表示されます。



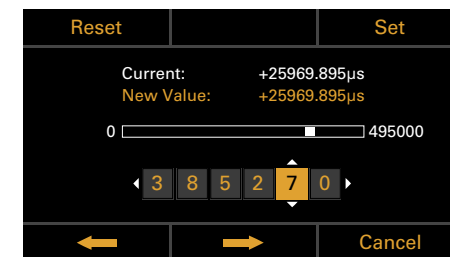
- 2 ◀ (ITEMキー 4) ボタン、▶ (ITEMキー 5) ボタン、またはMENUダイヤルを押してカーソルを移動し、MENUダイヤルを回して、ステップ値を入力する。

入力したステップ値がNew Valueに反映されます。



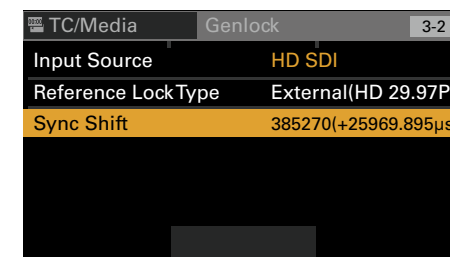
入力したステップ値が上限値を超えた場合は、New Valueの値に"Over"が表示されます。ステップ値を入力すると、New Valueの値がCurrentに反映され、撮像している映像に反映されます。

Resetボタン(ITEMキー 1)を押すと、初期値に戻すことができます。



ステップ値が上限値を超えた状態(New Valueの値に"Over"が表示された状態)は、上限値で設定反映されます。

- 3 Setボタン(ITEMキー 3)を押して決定する。



ステップ値が決定され、メニュー画面に遷移します。

Cancel(ITEMキー 6)を押すと、入力する前のステップ値に戻り、メニュー画面に遷移します。

他機のタイムコードにロックさせる

タイムコード供給源となる機器は、タイムコード出力が更新されるモード(Free Run) に設定してください。

1 メニューのTC/Media > Timecode > Mode (94ページ) をPreset F-Run (Ext-Lk)に設定する。

2 GENLOCK IN端子(13ページ) とTC IN端子(13ページ) に、それぞれHDまたはSDのリファレンスビデオ信号およびそれに同期した基準タイムコードを供給する。

これで本機のタイムコードジェネレーターが基準タイムコードにロックし、サブディスプレイのホーム画面に「Ext-Lk」と表示されます。

ロックしてから約10秒経過した後は、外部からの基準タイムコードの接続を外しても、外部ロック状態は保たれます。

[ご注意]

- 供給する基準タイムコードとリファレンスビデオ信号が、SMPTEタイムコードの規格を満たした位相関係にあることを確認してください。
- 外部ロックの操作をすると、タイムコードは瞬時に外部のタイムコードにロックし、外部タイムコードの値と同じ値がタイムデータ表示部に出ますが、タイムコードジェネレーターが安定するまでの数秒間は、記録を開始しないでください。
- リファレンスビデオ信号の周波数と本機のフレーム周波数が同じでないと、正しくロックできず、本機が正常に動作できません。この場合、タイムコードも外部のタイムコードに正しくロックできません。
- 接続を外した場合、基準タイムコードに対し1時間で1フレームずれる場合があります。

外部ロックを解除するには

メニューのTC/Media > Timecode > Mode (94ページ) の設定を変更してください。

使用上のご注意

安全にご使用いただくために、付属の「ご使用になる前に」と併せてご覧ください。

取り扱い・保管上のご注意

強い衝撃を与えない

内部構造や外観の変形などの損傷を受けることがあります。

動作中は布などで包まないでください

内部の温度が上がり、好ましくありません。

使い終わったら

電源スイッチをOFFにしてください。

長時間使わないときは

バッテリーを抜いておいてください。

レンズを太陽光に向けて放置しない

太陽光がレンズを通して内部に焦点を結び、火災の原因となることがあります。

輸送

- メモリーカードは必ず取り出しておいてください。
- トラック、船、航空機など、本機を貨物として扱う輸送では、お買い上げ時の梱包材をご使用ください。

お手入れ

外装の汚れは、乾いた柔らかい布で拭き取ります。ひどい汚れは、中性洗剤液を少し含ませた布で拭いた後、カラ拭きします。
アルコール、ベンジン、シンナーなどの薬品類は、表面が変質したり、塗料がはげることがありますので、使わないでください。

エアダスター等の高風圧機器を使ったお手入れは光学部位の損傷につながりますのでお控えください。

万一、異常が生じたときは

お買い上げ店かソニーのサービス窓口にご相談ください。

ファン、バッテリーは有寿命部品として定期的な交換が必要です

ファン、バッテリーは有寿命部品として定期的な交換が必要です。
常温でのご使用の場合、5年を目安に交換してください。ただし、交換時期は目安であり、部品の寿命を保証するものではありません。交換の際はお買い上げ店にご相談ください。

電解コンデンサの寿命は約5年です

電解コンデンサの寿命は約5年です。

(常温で1日に8時間、1カ月で25日間、通常に使用すると想定した場合)
したがって、使用時間が上記より長い場合は、その分寿命は短くなります。

バッテリー端子に関するご注意

機器に搭載されているバッテリー端子(バッテリーパックやACアダプターとの接点部分)は消耗品です。
振動や衝撃によって端子が変形したり、曲がったり、あるいは長期の屋外での使用などによって表面が腐食したりすると、本体に電源が供給されなくなります。
長期間機器を使用していただくために、定期点検を実施することをお願いします。点検につきましては、ソニーのサービス担当者または営業担当者にご相談ください。

使用場所・保管場所

- 水平な場所、空調のある場所に保管してください。
次のような場所での使用・保管は避けてください。
- 極端に寒い所、暑い所(使用温度は0℃～40℃)。
真夏、窓を閉め切った自動車内は50℃を越えることがあります。
 - 湿気・ほこりの多い所。
 - 雨があたる所。
 - 激しく振動する所。
 - 強い磁気を発生するものの近く。

- 強力な電波を発生するテレビやラジオの送信所の近く。
- 直射日光が長時間当たる場所や暖房器具の近く。

携帯電話などによる電波障害を防止するために

携帯電話などを本機の近くで使用すると、誤動作を引き起こしたり、映像、音声などに影響を与えることがあります。
本機の近くでは、携帯電話などの電源はできるだけ切ってください。

レーザービームについてのご注意

レーザービームはCMOSイメージセンサーに損傷を与えることがあります。レーザービームを使用した撮影環境では、CMOSイメージセンサー表面にレーザービームが照射されないように充分注意してください。特に医療用などの強力なレーザー光の場合は、反射光や散乱光でも損傷を与えることがあります。

画面について

- 画面を太陽に向けたままにすると、画面を傷めます。屋外でご使用のときは、太陽に向けて放置しないでください。
- 画面を強く押したり、ひっかいたり、上に物を置いたりしないでください。画面にムラが出たり、パネルの故障の原因になります。
- 使用中に画面が暖かくなることがありますが、故障ではありません。

LCD(液晶) 画面について

本機のLCD(液晶) パネルは有効画素99.99%以上の非常に精密度の高い技術で作られています。画面上に黒い点が現れたり(画素欠け)、常時点灯している輝点(赤、青、緑など)や減点がある場合があります。また、LCD(液晶) パネルの特性上、長期間ご使用の間に画素欠けが生じることもあります。

これらの現象は故障ではありませんので、ご了承の上本機をお使いください。

なお、これらの点が記録されることはありません。

有機ELパネルについて

本機の有機ELパネルは有効画素99.99%以上の非常に精密度の高い技術で作られています。画面上に黒い点が現れたり(画素欠け)、常時点灯している輝点や減点がある場合があります。また、有機ELパネルの特性上、長期間ご使用の間に画素欠けが生じることもあります。これらの現象は故障ではありませんので、ご了承の上本機をお使いください。なお、これらの点が記録されることはありません。

一般に、有機ELパネルは、その特性上、焼き付き、輝度低下などが発生することがあります。これらは故障ではありませんので、ご了承の上本機をお使いください。

結露について

本機を寒いところから急に暖かいところに持ち込んだときなど、機器表面や内部に水滴がつくことがあります。これを結露といいます。結露が起きたときは電源を切り、結露がなくなるまで放置し、結露がなくなってからご使用ください。結露時のご使用は機器の故障の原因となる場合があります。

CMOSイメージセンサー特有の現象

撮影画面に出る下記の現象は、CMOSイメージセンサー特有の現象で、故障ではありません。

白点

CMOSイメージセンサーは非常に精密な技術で作られています。宇宙線などの影響により、まれに画面上に微小な白点が発生する場合があります。これは撮像素子の原理に起因するもので故障ではありません。また、以下の場合、白点が見えやすくなります。

- 高温の環境で使用する時

折り返しひずみ

細かい模様、線などを撮影すると、ぎざぎざやちらつきが見えることがあります。

フォーカルプレーン

撮像素子(CMOSセンサー)の映像信号を読み出す方法の性質により、撮像条件によっては、画面をすばやく横切る被写体が少しゆがんで見えることがあります。

フラッシュバンド

フラッシュ光や、すばやく点滅する光源を撮影したときに、画面の上下で輝度が変化することがあります。

フリッカー

蛍光灯、ナトリウム灯、水銀灯などの放電管による照明下で撮影すると、画面が明滅したり、色が変わったり、横縞が流れるように見えることがあります。本機のフリッカー低減機能を使用することにより低減可能です(81ページ)。

画面表示に関するご注意

- 次のような場合、ビューファインダーおよび出力の映像が乱れることがあります。
 - フォーマットを切り換えたとき
 - FPSフレームレートを切り換えたとき
 - ゲンロックがかかるとき
- ビューファインダー内で視線を動かした場合などに、赤、緑、青の原色が見えることがありますが、故障ではありません。また、これらの原色が実際にメディアに記録されることはありません。

ファイルの断片化について

画像が正しく記録・再生されないときは記録メディアをフォーマット(初期化)してください。長期間、映像の記録・クリップの消去を繰り返していると、記録メディア内のファイルが断片化(フラグメンテーション)して、映像が正しく記録・保存できなくなる場合があります。このような場合は、クリップのバックアップを取ったあと、メニューの TC/Media > Format Media(95ページ)で記録メディアのフォーマット(初期化)を行ってください。

本機の出力電圧について

本機から出力できる周辺機器用電力の合計は、本機への入力電圧やアクセサリーの接続状況によって変化します。条件によっては下記各電源出力端子の最大許容電力まで供給できない場合があります。

LENS端子：1 A max

12V OUT端子(2ピン)：1 A max

24V OUT端子(3ピン)：

2 A max(入力電圧：22 V～32 V)

1 A max(入力電圧：11 V～17 V)

本機器への入力電圧値に応じて、アクセサリー（DVF-EL200、CBK-3620XSおよびCBK-3621XS）の装着および周辺機器への供給電力が制限されます。

本機器に供給される電圧：X[V]

周辺機器用供給電力合計：Y[W]

本機器の消費電力：Z[W]¹⁾

① DVF-EL200の消費電力：約2.5 W

② CBK-3620XSの消費電力：約3.0 W

③ CBK-3621XS装着時の消費電力差分：
約5.1 W

Y[W]=X[V]×9.0[A]^{*}-(Z+①+②+③)[W]

* X[V]×9.0[A]が220 Wを超える場合は、220[W]として計算してください。

上記アクセサリーの装着および周辺機器に電力を供給する場合は、上記計算式でYが負の値にならないように運用してください。本機器の消費電力¹⁾は最大消費電力の値にすることをお勧めします。

（算出した結果Yが、各電源出力端子の最大許容

電力の和を超える場合は適用されません。）

1) MPC-3628：

本体標準消費電力：約76 W(8.6K 3:2、24FPS、X-OCN XT記録時)

本体最大消費電力：約100 W(8.2K 17:9、60FPS、X-OCN ST記録時、40℃環境、32 V DC入力)

MPC-3626：

本体標準消費電力：約73 W(6K 3:2、24FPS、X-OCN XT記録時)

本体最大消費電力：約94 W(6K 3:2、60FPS、X-OCN ST記録時、40℃環境、32 V DC入力)

セキュリティに関するご注意

- セキュリティに関するご注意の詳細については、以下のサイトをご確認ください。
https://helpguide.sony.net/pro/network_security_c/v1/h_zz/index.html
- 通信を行う機器でセキュリティ対策を行わなかった結果、または、通信仕様上の、やむを得ない事情により、データ漏洩等、セキュリティ上の問題が発生した場合、弊社ではそれによって生じたあらゆる損害に対する責任を負いかねます。
- 使用環境によってはネットワーク上の意図せぬ第三者から製品にアクセスされる可能性があります。本機をネットワークに接続する際には、セキュアなネットワークであることをご確認の上ご使用ください。
- セキュリティの面から、製品をネットワークに接続してご使用になる際は、ブラウザでコントロール画面にアクセスし、アクセス制限設定を工場出荷時の設定値から変更して設定することを強く推奨します。（110ページ）
また、定期的にパスワードを変更することを推奨します。

- 設定作業中または設定作業後のブラウザで他のサイトを閲覧しないでください。ブラウザにログインした状態が残りますので、意図しない第三者の使用や悪意のあるプログラムの実行を防ぐために、設定作業が完了したら必ずブラウザを終了してください。

SDI同軸ケーブル接続の際のご注意

本機と外部モニター等をSDI同軸ケーブルで接続し運用する際、各機器のGNDが同一電位でない状態で接続すると、本機のSDI出力ドライバICに過剰電圧が加わることがあり、SDI出力故障を誘発させる可能性があります。
リスク対応として以下の方法で接続してください。
両方行うことで運用リスクをさらに低減できます。

各機器の電源を入れる前に、各機器のGND電位を同一にする

- 1 各機器の電源を入れる前、SDI同軸ケーブルを接続する前に、各機器のGNDのアース接地を行う。
バッテリー機器などアース接地ができない場合は、各機器の筐体シャーシ間を導電ケーブル等で一時接触してください。
- 2 各機器の電源を入れる前にSDIケーブルを接続する。
- 3 各機器の電源を入れる。

SDIケーブルの芯線部に過剰電圧が不用意に加わりにくくする

- 1 SDI同軸ケーブルを接続する際は、外部機器側のSDI入力端子側から先に接続する。
- 2 外部機器のSDIケーブルが接続されている状態で、本機側のSDI端子にケーブルを接続する。

記録フォーマットと出力信号

SDI OUT端子の出力フォーマット

SDI OUT端子からのシリアルデジタル信号は、メニューのProjectカテゴリとMonitoringカテゴリの設定に応じて出力されます。
Projectカテゴリの設定組み合わせに関しては「記録フォーマット設定表」(70ページ)を参照してください。
Monitoringメニュー > Output Formatの3G SDI 1/2/3/4 Output(96ページ)で、3G SDI出力フォーマットをLevel AにするかLevel Bにするかを選択できます。

太字とアンダーラインで表示されている設定値は、出荷時の設定です。

Project			Monitoring > Output Format		出力フォーマット			
Project Frame Rate	Imager Mode	Recording Format ⁵⁾	SDI 1/2	SDI 3/4	SDI 1	SDI 2	SDI 3 ⁴⁾	SDI 4 ⁴⁾
59.94/50	MPC-3628	X-OCN XT	4096x2160P 12G	1920x1080P Level A ¹⁾	4096x2160P YPbPr 12G	4096x2160P YPbPr 12G	1920x1080P YPbPr 3G Level A	1920x1080P YPbPr 3G Level A
	8.2K	X-OCN ST		1920x1080i			1920x1080i YPbPr 1.5G	1920x1080i YPbPr 1.5G
	2.39:1/	X-OCN LT						
	8.2K 17:9/	ProRes 4444 XQ 4K						
	6K 3:2/	ProRes 4444 4K						
	6K 1.85:1/	ProRes 422 HQ 4K	4096x2160P Square Level B ²⁾	4096x2160P Square Level B ²⁾	4096x2160P YPbPr 3G Square Level B			
	6K 17:9/							
	6K 2.39:1/		4096x2160P 2SI Level B ²⁾	4096x2160P 2SI Level B ²⁾	4096x2160P YPbPr 3G 2SI Level B			
	5.8K 17:9/							
	5.8K 4:3 ⁶⁾ /			1920x1080P Level B ²⁾			1920x1080P YPbPr 3G Level B	1920x1080P YPbPr 3G Level B
	5.5K							
	2.39:1							
	MPC-3626							
	6K 3:2 ⁶⁾ /		2048x1080P Level B ²⁾	1920x1080i	2048x1080P YPbPr 3G Level B	2048x1080P YPbPr 3G Level B	1920x1080i YPbPr 1.5G	1920x1080i YPbPr 1.5G
	4K 6:5 ⁶⁾ /							
	4K 4:3 ⁶⁾ /							
	4K 17:9/							
	4K 2.39:1							
			1920x1080P Level B ²⁾	1920x1080P Level B ²⁾	1920x1080P YPbPr 3G Level B	1920x1080P YPbPr 3G Level B	1920x1080P YPbPr 3G Level B	1920x1080P YPbPr 3G Level B
		1920x1080i		1920x1080i YPbPr 1.5G			1920x1080i YPbPr 1.5G	
			1920x1080i	1920x1080i	1920x1080i YPbPr 1.5G	1920x1080i YPbPr 1.5G	1920x1080i YPbPr 1.5G	1920x1080i YPbPr 1.5G

[illegible]

Project			Monitoring > Output Format		出力フォーマット				
Project	Frame Rate	Imager Mode	Recording Format ⁵⁾	SDI 1/2	SDI 3/4	SDI 1	SDI 2	SDI 3 ⁴⁾	SDI 4 ⁴⁾
29.97/25	MPC-3628 8.6K 3:2 ⁶⁾ / 8.6K 17:9/ 8.2K 17:9/ 8.2K 2.39:1/ 5.8K 6:5 ⁶⁾ / 5.8K 4:3 ⁶⁾ / 5.8K 17:9/ 5.5K 2.39:1	X-OCN XT	4096x2160P 6G		1920x1080P	4096x2160P YPbPr 6G 2SI	4096x2160P YPbPr 6G 2SI	1920x1080P YPbPr 1.5G	1920x1080P YPbPr 1.5G
		X-OCN ST			1920x1080PsF			1920x1080PsF YPbPr 1.5G	1920x1080PsF YPbPr 1.5G
		X-OCN LT							
		ProRes 4444 XQ 4K							
		ProRes 4444 4K	4096x2160P Square	4096x2160P Square	4096x2160P YPbPr 1.5G Square				
		ProRes 422 HQ 4K							
				</					

Project			Monitoring > Output Format		出力フォーマット						
Project	Frame Rate	Imager Mode	Recording Format ⁵⁾	SDI 1/2	SDI 3/4	SDI 1	SDI 2	SDI 3 ⁴⁾	SDI 4 ⁴⁾		
23.98	MPC-3628	8.6K 3:2 ⁶⁾ / 8.6K 17:9/ 8.2K 17:9/ 8.2K 2.39:1/ 5.8K 6:5 ⁶⁾ / 5.8K 4:3 ⁶⁾ / 5.8K 17:9/ 5.5K 2.39:1	X-OCN XT	4096x2160P 6G	1920x1080P	4096x2160P YPbPr 6G 2SI	4096x2160P YPbPr 6G 2SI	1920x1080P YPbPr 1.5G	1920x1080P YPbPr 1.5G		
			X-OCN ST								
			X-OCN LT	4096x2160P Square	4096x2160P Square	4096x2160P YPbPr 1.5G Square					
			ProRes 4444 XQ 4K	4096x2160P 2SI	1920x1080P	4096x2160P YPbPr 3G 2SI		1920x1080P YPbPr 1.5G	1920x1080P YPbPr 1.5G		
			ProRes 4444 4K	2048x1080PsF	1920x1080P	2048x1080PsF YPbPr 1.5G	2048x1080PsF YPbPr 1.5G	1920x1080P YPbPr 1.5G	1920x1080P YPbPr 1.5G		
			ProRes 422 HQ 4K								
			MPC-3626	6K 3:2 ⁶⁾ / 6K 1.85:1/ 6K 17:9/ 6K 2.39:1/ 4K 6:5 ⁶⁾ / 4K 4:3 ⁶⁾ / 4K 17:9/ 4K 2.39:1		1920x1080PsF	1920x1080P	1920x1080PsF YPbPr 1.5G	1920x1080PsF YPbPr 1.5G	1920x1080P YPbPr 1.5G	1920x1080P YPbPr 1.5G
	MPC-3628	X-OCN XT 8.6K 3:2 ⁶⁾ / 8.1K 16:9/ 7.6K 16:9/ 5.8K 6:5 ⁶⁾ / 5.8K 4:3 ⁶⁾ / 5.4K 16:9	X-OCN ST X-OCN LT ProRes 4444 XQ QFHD ProRes 4444 QFHD ProRes 422 QFHD	3840x2160P 6G	1920x1080P	3840x2160P YPbPr 6G 2SI	3840x2160P YPbPr 6G 2SI	1920x1080P YPbPr 1.5G	1920x1080P YPbPr 1.5G		
	3840x2160P Square			3840x2160P Square	3840x2160P YPbPr 1.5G Square						
	3840x2160P 2SI			1920x1080P	3840x2160P YPbPr 3G 2SI		1920x1080P YPbPr 1.5G	1920x1080P YPbPr 1.5G			
	1920x1080P			1920x1080P	1920x1080P YPbPr 1.5G	1920x1080P YPbPr 1.5G	1920x1080P YPbPr 1.5G	1920x1080P YPbPr 1.5G			
MPC-3626	6K 3:2 ⁶⁾ / 5.7K 16:9/ 4K 6:5 ⁶⁾ / 4K 4:3 ⁶⁾ / 3.8K 16:9				1920x1080PsF	1920x1080P	1920x1080PsF YPbPr 1.5G	1920x1080PsF YPbPr 1.5G	1920x1080P YPbPr 1.5G	1920x1080P YPbPr 1.5G	

1) Monitoringメニュー > Output Formatの3G SDI 1/2/3/4 Output(96ページ) をLevel Bに設定してもLevel A信号が出力されます。

2) Monitoringメニュー > Output Formatの3G SDI 1/2/3/4 OutputをLevel Aに設定するとメニューの設定値がLevel Aになり、Level A信号が出力されます。

3) Technicalメニュー > Special ConfigurationのSD HDMI(114ページ) がOnのときの設定です。

4) SDI1/2で4K/QFHD出力した際のSDI3/4からはタイムコードは出力されません。

5) Imager ModeとRecording Formatの組み合わせについて詳しくは、「記録フォーマット設定表」(70ページ) をご覧ください。

6) Zoom to Fitが16:9以外に設定されているときは、4K(4096x2160)および2K(2048x1080)の出力設定が可能です。Zoom to Fitが16:9に設定されているときは、QFHD(3840x2160)の出力設定が可能です。Zoom to Fitについて詳しくは、「Zoom to Fit」(132ページ) をご覧ください。

MONITOR OUT端子/HDMI OUT端子の出力フォーマット

MONITOR OUT端子、HDMI OUT端子からのデジタル信号は、メニューのProjectカテゴリとMonitoringカテゴリの設定に応じて出力されます。
Projectカテゴリの設定組み合わせに関しては「記録フォーマット設定表」(70ページ)を参照してください。

太字とアンダーラインで表示されている設定値は、出荷時の設定です。

Project			Monitoring > Output Format				出力フォーマット	
Project Frame Rate	Imager Mode	Recording Format ^⑧	SDI 1/2	SDI 3/4	Monitor	HDMI	Monitor Out ^⑤	HDMI ^⑤
59.94/50	MPC-3628	X-OCN XT	4096x2160P 12G	1920x1080P Level A ^①	1920x1080P Level A	4096x2160P	1920x1080P	4096x2160P
	8.2K	X-OCN ST				<u>1920x1080P</u>	YPbPr 3G Level A	1920x1080P
	2.39:1/	X-OCN LT				4096x2160P	1920x1080P	4096x2160P
	8.2K 17:9/	ProRes 4444 XQ 4K				<u>1920x1080i</u>	YPbPr 3G Level A	1920x1080i
	6K 3:2/	ProRes 4444 4K	4096x2160P Square Level B ^②	4096x2160P Square Level B ^②	1920x1080P Level A	<u>1920x1080i</u>	1920x1080P	1920x1080P
	6K 1.85:1/	ProRes 422 HQ 4K				1920x1080P	YPbPr 3G Level A	1920x1080P
	6K 17:9/					<u>1920x1080i</u>	1920x1080i	1920x1080i
	6K 2.39:1/					<u>1920x1080i</u>	YPbPr 1.5G ^⑥	1920x1080i
	5.8K 17:9/		4096x2160P 2SI Level B ^②	4096x2160P 2SI Level B ^②	1920x1080P Level A	4096x2160P	1920x1080P	4096x2160P
	5.8K 4:3 ^⑨ /					<u>1920x1080P</u>	YPbPr 3G Level A	1920x1080P
	5.5K					4096x2160P	1920x1080i	4096x2160P
	2.39:1					<u>1920x1080i</u>	YPbPr 1.5G ^⑥	1920x1080i
	MPC-3626		2048x1080P Level B ^②	1920x1080P Level B ^②	1920x1080P Level A	1920x1080P	1920x1080P	1920x1080P
	6K 3:2 ^⑨ /					<u>1920x1080i</u>	YPbPr 3G Level A	1920x1080P
	4K 6:5 ^⑨ /					1920x1080i	1920x1080i	1920x1080i
	4K 4:3 ^⑨ /					<u>1920x1080i</u>	YPbPr 1.5G ^⑥	1920x1080i
	4K 17:9/		1920x1080P Level B ^②	1920x1080P Level B ^②	1920x1080P Level A	1920x1080P	1920x1080P	1920x1080P
	4K 2.39:1					<u>1920x1080i</u>	YPbPr 3G Level A	1920x1080P
						1920x1080i	1920x1080i	1920x1080i
						<u>1920x1080i</u>	YPbPr 1.5G ^⑥	1920x1080i

Project			Monitoring > Output Format				出力フォーマット		
Project Frame Rate	Imager Mode	Recording Format ⁸⁾	SDI 1/2	SDI 3/4	Monitor	HDMI	Monitor Out ⁵⁾	HDMI ⁵⁾	
59.94/50	MPC-3628	X-OCN XT	3840x2160P 12G	1920x1080P Level A ¹⁾	1920x1080P Level A	3840x2160P	1920x1080P	3840x2160P	
		7.6K 16:9/		X-OCN ST			1920x1080P	YPbPr 3G Level A	1920x1080P
		5.8K 4:3 ⁹⁾ /		X-OCN LT					
	MPC-3626	5.4K 16:9	ProRes 4444 XQ QFHD	1920x1080i	1920x1080i	3840x2160P	1920x1080P	3840x2160P	
			ProRes 4444 QFHD			1920x1080i	YPbPr 3G Level A	1920x1080i	
		6K 3:2 ⁹⁾ /	ProRes 422 HQ QFHD						
		5.7K 16:9/		3840x2160P	3840x2160P	1920x1080P Level A	1920x1080P	1920x1080P	
		4K 6:5 ⁹⁾ /		Square Level B ²⁾	Square Level B ²⁾				
		4K 4:3 ⁹⁾ /				1920x1080i	1920x1080i	1920x1080i	
		3.8K 16:9							
47.95	MPC-3628	X-OCN XT	4096x2160P	4096x2160P					
		8.6K 17:9/	X-OCN ST	Square Level B ²⁾	Square Level B ²⁾				
		8.2K 17:9/	X-OCN LT						
		8.2K							
		2.39:1/		4096x2160P	4096x2160P				
		8.1K 16:9/		2SI Level B ²⁾	2SI Level B ²⁾				
		5.8K 6:5/							
		5.8K 4:3/							
		5.8K 17:9/							
		5.5K		2048x1080P Level	1920x1080P				
		2.39:1		B ²⁾					
	MPC-3626				1920x1080P	1920x1080P	1920x1080P	1920x1080P	
		6K 3:2/							
		6K 1.85:1/							
		6K 17:9/							
		6K 2.39:1/		1920x1080P	1920x1080P				
		4K 6:5/							
		4K 4:3/							
		4K 17:9/							
		4K 2.39:1/							
		3.8K 16:9							

Project			Monitoring > Output Format				出力フォーマット							
Project	Frame Rate	Imager Mode	Recording Format ⁹⁾	SDI 1/2	SDI 3/4	Monitor	HDMI	Monitor Out ⁵⁾	HDMI ⁵⁾					
29.97/25	MPC-3628	8.6K 3:2 ⁹⁾ / 8.6K 17:9/ 8.2K 17:9/ 8.2K 2.39:1/ 5.8K 6:5 ⁹⁾ / 5.8K 4:3 ⁹⁾ / 5.8K 17:9/ 5.5K 2.39:1	X-OCN XT X-OCN ST X-OCN LT ProRes 4444 XQ 4K ProRes 4444 4K ProRes 422 HQ 4K	4096x2160P 6G	1920x1080P	1920x1080P	4096x2160P	1920x1080P	4096x2160P					
							1920x1080P	YPbPr 1.5G ⁷⁾	1920x1080P					
							4096x2160P	1920x1080P	4096x2160P					
							1920x1080PsF	1920x1080PsF	1920x1080PsF	YPbPr 1.5G ⁷⁾	1920x1080PsF			
				4096x2160P Square	4096x2160P Square	1920x1080P	1920x1080P	1920x1080P	1920x1080P	1920x1080P	YPbPr 1.5G ⁷⁾	1920x1080P		
								1920x1080PsF	1920x1080PsF	1920x1080PsF	YPbPr 1.5G ⁷⁾	1920x1080PsF		
								4096x2160P	1920x1080P	4096x2160P	1920x1080P	4096x2160P		
								1920x1080P	YPbPr 1.5G ⁷⁾	1920x1080P				
				4096x2160P 2SI	1920x1080P	1920x1080P	4096x2160P	1920x1080PsF	1920x1080PsF	1920x1080PsF	1920x1080P	YPbPr 1.5G ⁷⁾	4096x2160P	
											1920x1080PsF	YPbPr 1.5G ⁷⁾	4096x2160P	
											1920x1080P	1920x1080P	1920x1080P	1920x1080P
											1920x1080PsF	1920x1080PsF	1920x1080PsF	1920x1080PsF
				2048x1080PsF	1920x1080P	1920x1080P	1920x1080P	1920x1080PsF	1920x1080PsF	1920x1080PsF	1920x1080P	YPbPr 1.5G ⁷⁾	1920x1080P	
											1920x1080PsF	1920x1080PsF	1920x1080PsF	
	1920x1080P	1920x1080P	1920x1080P								1920x1080P			
	1920x1080PsF	1920x1080PsF	1920x1080PsF											
	1920x1080P	1920x1080P	1920x1080P								1920x1080P			
	1920x1080PsF	1920x1080PsF	1920x1080PsF											
	1920x1080PsF	1920x1080PsF	1920x1080PsF											
	MPC-3626	6K 3:2 ⁹⁾ / 6K 1.85:1/ 6K 17:9/ 6K 2.39:1/ 4K 6:5 ⁹⁾ / 4K 4:3 ⁹⁾ / 4K 17:9/ 4K 2.39:1	X-OCN XT X-OCN ST X-OCN LT ProRes 4444 XQ QFHD ProRes 4444 QFHD ProRes 422 QFHD	3840x2160P 6G	1920x1080P	1920x1080P	3840x2160P	1920x1080P	3840x2160P					
							1920x1080P	YPbPr 1.5G ⁷⁾	1920x1080P					
							3840x2160P	1920x1080P	3840x2160P					
							1920x1080PsF	YPbPr 1.5G ⁷⁾	1920x1080PsF					
				3840x2160P Square	3840x2160P Square	1920x1080P	1920x1080P	1920x1080P	1920x1080P	1920x1080P	YPbPr 1.5G ⁷⁾	1920x1080P		
								1920x1080PsF	1920x1080PsF	1920x1080PsF	YPbPr 1.5G ⁷⁾	1920x1080PsF		
								3840x2160P	1920x1080P	3840x2160P	1920x1080P			
								1920x1080P	YPbPr 1.5G ⁷⁾	1920x1080P				
				3840x2160P 2SI	1920x1080P	1920x1080P	3840x2160P	1920x1080PsF	1920x1080PsF	1920x1080P	YPbPr 1.5G ⁷⁾	3840x2160P		
										1920x1080PsF	YPbPr 1.5G ⁷⁾	3840x2160P		
1920x1080P										1920x1080P	1920x1080P	1920x1080P		
1920x1080PsF										1920x1080PsF	1920x1080PsF			
1920x1080P				1920x1080P	1920x1080P	1920x1080P	1920x1080P	1920x1080P	YPbPr 1.5G ⁷⁾	1920x1080P				
1920x1080PsF				1920x1080PsF	1920x1080PsF	1920x1080PsF	1920x1080PsF	1920x1080PsF	YPbPr 1.5G ⁷⁾	1920x1080PsF				

Project			Monitoring > Output Format				出力フォーマット		
Project	Frame Rate	Imager Mode	Recording Format ⁸⁾	SDI 1/2	SDI 3/4	Monitor	HDMI	Monitor Out ⁵⁾	HDMI ⁵⁾
24		MPC-3628	X-OCN XT						
		8.6K 3:2 ⁹⁾ /	X-OCN ST	4096x2160P 6G	1920x1080P	1920x1080P⁷⁾	4096x2160P	1920x1080P YPbPr 1.5G ⁷⁾	4096x2160P
		8.6K 17:9/	X-OCN LT				1920x1080P		1920x1080P
		8.2K 17:9/	ProRes 4444 XQ 4K						
		8.2K	ProRes 4444 4K	4096x2160P Square	4096x2160P Square	1920x1080P⁷⁾	1920x1080P	1920x1080P YPbPr 1.5G ⁷⁾	1920x1080P
		2.39:1/	ProRes 422 HQ 4K						
		5.8K 6:5 ⁹⁾ /		4096x2160P 2SI	1920x1080P	1920x1080P⁷⁾	4096x2160P	1920x1080P YPbPr 1.5G ⁷⁾	4096x2160P
		5.8K 4:3 ⁹⁾ /					1920x1080P		1920x1080P
		5.8K 17:9/		2048x1080PsF	1920x1080P	1920x1080P	1920x1080P	1920x1080P YPbPr 1.5G ⁷⁾	1920x1080P
		5.5K							
		2.39:1							
		MPC-3626		1920x1080P	1920x1080P	1920x1080P	1920x1080P	1920x1080P YPbPr 1.5G ⁷⁾	1920x1080P
		6K 3:2 ⁹⁾ /							
		6K 1.85:1/							
		6K 17:9/							
		6K 2.39:1/							
		4K 6:5 ⁹⁾ /		1920x1080PsF	1920x1080P	1920x1080P	1920x1080P	1920x1080P YPbPr 1.5G ⁷⁾	1920x1080P
		4K 4:3 ⁹⁾ /							
		4K 17:9/							
		4K 2.39:1							
		MPC-3628	X-OCN XT	3840x2160P 6G	1920x1080P	1920x1080P	3840x2160P	1920x1080P YPbPr 1.5G ⁷⁾	3840x2160P
		8.6K 3:2 ⁹⁾ /	X-OCN ST				1920x1080P		1920x1080P
		8.1K 16:9/	X-OCN LT						
		7.6K 16:9/	ProRes 4444 XQ QFHD	3840x2160P Square	3840x2160P Square	1920x1080P	1920x1080P	1920x1080P YPbPr 1.5G ⁷⁾	1920x1080P
	5.8K 6:5 ⁹⁾ /	ProRes 4444 QFHD							
	5.8K 4:3 ⁹⁾ /	ProRes 422 QFHD							
	5.4K 16:9		3840x2160P 2SI	1920x1080P	1920x1080P	3840x2160P	1920x1080P YPbPr 1.5G ⁷⁾	3840x2160P	
						1920x1080P		1920x1080P	
	MPC-3626		1920x1080P	1920x1080P	1920x1080P	1920x1080P	1920x1080P YPbPr 1.5G ⁷⁾	1920x1080P	
	6K 3:2 ⁹⁾ /								
	5.7K 16:9/								
	4K 6:5 ⁹⁾ /		1920x1080PsF	1920x1080P	1920x1080P	1920x1080P	1920x1080P YPbPr 1.5G ⁷⁾	1920x1080P	
	4K 4:3 ⁹⁾ /								
	3.8K 16:9								

Project			Monitoring > Output Format				出力フォーマット									
Project	Frame Rate	Imager Mode	Recording Format ⁸⁾	SDI 1/2	SDI 3/4	Monitor	HDMI	Monitor Out ⁵⁾	HDMI ⁵⁾							
23.98	MPC-3628	8.6K 3:2 ⁹⁾ /	X-OCN XT	4096x2160P 6G	1920x1080P	1920x1080P	4096x2160P	1920x1080P	4096x2160P							
			X-OCN ST				1920x1080P			YPbPr 1.5G ⁷⁾	1920x1080P					
		8.6K 17:9/	X-OCN LT	4096x2160P Square	4096x2160P Square	1920x1080P	1920x1080P	1920x1080P	1920x1080P	1920x1080P						
			ProRes 4444 XQ 4K								YPbPr 1.5G ⁷⁾					
		8.2K 17:9/	ProRes 4444 4K	4096x2160P 2SI	1920x1080P	1920x1080P	4096x2160P	1920x1080P	4096x2160P							
			ProRes 422 HQ 4K				1920x1080P			YPbPr 1.5G ⁷⁾	1920x1080P					
		2.39:1/	2048x1080PsF	1920x1080P	1920x1080P	1920x1080P	1920x1080P	1920x1080P	1920x1080P							
		5.8K 6:5 ⁹⁾ /														
		5.8K 4:3 ⁹⁾ /														
		5.8K 17:9/														
		5.5K	1920x1080P	1920x1080P	1920x1080P	1920x1080P	1920x1080P	1920x1080P	1920x1080P							
		2.39:1														
	MPC-3626	6K 3:2 ⁹⁾ /	6K 1.85:1/	6K 17:9/	6K 2.39:1/	4K 6:5 ⁹⁾ /	4K 4:3 ⁹⁾ /	4K 17:9/	4K 2.39:1	1920x1080PsF	1920x1080P	1920x1080P	1920x1080P	1920x1080P	YPbPr 1.5G ⁷⁾	1920x1080P
MPC-3628	8.6K 3:2 ⁹⁾ /	X-OCN XT	3840x2160P 6G	1920x1080P	1920x1080P	3840x2160P	1920x1080P	3840x2160P								
		X-OCN ST				1920x1080P			YPbPr 1.5G ⁷⁾	1920x1080P						
	8.1K 16:9/	X-OCN LT	3840x2160P Square	3840x2160P Square	1920x1080P	1920x1080P	1920x1080P	1920x1080P	1920x1080P							
		ProRes 4444 XQ QFHD								YPbPr 1.5G ⁷⁾						
	7.6K 16:9/	ProRes 4444 QFHD	3840x2160P 2SI	1920x1080P	1920x1080P	3840x2160P	1920x1080P	3840x2160P								
		ProRes 422 QFHD				1920x1080P			YPbPr 1.5G ⁷⁾	1920x1080P						
	5.8K 6:5 ⁹⁾ /	1920x1080P	1920x1080P	1920x1080P	1920x1080P	1920x1080P	1920x1080P	1920x1080P								
	5.8K 4:3 ⁹⁾ /															
	5.4K 16:9															
	MPC-3626	6K 3:2 ⁹⁾ /	5.7K 16:9/	4K 6:5 ⁹⁾ /	4K 4:3 ⁹⁾ /	3.8K 16:9	1920x1080PsF	1920x1080P	1920x1080P	1920x1080P	1920x1080P	YPbPr 1.5G ⁷⁾	1920x1080P			

1) Monitoringメニュー > Output Formatの3G SDI 1/2/3/4 Output(96ページ) をLevel Bに設定してもLevel A信号が出力されます。

2) Monitoringメニュー > Output Formatの3G SDI 1/2/3/4 OutputをLevel Aに設定するとメニューの設定値がLevel Aになり、Level A信号が出力されます。

3) Technicalメニュー > Special ConfigurationのSD HDMI(114ページ) がOnのときの設定です。

4) Imager ModeまたはZoom to Fitが16:9で、Recording FormatがX-OCN STの場合に設定できます。また、プロジェクトフレームレートが50のときはHDMIの出力は720x576Pとなります。

5) MONITOR OUTおよびHDMI OUTからタイムコードは出力されません。MONITOR OUTからSDI Rec Remote Trigger(109ページ) 信号は出力されません。

6) Monitoringメニュー > Output Format > Monitor Out Source(96ページ) がVFに設定されている場合、出力フォーマットは1920x1080P YPbPr 3G Level Aとなります。

7) Monitoringメニュー > Output Format > Monitor Out Source(96ページ) がVFに設定されている場合、出力フォーマットは1920x1080P YPbPr 3G Level A、信号周波数はProject Frame Rateの2倍になります。

8) Imager ModeとRecording Formatの組み合わせについて詳しくは、「記録フォーマット設定表」(70ページ) をご覧ください。

9) Zoom to Fitが16:9以外に設定されているときは、4K(4096x2160)および2K(2048x1080)の出力設定が可能です。Zoom to Fitが16:9に設定されているときは、QFHD(3840x2160)の出力設定が可能です。Zoom to Fitについて詳しくは、「Zoom to Fit」(132ページ) をご覧ください。

AXSクリップ記録・再生時間

AXS-A1TS66を使用した場合の記録・再生時間は以下のとおりです(単位：min)。

[ご注意]
記録・再生時間は、1クリップとして連続記録したときのものです。記録するクリップ数によっては記載の時間より短くなる場合があります。また、使用条件やメモリーの特性などにより、多少の誤差が生じる場合があります。

X-OCN記録・再生時間

MPC-3628

Recording Format	Project Frame Rate	8.6K 3:2	8.6K 17:9/8.1K 16:9	8.2K 17:9/7.6K 16:9	8.2K 2.39:1	5.8K 6:5	5.8K 4:3	5.8K 17:9/5.4K 16:9	5.5K 2.39:1
X-OCN XT	23.98/24	23	29	32	40	41	46	65	86
	25	22	28	31	39	39	44	62	82
	29.97	18	23	25	32	33	37	52	69
	47.95	—	—	—	20	20	23	32*	43
	50	—	—	—	19	—	22	31	41
	59.94	—	—	—	16	—	18	26	34
X-OCN ST	23.98/24	34	43	47	59	60	68	95	126
	25	32	41	45	57	57	65	91	121
	29.97	27	34	37	47	48	54	76	100
	47.95	—	21*	23*	29	30	34	47*	63
	50	—	—	22	28	—	32	45	60
	59.94	—	—	18	23	—	27	38	50
X-OCN LT	23.98/24	58	73	80	100	102	115	160	212
	25	55	70	77	96	98	111	154	204
	29.97	46	58	64	80	81	92	128	170
	47.95	—	36*	40*	50	51	57	80*	106
	50	—	—	38	48	—	55	77	102
	59.94	—	—	32	40	—	46	64	85

* 17:9のみ記録可能

MPC-3626

Recording Format	Project Frame Rate	6K 3:2	6K 1.85:1	6K 17:9	6K 2.39:1	5.7K 16:9	4K 6:5	4K 4:3	4K 17:9	4K 2.39:1	3.8K 16:9
X-OCN XT	23.98/24	47	58	59	75	59	81	93	129	161	129
	25	45	56	57	72	57	78	89	124	155	124
	29.97	38	46	47	60	47	65	74	103	129	103
	47.95	23	29	29	37	—	41	46	64	81	—
	50	22	28	28	36	28	39	44	62	77	62
	59.94	19	23	23	30	23	32	37	51	64	51
X-OCN ST	23.98/24	69	85	87	109	87	119	135	188	235	188
	25	66	81	83	105	83	114	130	180	225	180
	29.97	55	68	69	87	69	95	108	150	188	150
	47.95	34	42	43	54	—	59	68	94	118	—
	50	33	40	42	52	42	57	65	90	113	90
	59.94	27	34	35	43	35	47	54	75	94	75
X-OCN LT	23.98/24	117	144	147	185	147	201	229	316	395	316
	25	112	138	141	177	141	193	220	304	380	304
	29.97	94	115	118	148	118	161	183	254	317	254
	47.95	58	72	74	92	—	101	115	159	199	—
	50	56	69	71	89	71	97	110	153	191	153
	59.94	47	57	59	74	59	81	92	127	159	127

ProRes記録・再生時間

Project Frame Rate	4K 4444 XQ	4K 4444	4K 422 HQ	QFHD 4444 XQ	QFHD 4444	QFHD 422 HQ
23.98/24	65	98	146	69	104	156
25	62	94	140	67	100	150
29.97	52	78	117	55	83	125
50	31	47	70	33	50	75
59.94	26	39	58	27	41	62

エラー / 警告表示

本機では警告、注意、動作確認などが必要な状況では、サブディスプレイ画面にメッセージ表示、RECランプの点滅、および警告音で対応します。

警告音は、内蔵スピーカーまたはヘッドホン端子に接続したヘッドホンに出力します。

本機の電源起動時に、一定期間イメージセンサーの自動調整(Auto Pixel Restoration) を実行していない場合は、Auto Pixel Restorationの実行を促すメッセージがサブディスプレイ画面に表示されます。この場合は、表示される指示に従って、Auto Pixel Restoration(110ページ) を実行してください。

エラー表示

次のような表示が出た場合は、本機は動作を停止します。

エラー表示内容	警告音	RECランプ	原因と対策
E+エラーコード	断続音	高速点滅	本体の異常の可能性があります。ビューファインダー・モニター画面上に●RECと表示されていても記録は止まっています。 電源を切り、接続している機器やケーブル類、メディアに異常がないか確認してください。これらに異常がないときは、再度電源を入れ、エラーが継続する場合はソニーのサービス窓口にご連絡ください。(電源スイッチをOFFにしても電源が切れない場合は、バッテリーパックやDC IN電源も外してください。)

警告表示

次のような表示が出た場合は、次表に従って対処してください。

警告表示内容	警告音	RECランプ	原因と対策
Media Full ¹⁾	連続音	高速点滅	AXSメモリーカードの残量がないため、記録、コピー、クリップ分割はできません。 交換してください。
Battery End ¹⁾	連続音	高速点滅	バッテリーパックが消耗しました。記録はできません。 いったん操作を中止し、バッテリーパックを交換してください。
Temperature High ¹⁾	断続音	点滅	内部温度が上昇しました。 いったん電源を切り、温度が下がるまで使用を中止してください。

警告表示内容	警告音	RECランプ	原因と対策
Insufficient Voltage ¹⁾	連続音	高速点滅	DC IN電圧が低すぎます。記録はできません。 他の電源に接続し直してください。
Input Color Space Mismatch ²⁾	無し	無点灯	再生映像に適用するInput Color Space(88ページ) の設定とクリップに記録されているInput Color Spaceの値が一致していません。Input Color Spaceの設定を変更してください。
Imager Block Temperature High	断続音	点滅	イメージャーブロックの内部温度が上昇しました。 いったん電源を切り、温度が下がるまで使用を中止してください。

- 1) モニター画面にはメッセージは表示されません。
- 2) モニター画面にのみ表示されます。

温度に関する警告表示について

動作モードや周囲環境によっては、本機の動作保証温度範囲内であってもTemperature Highが表示されることがあります。これらの警告が表示されても直ちに記録が止まることはありませんが、早めに上記の原因と対策の指示に従って対応してください。

注意・動作確認表示

モニター画面もしくはサブディスプレイ上に次のような注意・動作確認表示が現れたり、警告アイコンが表示され、メニューのInfoカテゴリー > Camera Conditionに次のような注意・動作確認表示が現れることがあります。この場合は次表に従って対処してください。

表示内容	原因と対策
Backup Battery End Please Change	バックアップ電池の残量が不足しています。 バックアップ電池を交換してください。
Cannot Use AXS(A)* Please Change	パーティションが切られているメモリーカードや、本機で扱えるクリップ数を超過して記録されたメモリーカードが挿入されました。 本機では使用できませんので、交換してください。
Cannot Use AXS(A)* Unsupported File System	ファイルシステムの異なるカードまたはフォーマットされていないカードが挿入されました。 本機では使用できませんので、交換または本機でフォーマットしてください。
Media Error AXS(A)* Needs to be Restored	メモリーカードに異常が発生し、修復が必要な状態になりました。 メモリーカードの修復を行ってください。

表示内容	原因と対策
AXS(A)* Error Recording Stopped Playback Stopped	メモリーカードに異常が発生したため、記録または再生が停止しました。 頻繁に起きる場合には、メモリーカードを交換してください。
Input AES/EBU is Invalid Emphasis	AES/EBU入力に対応していないEmphasis信号が入力されました。 本機は50μs + 15μsのEmphasis信号にのみ対応しています。
Input AES/EBU is not Pro Use	AES/EBU入力に、Professional Use以外の信号が入力されました。 本機はProfessional Useにのみ対応しています。
Fan Stopped	本体内のファンが停止しています。 高温下での使用を避け、電源を切ってソニーのサービス担当者に連絡してください。
XXXX License Yday Remaining (XXXX：ライセンスの種類、Y：残り日数)	期間限定ライセンス付ソフトウェアオプションの有効期限が残り2日を切りました。
Lens I/F Error	Eマウントレンズ装着時にレンズI/F通信でレンズの不具合が検出されました。 Eマウントレンズとの接続状態を確認してください。
Set the "Password" of "Authentication".	Technicalメニュー > Authentication > Password (110ページ) が未設定なので設定してください。
Unable to record LUT metadata.	以下のいずれかの原因により、User 3D LUTファイル、およびそのメタデータを記録できません。 <ul style="list-style-type: none"> 設定したUser 3D LUTファイルのサイズが10Mバイト以上である。 本体バージョンがV2.0未満のときに読み込んだUser 3D LUTファイルである。 User 3D LUTファイルを本体に読み込んだ直後に本体の設定を行い記録を開始した。
Peaking can be controlled in Monitoring > VF Function > VF/Moni Peaking Level of the camera menu.	Monitoringメニュー > Output Format > Monitor Out Source(96ページ) がVFに設定されている場合、ビューファインダーのメニューでピーキングレベルを調整できません。 Monitoringメニュー > VF Function > VF/Moni Peaking Level(98ページ) でピーキングレベルを調整してください。

表示内容	原因と対策
File Imager Mode mismatch X.XK YY:Y (X.XK YY:Y：フレームラインファイルに保存されているイメージャーモードの設定値)	フレームラインファイルに保存されているイメージャーモードの設定値と本体のイメージャーモードの設定値が一致しないため、フレームラインファイル作成時のフレームライン設定どおりに表示できない場合があります。 本体の設定値と同じイメージャーモードで作成したフレームラインファイルを読み込んで選択してください。
When connecting the unit to the network, be sure to confirm that the network is protected securely.	Technicalメニュー > Network > Wireless > Network Mode(111ページ) をStationに設定した場合、ネットワーク接続によるセキュリティリスクがあります。接続先が安全なネットワークであることを確認の上、使用してください。
No Optical Filter	イメージャーブロックにドロップインフィルターが装着されていません。 フィルターは装着して使用してください。
Unknown Optical Filter	ドロップインフィルターの種別が認識できません。
Imager Block Fan Stopped	イメージャーブロック内のファンが停止しています。 高温下での使用を避け、電源を切ってソニーのサービス担当者に連絡してください。

* AXSメモリーカードスロットAに入れたAXSカードの場合はAXS(A)、AXSメモリーカードスロットBに入れたAXSカードの場合はAXS(B)が表示されます。

ファイルに保存される項目

表凡例

○：保存する

×：保存しない

—：保存しない(一時的動作メニュー)

Shootingメニュー

項目	細目	保存先ファイル	
		All	Scene
FPS	Fixed/Variable Select	○	×
	FPS Select	○	×
Shutter ¹⁾	Shutter Select	○	○
	Step/Cont. Select	○	○
	Add/Change Step	—	—
	Delete Step	—	—
Flicker Reduce	Mode	○	×
	Frequency	○	×
ND	ND Position	○	○
Exposure Index	EI Select	○	○
Gain	Gain Select	○	○
White Balance ¹⁾	Color Temp. Select	○	○
	Add/Change Step	—	—
	Delete Step	—	—
	Auto White Balance	—	—
	LED Wall Color Temp.	○	×
	Light Blend	○	×
Look	Category	○	×
	Preset Look Select	○	×
	User 3D LUT Select	○	×
	ART Select	○	×
	ART Information	—	—
	ASC CDL Process	○	×
	ASC CDL Select	○	×
	ASC CDL Information	—	—

項目	細目	保存先ファイル	
		All	Scene
Look File	Load User 3D LUT	—	—
	Reset User 3D LUT	—	—
	Reset All User 3D LUTs	—	—
	Load ART	—	—
	Reset ART	—	—
	Reset All ARTs	—	—
	Load ASC CDL	—	—
	Reset ASC CDL	—	—
	Reset All ASC CDLs	—	—
LUT Select	SDI 1/2	○	—
	SDI 3/4	○	×
	Monitor	○	×
	HDMI	—	—
	VF LUTまたはVF/Monitor LUT	○	×
	ProRes	○	×
	SDR Gain	○	×

1) ユーザーが追加・編集した選択肢も保存されます。

Projectメニュー

項目	細目	保存先ファイル	
		All	Scene
Basic Setting	Imager Mode	○	×
	Project Frame Rate	○	×
	Input Color Space	○	○
	Recording Format	○	×
	Base ISO	○	○
	Anamo. De-Squeeze	○	×
	Zoom to Fit	○	×
Assignable Button	<1>	○	×
	<2>	○	×
	<3>	○	×
	<4>	○	×
	<5>	○	×
	<6>	○	×
	<7>	○	×
	<VF A>	○	×
	<VF B>	○	×
	<VF C>	○	×
	<User 1>	○	×
	<User 2>	○	×
	<User 3>	○	×
	<User 4>	○	×
	<User 5>	○	×
Special Recording	Cache Rec Select	○	×
	Max Cache Rec Duration	○	×
All File(Cam Setup)	Load SD Card	—	—
	Save SD Card	—	—
	File ID	○	×
	Load Network Data	○	×
	Format SD Card	—	—

項目	細目	保存先ファイル	
		All	Scene
Scene File	Recall Internal Memory	—	—
	Store Internal Memory	—	—
	Load SD Card	—	—
	Save SD Card	—	—
	File ID	×	○
User Gamma	Current Settings	—	—
	Load SD Card	—	—
	Reset	—	—

TC/Mediaメニュー

項目	細目	保存先ファイル	
		All	Scene
Timecode	Mode	○	×
	Manual Setting	—	—
	Reset	—	—
	TC Format	○	×
	TC Source	—	—
	Time Data Display	○	×
Genlock	Input Source	○	×
	Reference Lock Type	—	—
	Sync Shift	○	×
Clip Name Format	Camera ID ¹⁾	○	×
	Reel Number ¹⁾	○	×
	Camera Position ¹⁾	○	×
	Double Digit Camera ID	○	×
Format Media	AXS Slot A	—	—
	AXS Slot B	—	—
	SD Card	—	—

1) Allファイルを読み込んだ際も本機内部に保存されているデータは上書きされません。

Monitoringメニュー

項目	細目	保存先ファイル	
		All	Scene
Output Format	SDI 1/2	○	×
	SDI 3/4	○	×
	Monitor	○	×
	HDMI	○	×
	3G SDI 1/2/3/4 Output	○	×
	Monitor Out Source	○	×
Output Display	Flip Image	○	×
	Audio/Video Delay	○	×
	Monitor Magnifier Mode	○	×
	Monitor Magnifier Ratio	○	×
VF Display	VF LUTまたはVF/Monitor LUT	○	×
	Overlay	○	×
	Frame Line	○	×
	VF Magnifier Mode	○	×
	VF Magnifier Ratio	○	×
	Color	○	×
	SDR Gain	○	×
VF Function	Double Speed Scan	○	×
	Peaking	○	×
	VF/Moni Peaking Level	○	×
	Peaking Frequency	○	×
	Assign<VF A>	○	×
	Assign<VF B>	○	×
	Assign<VF C>	○	×
	Zebra	○	×
	Zebra Select	○	×
	Zebra1 Level	○	×
	Zebra1 Aperture Level	○	×
	Zebra2 Level	○	×

項目	細目	保存先ファイル	
		All	Scene
Overlays/Frame Line	VFまたはVF/Moni	○	×
	SDI 1/2	○	×
	SDI 3/4	○	×
	Monitor	○	×
	HDMI	—	—
	Overlay A/B Setup	○	×
	Frame Line A/B Setup	○	×
Frame Line Setup	Color	○	×
	Brightness Level	○	×
	Transparency Level	○	×
	Center Marker	○	×
	Aspect Ratio	○	×
	Aspect Ratio Type	○	×
	Surround View Type	○	×
	Mask Level	○	×
	Safety Zone	○	×
	Aspect Safety Zone	○	×
	Frame Line on Playback	○	×
User Frame Line 1	Select	○	×
	Select User File	×	×
	Color	○	×
	Preset Aspect Ratio	○	×
	Scaling	○	×
	Preset Aspect Ratio Type	○	×
	Aspect Ratio(Pixels)	—	—
	Width ¹⁾	○	×
	Height ¹⁾	○	×
	H Position ¹⁾	○	×
	V Position ¹⁾	○	×
	Variable Aspect Type	—	—

項目	細目	保存先ファイル	
		All	Scene
User Frame Line 2	Select	○	×
	Select User File	×	×
	Color	○	×
	Preset Aspect Ratio	○	×
	Scaling	○	×
	Preset Aspect Ratio Type	—	—
	Aspect Ratio(Pixels)	—	—
	Width ¹⁾	○	×
	Height ¹⁾	○	×
	H Position ¹⁾	○	×
	V Position ¹⁾	○	×
	Variable Aspect Type	—	—
Load User Frame Line	View File List	—	—
	Load SD Card	—	—
	Reset	—	—

1) Select > User FileのWidth、Height、H Position、V Positionの設定値は保存されません。

Audioメニュー

項目	細目	保存先ファイル	
		All	Scene
Audio Input	Internal Mic Select	○	×
	XLR Audio L Select	○	×
	XLR Audio R Select	○	×
	XLR Audio L Level	○	×
	XLR Audio R Level	○	×
	XLR Mic Reference	○	×
Audio Monitor	Monitor CH	○	×
	Monitor Level	○	×
Audio Configuration	Alarm Level	○	×
	Input Limiter Mode	○	×
	AGC Level	○	×
	AGC Mono/Stereo	○	×
	MIC Input Mono/Stereo	○	×
	Phantom Power +48V	○	×
	Monitor Output CH Pair	○	×
	Headphone Mono/ST	○	×

Paintメニュー

項目	細目	保存先ファイル	
		All	Scene
Black	Master Black	○	○
	R Black	○	○
	B Black	○	○
Flare	Setting	○	○
	Master Flare	○	○
	R Flare	○	○
	G Flare	○	○
	B Flare	○	○
Gamma	Setting	○	○
	Gamma Category	—	—
	Gamma Select	○	○
Black Gamma	Setting	○	○
	Range	○	○
	Master Black Gamma	○	○
Saturation	Setting	○	○
	Level	○	○
Knee	Setting	○	○
	Point	○	○
	Slope	○	○
White Clip	Setting	○	○
	Level	○	○

項目	細目	保存先ファイル	
		All	Scene
Detail	Setting	○	○
	Level	○	○
	H/V Ratio	○	○
	Crispening	○	○
	Level Depend	○	○
	Level Depend Level	○	○
	Frequency	○	○
	Knee Aperture	○	○
	Knee Aperture Level	○	○
	Limit	○	○
	White Limit	○	○
	Black Limit	○	○
Skin Detail	Setting	○	○
	Skin Gate	×	×
	Natural Skin Detail	○	○
	Zoom Link	○	○
	Channel Switch	○	○
	CH1 Detail Settings	○	○
	CH2 Detail Settings	○	○
	CH3 Detail Settings	○	○
Matrix	Setting	○	○
	User Matrix	○	○
	User Matrix R-G	○	○
	User Matrix R-B	○	○
	User Matrix G-R	○	○
	User Matrix G-B	○	○
	User Matrix B-R	○	○
	User Matrix B-G	○	○

項目	細目	保存先ファイル	
		All	Scene
Multi Matrix	Setting	○	○
	Area Indication	×	×
	Reset	—	—
	Axis	×	×
	Hue	○	○
	Saturation	○	○

Technicalメニュー

項目	細目	保存先ファイル	
		All	Scene
System Configuration	Fan Control	○	×
	Shutter Mode	○	○
	SDI Rec Remote Trigger	○	×
	Level Gauge Select	○	×
	Level Gauge Adjust	—	—
	Level Gauge Reset	—	—
	3620XS Lev. Gauge Adj.	—	—
	3620XS Lev. Gauge Rst.	—	—
	3621XS Lev. Gauge Adj.	—	—
	3621XS Lev. Gauge Rst.	—	—
Lens Configuration	PL Lens Data Input	○	×
	PL-Mt Interface Position	○	×
	PL-Mt Voltage	○	×
	Focus Distance Format	○	×
	Lens 12pin	○	×
	E-Mount Shading Comp.	○	×
	E-Mt Chro. Aber. Comp.	○	×
Auto Pixel Restore	Auto Pixel Restoration	—	—
	Reset	—	—
Authentication	User Name	×	×
	Password	×	×
Network	Setting	○ ²⁾	×
	LAN	○ ²⁾	×
	Wireless	○ ¹⁾²⁾	×
Alerts & Tally	Rec Light	○	×
	Rec Start/Stop Beep	○	×
	Media Near Full Alarm	○	×

項目	細目	保存先ファイル	
		All	Scene
Batt./Voltage Alarm	Near End:Info Battery	○	×
	End:Info Battery	○	×
	Near End:Sony Battery	○	×
	End:Sony Battery	○	×
	Near End:Other Battery	○	×
	End:Other Battery	○	×
	Detected Battery	—	—
	DC Low Voltage1	○	×
	DC Low Voltage2	○	×
	DC(24V) Low Voltage1	○	×
	DC(24V) Low Voltage2	○	×
Panel Control	Brightness level	○	×
	Lock Operator Side	○	×
	Lock Assistant Side	○	×

項目	細目	保存先ファイル	
		All	Scene
Exposure Assist	Type	○	×
	EL Zone Color Scale	○	×
	Level	○	×
	Red	○	×
	Red Upper Limit	○	×
	Red Lower Limit	○	×
	Yellow	○	×
	Yellow Upper Limit	○	×
	Yellow Lower Limit	○	×
	Orange	○	×
	Orange Upper Limit	○	×
	Orange Lower Limit	○	×
	Pink	○	×
	Pink Upper Limit	○	×
	Pink Lower Limit	○	×
	Light Pink	○	×
	Light Pink Upper Limit	○	×
	Light Pink Lower Limit	○	×
	Cyan	○	×
	Cyan Upper Limit	○	×
	Cyan Lower Limit	○	×
	Green	○	×
	Green Upper Limit	○	×
	Green Lower Limit	○	×
	Light Blue	○	×
	Light Blue Upper Limit	○	×
	Light Blue Lower Limit	○	×
	Blue	○	×
	Blue Upper Limit	○	×
	Blue Lower Limit	○	×
	Purple	○	×
	Purple Upper Limit	○	×
	Purple Lower Limit	○	×
	Reset	—	—

項目	細目	保存先ファイル	
		All	Scene
Test Signals	Color Bars	○	×
	Color Bar Type	○	×
	1kHz Tone on Color Bars	○	×
	Test Saw	○	×
	Test Saw Type	○	×
Special Configuration	RM/RCP Paint Control	○	×
	RM/RCP Shutter Control	○	×
	RM/RCP WB Control	○	×
	In-Camera VFX Mode	○	×
	Moiré Alert Display	○	×
	NR(4K 17:9/16:9)	○	○
	SD HDMI	○	×
	360° Shutter Setting	○	×

- 1) 以下の項目は保存されません。
- Scan Networks
 - SSID
 - Password
 - WPS
 - MAC Address
 - Regenerate Password
- 2) Projectメニュー > All File(Cam Setup) > Load Network Data(92ページ) がOffのときは、Allファイル呼び出すときにデータを読み込みません。

Maintenanceメニュー

項目	細目	保存先ファイル	
		All	Scene
Language	Select	○	×
Clock Set	Time Zone	○	×
	Date Mode	○	×
	Date	—	—
	Time	—	—
Hours Meter	Hours (System)	—	—
	Hours (Resettable)	—	—
	Reset	—	—
Reset to Default	Reset	—	—
Network Reset	Reset	—	—
Factory Reset	Reset	—	—
License Options	Install: xxx	—	—
	Anamorphic	—	—
	Full-Frame	—	—
	Unique Device ID	—	—
Firmware	Version	—	—
	Firmware Update	—	—

[ご注意]

Technicalメニュー > Special Configuration > RM/RCP Paint Control(114ページ) がOnに設定されている場合は、以下のリモートコントロールユニットの操作項目(144ページ) もAllファイルに保存されます。

- Black
- Flare
- Gamma ¹⁾
- Black Gamma ¹⁾
- Gain

1) S-Log3のときを除く。

記録・出力メタデータ一覧

表凡例

Opt: 情報が取得できた場合のみ記述

○ : 記述する

— : 記述しない

項目	RAW Viewerでの表記例	RAW/X-OCN MXF	RAW/X-OCN XML	ProRes MXF	ProRes XML	HD-SDI
Creation Date	2021-10-29 11:04:05	○	○	○	○	—
Last Update	2021-10-30 11:04:05	—	○	○	○	—
UMID	060A2B340101010501010D4313000000070BF41D2F494EB7A16DD045A68CDF2E	○	○	○	○	Opt
Start	03:36:29:20	○	○	○	○	—
End	03:36:32:19	○	○	○	○	—
Duration	00:00:03:00	○	○	○	○	—
Poster Frame		—	—	—	—	—
Recording Mode		—	○	—	○	—
Drop Frame	NDF	○	○	○	○	—
Camera	VENICE/CineAltaV	○	○	○	○	—
Video Codec	X-OCN XT	○	○	○	○	—
Resolution	6048x4032	○	○	○	○	—
Aspect Ratio	3:2	○	○	○	○	—
Format FPS	23.98p	○	○	○	○	—
Capture FPS	23.98p	○	○	○	○	—
Pixel Aspect	1:1	—	○	—	—	—
Flip	normal	—	○	—	—	—
Number of Audio Channels	4	○	○	○	○	—
Audio Codec	LPCM	○	○	○	○	—
Audio Bit Depth	24	○	○	○	○	—
Audio Sampling Rate	48000	○	○	○	○	—
Auto Exposure Mode	ManualExposureMode	○	—	○	—	○
Exposure Index	500	○	○	○	○	○
Auto Focus Sensing Area Setting	ManualFocusMode	Opt	—	Opt	—	Opt
ND Filter Wheel	1/4	○	○	○	○	○
Image Sensor Dimension Effective Width	35925um	○	—	○	—	○
Image Sensor Dimension Effective Height	23950um	○	—	○	—	○
Image Sensor Readout Mode	ProgressiveFrame	○	○	○	○	○
Shutter Speed Angle	172.50deg	○	○	○	○	○

項目	RAW Viewerでの表記例	RAW/X-OCN MXF	RAW/X-OCN XML	ProRes MXF	ProRes XML	HD-SDI
Shutter Speed Time	1/50sec	○	—	○	—	○
Camera Master Gain Adjustment	0.00dB	○	—	○	—	○
ISO Sensitivity	500	○	○	○	○	○
Electrical Extender Magnification	100%	○	—	○	—	○
Auto White Balance Mode	PresetWhiteBalanceSetup	○	—	○	—	○
White Balance	5500	○	○	○	○	○
Tint Correction	0.00000	○	—	○	○	○
Camera Master Black Level	3.0%	—	—	○	—	○
Capture Gamma Equation	scene-linear	○	○	○	○	○
Gamma for CDL	rec709	○	○	○	○	○
Color Primaries (Capture Color Primaries)		—	—	○	○	○
Camera Attributes	MPC-36289999999Version5.00	○	○	○	○	○
Effective Marker Aspect Ratio	6048:3202	○	○	○	○	○
User Frame Line 1	1920×1080+0+0	○	—	○	—	○
User Frame Line 2	1920×1080+0+0	○	—	○	—	○
Active Area Aspect Ratio	6048:4032	○	○	○	○	○
Pixel Aspect Ratio	1:1	○	○	○	○	○
Image Orientation	normal	○	—	○	○	○
Raw Black Code	512	○	○	—	—	—
Raw Gray Code	1504	○	○	—	—	—
Raw White Code	5472	○	○	—	—	—
Gamma for Look	s-log3-cine	○	○	○	○	○
Color for Look	s-gamut3-cine	○	○	○	○	○
Pre-CDL Transform	LUT:SL3SG3Ctos709.cube	○	○	○	○	○
Post-CDL Transform	none	○	○	○	○	○
Look Process Baked	false	○	○	○	○	○
Monitoring Characteristics	rec709	○	○	○	○	○
Monitoring Base Curve	rec709	○	○	○	○	○
Monitoring Color Primaries	rec709	○	○	○	○	○
Monitoring Coding Equations	rec709	○	○	○	○	○
Monitoring Descriptions	LUT:SL3SG3Ctos709.cube	○	○	○	○	○
LED Wall Color Temperature	6500	○	○	○	○	○
Light Blend Ratio with LED Wall	100%	○	○	○	○	○
LED Wall Moiré Alert Level		Opt	—	Opt	—	Opt
Camera Tilt Angle	2.70000	○	—	○	—	○

項目	RAW Viewerでの表記例	RAW/X-OCN MXF	RAW/X-OCN XML	ProRes MXF	ProRes XML	HD-SDI
Camera Roll Angle	1.30000	○	—	○	—	○
Focus Distance	2296mm	Opt	—	Opt	—	Opt
Aperture Value	3.14	Opt	—	Opt	—	Opt
Aperture Ring T Stop Position	2.8 + 3/10	Opt	—	Opt	—	Opt
Current Focal Length	0mm	Opt	—	Opt	—	Opt
Hyperfocal Distance	219224mm	Opt	—	Opt	—	Opt
Near Focus Distance	2273mm	Opt	—	Opt	—	Opt
Far Focus Distance	2319mm	Opt	—	Opt	—	Opt
Horizontal Field of View	27.9deg	Opt	—	Opt	—	Opt
Entrance Pupil Position	+51mm	Opt	—	Opt	—	Opt
Normalised Zoom Value	0.000	Opt	—	Opt	—	Opt
Lens Serial Number	xxxxxxxx	Opt	—	Opt	—	Opt
Iris F-Number	2.87	Opt	—	Opt	—	Opt
Iris T-Number	3.1	Opt	—	Opt	—	Opt
Iris Ring Position		Opt	—	Opt	—	Opt
Focus Position from Image Plane	2.296m	Opt	—	Opt	—	Opt
Focus Ring Position		Opt	—	Opt	—	Opt
Macro Setting	OFF	Opt	—	Opt	—	Opt
Lens Zoom 35mm Still Camera Equivalent	85mm	Opt	—	Opt	—	Opt
Lens Zoom Actual Focal Length	85mm	Opt	—	Opt	—	Opt
Zoom Ring Position		Opt	—	Opt	—	Opt
Anamorphic Lens Squeeze Ratio		Opt	—	Opt	—	Opt
Optical Extender Magnification	100%	Opt	—	Opt	—	Opt
Lens Attributes	xxxxxxxx	Opt	Opt	Opt	Opt	Opt
Cooke /i technology		Opt	—	Opt	—	Opt
Cooke /i2 technology		Opt	—	Opt	—	Opt
Cooke /i3 technology		Opt	—	Opt	—	Opt
Zeiss eXtended metadata		Opt	—	Opt	—	Opt
Description		—	—	—	—	—
Circle		—	—	—	—	—
Project		—	—	—	—	—
Director Name		—	—	—	—	—
Director of Photography Name		—	—	—	—	—
Production		—	—	—	—	—

項目	RAW Viewerでの表記例	RAW/X-OCN MXF	RAW/X-OCN XML	ProRes MXF	ProRes XML	HD-SDI
Camera Index		—	○	—	○	—
Reel		—	○	—	○	—
Scene		—	—	—	—	—
Cut		—	—	—	—	—
Take		—	—	—	—	—
Shot		—	○	—	○	—
Mark In		—	—	—	—	—
Mark Out		—	—	—	—	—

ライセンスについて

GPL/LGPL適用ソフトウェアの入手について

本製品はGPL/LGPL適用のソフトウェアを使用しており、お客様には、これらのソフトウェアのソースコードの入手、改変、再配布の権利があることをお知らせします。

これらのソースコードはインターネットのサーバーからダウンロードすることが可能です。以下のURLにアクセスすれば、具体的なダウンロードの方法がわかるようになっています。

<https://oss.sony.net/Products/Linux/>

なお、ソースコードの中身についてのお問い合わせはご遠慮ください。

ライセンスの内容に関しては、本機をネットワークに接続して、Webリモコン画面のOSS Information画面(127ページ)をご覧ください。

END USER LICENSE AGREEMENT

お客様による本製品の使用開始をもって、お客様がソフトウェア使用許諾契約書の内容にご同意いただけたものとさせていただきます。お客様と弊社との間のソフトウェア使用許諾契約書は、弊社ウェブサイト(https://helpguide.sony.net/di/el23/v1/h_zz/)でご覧いただけます。

オープンソースソフトウェアのライセンスについて

本製品には、弊社がその著作権者とのライセンス契約に基づき使用しているソフトウェアが搭載されています。

当該ソフトウェアの著作権者の要求に基づき、弊社はこれらの内容をお客様に通知する義務があります。

ライセンスの内容に関しては、本機をネットワークに接続して、Webリモコン画面のOSS Information画面(127ページ)をご覧ください。

保証書とアフターサービス

保証書

- この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際お受け取りください。
- 所定の事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを

この説明書をもう一度ご覧になってお調べください。

それでも具合が悪いときは

お買い上げ店、または添付の「ソニー業務用商品相談窓口のご案内」にあるお近くのソニーのサービス窓口にご相談ください。

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合、ご要望により有料修理させていただきます。

保証期間中の修理など、アフターサービスについてご不明な点は、お買い上げ店、またはソニーのサービス窓口にお問い合わせください。

主な仕様

一般仕様

質量	MPC-3628 : 約4.3 kg MPC-3626 : 約4.2 kg (ハンドル、VFアタッチメントを除く)
外形寸法	186ページ参照
電源電圧	DC 12 V(11 V ～ 17 V) DC 24 V(22 V ～ 32 V)
消費電力	MPC-3628 : 本体標準消費電力 : 約76 W(8.6K 3:2、24 FPS、X-OCN XT記録時、ビューファインダーおよび周辺機器を含まず) 本体最大消費電力 : 約100 W(8.2K 17:9、60 FPS、X-OCN ST記録時、40℃環境、32 V DC入力、ビューファインダーおよび周辺機器を含まず) 最大許容入力電力 : 約220 W(22 V ～ 32 V DC入力、ビューファインダーおよび周辺機器を含む) MPC-3626 : 本体標準消費電力:約73 W(6K 3:2、24 FPS、X-OCN XT記録時、ビューファインダーおよび周辺機器を含まず) 本体最大消費電力 : 約94 W(6K 3:2、60 FPS、X-OCN ST記録時、40℃環境、32 V DC入力、ビューファインダーおよび周辺機器を含まず) 最大許容入力電力 : 約220 W(22 V ～ 32 V DC入力、ビューファインダーおよび周辺機器を含む)
動作温度	0℃～ 40℃
保存温度	−20℃～+60℃
連続操作時間	約35分(BP-GL95B使用時)

記録フォーマット(ビデオ)
X-OCN XT
X-OCN ST
X-OCN LT
ProRes 4444 XQ 4K
ProRes 4444 XQ QFHD
ProRes 4444 4K
ProRes 4444 QFHD
ProRes 422 HQ 4K
ProRes 422 HQ QFHD
記録フォーマット(オーディオ)
LPCM 8CH(記録再生2CH)、24-bit、48 kHz
記録プロジェクトフレームレート
X-OCN XT/ST/LT(MPC-3628) :
8.6K 3:2/8.1K 16:9 29.97P/25P/24P/23.98P
8.2K 17:9/8.2K 2.39:1/5.8K 17:9/ 8.1K 16:9/5.8K 4:3/5.5K 2.39:1 59.94P/50P/47.95P/29.97P/ 25P/24P/23.98P
7.6K 16:9/5.4K 16:9 59.94P/50P/29.97P/25P/24P/ 23.98P
8.6K 17:9/5.8K 6:5 47.95P/29.97P/25P/24P/23.98P
X-OCN XT/ST/LT(MPC-3626) :
6K 3:2/6K 1.85:1/6K 17:9/6K 2.39:1/4K 6:5/4K 4:3/4K 17:9/4K 2.39:1 59.94P/50P/47.95P/29.97P/ 25P/24P/23.98P
5.7K 16:9/3.8K 16:9 59.94P/50P/29.97P/25P/24P/ 23.98P
4K 4:3 Surround/4K 17:9 Surround/3.8K 16:9 Surround 29.97P/25P/24P/23.98P
ProRes 4444 XQ
4K:4096×2160 59.94P/50P/29.97P/25P/24P/ 23.98P

	QFHD:3840×2160 59.94P/50P/29.97P/25P/24P/ 23.98P
ProRes 4444	4K:4096×2160 59.94P/50P/29.97P/25P/24P/ 23.98P
	QFHD:3840×2160 59.94P/50P/29.97P/25P/24P/ 23.98P
ProRes 422 HQ	4K:4096×2160 59.94P/50P/29.97P/25P/24P/ 23.98P
	QFHD:3840×2160 59.94P/50P/29.97P/25P/24P/ 23.98P
記録・再生時間	165ページ参照

カメラ部

撮像素子	35mmFull Size相当単板CMOSイメージセンサー
画素数	MPC-3628 : 50.0M(total) MPC-3626 : 24.8M(total)
内蔵フィルター	

		NDフィルター A		
		Clear	0.3 (1/2)	0.6 (1/4)
NDフィル ター B	Clear	Clear	0.3 (1/2)	0.6 (1/4)
	0.9 (1/8)	0.9 (1/8)	1.2 (1/16)	1.5 (1/32)
	1.8 (1/64)	1.8 (1/64)	2.1 (1/128)	2.4 (1/256)

ISO感度	MPC-3628 : ISO 800 ISO 3200 MPC-3626 : ISO 500 ISO 2500
レンズマウント	PLマウント(レンズマウントアダプター使用) Eマウント(レンズマウントアダプター未使用時)
フランジバック	PLマウント : 52 mm Eマウント : 18 mm
ラチチュード	MPC-3628 : 16 stop MPC-3626 : 15+ stop

入出力

オーディオ入力	CH-1/CH-2 : XLR型、5ピン凹型(1)、 LINE / AES/EBU / MIC / MIC+48V切り換え可能
DC入力	XLR型、4ピン凸型(1)、11 V ～ 17 Vま たは22 V ～ 32 V DC
DC出力(12 V)	Lemo 2ピン(1)、11 V ～ 17 V DC (出力電圧 : 入力電圧と同じ、出力 最大電流 : 1.0 A)、22 V ～ 32 V DC(出力電圧 : 16.8 V、出力最大電 流 : 1.0 A)、バッテリーアダプター 使用時

[ご注意]

12V OUT端子には、消費電流が1.0 A以下の機器を接続してください。

DC出力(24 V)
Fischer 3ピン(2)、11 V ～ 17 V DC(出力電圧：24 V、出力最大電流：1.0 A)、22 V ～ 32 V DC(出力電圧：入力電圧と同じ、出力最大電流：2.0 A)

[ご注意]
24V OUT端子には、11 V ～ 17 V入力時は消費電流が1.0 A以下の機器を、22 V ～ 32 V入力時は消費電流が2.0 A以下の機器を接続してください。

SDI出力 BNC型(4)
 12G-SDI：SMPTE ST-2082
 6G-SDI：SMPTE ST-2081
 3G-SDI：SMPTE ST424/425
 Level B-DL/DS
 HD SDI：SMPTE ST292 準拠
AUX BNC型(1)
ビューファインダー出力
 LEMO 26ピン(1)
ネットワーク
 RJ45型(1)
リモートコントロール
 8ピン(1)
MONITOR出力
 BNC型(1)
 3G-SDI：SMPTE ST424/425 Level A
 HD SDI：SMPTE ST292 準拠
タイムコード入力
 TC IN：BNC型(1)
GENLOCK入力
 BNC型(1)
HDMI出力
 Type A型(1)
外部機器接続端子
 USB host：Type A(1)
ヘッドホン出力
 ステレオミニジャック(1)
スピーカー出力
 モノラル

メディアスロット部

タイプ AXS-A card(2)
 SD card(1)

付属品

VFアタッチメント(1)
ハンドル(1)
VFケーブル(1) (A-2203-745-A)
シム(円弧型) (1) (4-730-328-11)
シム(1/3円弧型) (15) (4-730-328-21)
Eマウントレンズキャップ(1)
PLマウントレンズキャップ(1)
6Kイメージャーブロック用カバー (1) (A-5040-737-A)(MPC-3628のみ)
ご使用になる前に(1)

関連アクセサリ

0.7型ビューファインダー
 DVF-EL200
カメラエクステンションシステム
 CBK-3610XS、CBK-3620XS、
 CBK-3621XS
ワイヤレスLANアダプター
 CBK-WA02
リモートコントロールユニット
 RM-B170/B750
 RCP-1000/1500/1530/3500
 RCP-1001/1501/3100/3501
カードリーダー
 AXS-AR3

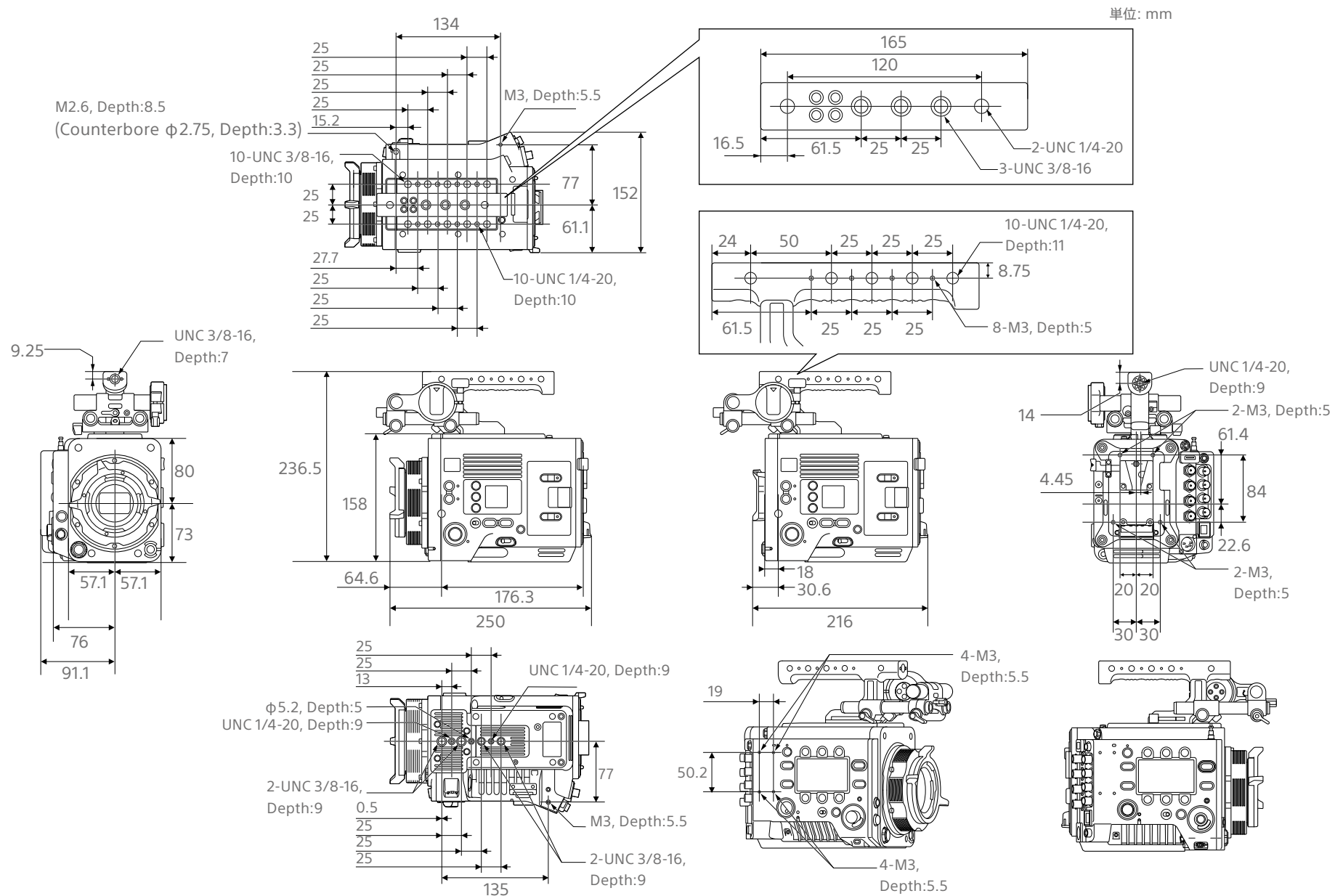
ショルダーアダプター (VシューでVCT-14に装着するアダプター)

VCT-FSA5
Eマウントレンズ
SEL P28135G、SEL1224GM、
SEL1635GM、SEL1635GM2、
SEL2470GM、SEL2470GM2、
SEL70200GM、SEL70200GM2、
SEL100400GM、SEL14F18GM、
SEL24F14GM、SEL35F14GM、
SEL50F12GM、SEL50F14GM、
SEL85F14GM、SEL100F28GM、
SEL135F18GM、SEL2870GM、
SEL50150GM、SEL85F14GM2

バッテリーパック
 BP-GL95B
マイク ECM-680S、ECM-678^{*}、ECM-674^{*}
 ^{*} XLR 3ピン→5ピン変換ケーブル
 EC-0.5X3F5Mが必要
2連バッテリーアダプター
 BKW-L200(バッテリー接続アダプターを介して接続)
SDI/HDMIモニター
 BVMシリーズ、PVMシリーズ、LMDシリーズ

仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

外形寸法



商標について

- HDMI、High-Definition Multimedia Interface、およびHDMIロゴ は、米国およびその他の国におけるHDMI Licensing Administrator, Inc.の商標または、登録商標です。
- その他、本書で登場するシステム名、製品名は、一般に各開発メーカーの登録商標あるいは商標です。なお、本文中で®、™マークは明記しておりません。